

清代甘肃著名医家

刘一明医书释要

● 《眼科启蒙》 四卷

● 《经验奇方》 二卷

● 《经验杂方》 二卷

李应存

王兰桂

编著

甘肃文化出版社



责任编辑

申晓君

马映峰

封面设计

马映峰

封底篆刻

秋子

名医绝技

悬壶济世

一册到手

终身收益

ISBN 7-80608-672-2



9 787806 086728 >

ISBN 7-80608-672-2/R2·1

定价 22.80 元

清代甘肃著名医家

刘一明医书释要

李应存

王兰桂 / 编著

甘肃文化出版社

二〇〇一年十一月·兰州

图书在版编目(CIP)数据

刘一明医书释要/李应存,王兰桂编著.——兰州:甘肃文化出版社,2001.11

ISBN 7-80608-672-2

I. 刘… II. ①李…②王… III. 中国医药学-注释-中国-清代 IV. R2-52

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2001)第 083069 号

责任编辑: 申晓君
马映峰

封面设计:马映峰

责任校对:马映峰

版式设计:申晓君

清代甘肃著名医家 刘一明医书释要 李应存 王兰桂 编著

出版发行:甘肃文化出版社	印 制:兰州石化职业技术学院印刷厂
社 址:兰州市东岗西路 316 号	厂 址:兰州市山丹街 1 号
邮政编码:730000	邮政编码:730060
电 话:(0931)8276014	经 销:新华书店
开 本:850×1168 毫米 32 开	版 次:2001 年 11 月第 1 版
字 数:260 千	印 次:2001 年 11 月第 1 次
印 张:10 插页:2	印 数:1000 册
书 号:ISBN 7-80608-672-2/R2·1	

定价:22.80 元

自序

作为一个地地道道的甘肃人，每当我想起甘肃晋代针灸学家皇甫谧所著《针灸甲乙经》的研究已在山东中医药大学开花结果时，内心总会感到无比的惭愧。后又见甘肃清代著名医家刘一明的《道书十二种》由中国中医药出版社出版时，更觉得无地自容。于是想一定要抓住时机，将刘一明的医书进行整理研究并公之于世，但总觉得心有余而力不足。后与我院图书馆的王兰桂同志谈及此事，她对此也很感兴趣，并表示为了使这部临床应用价值极高的医书更好地造福于人民，不论遇到多大的困难，也要促其面世。在她的鼓励下，我们共同努力，精诚合作，历时三载，始成此稿。

本书选用刘氏医书版本为甘肃中医学院图书馆所藏清代嘉庆二十二年、二十五年刊本，笔者将原书中的繁体字均改为简化字，异体字、古今字、通假字尽量改为现行字，并用现代汉语标点符号对原文进行标点。在以注释、述要为主的研究中，本着古为今用的原则，力求通俗易懂。在疾病的阐释上，尽量与现代医学相结合，以突出其实用价值。

说起刘一明，也许我们中的某些同道对他还不熟悉，这里我首先谈谈他的生平，以便大家了解这位著名的医家。刘一明（1734—1815），道号悟元子，别号素朴散人，祖籍山西曲沃。他自幼喜欢道学，曾拜龛谷老人、仙留丈人为师，并得其真诀。1765年西学院上，结庐于甘肃榆中的栖云山。当时榆中兴隆山经明末战乱，庙宇建筑残废败落，所存无几，他遍历兰州、临洮等地，广为募化，同时行医

治病。在榆中把总林启明的支持下，筹集资财，于乾隆四十四年（1779年）组织人力修建，历经十余载，苦心经营，次第建成错落有致的殿、阁、楼、亭62座，又将募化资金购置田地出租，以供寺观修缮之费。从此隐居寺观，潜心研究医学、易学和道家经典。一方面著书立说，一方面为人诊治疾病，所著医书除本书中的三部著作外，还有《痧胀全书》、《三易注略》、《道德经要义》、《修真九要》、《参同契直指》、《阴符经注》、《金刚经解目》、《栖云笔记》和《会心集》等二十余部。此外，他还创办了栖云山刻坊进行刻版印刷，成为甘肃古代存书最多的刻坊之一。他通玄教、精易理、擅养生、长医术，系乾、嘉时期晋、陕、甘、宁、青一带全真龙门派第十一代重要代表人物。刘先生医德高尚，医术高明，解救了许多忍受疾病痛苦的老百姓，有些地方至今还流传着他的美名，不愧为甘肃道教史、中医药发展史上的一位著名人物。

翻阅历代中医古籍目录，除皇甫谧外，刘一明便是我们甘肃最具影响的医家之一，其主要医学著作有《眼科启蒙》、《经验奇方》和《经验杂方》等。

《眼科启蒙》是在明代著名眼科学家傅仁宇先生之眼科专著《审视瑶函》的基础上，按照“删繁为简，集乱为整，可录者录之，不可录者去之”的原则整理而成，共分四卷。在该书首卷中，无论是《目为至宝》、《眼病速医》、《五轮定位》、《八廓所属》、《十二经络》、《五运六气》、《诊脉大略》、《识病辨证》、《治目要诀》及《原机症治十八条》等，均从不同角度阐述了眼睛的重要性及眼部定位、眼病特点、症治规律等，尤其在《辨证金玉赋》中作者详尽地论述了各种眼病的名称、病因病机、症状特点及类似病症的鉴别要点，全文以歌赋形式写出，不仅易于记诵，并且妙趣横生，更能激发初学者对眼科学习的兴趣。在第二、三、四卷中，刘氏深刻而简明地阐述了眼病外障七十二症及内障三十六症的名称、病因病机及治疗方药，许多医方至今仍为良方运用于眼科。此外，他还介绍了钩割胬肉、蝼肉

的手法，金针拔内障法及眼科针灸要穴，这对于我们研究古代眼病手术方法及针刺疗法均有重要的意义。综观全书，其内容丰富，条理清楚，查找方便，论治严谨，颇切合临床实用。

《经验奇方》可以说是一部完整的内、外、妇、儿科的综合性专著，其将内科疾病分为瘟疫门、咳嗽门、积聚门、黄疸门、痢疾门、泄泻门、吼喘门、肿胀门、翻胃门、心胃疼痛门、痲症门、癆瘵门、疝气门、出血门、癰瘡门、中风门、补益门、腰腿疼痛门等十八种，将外科疾病归属于疮毒门中，将妇科疾病归属于女科门中，将儿科疾病归属于幼科门。在每一门类疾病的名称之后，首先以概述的形式介绍该病主要特点及病因病机等，其次论述了治疗该病的各种主要方药。这些形式多样的方药中，既有前代著名医家之名方，又有刘氏自制之验方，充分反映了中医学异病同治，同病异治的灵活性。

《经验杂方》是刘先生在治疗疾病的过程中对前代名医医方的具体应用与创新，这些医方大都具有简、便、验、廉的特点，至今仍具有重要的应用价值。如用治寒中阴经而致的手足冷、小腹胀、脉沉迟之症，所用姜附汤中仅用炮姜一钱、熟附子二钱、生姜三片、大枣一枚以温中散寒、回阳救逆；又如专治虫心痛、唇上有白点的三妙散，只用雄黄五钱、雷丸一两、槟榔五钱，面糊为丸，每服一钱半以解毒杀虫、消积止痛；再如用治瘤突额头的平毒汁，在先用小针十数苗，作一束微刺瘤通窍的基础上，只用新南星醋磨汁，加麝香少许，日搽二次以散结消肿、抗瘤止痛，此法与近年来发现南星有抗肿瘤作用相吻合。当然，刘氏用方除一些小方外，针对一些复杂的疾病，常常用一些药味较多的医方，并且根据病情灵活加减。如治疗月经不调、久不受孕之调经种子汤（当归、川芎、白芍、熟地、陈皮、白术、香附、条芩、砂仁、炙草），本方功专养血调经、理气健脾，在临床运用时，刘氏往往灵活加味。如对月经先期来者，加酒炒黄连、倍黄芩，后期来者加黄芪、倍芍归，腹痛有块加元胡、丹皮，发热加柴胡、地骨皮，赤白带加柴胡、升麻、半夏、云苓、苍术、黄柏、知

母、干姜，肥人痰脂满子宫加制南星、半夏、苍术、云苓，瘦人血少倍芎归，经血过多加炮姜、荆芥穗、地榆，经闭不行加桃仁、红花、莪术等。笔者曾用此方化裁，治愈了数例不孕症患者，可见刘氏所集验方，临床疗效确切，颇值得在临床实践中推广应用。

当前，正值西部大开发、大发展的大好时机，我们应顺应这一潮流，整理阐释前代名贤著述，让它们更好地为西部乃至全国、全世界人民的防治疾病服务，这是一件非常有意义的事情，也是我们义不容辞的责任。当然，限于能力，书中难免会有不足之处，恳请同道指正。另外，此项研究得到我院中青年科研启动资金的部分资助，并承蒙甘肃中医学院院长张士卿教授、甘肃省卫生厅副厅长侯志民同志的热情题词。同时，甘肃文化出版社对该书的出版做了大量细致的工作，在此特表示感谢！我的妻子周小军同志曾协助我们查阅了一些资料，也一并记之。

李应存

2001年8月18日于甘肃中医学院

目 录

第一部 眼科启蒙 (共四

卷) (3)

眼科启蒙序 (3)

眼科启蒙 卷一 ... (5)

目为至宝论 (5)

眼病速医论 (9)

目得血而能视论 (10)

五轮定位之图 (11)

五轮所属 (12)

八廓定位之图 (13)

八廓所属 (14)

五轮所主之病 (16)

八廓所主之病 (16)

十二经络与目 (17)

五运之图 (19)

六气之图 (20)

逐年六气 (21)

诊脉大略 (23)

辨症金玉赋 (24)

治目要诀 (28)

原机症治十八条 (一至十
八) (30)

淫热反克之症 (一) (30)

..... (30)

风热不制之症 (二) (33)

..... (33)

七情五贼劳役饥饱之症
(三) (34)

血为邪盛凝而不行之症
(四) (36)

气为怒伤散而不聚之症
(五) (37)

血气不分混而遂结之症
(六) (39)

热积必溃之症 (七) (40)

阳衰不能抗阴之症 (八)
..... (41)

阴弱不能配阳之症 (九)
..... (42)

心火乘金水衰反制之症
(十) (43)

内急外驰之症 (十一) ...
..... (45)

奇经客邪之症 (十二) ...
..... (46)

为物所伤之症 (十三) ...
..... (48)

伤寒愈后之症(十四)···	大小雷头风症(八)·····
····· (49)	····· (62)
强阳转实阴之症(十五)	左右偏头风症(九)·····
····· (50)	····· (63)
亡血过多之症(十六)···	阴邪风症(十)····· (65)
····· (51)	阳邪风症(十一)·····
斑疹余毒之症(十七)···	····· (66)
····· (52)	色似胭脂症(十二)·····
深痞为害之症(十八)···	····· (67)
····· (53)	赤丝虬脉症(十三)·····
眼科启蒙 卷二 ··· (55)	····· (68)
目症外障(一至四十)·····	白眼涩痛症(十四)·····
····· (55)	····· (69)
天行赤热症(一)·····	白珠俱青症(十五)·····
····· (55)	····· (69)
暴风客热症(二)·····	痒如虫行症(十六)·····
····· (56)	····· (70)
火胀大头症(三)·····	肿胀如杯症(十七)·····
····· (57)	····· (71)
怕热羞明症(四)·····	状若鱼胞症(十八)·····
····· (58)	····· (72)
睑硬睛痛症(五)·····	鹞眼凝睛症(十九)·····
····· (59)	····· (73)
赤痛如邪症(六)·····	旋胬泛起症(二十)·····
····· (60)	····· (74)
疼如针刺症(七)·····	珠突出眶症(二十一)···
····· (61)	····· (75)

黄膜上冲症(二十二)···	鱼子石榴症(三十六)···
····· (76)	····· (90)
赤膜下垂症(二十三)···	胥肉攀睛症(三十七)···
····· (77)	····· (91)
凝脂翳症(二十四)····	鸡冠蚬肉症(三十八)···
····· (78)	····· (92)
花翳白陷症(二十五)···	实热生疮症(三十九)···
····· (79)	····· (93)
蟹睛之症(二十六)····	脾生痰核症(四十)····
····· (81)	····· (95)
冰瑕翳症(二十七)····	眼科启蒙 卷三 ··· (96)
····· (82)	目症外障(四十一至七十
阴阳翳症(二十八)····	二) ····· (96)
····· (83)	迎风冷泪症(四十一)···
玛瑙内伤症(二十九)···	····· (96)
····· (83)	迎风热泪症(四十二)···
瘀血贯睛症(三十)····	····· (97)
····· (84)	毗帷赤烂症(四十三)···
血贯瞳神症(三十一)···	····· (97)
····· (85)	迎风赤烂症(四十四)···
聚星障症(三十二)····	····· (98)
····· (86)	风热病目症(四十五)···
垂帘障症(三十三)····	····· (99)
····· (87)	疮毒攻目症(四十六)···
逆顺障症(三十四)····	····· (100)
····· (88)	别病累目症(四十七)···
混睛障症(三十五)····	····· (101)
····· (89)	

物损真睛症(四十八)···	(103)
眯目飞扬症(四十九)···	(104)
飞丝入目症(五十)····	(105)
逐年频发症(五十一)···	(105)
脾内椒疮症(五十二)···	(107)
脾内粟疮症(五十三)···	(108)
木疳之症(五十四)····	(109)
火疳之症(五十五)····	(109)
土疳之症(五十六)····	(110)
金疳之症(五十七)····	(111)
水疳之症(五十八)····	(112)
大眦漏症(五十九)····	(113)
小眦漏症(六十)·····	(113)
阴漏痛胀症(六十一)···	(114)

阳漏痛胀症(六十二)···	(115)
倒睫拳毛症(六十三)···	(116)
皮急紧小症(六十四)···	(117)
脾翻粘睑症(六十五)···	(118)
脾轮振跳症(六十六)···	(119)
脾虚如球症(六十七)···	(120)
胎前目病症(六十八)···	(120)
产后目病症(六十九)···	(122)
辘轳转关症(七十)····	(123)
双目睛通症(七十一)···	(123)
浊害清和症(七十二)···	(124)
钩割胬肉、蜾肉手法····	(128)
补遗·····	(129)
眼科启蒙 卷四·····	(134)

目症内障(一至三十六)·····	视一为二症(十四)·····
····· (134)	····· (143)
瞻视昏渺症(一)·····	视赤为白症(十五)·····
····· (134)	····· (144)
睛黄视渺症(二)·····	瞳神散大症(十六)·····
····· (135)	····· (145)
干涩昏花症(三)·····	瞳神缩小症(十七)·····
····· (136)	····· (146)
坐起生花症(四)·····	能远怯近症(十八)·····
····· (136)	····· (147)
无时冷泪症(五)·····	能近怯远症(十九)·····
····· (137)	····· (147)
无时热泪症(六)·····	神水将枯症(二十)·····
····· (137)	····· (148)
云雾移睛症(七)·····	聚开障症(二十一)·····
····· (138)	····· (149)
萤星满目症(八)·····	枣花障症(二十二)·····
····· (139)	····· (150)
神光自现症(九)·····	圆翳障症(二十三)·····
····· (140)	····· (150)
黑夜睛明症(十)·····	水晶障症(二十四)·····
····· (141)	····· (151)
视正反斜症(十一)·····	剑脊翳症(二十五)·····
····· (141)	····· (152)
视定反动症(十二)·····	鱼鳞障症(二十六)·····
····· (142)	····· (152)
视物颠倒症(十三)·····	暴盲恶症(二十七)·····
····· (143)	····· (153)

青盲恶症(二十八).....	上、下两卷)..... (173)
..... (154)	经验奇方 卷上
高风障症(二十九)..... (173)
..... (155)	瘟疫门
青风障症(三十).....	羌活桂枝汤
..... (157)	达原饮
绿风障症(三十一).....	小承气汤
..... (157)	大承气汤
乌风障症(三十二).....	黄连解毒汤
..... (159)	竹叶石膏汤
偃月障症(三十三).....	败毒丹
..... (160)	普济消毒饮
如银障症(三十四).....	灵应散
..... (160)	咳嗽门
瞳神欹侧症(三十五)...	清顺饮
..... (161)	宁嗽丸
瞳神反背症(三十六)...	百劳散
..... (161)	复元丹
龙树王菩萨金针拨内障法	栗壳散
..... (162)	香术丸
拨内障用针手法.....	救肺汤
..... (163)	积聚门
封眼法	桃灵丹
看内障法	阿魏丸
附眼科针灸要穴 ...	皂矾丸
洗灸疮法	神保丸
针灸避人神日时 ...	七气汤
	退黄丸
第二部 经验奇方(共	

消滞丸	(179)	加减甘桔汤	(186)
化铁膏	(179)	胡桃汤	(186)
化坚汤	(179)	紫苏饮	(186)
黄疸门	(180)	立效散	(186)
渗湿汤	(180)	通气丸	(187)
绿矾丸	(180)	肿胀门	(188)
桃仁承气汤	(180)	木香流气饮	(188)
退黄散	(181)	木香丸	(188)
泻湿除热散	(181)	五苓导水汤	(189)
小豆汤	(181)	蟠桃丸	(189)
痢疾门	(182)	中满分消丸	(189)
化滞汤	(182)	香圆丸	(189)
和中汤	(182)	翻胃门	(190)
调血汤	(183)	人参利膈丸	(190)
逐瘀汤	(183)	开关饮	(191)
香连丸	(183)	五汁膏	(191)
蜡矾丸	(183)	真人活命膏	(191)
泄泻门	(184)	皂连开关丸	(191)
胃苓汤	(184)	心胃疼痛门	(192)
附子理中汤	(184)	清热解郁汤	(192)
扶脾散	(185)	梔子汤	(193)
豆蔻丸	(185)	三建汤	(193)
蜡矾丸	(185)	桃灵丹	(193)
吼喘门	(185)	乌梅丸	(193)
三子汤	(185)	至宝丹	(193)
三子养亲汤	(186)	去瘀散	(193)
九宝汤	(186)	手拈散	(194)
紫金丹	(186)	五灵散	(194)

九味桃灵丹	(194)
化痞膏	(194)
化虫丸	(194)
疯症门	(195)
防风通圣散	(195)
清心汤	(196)
清心抑气汤	(196)
三圣散	(196)
清心滚痰丸	(196)
二黄丸	(196)
除疯散	(197)
妙应丸	(197)
滚痰丸	(197)
导痰汤	(197)
辰砂散	(197)
育魂丹	(197)
断痢丸	(198)
独圣散	(198)
五位散	(198)
癆瘵门	(199)
清离滋坎汤	(199)
加减补中益气汤	(200)
调元百补膏	(200)
试传尸癆瘵法	(200)
运心散	(201)
明月丹	(201)
天灵散	(201)

五枝散	(202)
疝气门	(203)
荔枝散	(203)
沉香荔枝散	(203)
神效散	(203)
三层茴香丸	(203)
法制半夏方	(203)
经验奇方 卷下	(206)
出血门	(206)
凉血地黄汤	(206)
十汁饮	(206)
滋阴清火汤	(206)
二汁饮	(207)
清肺汤	(207)
梔子饮	(207)
神效汤	(207)
三汁汤	(207)
玉液饮	(207)
清嗽饮	(207)
冬苓汤	(207)
山梔四物汤	(208)
加减四物汤	(208)
芩连丸	(208)
金黄散	(208)
去滞汤	(208)
痿痹门	(209)
加减四物汤	(209)

加减六君子汤 … (210)	十全大补汤 …… (216)
上池饮 …… (210)	补中益气汤 …… (216)
通关饮 …… (210)	六味地黄丸 …… (216)
顺气散 …… (210)	固本丹 …… (216)
中风门 …… (211)	二益丹 …… (217)
夺命通关散 …… (211)	腰腿疼痛门 …… (218)
闭牙散 …… (211)	青娥丸 …… (218)
清热导痰汤 …… (211)	双丢拐 …… (218)
三生饮 …… (212)	四神丸 …… (218)
疏风汤 …… (212)	应疼丸 …… (218)
滋润汤 …… (212)	二神散 …… (218)
养荣汤 …… (212)	疮毒门 …… (219)
如圣散 …… (212)	内消散 …… (219)
立正膏 …… (213)	蜡矾丸 …… (219)
神效膏 …… (213)	三神膏 …… (219)
正颜丹 …… (213)	替针散 …… (220)
皂角散 …… (213)	生肌散 …… (220)
解语丹 …… (213)	夺命丹 …… (220)
牛黄清心丸 …… (213)	小灵丹 …… (220)
不换金丹 …… (213)	青黛散 …… (220)
趁疼散 …… (214)	回疔丹 …… (220)
立效散 …… (214)	灵宝散 …… (220)
水调膏 …… (214)	立效散 …… (221)
二乌丸 …… (214)	败毒散 …… (221)
补益门 …… (215)	扫疥膏 …… (221)
四君子汤 …… (215)	赤金散 …… (221)
四物汤 …… (215)	如圣散 …… (221)
八珍汤 …… (215)	扫毒丹 …… (221)

二黄散	(222)	大造丸	(230)
龙脑散	(222)	毓麟珠	(230)
化毒丹	(222)	保胎丸	(230)
化坚汤	(222)	固胎汤	(230)
二妙丸	(222)	幼科门	(232)
千捶膏	(223)	开口汁	(232)
消毒膏	(223)	定命散	(232)
红绿膏	(223)	除风散	(232)
救脑散	(223)	铁门拴	(233)
藤黄膏	(223)	梨蜜膏	(233)
穿山饮	(223)	朱红散	(233)
搽疳散	(224)	鸡肝散	(233)
扫毒饼	(224)	定惊散	(233)
雄黄丸	(224)	雷君丹	(233)
外贴玉金	(224)	开关新方	(234)
女科门	(227)	补遗	(235)
四物汤	(227)	百应丸	(235)
斑黄丸	(228)	立胎丸	(236)
掌中金	(228)	咽喉十八症方 ...	(236)
一粒仙丹	(228)	头疮方	(236)
暖宫丸	(228)	血山崩方	(236)
阿胶散	(228)	下死胎方	(236)
将军丸	(229)	回阳救急汤	(236)
生地黄丸	(229)	辰砂益元散	(237)
牛黄膏	(229)	玉真散	(237)
养真汤	(229)	倒发天疔方	(237)
斩鬼丹	(229)	清骨散	(237)
赵氏金丹	(229)	吕祖一枝梅方 ...	(237)

第三部 经验杂方(共

上、下两卷) (241)

经验杂方 卷上

..... (241)

加功散 (241)

乌头散 (242)

化血汤 (242)

荆子汤 (242)

姜附汤 (242)

附子理中汤 (242)

绿矾丸 (243)

三妙散 (243)

槐枝膏 (243)

朱粉败毒丹 (244)

洗毒汤 (244)

化毒散 (244)

螃蟹消毒散 (245)

胜金丹 (245)

甘草汤 (245)

秦艽散 (246)

独圣散 (246)

外敷药方 (246)

鹿茸散 (246)

上清丸 (246)

消疳散 (247)

加减平胃散 (247)

革薜饮 (247)

导赤散 (248)

润肠汤 (248)

行湿养血汤 (248)

破积丸 (249)

木香消胀丸 (249)

朴香丸 (249)

溃坚汤 (250)

加减通圣散 (250)

荆芥散 (250)

姜桂汤 (251)

散火汤 (251)

活血汤 (251)

三仙丸 (252)

疏肝散 (252)

推气散 (252)

天麻僵蚕散 (252)

立应散 (253)

加减益气汤 (253)

移毒救生汤 (253)

神效散 (253)

碧雪散 (254)

八珍汤 (254)

辛夷散 (254)

乳香丸 (255)

椒硼散 (255)

消积通经丸 (255)

凉血饮 (255)

槐花汤 (256)

调经种子汤 (256)

加减二陈汤	(256)	不换金丹	(269)
开关立效散	(257)	腹皮散	(269)
手拈散	(257)	一次散	(269)
硝黄散	(258)	固精丸	(269)
又禁法	(258)	牡蛎散	(270)
消毒捻	(258)	缩阳法方	(270)
胆矾散	(258)	阴阳攻积丸	(270)
铁笛散	(258)	肥气丸	(271)
消解散	(259)	息贯丸	(271)
金丝膏	(259)	熊胆丸	(271)
碧云膏	(260)	椒莪丸	(272)
黄灵药	(260)	五灵散	(272)
阴阳普救膏	(261)	五灰散	(272)
九转灵砂	(262)	棕灰散	(273)
甘遂散	(263)	胶艾汤	(273)
一贯丹	(263)	阿胶饮	(273)
经验杂方 卷下		遇仙丹	(273)
.....	(266)	荡胞汤	(274)
秦艽汤	(266)	坐导药	(274)
二灵丹	(266)	肘后方	(274)
三妙散	(266)	百部散	(275)
止啼散	(267)	倒发天疳方	(275)
白芨散	(267)	平毒汁	(275)
化毒膏	(267)	去斑汁	(275)
通耳散	(267)	抱龙丸	(276)
妙应丸	(268)	肥儿饼	(276)
贯仲丸	(268)	雄黄解毒丸	(276)
解语丹	(268)	茴香散	(277)

胡椒汤	(277)	青金膏	(284)
三消饮	(277)	箍疮散	(284)
辟毒丹	(277)	猪肚膏	(285)
四七汤	(278)	猪肠膏	(285)
分心气饮	(278)	去牙法	(285)
一通散	(279)	赤鼻方	(285)
催生饼	(279)	疯犬咬方	(286)
难产辨色方	(279)	失音不语方	(286)
平毒散	(279)	救喉散	(286)
生肌散	(280)	两地汤	(286)
接骨丹	(280)	洗心汤	(287)
又一方	(280)	还神至宝丹	(287)
赞育丸	(280)	加味瓜蒂汤	(287)
清热丸	(281)	清膈散	(287)
玉关丹	(281)	补母止嗽汤	(288)
一抹光	(281)	助金汤	(288)
破伤出血方	(281)	归肠汤	(288)
下铜方	(282)	元归汤	(289)
下针方	(282)	转腰汤	(289)
解恶气方	(282)	防穉汤	(289)
仓公散	(282)	起痂至神汤	(289)
中人言毒方	(283)	安养汤	(290)
接骨散	(283)	平安饼	(290)
金疮药	(283)	化痞膏	(290)
诸疮围药	(283)	五灵丹	(291)
乌金散	(283)	山梔散	(291)
蜡矾丸	(284)	粉香散	(291)
透脓散	(284)	首乌散	(291)

豆根散	(292)	定痛生肌膏	(296)
蒲黄散	(292)	牙疼良方	(296)
矾皂散	(292)	消疳散	(297)
揭风散	(292)	虎胫散	(297)
丹矾散	(292)	三香膏	(297)
化虫散	(293)	洗疳汤	(298)
水调散	(293)	外科应用炉火灵药	
净肠散	(293)	(298)
莪术散	(293)	白降丹	(298)
甘露水	(293)	眼药白灵药	(298)
救命饮	(294)	紫金霜	(299)
身面疣目方	(294)	五虎丹	(299)
治邪疟方	(294)	七宝丹	(299)
自退丹	(294)	珍珠丹	(300)
救牙散	(295)	生肌散	(300)
红白膏	(295)	三仙丹	(300)
乌龙水	(295)		
苏合香丸	(295)	主要参考文献	(301)
铁扇散	(296)		

眼
科
启
蒙

第一部 眼科启蒙(共四卷)

嘉庆二十二年镌, 悟元山人集编《眼科启蒙》, 榆中栖云山藏版。

眼科启蒙序

人身五脏六腑之精英, 上升而聚于目之五轮, 人之有眼目犹天之有日月, 故眼目神光, 远观万象, 细察毫末, 无处不照, 无物不见, 为人身之至宝。倘明一伤, 寸步难行, 如在黑暗阴司, 岂不可畏可惧。自华佗立眼科, 始有治眼之法, 然其书世皆罕见。虽古今名医国手于杂症皆有脉理医论, 认症立方, 莫不精详, 后之方家以为准绳, 治病如神亦复不少。至于眼科, 皆略而不精, 未及辩论, 亦不过言其肾虚以补药治之而已, 至后虽有《银海》^①、《龙木》^②专门眼科, 多用硝黄大泻之药, 十方即有七八。予幼时自病, 多翻古来医案, 亦是略观大意, 惟于眼科常留心焉, 初阅杂症眼方与《龙木》、《银海》等书, 心窃疑焉, 以为大泻大补俱非治眼法窍。盖眼症虚实, 皆由^③火郁经络以致。眼有疾病, 若偏于补反助火力; 若偏于大泻而用寒凉之药, 伤其气血又凝滞不散; 二者俱偏, 以是而施治, 未有不伤其目者。及后见明末傅仁宇先生《审视瑶函》, 其中议论症势用药立方极其精微, 古今眼科之家无出其右者。但嫌其太繁太冗, 有重复而言者, 有采载不经怪诞者, 虽云一百八症, 未曾分畔, 混杂不整, 未免后学阅读眩目惑心, 不能瞭然。余爰是删繁为简, 集乱为整, 可录者录之, 不可录者去之。分为外障七十二症, 内障三十六症, 略为增

减,其症论药方仍本《瑶函》,非敢自恃己见,裁成之后名曰《眼科启蒙》。使后之有心者一见了然,不怨难心。或丸、或散、或点、或针,因病用药,随方施治,可无错谬误人之失矣。

时大清嘉庆二十二年岁次丁丑三月三日

素朴散人题

【注释】

①《银海》:即《银海精微》,眼科专著,共两卷,为宋以后人托名孙思邈撰。本书论述了五轮八廓及各种眼病的证治,并附眼病图。治法包括方药内服与洗、点、针等外治法以及金针拨翳障法等。书中辨析诸证较为明晰,治方大多切合实用。

②《龙木》:即《秘传眼科龙木论》,眼科专著,共十卷,撰人不详,约为宋元间人编辑。该书主要辑录了宋代以前的若干有关眼科著作,其中包括《龙木论》、《眼论审的歌》以及《三因方》等书的眼科方剂、针灸常用穴位、药性主治等。书末附《葆光道人眼科龙木集》一卷。

③由:原作“有”,今改。

眼科启蒙 卷一

榆中栖云老叟悟元子采集

乌兰

刘鹤霞 马生贵 滕浩直 毕尔德

李崇德 刘士俊 焦才 赵述盈

刊梓

目为至宝论

大哉目之为体，乃先天之空窍，肇始之元明^①，经络之精华，荣卫之膏液，故有金珠玉液之称，幽户神门^②之号。究其源，实阴阳蕴气之始，二五凝精之际。神哉空窍！列分左右^③，妙合先天。大元既备，神物渐凝，精明具聚，普^④照无穷。稽诸古论，则曰：肺之精腾结而为气轮^⑤；肝之精腾结而为风轮^⑥；心之精腾结而为血轮^⑦；脾之精腾结而为肉轮^⑧；肾之精腾结而为水轮^⑨。气轮者，白睛是也。内应乎肺，肺为华盖，部位至高，主气之升降，少有佛郁^⑩，诸病生焉。血随气行，气若佛郁，金受火克而亡血，血亡则病变不测。金包在水外，火夹克金，故气轮先赤。金又克木，是以其病渐及于风轮也。金色宜白，故白而光泽者顺也。风轮者，白睛之内青睛是也。内应乎肝，肝在时为春，春生万卉，而肝开窍于目，肝木^⑪主风，故曰风轮。此轮清脆，肉包膏汁，有涵养瞳之功，其色宜青，故清莹者顺也。世人黄浊者，乃湿热之害，惟小儿之色最正。及长，食乎厚味，则泄其气，而色亦异矣。血轮者，两目角大小红眦是也。内应于心，心主血，故曰血轮。夫火在目为神光，火衰则有昏瞑之患，火盛则有焚燥之

殃。虽有两心，而无正轮。心君主也，通于大眦，故大眦赤者实火也。命门为小心，小心者，相火也。相火行君之令，通于小眦。小眦赤者，虚火也，若心君之主拱默^⑫，则相火自然清宁矣。火色宜赤，惟红活为顺也。肉轮者，两脾是也。脾主肉，故曰肉轮。夫土为五行之主，故四轮皆脾之包含。土性主静，其色宜黄，得血为润，故黄泽为顺也。华佗云：目形类丸，瞳神居中而独前，如日月之丽东南而晦西北也。内有大络者五，乃心肝脾肺肾各主一络。中络者，乃膀胱大小肠，三焦胆包络，各主一络。外有旁支细络，莫^⑬知其数。皆悬贯于脑，通乎血气往来以滋于目。故凡病发，则目中有形色，丝络一一显见而可验，方知何脏何腑之受病。外有二窍以通其气，内包诸液，液出则为泪。中有神膏、神水、神光、真血、真气、真精，皆滋目之液也。神膏者，目内包涵之膏液。膏液如破，则黑稠出是也。此膏由胆中渗润精汁，升发于上积而成者，方能涵养瞳神。此膏一衰，则瞳神有损，神水者，由三焦而发源，先天真一之气所化。在目之内，虽不可见。若被物触伤，则见黑膏之外，有似稠痰出者是也。即目上润泽之水。水衰则有火盛燥暴之患，水竭则有目轮大小之疾。耗涩则有昏眇之危。亏者多，盈者少，是以世无全精之目。神光者，目中自然能视之精华也。夫神光原于命门，通于胆，发于心，皆火之用事。神之在人也大矣，在足能行，在手能握，在舌能言，在鼻能嗅，在耳能听，在目能见。有莫知其所以然而然者。夫神原合乎心，心藏乎神，神变化不测。人能静之，抱元守一，岂徒目之无病哉？真血者，即肝中升运于目轻清之血，乃滋目经络之血也。此血非比肌肉间混浊易行之血，因其轻清上升于高而难得，故谓之真也。真气者，即目经络中往来生用之气，先天真一发生之元阳也。大宜和畅，少有郁滞，诸病生焉。真精者，乃先后二天元气所化之精汁。先起于肾，次施于胆，而后及乎瞳神也。凡此数者，一有所损，目病生矣。大概目圆而长，外有坚壳数重，中则清脆，内包黑稠神膏一函。膏外则白稠神水，水以滋膏；水外则皆血，血以滋水。膏中一点黑莹^⑭，乃是肾胆

所聚之精华，惟此一点烛照鉴观，空阔无穷者，是曰水轮。此水轮也，其妙有三：胆汁、肾气、心神也。五轮之中，四轮不能视物，惟瞳神乃照物者。风轮则有包卫涵养之功，故凡风轮有损，瞳神不久留矣。或曰：瞳神水乎？气乎？血乎？膏乎？曰：非血、非气、非水、非膏。乃先天真气所生，后天之气所成，阴阳之妙蕴，水火之精华。血养水，水养膏，膏护瞳神。气为运用，神则维持。喻以日月，其理相同。而午前则小，午后则大，亦随天地阴阳之运用也。夫目窍开于肝，生于肾，用于心，润于肺，藏于脾。有大有小，有圆有长，皆由人秉受之异也。男子右目不如左目之精华，女子左目不如右目之光彩，此各得其阴阳之定理也。然贤愚、佞直、刚柔、夭寿，皆验目而知之。物之丝毫差别可以辨，物之分两轻重可以定。遇物即知，远射无遗。岂不为神哉之至宝乎！故古人云：“天无二曜^⑤，一物无所生；人无两目，一物无所见。”诚哉是言也。思之甚可惊畏。夫人之精血有限，岂可妄自断丧。一旦疾成始悔。究其因，皆从耽酒好色，嗜欲无穷。或痰火头风，哭泣太伤；风沙烟障，不知避戒；竭视劳瞻，而不知养息。或五味四气，六欲七情，不节之所致也。由微至著，而人不知省悟，及疾已成，仍仗血气之盛而不医。或泥巫祝之灵而不治，遂成痼疾，悔怅无及。虽有金谷之富，台鼎之荣；虽卢扁^⑥复生，亦不能疗之。岂不愚哉！

【注释】

①肇始之元明：意即最初能见到光明的器官。肇，读(zhào)，开始之意。元明，即第一次看见的光明。

②幽户神门：幽户，即幽门。出自《难经·四十四难》，为七冲门之一，指胃下口。因其胃下口通往小肠，如曲径通幽，故称。另外指经穴名，出自《针灸甲乙经》，位于腹中正线上6寸，旁开0.5寸处，属足少阴肾经。根据“目为空窍”之说，此处幽户应为经穴名。神门，经穴名，出自《针灸甲乙经》，位于掌后腕横纹尺侧端，尺侧腕屈肌腱桡侧缘凹陷处。这里用幽户、神门两个孔穴来比喻眼睛的重要性。

③列分左右：指眼睛对称并列分为左眼、右眼。

④普：原作“并”，今据《审视瑶函》改。

⑤气轮：系指白睛，包括今之球结膜和巩膜。是眼球的外层，质地坚韧，具有保护眼珠内部组织的重要作用。白睛在脏属肺，肺主气，故称气轮。

⑥风轮：系指黑睛。狭义指今之角膜。广义包括今之角膜、前房和虹膜，在眼睛前部的中央，是光线进入眼内的必经之路。黑睛在脏属肝，肝主风，故称风轮。

⑦血轮：系指两眦。包括今之眦部的皮肤、结膜、巩膜、血管及内眦的半月皱襞、泪阜、上下泪点等。两眦在脏属心，心主血，故称血轮。

⑧肉轮：系指胞睑。包括今之眼睑皮肤、皮下组织、肌肉、睑板和睑结膜。为眼睛之最外部分，司眼之开合，有保护眼珠的作用。胞睑在脏属脾，脾主肌肉，故称肉轮。

⑨水轮：系指瞳神。狭义专指瞳孔，晶状体。广义包括今之瞳孔及其后方的晶状体、玻璃体、脉络膜、视网膜和视神经等，为眼睛视万物的重要部分。瞳神在脏属肾，肾主水，故称水轮。

⑩拂郁：“拂”原作“拂”，今据《审视瑶函》改。拂在此读(fú)，拂郁即忧郁、郁滞。《伤寒论·第四十八条》云：“阳气拂郁在表，当解之熏之。”

⑪木：原作“水”，今据《审视瑶函》改。另根据中医理论，肝在五行属木，故应为“木”。

⑫拱默：原指两手相合而静默无声，这里指心君之主安定正常。

⑬莫：原作“算”，今据《审视瑶函》改。

⑭黑莹：黑色而光洁透明，此指水轮瞳神。

⑮二曜：指日、月。古人把日、月合称为“二曜”。把日、月与火、水、木、金、土五星合称“七曜”。曜，读(yào)。

⑯卢扁：即指扁鹊。有人认为扁鹊为春秋战国时齐国卢人，即今山东长清人，故将其称为“卢扁”。

【述要】

《目为至宝论》中，首先论述了眼睛在人体的重要性，其次从气轮、风轮、血轮、肉轮、水轮等眼的五个部分来说明各部分的分布及生理功能，明确阐述了五轮与其所属脏腑的关系。再者又以古人之言：“天无二曜，一物无所生；人无两目，一物无所见。”来进一步阐明眼睛是非常宝贵的。最后指出“耽酒好色、嗜欲无穷”是眼病形成的重要原因，若不知节嗜欲、早医治，最终会导致“虽卢扁复生，亦不能疗之”的后果。

眼病速医论

世俗俚言：“有眼不医不瞎”之说。而愚人往往信之，蒙其害者亦多矣。夫神农尝百药，虑生民之病夭。华佗立眼科，忧后世之盲瞽^①。有是病必有是药，药而尤难于即愈，未有不药而愈者也。夫人之疾病，皆由不能爱养真元。及至断丧之后，邪气乘虚而入。一旦疾发，而又不能调治，反感于愚人之言，岂爱身之人哉！譬如火发而不急救，委之于数者^②，有不尽焚者乎？救之少^③迟仅免其半，倘不救未有全不焚者。患目者治之稍迟，即医治虽无全功，亦可以免枯凸之害。岂有不医不瞎之理乎？盖不医不瞎，乃眼不医必瞎也。不必二字，音语相近之误。且目为窍至高，火性上炎，最易从窍而出。脉道幽深，经络微细，少犯禁忌，则必患之。且世人能知保养者少，损耗者多。是目之感病最易，而治之则难。目病若不早治，病必日深，而眼必瞎矣。岂可惑于愚人眼不医不瞎之言乎？

【注释】

- ① 瞽：读作(gǔ)，指瞎眼或眼睛瞎了。江敏《笔花衣镜·序》中曰：“症既洞彻，药自效灵。较之授命于瞽，以身为鹄(gǔ)者，其损益可昭然判矣。”鹄，箭靶。
- ② 委之于数者：把他(们)交付给命运的人。数，命运。
- ③ 少：读作(shǎo)，稍微，略微之意。《温病条辨·俗传儿科为纯阳辨》曰：“故八月生乳牙，少有知识。”知识，了解知道。

【述要】

此节举例说明了眼病若不速治会导致严重后果。治疗眼病就像救治被火烧的人一样，宜速而不宜迟。加之眼窍最高，火性炎上，最易影响眼睛，再者眼窍脉道幽深，经络微细，稍微犯及禁忌，则易有病患，若不早治，必一天天加重。故宜速治，以防导致眼瞎。

目得血而能视论

张子和曰：圣人虽言目得血而能视。然血亦有太过不及也，太过则目壅塞而发痛，不及则目耗竭而失明。故少年之人太多，老年之人不及多。但年老之人，其间亦有太过者，不可不察也。夫目之内眦，太阳经之所起，血多气少。目之锐眦，少阴经也，血少气多。目之上纲太阳经也，亦血多气少。目之下纲，阳明经也，血气俱少。然阳明经起于两目旁交额之中，与太阳少阳，俱会于目。惟足厥阴经主于目系^①而已。故血太过者，太阳阳明之实也；血不及者，厥阴之虚也。故出血者宜太阳阳明，盖此二经血多故也。少阳一经不宜出血，血少故也。刺太阳阳明出血，则目愈明。刺少阳出血，则目愈昏。要知无使太过不及，以养血脉而已。凡血太多则溢，太少则枯。人热则血行疾^②而多，寒则血行迟而少，此常理也。目者，肝之外候也。肝主木，在五行属木。虽木之为物太茂则蔽密，太衰则枯痒。目之五轮，乃五脏六腑之精华，宗脉之所聚。其白睛属肺金，肉轮属脾土，赤眦属心火，黑水神光属肾水，兼属肝木，此人多知之。及有目疾，则不知病之理。岂知目不因火则不病。何以言之？白轮变赤，火乘肺也。肉轮赤肿，火乘脾也。黑水神光生翳，火乘肝与肾也。赤脉贯目，火益炽也。能治火者一句可了。故《内经》云：“热胜则肿”。凡目暴赤肿疼，羞明癰涩，泪出不止，暴寒目瞤^③，皆大热之所为也。今列五轮所属，八廓主病，并十二经，五运六气，三部脉诊之图，以令施治者参考焉。

【注释】

①目系：又名眼系、目本。眼球内连接于脑的脉络。《灵枢·大惑论》曰：“故邪中于项，因逢其身之虚，其入深，则随眼系以入于脑。入于脑则脑转，脑转则引目系急。目系急则目眩以转矣。”其相当于今之视神经。

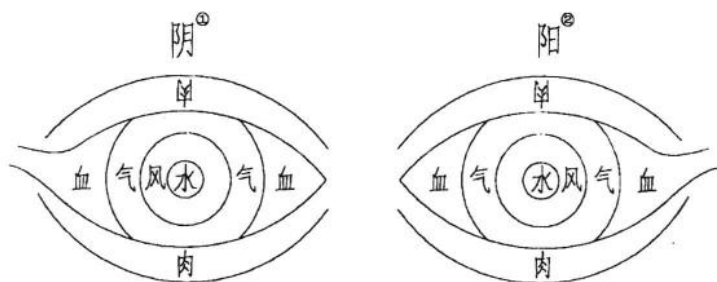
②疾：迅速之意。《素问·阴阳应象大论》曰：“故邪风之至，疾如风雨。”

③目瞤：指寒邪引起眼部血流滞涩不通的感觉。

【述要】

此节主要论述了眼睛与血有密切的关系。其引用张子 and 的观点进一步说明血不能太过，亦不能太少。太过眼睛会壅塞而发病，太少眼睛则会耗竭而失明。其次从眼睛之内眦、锐眦、上纲、下纲分别与太阳经、少阴经、阳明经等经的关系说明气、血的多少。同时指出，厥阴主于目系，血太过者，太阳阳明之实也；血不及者，厥阴之虚也。血多者，宜刺太阳阳明出血，则目愈明；血不及者，不宜刺少阳出血，因少阳一经血少故也，宜养血脉。最后指出，目之五轮，乃五脏六腑之精华，宗脉之所聚，五轮病变与火热之邪最为相关。

五轮定位之图



大小眦属心为火，名血轮。

黑珠属肝为木，名风轮。

上下胞睑属脾胃为土，名肉轮^①。

白珠属肺为金，名气轮。

双瞳神属肾为水，名水轮。

【注释】

①阴：指右眼之阴精。《审视瑶函》谓：“右目阴精”。

②阳：指左眼之阳经。《审视瑶函》谓：“左目阳经”。

③上下胞睑属脾胃为土，名肉轮：原缺，今据五轮定位之图及《审视瑶函》补。

【述要】

此节以图示加说明的形式介绍了五轮在眼部的具体定位、五行属性及相关脏腑，能够使人一目了然。

五轮所属

夫目有五轮属乎五脏，五轮皆五脏之精华所发。名之曰轮，像其如车轮圆转运动之意也。上下眼胞属乎脾土，应中央戊己辰戌丑未也。脾主肉，故曰肉轮。脾有二叶运动，磨化水谷。外应目之两胞，动静相应，开则万明，如阳动之发生。闲则万寂，如阴静之收敛，像土能藏万物而主静。故脾一合，则万有寂然而思睡，藏纳归静之应也。目又有锐角，为目大小眦，属心火，应南方丙丁巳午也。心主血，故曰血轮。人脏有大小二心，故目眦有大小二眦之别。其内白睛则属肺金，应西方庚辛申酉也。金为五行中最坚之物，故白睛亦坚于四轮。肺主气，故曰气轮。白睛内之青睛则属肝木，应东方甲乙寅卯也。木在四时为春，春生万卉，其色青莹，目能鉴视。故目为肝木之窍。肝木主风，故曰风轮。青睛之内，一点黑莹者，则为瞳神，属乎肾水，应北方壬癸亥子也。肾主水，故曰水轮。五轮之中，四轮不能视物，惟水轮普照无遗，乃先天之精液。五轮各应乎脏，脏有病必显乎轮。故肝有病则发于风轮，肺有病则发于气轮，心有病则发于血轮，肾有病则发于水轮，脾有病则发于肉轮也。

【述要】

本节主要论述了眼睛的五轮与五脏、五行、方位等的关系，如肉轮在脏属脾、五行属土、方位属中央戊己辰戌丑未等等。其次论述了五脏有病必表现于

相应的五轮,如肝脏有病发于风轮,肺脏有病发于气轮等等。

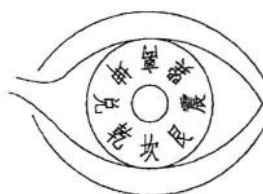
关于五轮与五脏、五行、方位的关系可列表如下:

五轮	肉轮	血轮	气轮	风轮	水轮
五脏	脾	心	肺	肝	肾
五行	土	火	金	木	水
方位	中央 戊己辰戌丑未	南方 丙丁巳午	西方 庚辛申酉	东方 甲乙寅卯	北方 壬癸亥子

八廓定位^①之图

肺 肝 脾 肾
 命门 胆 胃 脾
 胆 胃 脾 肾
 命门 胆 胃 脾
 肺 肝 脾 肾

肺 肝 脾 肾
 命门 胆 胃 脾
 胆 胃 脾 肾
 命门 胆 胃 脾
 肺 肝 脾 肾



兑 乾 坎 艮
 肾 肺 肾 命
 络 大 膀 门
 下 肠 胱 上
 焦 焦 焦 焦
 关 传 津 会
 泉 送 液 阴
 廓 廓 廓 廓

艮 坎 乾 兑
 命 肾 肺 肾
 门 膀 大 络
 上 胱 肠 下
 焦 焦 焦 焦
 会 津 传 关
 阴 液 送 泉
 廓 廓 廓 廓

【注释】

- ①八廓定位：是指按照八卦的顺序和方法，将外眼划分为八个部位，并依乾（西北，肺大肠传导廓）、坎（正北，肾膀胱津液廓）、艮（东北，命门上焦会阴廓）、震（正东，肝胆清净廓）、巽（东南，胆络中焦养化廓）、离（正南，心小肠胞阳廓）、坤（西南，脾胃水谷廓）、兑（正西，肾络下焦关泉廓）进行定位的方法。廓，比喻如城廓卫御之意。

【述要】

此节以图示的方式说明了八廓定位。该图示是以八卦为主体位置，再与相应的脏腑相配，以脏腑功能来命名相应的每一廓。八廓学说是中医眼科辨证论治的基本理论，《审视瑶函》中“勿以八廓为无用论”的专题论述，为后世研究八廓指明了正确的道路，该书指出：“夫八廓之经络，乃验病之要领，业斯道者，岂可忽哉！盖验廓之病，与轮不同，轮以通部形色为证，而廓以轮上血脉丝络为凭。”

八廓所属

八廓应乎八卦^①，脉络经纬于脑，贯通脏腑，以达血气。往来滋养于目廓者，如城廓之谓，各有门路往来，即匡廓卫御之意也。故乾居西北，络通大肠之腑，脏属于肺；肺与大肠相为脏腑，上运清纯，下输糟粕，为传送之官，故曰传送廓。坎正北方，络通膀胱之腑，脏属于肾；肾与膀胱相为脏腑，主水之化源，以输津液，故曰津液廓。艮位东北，络通三焦，脏配命门；命门与上焦相为脏腑，会合诸阴，分输百脉，故曰会阴廓。震正东方，络通胆之腑，脏属于肝；肝胆相为脏腑，皆主清净，不受秽浊，故曰清净廓。巽位东南，络通中焦之腑，脏配肝络；肝与中焦相为脏腑，肝络通血以滋养中焦，分气以化生，故曰养化廓。离属正南，络通小肠之腑，脏属于心；心与小肠相为脏腑，为诸阳受盛之胞，故曰胞阳廓。坤位西南，络通于胃之腑，脏属于脾；脾胃相为脏腑；主纳水谷以养生，故曰水谷廓。兑正西

方，络通下焦之腑，脏配肾络；肾与下焦相为脏腑，关主阴精化生之源，故曰关泉廓。脏腑之相配，古圣《内经》已有定法，而三焦分配肝肾二络者，此目之配法。盖目专窍于肝，而主于肾，故有二络之专主也。左目属阳，阳道顺行^②，故廓之经络法象，亦以顺行。右目属阴，阴道逆行^③，故廓之经络法象，亦以逆行。察乎二目之两眦，则昭然可明阴阳之顺逆矣。五轮为病间有知者，至于八廓之病位且不明，何至经络之妙用？故古人云：“经络不明，盲子夜行”。夫八廓之丝络，乃验病之要领，岂可不知？但验廓之病，与轮不同，轮以通部形色为证，而廓惟以轮上血脉丝络为凭，或粗细连断，或乱直赤紫。起于何位，侵犯何部，以辨何脏何腑之受病浅深轻重，血气虚实衰旺邪正之不同。察其自病传病，经络之生克逆顺，而调治之耳。

【注释】

- ①八卦：古人用以占卜或象征各种自然现象的八种符号。由阳爻（—）和阴爻（--）交互相配而成。即“乾”☰、坎☵、艮☶、震☳、巽☴、离☲、坤☷、兑☱。“每卦用以代表同一属性的若干事物。这里指用八卦对人体的外眼进行定位，与相应的脏腑及脏腑功能相配而构成八廓，用以说明眼睛与相关脏腑的生理现象与病理变化。
- ②左目属阳，阳道顺行：是指在眼睛的八廓定位图中，左眼中的八卦定位是按照乾、坎、艮、震、巽、离、坤、兑进行顺时针方向排列。
- ③右目属阴，阴道逆行：是指在眼睛的八廓定位图中，右眼中的八卦定位是按照乾、坎、艮、震、巽、离、坤、兑进行逆时针方向排列。

【述要】

本节主要是以八卦与方位、方位与脏腑、脏腑与功能的关系来说明八廓是如何命名的，同时以“左目属阳，阳道顺行。……右目属阴，阴道逆行。”的道理说明了八卦相配的八廓在左、右眼中排列的方法与位置，最后指出了五轮与八廓验病的不同及关键所在，即五轮验病是以通部的形色为证据，八廓验病是以轮上的血脉丝络为凭借。为了使读者更为明晰，现将八廓所属的关系列表如下：

八卦	乾	坎	艮	震	巽	离	坤	兑
方位	西北	正北方	东北	正东方	东南	正南方	西南	正西方
脏腑	肺、大肠	肾、膀胱	命门、上焦	肝、胆	肝、中焦	心、小肠	脾、胃	肾、下焦
功能	上运清纯 下输糟粕	主水化源 以输津液	会合诸阴 分输百脉	皆主清净 不受秽浊	通血以滋养 分气以化生	诸阳受盛 之胞	主纳水谷 以养生	关主阴精 化生之源
八廓	传送廓	津液廓	会阴廓	清净廓	养化廓	胞阳廓	水谷廓	关泉廓

五轮所主之病

劳神赤涩心家损；恚怒多伤肝气衰；寒暑不调伤脏腑；色欲无时致肾虚；饥饱不匀伤脾胃；风邪触犯可推详。肠中热结缘何故？解热须将虚实量。盛时眼中热火煎，热时白翳眼中连；衰时眼泪频频下，迎风泪下又头眩。

【述要】

此节以七言歌诀的形式介绍了五轮所属脏腑病变的病因与相关脏腑的关系，如劳神伤及心家，恚怒伤及肝气等等。再者介绍了热邪的盛衰对眼病的影响，如“盛时眼中热火煎”及“衰时眼泪频频下”等等。

八廓所主之病

传送原因是本经，肺家壅滞热伤睛；大肠若顺应须治，闭塞之时翳相侵，视物如看云雾多。抬头怕日病如何？急宜补肾禁房室，免得昏蒙不可过。视物依稀似雾中，时时手拭两睛瞳。要知冷泪频

频出，此是肝虚胆气攻。小肠腑属关泉廓，受病先从心里传；两角^①俱赤心痒疼，但调经脉自然痊。昏蒙眼疾岂无由，酒色过时更滞忧。莫道睛昏无大故，那堪障雾裹^②双眸，内抱直肠是命门。眼前花发色难分，不能补肾调真气。睛瞳纵横似有根，饮食相伤在胃中，更加积热两相攻。脸胞渐肿睛生赤，不解中宫热不通。膀胱属水肾为天，冷泪相形本脏愆^③。赤脉纵横轮廓内，不逢匠手岂能痊？

【注释】

①两角：指眼睛之内，外眦，在五轮中属血轮，在五脏中属心。故上文有“两角俱赤心痒痛”之说。

②裹：原作“囊”，今据《审视瑶函》改。

③愆：读作(qiān)，此为过失之意。

【述要】

此节以七言歌诀的形式论述了眼病症状与八廓中相应脏腑的病因病机的关系。歌诀通俗易懂，且颇有趣味。如“要知冷泪频频出，此是肝虚胆气攻。”之句便很生动形象地说明了眼病症状与相应脏腑的病机。

十二经络与目

手少阴心经	足少阴肾经
手太阴肺经	足太阴脾经
手厥阴心包	足厥阴肝经
手少阳三焦	足少阳胆经
手太阳小肠	足太阳膀胱
手阳明大肠	足阳明胃经
三焦与心包络相为表里	

按目者，肝之官也。脉色东方生风，在窍为目，其精阳气上走于

目而为睛。(藏象)敷和之纪,其主目。(运气)足太阳脉通项入脑者,正属目本,名眼系。阴跷阳跷,阴阳相交,阳入阴,阴出阳,交于目锐眦。阳气盛则瞋目,阴气盛则瞑目。(俱针刺)阴跷属目内眦,气不营则目不合。任脉入目,督脉与太阳,起于目内眦;其少腹直上者,上系两目之下。是太阳起于目内眦,足太阳之筋支者,为目上纲。足阳明之筋,上合于太阳,为目下纲。足少阳之筋支者结于目眦,为外维。足阳明还系目系。足少阳起目锐眦,支者至目内眦。手少阳至目锐眦。手少阴系目系。足厥阴连目系,手少阴合目内眦。足少阳系目系,合少阳于外眦。平旦阴尽,阳气出于目,日张则气上行于头,夜则气行于阴,而复合于目。(俱经络)目者,心之使也,五脏六腑之精也,营卫魂魄之所常营也,神气之所生也。五脏六腑之津液,尽上升渗于目。

【述要】

此节主要论述了眼与十二经脉、奇经八脉及十二经筋的关系。经脉在人体起着沟通表里上下,联络脏腑器官,通行气血的作用。其与眼有着密切的关系。《灵枢·口问》云:“目者,宗脉之所聚也。”又《灵枢·邪气脏腑病形》云:“十二经脉,三百六十五络,其血气皆上于面而走空窍,其精阳气上走于目而为睛。”这说明经络的连接贯通,才保持了眼与脏腑之间的有机联系。在十二经脉中,三阴三阳表里相合,正经首尾相贯,旁支别络纵横交错,营血在经隧中运行全身,始于手少阴,终于足厥阴,周而复始,如环无端。从经脉的循环路径看,可以说十二经脉都直接或间接地与眼发生着联系,其中十二经脉中循行于头面部与眼有关的经脉有:手阳明大肠经、足阳明胃经、手少阴心经、手太阳小肠经、足太阳膀胱经、手少阳三焦经、足少阳胆经、足厥阴肝经等。奇经八脉虽与脏腑无直接络属关系,然其交叉贯穿于十二经脉之间,具有加强经脉间联系,以调节正经气血的作用。奇经中起、止、循行路径与眼直接有关的,主要有督脉、任脉、阴跷、阳跷及阳维等脉。十经经筋隶属于十二经脉,是经脉之气结聚散络于筋肉关节的系统。其位表浅,有联缀百骸,维络周身,主司人体正常运动的作用,其分布于眼及周围者,有手太阳之筋、手少阳之筋,手阳

明之筋、足太阳之筋、足阳明之筋、足少阴之筋等。这些网维结聚于眼及四周的经筋,其支配着眼胞的开合,眼珠的转动及头面其它肌肉的正常活动。

五运^①之图



甲己之年为土运^②,土喜暖而不喜寒,病宜加温剂而助脾。乙庚之年为金运,金宜清而不宜燥,病宜加平剂而清肺。丙辛之年为水运,水宜暖而寒则凝,病宜加热剂而温肾。丁壬之年为木运,木恶寒而又怕燥,病宜加和剂而平肝。戊癸之年为火运,火宜寒而不宜热,病宜加凉剂以清心。

【注释】

①五运:运即运动、转运之意。五运是木运、火运、土运、金运、水运的简称。木、火、土、金、水,在地为五行,在天为五运。五运是利用五行的相生相克理论,再配合天干的阴阳作为理论工具,以此来分析每年的气候正常变化和异常变化,并得出了五种不同类型的气候(风、热、湿、燥、寒)。

②甲己之年为土运:此指十天干化五运,即甲己化土、乙庚化金、丙辛化水、丁壬化

木、戊癸化火，以此预测和说明每年不同气候之变化规律，它是运动而不停止的。甲己化土就是凡逢甲年或己年，则为土运。乙庚化金就是凡逢乙年或庚年为金运。余皆仿此。

【述要】

此节主要以图示的形式介绍了五运的寒、温等属性及相关五脏疾病用药方法。如甲、己年时为土主运，根据土喜暖而不喜寒的特点，根据具体的病情，在治疗过程中可适当采用温中补脾的方法，以顺应五运中土的特性。余皆仿此。当然，五运中还有太过不及的情况。太过，指主岁之运气旺而有余，如逢甲年、丙年、戊年、庚年、壬年，皆为阳干主运，阳为太过，故共运气太过；不及，是指主岁之运气衰而不足，如逢乙年、丁年、己年、辛年、癸年，皆为阴干之主运，阴为不及，故其运气不及。如甲己之岁，均为土运之事，但逢六甲年（甲子、甲戌、甲申、甲午、甲辰、甲寅）为土运太过；逢六己年（己巳、己卯、己丑、己亥、己酉、己未）为土运不及。土气太过，则雨湿流行，本气胜也；土气不及，则风乃大行，本气衰而木乃乘之。其余丙辛之岁，戊癸之岁，乙庚之岁，丁壬之岁皆以此类推。

六气^①之图



子午卯酉年少阴君火、阳明燥金^②司天在泉^③，宜清之。

辰戌丑未年太阴湿土、太阳寒水司天在泉，宜温之。

寅申巳亥年少阳相火、厥阴风木司天在泉，宜凉以和之。

【注释】

①六气：六气就是风、热（暑）、火、湿、燥、寒六种不同气候的总称，它是由天地的阴阳消长和五行相生而产生的。六气的内容有主气、客气和客主加临三种，主气用以述常，客气用以测变，客主加临用以分析气候的异常和复杂的变化。

②子午卯酉年少阴君火、阳明燥金：此为十二地支化六气纪年之一，即：每逢子年、午年为少阴君火司天，阳明燥金在泉；每逢卯年、酉年为阳明燥金司天，少阴君火在泉。一般来讲，司天主在上半年，在泉主在下半年。其余辰戌丑未年、寅申巳亥年皆仿此。

③司天在泉：指六气中客气而言，为每年岁气主事者的通称。以三阴三阳配六气来主当年岁气者，为司天，在上；与司天相对者，为在泉，在下。同时，司天在泉还主全年岁气，司天主上半年，在泉主下半年。

【述要】

此节主要以图示的形式简要地介绍了十二地支纪年中六气司天在泉的不同特性，并根据六气的不同特性对所产生的疾病进行对症治疗。如子午卯酉年为少阴君火、阳明燥金司天在泉，因其属燥热之性，在疾病治疗中应适当配合清润之药；辰戌丑未年为太阴湿土、太阳寒水司天在泉，因其属寒湿之性，在疾病治疗中应适当配合温燥之药；寅申巳亥年为少阳相火、厥阴风木司天在泉，因其属抑郁化火之性，在疾病治疗中应适当配合凉解调阴和之药。

逐年^①六气

天有四时，彰^②为六气，此即外因是也。四时者，春夏秋冬也。六气者，风寒暑湿^③燥火也。初之气自每年十二月大寒节起，至立春雨水惊蛰前终止，乃厥阴风木用事。二之气自二月春分节起，至

清明谷雨立夏终止，乃少阴君火用事。三之气自四月小满节起，至芒种夏至小暑终止，乃少阳相火用事。四之气自六月大暑节起，至立秋处暑白露终止，乃太阴湿土用事。五之气自八月秋分节起，至寒露霜降立冬终止，乃阳明燥金用事。六之气自十月小雪节起，至大雪冬至小寒终止，乃太阳寒水用事。春温、夏热、秋凉、冬寒，四时序而六气调，病安生焉？过则为灾，未有不致目病者。

【注释】

①逐年：一年接一年地。逐，挨着（次序）之意。

②彰：显现之意。

③湿：原作“热”，今据《审视瑶函》改。

【述要】

此节主要介绍了六气中的主气与二十四节气的关系。主气即主时之气，它是指每年各个季节气候的一般常规变化，年年如此，固定不变，所以叫做主气。主气按五行相生可依次排列为风、热（君火）、火（相火）、湿、燥、寒六气。主气一年分为六步，每气各主一步，即六气六步，再与二十四节气相配，这样就形成了春、夏、秋、冬四季中的六个不同气候的显著变化，年年如此。各气分主的每一步的气候特点，也是和它相关的五行属性相一致。如大暑节至白露，为太阴湿土所主，则气候表现为土的特点，余皆类推。为了使读者更为明确，现将此节中六气六步分主节气列表如下：

六气六步	初气	二气	三气	四气	五气	六气
六气三阴三阳	厥阴风木	少阴君火	少阳相火	太阴湿土	阳明燥金	太阳寒水
二十四节气	大寒、立春 雨水、惊蛰	春风、清明 谷雨、立夏	小满、芒种 夏至、小暑	大暑、立秋 处暑、白露	秋风、寒露 霜降、立冬	小雪、大雪 冬至、小寒

此节最后指出，六气在正常情况下，应该表现为春温、夏热、秋凉、冬寒，若四时有序而且六气调和，就不会产生眼病；六气太过或不及就会产生眼病。此种强调六气的重要性对临床有重要的指导意义。

诊脉大略

左手寸口脉，心与小肠之脉所出，君火也；左手关部脉，肝与胆之脉所出，风木也；左手尺部脉，肾与膀胱之脉所出，寒水也。右手寸口脉，肺与大肠之脉所出，燥金也；右手关部脉，脾与胃之脉所出，湿土也；右手尺部脉，命门与三焦之脉所出，相火也。

按六脉，浮紧有力者为寒，沉数有力者为热，微细而弱者为虚，洪大而滑者为实。夫五脏常欲相顺相生，不宜相反。如心见缓，肝见洪，肺见沉，脾见涩，肾见弦，此五脏相合相生之理。禀太和之气，其疾何以生焉？是为疾者，五脏必相克相反。如心见沉细，肝见短涩，肾见迟缓，肺见洪大，脾见弦长，此五脏相刑相克，递相互变之机，其疾未有不作者。故左寸脉洪数，心火上炎也；左关脉弦而洪，乃肝火旺盛也；左尺脉微弱，乃肾水不足而火在上也。右寸脉洪数，肺中积热也；关脉洪大，乃脾土湿热也；尺脉洪大，乃相火邪火上炎也；五脏病形，皆现于目。医者先要辨五轮，次要辨八廓，次要辨手足十二经，次要辨五运，次要辨六气，次要辨六脉。果知五轮八廓、十二经、五运六气，更加切脉之寒热虚实，然后治病，则病未有不愈者。但目病与杂症不同，杂症变幻多端，必须以脉为的。然方脉有望闻问切之四法，先望其面之颜色如何？次闻气之强弱如何？次问病之源由如何？再切脉之虚实如何？四者审的，治病未有不愈者。切脉亦在望、闻、问之后，不专重乎脉。况目病之发，皆现于五轮八廓，有形可辨，不待切脉而可知，其切脉取其巧耳。若合五轮八廓病形，只以切脉治病，倘差之毫厘，失之千里，病未不变者。故目病不重乎脉也。

【述要】

此节首先介绍了左、右手的寸、关、尺脉与五脏六腑的关系，接着对五脏

与六脉的关系进行了叙述,指出,脉象的变化与五脏关系最为密切,而五脏的病变,皆表现于目,故眼病也必须注重脉诊,尤其脉象中体现的寒热虚实,对眼疾的诊治更加重要。尽管如此,作者认为,眼病与杂症不同,不能单独重视脉诊,切脉亦须在望、闻、问诊之后,同时必须结合对目中五轮八廓的辨识。

辨症金玉赋

论目之病,各有症。识症之法,不可不详。故曰:“症候不明,愚人迷路;经络不明,盲子夜行。”可不慎乎?凡观人目而无光华神色者,定是昏蒙,男子必酒色劳役气怒,女子郁结血多。气血虚损,则目疾昏花,因之而起。故宜先察部位形色,次辨虚实阴阳,更别浮沉,当知滑涩。看形色之难易,详根脚之浅深。经云:阳胜阴者暴,阴胜阳者盲。虚则多泪而痒,实则多肿而疼,此乃大意然也。夫血化为真水,升于目而为膏汁,得之则真水足而光明,眼目无疾;失之则火邪盛而昏蒙,翳障^①即生。是以肝胆亏弱目始病,脏腑火盛珠方痛。赤而且痛火邪实,赤昏不痛火邪虚。故肿疼涩而目红紫,邪气之实;不肿不疼而目微红,血气之虚。大眦赤者心之实,小眦赤者心之虚。眇^②多热多肺之实,眇多不结肺之虚。黑花茫茫肾气虚,冷泪纷纷肾精弱。赤膜^③侵睛火郁肝,白膜^④侵睛金凌木。迎风极痒肝之虚,迎风刺痛肝邪实。阳虚头风夜间暗,阴虚脑热早晨昏。日间痛者是阳邪,夜间痛者是阴毒。肺盛兮白膜肿起,肝盛兮风轮泛高。赤丝缭乱火为殃,斑翳结成五气滞。气实则痛而燥闷,气虚则痛而恶寒。风痰湿热,恐有瞳神散大丧明之患;耗神损肾,必主瞳神细小昏盲之殃。眸子^⑤低陷伤乎血,胞睑^⑥突出损乎精。左传右兮阳邪盛,右传左兮阴邪兴。湿热盛而目睛黄色,风热盛而眼沿赤烂。近视则火少,远视则水虚。脾肺液损,倒睫拳毛;肝肾邪热,突起睛高。是以睛突出眶,火极气盛;筋牵脾动,血虚风多。阳盛阴虚,赤星满

目，神劳精损，黑雾遮睛。水少血虚多痛涩，头旋眼转属阴虚。目昏流泪，色欲伤乎肾气；目出虚血，邪火郁在肝经。大病后昏，气血未足；小儿初害，荣卫之虚。久视伤睛成近觑，因虚胞湿变残风。六欲过多成内障，七情太伤定昏盲。暴躁者外多紫脉，虚淫者内多黑花。隐隐珠痛，只为精虚火动；绷绷皮急，皆因筋急气壅。迎风泪出，分清分浊。天行赤热，有实有虚。目赤痛而寒热似疟，小便涩则热结膀胱。脑胀疼而涩痛如针，大便闭乃火居脏腑。三焦火盛，口渴疮生；六腑火炎，舌干唇燥。目红似火，丝脉忌紫如虬；泪热如汤，浊水怕稠如哆。脑胀痛，此是极凶之症；连眶肿，莫言轻缓之灾。脑筋如拽若偏视，当虑乎珠翻之患。睛疼似击若鹑眼，须忧乎眸突之凶。鼻寒生疮，热郁于脑，当和肝而泻肺；耳鸣头晕，火盛于水，宜滋肾以清心。嗜酒之人，湿热熏蒸精气弱，多赤黄而瘀肉；贪淫之辈，血少精虚气血亏，每黑暗以昏蒙。孕中目痛非有余，乃血气之亏耗；产后目病为不足，因荣卫之衰虚。水少元虚或痰火，则天行赤热；燥极风热并劳苦，则暴风客热。瘀血滞而贯睛，速宜开道；血紫赤而侵瞳，轻亦丧明。睑硬睛痛，肝风热而肝血少；胞胀如杯，木克土而肝火盛。黄膜上冲^⑦，云生膜内，盖因火瘀邪盛；赤膜下垂^⑧，故此血积睛痛。凝脂翳生，肥浮嫩而易长，名为火郁肝胆；花翳白陷，火灼络而中低，号为金来克木。鸡冠蜆肉^⑨，火土燥瘀；鱼子石榴^⑩，血少凝滞。胞虚如球，血不足而虚火壅；皮急紧小，膏血耗而筋脉缩。实热生疮，心火炽而有瘀滞；迎风赤烂，肝火赤而脾泪湿。迎风冷热泪流，肝肾虚而精血弱。无时冷热泪下，肝胆衰而肾气虚；大小眦漏血水，泻其南而补其北。阴阳漏分黄黑，黑则温之黄则凉。神水将枯，火逼蒸而神膏竭；神光自现，孤阳飞而精气亏。视定为动，水虚火盛来攻击；皮翻粘睑，气聚血衰风湿滞。色似胭脂，血热妄侵白睛赤；白珠俱青，肝邪侵逼气轮蓝。火郁风轮，则旋胬泛起^⑪；血郁火炽，则旋胬尖生。精亏血少虚损，则起坐生花；竭视酒色思虑，则昏蒙干涩。暴盲似祟，痰火思虑并头风；赤痛如邪，肝肾亏损荣卫弱。枣花

障起，痰火酒色怒劳胆；萤星满目，辛燥火痰劳酒色。眼若虫行因酒欲，悲思惊恐怒所伤。云翳移睛见旗旆^⑫，蝇蛇异形虚所致。淫欲多而邪气侵，则膜入乎木轮；肝心热而痛流泪，则睛出乎珠外。或血少而或哭泣，精液枯而目涩痛；或酒欲而或食毒，脾肾伤而眼赤黄。风热邪侵，眉棱骨重而疼；风热邪盛，眼胞睛眶硬肿。风木克乎脾络，故迎风即作赤烂；血虚不润乎肌，故无风常作烂赤。血少神劳精气衰，则瞻视昏渺；火邪有余在心经，则痛如针刺。五脏毒而赤膜遮睛，脾积毒而胬肉侵目。水晶障翳瘀滞，凉剂片脑所因；鱼鳞形异歪斜，气结膏凝难愈。逆顺生翳，内有瘀滞；白星乱飞，血弱精虚。火障大头，须分风热湿热，风胀痛而湿热泪；怕热羞明，要辨血虚火燥，血少羞明火怕燥。又当知脾湿亦怕热，羞明涩疼；脾虚乃血少，或明或暗。积年目赤号风热，两目赤肿名风毒。粟疮^⑬湿热椒风热，椒疮^⑭红硬粟黄软。肝经有邪，故玉翳浮睛^⑮；肾脏风热，亦羞明生花。聚开之障^⑯，时圆缺而时隐现，症因于痰火湿热；聚星之障^⑰，或圆聚而或连络，疾发多见于痰火。青眼膏损，皆因火炽；瘀血贯睛，总由凝滞。故房欲烦燥辛热多，则火灸神膏缺损；久视劳瞻郁风烟，则瘀滞赤丝脉乱。胎风兮小儿赤烂，胎毒兮小儿疵疮。血气滞兮星上，火邪实兮障遮。痘症多损目，浊气来损清和之气；疳病亦伤睛，生源而失化养之源。小儿青盲^⑱肝之虚，小儿白膜肺实热；小儿雀目^⑲肝不足，小儿目疮胎污秽。青盲内障肝风热，二目赤肿热冲脑；每年必发是天行，时常发者心火盛。痰火并燥热，伤睛之本；头风兼烘炙，损目之宗。为怒伤睛，怒伤真气；因哭损目，哭损神膏。酸辣食多损目，火烟冒久伤瞳。劳瞻竭视，能致病而损光华；过虑多思，因乱真而伤神志。目中障色不正，急宜早治；眼内神水将枯，速图早医。夫目之害者起于微，睛之损者由于渐。欲无其患，防制其微。大抵红障凹凸，怕如血积肉堆；白障难除，喜似水清脂嫩。瞳神若损，有药难医；眸子若伤，无方可救。外障珠不损，何必多忧；内障瞳虽在，其实可畏。勿以障薄而为喜，勿以翳厚而为忧。与其薄而沉损，

不若厚而浮嫩。红者畏紫筋爬住，白者怕光滑如磁。是以沉涩光滑者，医必难愈；轻浮脆嫩者，治必易除。颜色不正，详经络之合病并病；形状稀奇，别轮廓之或克或生。漏有正形，风无定体。血实亦痛，血虚亦痛，须当细辨。病来亦痒，病去亦痒，决要参详。识经络之通塞，辨形势之进退。当补当泻，或止或行。内王外霸，既了然于胸中；攻守常劫，甚无误于指下。知病症之虚实阴阳，熟药性之温凉寒热。症的治当，百发百中。吾辈能以药代刀针，则技之精妙更入乎神。以上关节备陈，奥妙尽载。当熟读而深详，宜潜思而博览。则症之微曲，皆为子识；目之安危，尽系于君矣。名曰散金碎玉，不亦宜乎？

【注释】

- ①翳障：指眼珠被膜蒙蔽而引起的视力障碍。翳，读(yì)，通“瞤”，指障蔽眼珠的薄膜。
- ②眵：读(chī)，指泪汁凝积，俗称“眼屎”。
- ③赤膜：又名红膜，眼中生膜，其血丝红赤稠密者称赤膜。
- ④白膜：眼中生膜，其血丝色淡而稀疏者称白膜。
- ⑤眸子：眸，读(móu)。眸子即指瞳仁。《灵枢·刺节真邪》曰：“刺其听宫，中其眸子，声闻于耳，此其输(输：此指穴)也。”
- ⑥胞睑：即眼皮。眦，读(lú)，此指皮。如《素问·六元政纪大论》：“心腹满热眦眦，甚则眦(眦)肿”。张景岳注：“眦，皮也。”
- ⑦黄膜上冲：病名，又名黄液上冲。多由于火热毒邪炽盛所致。症见风轮内黄色脓液积聚于下部，随病情加重而逐渐增高，甚至掩过瞳神。相当于今之房积脓。
- ⑧赤膜下垂：病名，又名垂帘翳。由肝肺风热，脉络壅滞所致。症见黑睛上缘有细小血丝，似垂帘状，渐次向下伸延，掩盖瞳神，甚至盖满黑睛，羞明流泪，沙涩疼痛，视力障碍。类似今之砂眼角膜血管翳。
- ⑨鸡冠胬肉：病名。症见胞睑内生红肉，初起于脾眦之内，渐渐掩盖白睛和黑睛，或状若鸡冠，或形类蚌蚬吐肉，故名鸡冠胬肉。此病类似今之睑结膜浆细胞瘤等。
- ⑩鱼子石榴：病名，《审视瑶函》又名鱼子障。其症状《目睛大成》卷2谓：“此症气轮一二处生浮肉一片，色浅红，内细颗粒丛生，揉之似小小铁砂，曰鱼子。其肉块圆长，或四或六，四角生来若榴子绽露于房，曰石榴。”类似今之结膜乳头状瘤，结膜原位癌等。

- ⑪旋胬泛起：病名，又名旋螺突起，旋螺尖起，旋螺外障，翳如螺盖、螺盖翳等。症见“乌珠高而旋起如螺”（《张氏医通》），色青白或带黑，重者可致盲。类似今之角膜葡萄肿。
- ⑫旒：读(pèi)，古代镶在旗末的燕尾状的饰物。
- ⑬粟疮：病名。多因脾胃湿热及风毒之邪外乘，壅滞胞睑而成。症见睑内面生黄软粟米状颗粒，沙涩痒痛，流泪不适。类似于今之结膜滤泡症。
- ⑭椒疮：病名。多因眼部受风热毒邪侵染，加之脾胃素有积热，致眼眦脉络瘀滞，气血失和而发。症见眼眦内面发生红色细小颗粒，状如花椒。自觉眼部沙涩痒痛，羞明流泪。类似于今之沙眼。
- ⑮玉翳浮睛：病名。又名玉翳浮满、玉翳遮睛。起病多因肝经风热，病久反复者又属肝肾不足。症见大片白翳盖满黑睛。
- ⑯聚开之障：病名。又名聚散障、星月聚散、浮萍障。多因痰火湿热或肝肾阴虚，虚火上炎所致。症见黑睛生翳，或圆或缺，或厚或薄，如云似月，或数点如星，痛则见之，不痛则隐，聚散不一，来去无时，或一月数发，或一年数发。
- ⑰聚星之障：病名。多由于肝火、痰火内炽，风热外侵，风火相搏，上攻于目，或肝肾阴虚，虚火上炎所致。症见黑睛生翳，呈细颗粒状，聚散如星，抱轮红赤，沙涩疼痛，羞明流泪；严重者可成花翳白陷、凝脂翳等。
- ⑱青盲：病名。多因肝肾亏衰，精血虚损，目窍萎闭所致。症见眼外观无异常而逐渐失明。相当于视神经萎缩。
- ⑲雀目：病名。又名雀目内障、鸡盲，俗称鸡蒙眼，即夜盲症。有先后天两种。先天者称为高风雀目，多因肾阳不足，脾失健运所致；后天者多属肝虚雀目，由脾失健运引起，常出现于疳疾上目的早期。症见于黑夜或暗处视物不清。

【述要】

此篇辨症金玉赋，在《审视瑶函》中原名为《识病辨症详明金玉赋》，其详尽论述了眼科各种病症的名称、病因病机、症状特点及类似病症的鉴别要点。全文以歌赋的形式写出，不仅易于记诵，并且妙趣横生，能够激发起初学者对眼科学学习的动力。

治目要诀

凡看目症，先将症之分数预定其初。难治易治，可治不治，了然

胸中，而后对症用药，未有不应手而愈者。如瞳神凸凹者不治，青绿白色者不治，纯黑者不治，睛少光彩者不治，瞳神散大如乌睛不治，瞳神缩小如芥子者不治，不见灯头者不治，跌仆暴盲者不治，不见星月者不治，白翳如磁者不治，乌睛破者不治，瞳神移位者不治，瞳神如锯齿者不治，五风内障者不治，老人昏蒙者不治。若翳白滑或青黑，或斑点，或翳在瞳神上，俱难治之。若睛圆不损，不论星多少、翳厚薄，俱可治之。但症有外感、有内伤之分，外感者，风、寒、暑、湿、燥、火，此标症也。患者致目暴发疼痛，白睛红肿，眵泪赤烂，其热虽急易治。内伤者，喜、怒、忧、思、悲、恐、惊，此七情也。患者致黑珠下陷，或起蟹睛^①，翳膜障蒙，或白珠不红，瞳神大小，视物昏花，内障不一，其势虽缓，难治。又能不内不外，饮食不节，饥饱劳役所致，当理脾胃为主。目症虽多，不外风热虚实之候，治亦不离散清补泻之法。然补不可过用参、术，以助其火，惟用清和滋润之类；泻不可用硝、黄、龙胆、二丑，以凝其血，惟用发散消滞之类。治目无投大寒之剂，固是要法，间有大热之症，用连、芩、黄柏，亦必须酒炒用之。日症最忌钩割，目得血而能养，钩割伤血，必受其害，为漏为目枯。凡障如攀睛胥肉、鸡冠蚬肉、鱼子石榴、赤脉虬筋^②，脾肉粘轮^③等症，可以钩割。若在风轮之浅者，误割之则珠破而目损。凡乌珠有恶障厚蔽者，不得已而割之，宜略割外边赤丝瘀肉。其内贴珠翳膜，只可缓缓点药，服药治之，久而自消。至于症之点药，亦各不同。内疾已成外症若无，不宜点药，惟以服药为主。若内症已成，外症又见，必须内外兼治，故宜点服并行。若内障等症，外症绝无，更不可点药，点之反伤目珠，无益有害。点药不可轻用砒、硃、毒草之类，惟以平和磨翳之药治之，间有厚翳，不得已而用，亦必如法炮制，去其暴性。症势稍退，仍以平和药点之。以上皆治目要法，依此治症，未有症不愈者也。

【注释】

- ①蟹睛：病名，又名蟹目、蟹睛疼痛外障等。多属肝有积热，上冲于目，以致黑睛溃溃或外伤所致。症见黑睛破损，黄仁从破口突出如珠，形似蟹睛，周围绕以白翳，目痛剧烈，羞明泪出。相当于虹膜脱出，愈后遗留瘢痕。
- ②赤脉虬筋：病名，又名赤丝虬脉、赤丝乱脉等。多为热郁血脉所致。症见白睛赤脉纵横，粗细不一，条缕分明，如虬蟠旋曲，故称赤脉虬筋。
- ③脾肉粘轮：病名，又名睑粘睛珠、睑倒粘睛等。多因脾胃风热上攻，气血瘀阻而成。症见眼胞与白睛粘连，不能分开。可见于今之沙眼并发症、眼部烧伤及腐蚀性损害等。

【述要】

此书简明扼要地论述了治疗眼病的要诀，指出哪些眼病可治，哪些不治，哪些难治，并说明了内治、外治及内外兼治的具体原则。最后尤其强调，点眼之药，不能轻易使用砒霜、础砂、毒草之类，应该用平和磨翳之药，即使不得已而用之，也应如法炮制，去其毒药之暴性，待眼病症势稍退，仍以平和点眼。这对临床正确使用点眼之药有重要的指导意义。

原机症治十八条（一至十八）

淫热反克之症（一）

膏粱之变，滋味过也。气血俱盛，禀受厚也。亢阳上炎，阴不济也。邪入经络，内无御也。因生而化，因化而热，热为火，火性炎上，足厥阴肝为木，木生火，母孕子，子以淫盛，祸发反克。而肝开窍于目，故肝受克而目亦受病也。其病眇多，眊^①躁，紧涩，赤脉贯睛，脏腑秘结，为重。芍药清肝散主之；通气利中丸主之。脏腑不秘结者，为轻。减大黄、芒硝。芍药清肝散主之；黄连天花粉丸主之。少盛服通气利中丸。目眶烂者，内服上药，外以黄连芦甘石散，收其烂处，兼以点眼春雪膏，龙脑黄连膏，攻其淫热。

芍药清肝散：治眇多，眊躁，紧涩，羞明，赤脉贯睛，大便秘结。

白术^炒 石膏^煅 川芎 防风 桔梗 滑石^{各三钱}
荆芥 前胡 芍药^{酒炒} 甘草 薄荷^{各二钱半} 柴胡
黄芩^{酒炒} 知母^{酒炒} 山梔^炒 羌活^{各二钱} 芒硝^{三钱半}
熟军^{四钱}

同为末，每服三钱，水二钟，煎至一钟，食远，热服。

通气利中丸：治症同上。

大黄^{制二两半} 滑石^{取末另入} 黑丑^{取末} 黄芩^{各两半} 白
术^{一两} 白芷 羌活^{各五钱}

同为细末，滴水为丸，如桐子大，每服三十丸加至百丸，食后临卧茶清送下。

黄连天花粉丸：治同上。

黄连^{酒炒} 菊花 薄荷 川芎^{各一两} 黄柏^{酒炒六两}
连翘^{二两} 花粉 黄芩 梔子^{炒各四两}

为细末，滴水成丸，如桐子大。每服五十丸，加至百丸，食后临卧茶清下。

黄连芦甘石散：治目眶破烂，畏日羞明，余治同上。

芦甘石^{一斤} 黄连^{四两} 冰片^{少许}

先将甘石装磁罐中，在大火中煅红透。另以黄连煎水一盆，将煅红甘石淬^②之，一煅一淬，如是七次，以所贮磁盆置日中晒干，然后同黄连研为细末。用时量入冰片再研，每用少许，并花水调如稠糊，以筋头蘸傅^③破烂处，不破烂者，点眼大小眦尤佳。

龙脑黄连膏：治目中赤脉，如溜热炙人。

川黄连^{八两} 冰片^{一钱}

黄连去黑皮锉碎，磁锅内用水三大碗，熬至半碗，滤去渣，取药水于碗内，重汤蒸顿成膏，再复滤净。待数日，出火毒，收贮瓶中。临用时量加冰片，每用一钱和匀，以少许晚点眼大角内，或加熊胆少许更妙。

蕤仁春雪膏：治肝经不足，内受风热，上攻头目，赤肿痒痛，迎

风流泪，昏暗羞明。

蕤仁 去皮壳心去油四两 冰片 五分

先将蕤仁研细，入冰片和匀，用好蜜一钱二分，再研和匀，每用簪头蘸少许，点目大小眦。

【注释】

①眊：读作(mào)，眼睛不明亮的样子。

②淬：读作(cuì)，中药炮制法之一，即把药烧红迅速投入醋内或水中。《本草纲目·金石部·自然铜》曰：“自然铜，今人只以火煨醋淬七次，研细水飞过用。”

③傅：通“敷”，涂敷之意。《后汉书·华佗传》曰：“若在肠胃，则断截清洗。除去疾秽，既而缝合，傅以神膏。”

【述要】

淫热反克之症系由嗜食辛辣肥甘厚味而致阳热亢盛，或外邪侵入机体而化热，最后热邪反克肝木而引起。因肝开窍于目，故目亦受病。其治疗医方可选用：①芍药清肝散。此方既适用于淫热反克肝木之赤脉贯睛，也可用治肝肺积热而引起的花翳白陷。方中石膏、柴胡、黄芩、知母、山梔以清肝肺之热；川芎、防风、桔梗、荆芥、前胡、薄荷、羌活祛风通络、散邪除热；白术、滑石健脾利湿，引热下行，使热邪从小便而出；芒硝、熟军通腑泻热，导热下出，使热邪从大便而去；芍药、甘草养阴柔肝、解毒和中。诸药合用，可使淫热反克而致之眼疾痊愈。②通气利中丸。方中黄芩清肝肺之热；白芷、羌活祛风通络、散邪除热；白术、滑石健脾利湿，引热下行，使热邪从小便而出；大黄、黑丑通腑泻热利水，使热邪从大、小便而去。此方清热、祛风之力较芍药清肝散弱。③黄连天花粉丸。本方即适用于淫热反克肝木之眼疾，又可治疗热毒火邪所引起的火疳。方中黄连清心经之火，黄芩清肝肺之热，再加以黄柏、梔子清热利湿、泻火解毒，四药合用可疗目中火毒结滞；花粉、连翘清热解毒、散结消肿；川芎活血通络；菊花、薄荷疏散风热，逐邪外出，而使目络通畅。本方清热解毒之力强，但祛风、通腑之力较芍药清肝散弱。另外，除上述三个内服方外，根据不同的兼证，列出了三个外用之方。若兼目眶破烂，畏日羞明者，可用黄连芦甘石散点眶破烂处（不宜入眼内）以清热解毒，除湿收敛止痒；若兼目中赤脉，如溜热炙人者，可用龙脑黄连膏点眼以清热解毒，消肿止痛止痒；若兼目赤肿痛，

迎风流泪，昏暗羞明者，可用蕤仁春雪膏点眼以清热活血止痒。

风热不制之症(二)

风动而生热，因热而召，是为外来。久热不散，感而自生，是为内发。内外为邪，为病则一。淫热之祸，条例如前。益以风邪，害岂纤止。风加头痛，风加鼻塞，风加肿胀，风加涕泪，风加脑巅沉重，风加眉骨酸疼，有一于此，羌活胜风汤主之。风加痒，以杏仁龙胆草泡散洗之。病者有此数症，或不服药，翳必随之而生。翳如云雾，如秤星，如丝缕，如螺盖，因其脾胃受凉药过多，生气不能上升，渐而至也。然必要明经络，方能应手。翳凡自内眦而出，为手太阳、足太阳受邪，治在小肠膀胱经，加蔓荆子、苍术，羌活胜风汤主之。自锐眦客主人^①而入者，为足少阳、手少阳、手太阳受邪，治在胆与三焦小肠经，加龙胆草、藁本，少加人参。自目系而下者，为足厥阴、手少阴受邪，治在肝经心经，加黄连、倍加柴胡，自抵过而上者，为手太阳受邪，治在小肠经，加木通、五味子，热甚者兼治淫热之药。

羌活胜风汤：风胜者服。

柴胡	七分	黄芩	白术	各六分	荆芥	枳壳	川芎
白芷	羌活	防风	独活	前胡	薄荷	各五分	桔梗
生草	各三分						

锉剂，水二钟，煎至八分，去渣，食后热服。

杏仁龙胆草泡散：治风热上攻，眵泪，赤痒，眊瞤。

滑石	另研	胆草	黄连	归尾	杏仁	去皮尖	赤芍
各一钱							

以白滚水泡，顿蘸洗眼上下。

【注释】

- ①客主人：上关穴别名，定位为下关穴直上，当颧弓的上缘。穴属足少阳胆经。直刺0.5~1寸。为手足少阳，足阳明经交会穴。《素问·气府论》云：“客主人各一。”王

冰注：“客主人，穴名也，在耳前上廉起骨，开口有空。”所指即上关穴。

【述要】

风热不制之症多由感受风热之邪而引起。若风邪偏胜，出现头痛、鼻塞、肿胀、流涕、脑巅沉重、眉骨酸疼等症，可选用羌活胜风汤。方中羌活、川芎、白芷、防风、独活、前胡祛风散邪；荆芥、薄荷祛风透邪；柴胡、黄芩透邪解热而疗目赤肿痛；白术、枳壳、生草健脾行气以散风热之邪。本方也可用于风邪偏胜引起的风赤疮痍，暴风客热等。若风热上攻，出现眵泪、赤痒、眊矔者，可选用杏仁龙胆草泡散洗眼上下以清热解毒、凉血活血、宣肺利湿止痒。

七情五贼劳役饥饱之症(三)

或因七情内伤，五贼外攘^①，饥饱不节，劳役异常。足阳明胃之脉，足太阴脾之脉，为戊己二土生生之原。七情五贼总伤二脉，饥饱伤胃，劳役伤脾，戊己既病，则生生自然之体，不能为生生自然之用。故致其病，曰七情五贼劳役饥饱之症。其病红赤睛珠疼，疼如针刺，应太阳眼睫无力，常欲垂闭，久视则酸痛，生翳皆陷下。所陷者，或圆、或方、或长、或短、或如点、如缕、如锥、如凿，有此者，柴胡复生汤主之；黄连羊肝丸主之。睛痛甚者，当归养荣汤主之；助阳活血汤主之；加减地黄汤主之；决明益阴丸主之；龙脑黄连膏主之；搐鼻碧云散主之。忌大黄、芒硝、牵丑、石膏、梔子之类。

柴胡复生汤：

柴胡	六分	苍术	云苓	黄芩	各五分	白芍	酒炒	炙
草	薄荷	桔梗	各四分	羌活	独活	蔓荆子	藁本	
川芎	白芷	各三分半	五味子	二十粒				

水二钟，煎至一钟，去渣，食后热服。

黄连羊肝丸：治目中红赤多眵，风毒上攻，昏暗流泪，羞明痒痛，兼治多年内外障眼，攀睛胬肉等症。

川黄连 去须皮为末半斤 白羯羊肝 一个

先以黄连研为细末，将羊肝用竹刀刮下如糊，去筋膜，入搗钵

中研细，入连末为丸，如桐子大，每服三五十丸，渐加至七八十丸，晚用茶清送下，忌猪肉、冷水。

当归养荣汤：治眼珠痛甚，余同上。

熟地 当归 川芎 白芍 炒各一钱 羌活 防风
白芷 各七分

水二钟，煎至八分，去渣，温服。

助阳活血汤：治眼睫无力，垂闭，红眵多泪，无疼痛而涩癢难开。因服寒药太过，真气不能通窍故也。

炙草 黄芪 当归 防风 各一钱 蔓荆子 白
芷 各五分 柴胡 升麻 各七分

水二钟，煎至一钟，去渣，稍热服。

决明益阴丸：治同上。

羌活 独活 归尾 生草 五味子 防风 各五钱
黄芩 炒一两半 知母 黄连 酒炒 石决明 煅 草决明
黄柏 酒炒 各一两

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服七八十丸，茶清下。

加减地黄丸：治男妇肝虚积热，翳膜遮睛，羞明多泪。

生地 酒炒 熟地 各半斤 枳壳 炒三两 归身 牛膝 各三两
羌活 杏仁 去皮尖 防风 各一两

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三四十丸。空心食前淡盐汤下。

嚏鼻碧云散：

鹅不食草 二钱 青黛 川芎 各一钱

同为细末，每用如豆许，先噙水满口，嚏药于鼻中，以泪出为度，不拘时，风热淫热症，亦可兼用。

【注释】

①五贼外攘：即五种贼邪从外面对人体的侵袭。此处的五贼，疑指《金匮要略·脏

《内经》先后病脉证》中的五邪，即：风、寒、湿、雾、伤食五种。

【述要】

此节主要论述了因七情内伤，五邪外侵，饥饱不节，劳役异常而导致的眼疾。其症状多表现为两目红赤，睛珠疼痛，疼如针刺，眼睑无力，常欲垂闭，久视则酸痛，两眼生翳。治疗主方可用柴胡复生汤。方中柴胡、黄芩清解肝中之热；苍术、云苓健脾利湿，以资气血化生之源；白芍、五味子柔肝敛阴；川芎祛风活血退翳；炙甘草益气和中；桔梗载药上行而直达目窍；羌活、独活、蔓荆子、藁本、白芷、薄荷祛风散热止痛。若风毒上攻，目中红赤多眵，昏暗流泪，羞明痒痛者，可用黄连羊肝丸以清热解毒，养肝明目；同时本方还兼治多年内、外障眼，攀睛胬肉等症。若血虚风胜而眼珠痛甚者，可用当归养荣汤养血祛风止痛。若因服寒药太过，真气不能通窍而出现的眼睑无力，垂闭，红眵多泪，无疼痛而涩痒难开等症，可用助阳活血汤益气通阳，养血活血，祛风升气。也可用决明益阴丸祛风升阳，解毒活血，敛肝明目。若男妇肝虚积热，翳膜遮睛，羞明流泪者，可用加减地黄丸滋养肝肾，养血和血，润肺行气，祛风散热退翳。若目肿红赤，昏暗羞明，涩痛，风痒鼻塞，头痛脑酸，外翳攀睛，眵泪粘稠者，可用啖鼻碧云散啖药于鼻中。方中鹅不食草为菊科植物石胡荽的带花全草，性味辛、温，具有祛风，散寒，除湿，去翳，通鼻塞之效。《本草拾遗》谓其：去目翳，按塞鼻中，翳膜自落”。与青黛、川芎合用，共奏通鼻退翳，解毒祛风之效。

血为邪盛凝而不行之症（四）

灵兰秘典论曰：“脾胃者，仓廩之官，五味出焉。”五味淫则伤胃，胃伤血病，是为五味之邪，从本生也。又曰：“小肠者，受盛之官，化物出焉。”遇寒则阻其化。又曰：“膀胱者，州都之官，津液藏焉。”遇风则散其藏，一阻一散，血亦病焉。是为风寒之邪，从末生也。凡是邪盛，血病不行，不行渐滞^①，滞则易凝，凝则病始外见，以其斜络目眦也。以其起于目内眦也。故病环目青眦^②，如被物伤状，重者白睛亦眦，轻者或成斑点。然不痛不痒，无泪眵、眊瞤、羞涩之症。是曰血为邪胜，凝而不行之症。川芎行血散，并消凝大丸子主之；睛痛者更以当归养荣汤主之。

川芎行血散：

桔梗 云苓 羌活 白芷 蔓荆子 防风 荆芥 薄荷 独活_{各四钱} 炙甘草 柴胡 川芎 当归
枳壳_{各六钱} 红花_{二钱}

同为末，每服三钱，水二钟，煎至一钟，食远热服。

消凝大丸子：治同上或眵泪沙涩并治。

川芎 归尾 桔梗 炙草 连翘 菊花_{各七钱}
防风 荆芥 羌活 薄荷 藁本_{各五钱} 白术 黄芩_{各一两} 石膏 滑石_{各一两}

先将滑石、石膏另研末，余作细末和匀，炼蜜为丸。每一两分作八丸，每服一二丸，茶清化下。淫热风热症俱可服。

【注释】

①渐滞：渐渐瘀滞。滞，读作(zhì)，瘀滞之意。

②眵：疑即“颧”，读作(yùn)，此指眼部的黑色斑点。

【述要】

本节主要论述了风寒侵袭，血滞不行而引起的眼病。其表现为环目青黯，如被物伤状，重者白睛亦黯，轻者或成斑点，但无痛痒及泪眵、羞涩等症。治疗可用川芎行血散祛风散寒，疏肝行气，活血消黯。方中羌活、白芷、蔓荆子、防风、荆芥、独活祛风散寒；柴胡、枳壳疏肝行气；川芎、当归、红花活血行滞消黯；桔梗、薄荷合用散邪透热；云苓、炙甘草合用健脾利湿，调胃和中，使气血生化有源。若气虚血滞睛痛者，可用当归养荣汤益气调血行滞。若兼眵泪沙涩者，可用消凝大丸子以祛风散邪，透热明目，清热解毒，活血祛瘀，健脾调中。

气为怒伤散而不聚之症(五)

阴阳应象大论曰：“足厥阴肝主木，在志为怒”。怒甚伤肝，伤脾胃则气不聚。伤肝则神水散，何则？神水亦气聚也。其病无痛痒紧涩等症。初但昏如云雾中行，渐空中有黑花，又渐睹物成二，久则光

不收，遂成废疾。盖其散而又散，终而散尽故也。初渐之时，宜以千金磁朱丸主之；石斛夜光丸主之；益阴肾气丸主之。有热者滋阴地黄丸主之。此病最难治，必积岁月见功，更要善于保养。不然必废，废则无治。久病光不收者亦不治。或因暴怒，神水遂散者不治。或为物所击，神水散者亦不治也。

千金磁朱丸：兼治内障初起。

磁石 吸针者佳 辰砂 神曲

先以磁石火煨，醋淬七次，晒干，另研细二两。辰砂另研细一两，生神曲末二两，同和匀，外以神曲一两，水和作饼煮浮为度。搜入前药内，再以炼蜜为丸，如桐子大。每服十丸，渐加至三十丸，空心米饮下。

滋阴地黄丸：治神劳肾虚，眼目昏暗，神水淡绿，淡白色内障者。多多眵者并治。

归身 黄芩 熟地 各五钱 枳壳 炒三钱半 天冬 去心
柴胡 五味子 生草 各三钱 生地 酒炒两半 黄连 酒炒一两
地骨皮 党参 各二钱

共为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服一百丸，食后白滚水送下，日三服。

石斛夜光丸：治内障初起，视觉微昏，空中有黑花，神水淡绿色；久则睹物成二，神水变淡白色；久则不睹，神水变纯白色，及眵泪眵躁等症。

天冬 麦冬 党参 云苓 熟地 生地 各一两
牛膝 酒炒 杏仁 枸杞 各七钱半 草决明 八钱 犀角 镑末 苾
藜 ①去刺炒 羚羊角 镑末 枳壳 炒 石斛 五味子 炒 青箱
子 生草 防风 肉苁蓉 黄连 炒各五钱 菊花 山
药 各七钱 菟丝饼 七钱

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服五十丸，盐汤下。

益阴肾气丸：

云苓_{乳炒八钱} 泽泻_{四钱} 归尾_{酒洗} 丹皮 五味子
山药_{九蒸} 山萸_{酒炒} 柴胡_{各五钱} 熟地_{三两} 生地_{酒炒四两}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，辰砂为衣，每服五六十丸，空心淡盐汤下。

【注释】

- ① 蒺藜：即刺蒺藜，又名白蒺藜。因在《诗经》中称为“茨”，故此名“蒺藜”。本品为蒺藜科植物蒺藜的果实，性味苦辛，温，具有散风、明目、下气、行血的功效，可用于治疗目赤肿翳等症。

【述要】

此节主要论述了怒气伤肝及脾胃，使神水散而不聚所引起的眼病。临床可表现为初起只是昏如云雾中行，渐空中有黑花，再逐渐发展就可表现为视物成二，久则光散不收，最终成为双目失明等废疾。本病可首选千金磁朱丸以镇肝明目。方中磁石为氧化物类矿物磁铁矿的矿石，性味辛咸，平。功用潜阳纳气，镇惊安神。《本草纲目》谓其：“明目聪耳。”《本草求原》又谓其：“治瞳神散大及内障。”辰砂即朱砂，为天然的辰砂的矿石，主要成分为硫化汞。性味甘，凉，有毒。因其有毒，不宜久服。具有安神，定惊，明目，解毒之效。《医学入门》谓其“清肝明目”。《神农本草经》又谓其“益气明目”。神曲健脾和胃，消食调中，可使气血化生有源。若神劳肾虚，眼目昏暗，神水淡绿，白色内障，或眵多眵睡者，可用滋阴地黄丸滋阴清热，养血凉血，益气明目，收敛神水之散大。若内障初起，视觉微昏，空中有黑花，神水淡绿色；久则观物成二，神水变淡白色；久则不睹，神水变纯白色，及眵泪眵睡等症，可用石斛夜光丸益气健脾，滋养肝肾，清热明目，调阴益阳，也可用益阴肾气丸滋肾补血，活血行血，健脾益气，疏肝敛阴。

血气不分混而遂结之症（六）

阳平阴秘，气行血随，各得其调，则百骸理。若阴阳不平秘，气血不行随，各不得其调矣。大抵血气不欲相混，混则为阻，阻则成结，结则无所去还，故隐起于皮肤之中遂为疣病。然各随经络而见，

疣自上眼睑而起者，乃手少阴心脉，足厥阴肝脉，血气混结而成也。初起时但如豆许，血气衰者，遂止不复长，亦有久止而复长者。盛者则渐长，长而不已，如杯、如盏、如碗、如斗，皆自豆许致也。凡治在初，择人神不犯之日，令病者食饱，先汲冷水，洗眼如冰，勿使气血得行，以左手执铜柱按眼睑上，右手翻眼皮转，则疣肉突，以左手大指按之，复以右手持小眉刀尖，略破病处，更以两手大指甲，捏出黄脂出，更以眉刀尖断之，再以冷水洗，洗后则无恙。事毕，投以防风散结汤数服，即愈。

防风散结汤：

防风	羌活	归尾	白芍	各六分	红花	苏木	各少许
苍术	云苓	独活	前胡	黄芩	各五分	生草	

防己 各四分

水二钟，煎至一钟，热服，复渣^①。

【注释】

①复渣：即药渣再次煎服。《审视瑶函》谓：“渣再煎。”

【述要】

此节主要论述了因阴阳不秘，血气相混，郁阻于眼睑皮肤而产生的疣病。该病在《证治准绳·七窍门》中又名“胞生痰核”。治疗首先手术刮除眼疣，现一般采用西医手术，局部浸润麻醉及粘膜表面麻醉后，用特制的睑板腺囊肿固定镊固定及切开，用小括匙刮尽后置眼膏包扎。手术后可用防风散结汤治疗。方中羌活、防风升发阳气；独活祛除风邪；白芍、归尾、红花、苏木养血行血、消除凝结；云苓、苍术、防己健脾利湿、化痰行水；前胡疏利五脏；黄芩清解郁阻之热邪；生草调中益气，兼以调和诸药。

热积必溃之症（七）

此即前篇淫热之病，但邪深则不行，不行必积，积久必溃。其病癰涩不自在，稍觉眊躁，视物微昏，内眦开窍如针孔，目按之则沁沁

脓出。有两目俱病者，有一目独病者。目属肝，内眦属膀胱，此盖二经热邪之所致。俗名漏睛眼者是也，竹叶泻经汤主之；大便不硬者减大黄，蜜剂解毒丸主之。

竹叶泻经汤：

柴胡 炒梔 羌活 升麻 炙草 黄连_{各五分}
云苓 泽泻 赤芍 草决明 车前_{各四分} 黄芩_{酒炒}
熟军_{各六分} 竹叶_{十片}

水二钟，煎至一钟，食后温服。

蜜剂解毒丸：

炒梔_{十两} 杏仁_{去皮尖一两} 熟军_{五两}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服四五十丸，茶清下。

【述要】

此节所述的热积必溃之症，系肝、膀胱二经积热日久，上达目窍，致目内眦溃脓的漏睛病证。其表现为两眼或一眼癰涩不自在，稍觉眵眊，视物微昏，内眦开窍如针孔，目按之则沁沁脓出。治疗可选用竹叶泻经汤以泻肝经、膀胱经之热。方中柴胡、黄芩清肝经之热；黄连、竹叶、炒梔子泻火热之邪；泽泻、车前子渗湿利水而泻膀胱经之热；羌活、升麻一方面升阳散火，另一方面引药直入太阳经；熟军，其性较缓，可导热从大便而去；赤芍、草决明合用可凉血行血，清肝明目；炙草、云苓益气健脾而防肝木相乘。本病症状轻者，可用蜜剂解毒丸进行治疗。

阳衰不能抗阴之症（八）

目为肝，肝为足厥阴也。神水为肾，肾为足少阴也。肝为木，肾为水，水生木，盖相生而成也。怒伤肝，恐伤肾，肝肾受伤，即不能生也。昼为阳，天之阳也，人亦应之。虽受忧、思、恐、怒、劳役、饥饱之伤，阳气下陷，遇天之阳盛阴衰之时，我之阳气虽衰，不得不应之而升也。故犹能书视通明。夜为阴，天之阴也，人亦应之也。既受忧、思、恐、怒、劳役、饥饱之伤，而阳气下陷，遇天阴盛阳衰之时，我之

阳气既衰，不得不应之而伏也。故夜视罔所见^①也。有是病者，当用镇阴升阳之药，决明夜灵散主之，无不愈也。

决明夜灵散：

夜明砂_{另研二钱} 石决明_{煎煮研二钱} 羯羊肝_{一两生用}

以竹刀切肝作二片，将二药末撒肝上合住，以麻皮缠定，米泔水一大碗，在砂锅内煮熟。临卧肝与药汁并服之，不犯铁器。

【注释】

①夜视罔所见：夜晚看东西时没有什么能看见。罔，没有之意。

【述要】

此节主要论述了肝肾受伤，阳衰不能抗阴而引起的“夜视罔所见”之雀盲眼病。治疗当以决明夜灵散以镇阴升阳。方中夜明砂升阳明目；石决明镇阴益精，清肝明目；羯羊肝，性味甘、苦、凉，具有益血，补肝，明目之效。可用治目暗昏花、雀目、青盲、障翳等眼疾。现代研究表明，羊肝可用于治疗维生素A缺乏之雀目（即夜盲）等眼病。

阴弱不能配阳之症（九）

五脏生成论曰：“诸脉者皆属于目”。相火者，心包络也。主百脉上荣于目，火盛则百脉沸腾，上为内障，此虚阳病也。膀胱、小肠、三焦、胆脉，俱循于目，其精气亦皆上注而为目之精，精之窠为眼。四腑一衰，则精气自败，邪火乘之，上为内障，此六腑病也。神水黑珠皆发于阴，白眼赤脉皆发于阳。阴齐阳侔^①，故能为视；阴微不立，阳盛即淫。阴阳应象大论曰：壮火食气。壮火散气，上而内障，此弱阴病也。其病初起时，视物微昏，常见空中有黑花，神水淡绿色，次则睹一成二，神水淡白色，冲和养胃汤主之；益气聪明汤主之；千金磁朱丸主之；石斛夜光丸主之。久则不睹，神水纯白色，永为废疾矣。然亦有治法，惟用手法。以金针入乌睛内，拨落瞳神脂膏，立时能见。仍以前药服之，以去病根。此法治者四五，不治者五

六。五脏之病，虚阳之病，六腑之病，弱阴之病，皆为阴弱不能配阳之病，学者慎之。

冲和养胃汤：治内症已成，兼治内障初起。

归身 白术 升麻 葛根各一钱 白芍 酒炒六分 羌活一钱二分 黄芪 蜜炒钱半 防风五分 五味三分

水三钟，煎至二钟，生姜一片，入黄连酒炒五分，黄芩酒炒五分，煎至一钟，稍热食后服。

益气聪明汤：

黄芪 党参各五分 蔓荆子钱半 黄柏 酒炒 白芍 各一钱
炙草四分 升麻 葛根 各三分

水二钟，煎至一钟，临卧热服，五更复渣。

千金磁朱丸，石斛夜光丸二方俱见散而不聚之症。

【注释】

①阴齐阳侔：即阴阳平衡或阴阳相秘之意。侔，读作(móu)，等同，齐等之意。如《新修本草·序》：“普济黔首，功侔造化。”又如《脉诀汇辨·运气论》：“夫人殊禀赋，令易寒暄，利害不侔，气交使然。”

【述要】

此节主要论述了阴微阳盛，阴弱不能配阳而致的内障之眼病。其临床多表现为：初起之时，视物微昏，常见空中有黑花，神水淡绿色；其次表现为视物成二，神水淡白色；久则不能视物，神水纯白色。本病轻症或内障初起者，可用冲和养胃汤、益气聪明汤、千金磁朱丸及石斛夜光丸等方进行治疗。若不能视物，神水纯白色者，必须用手术方法治疗，即金针拨白内障的方法，手术完毕后可持续服用上述药物治疗。

心火乘金水衰反制之症(十)

世病目赤为热，人所共知。然赤数等，治各不同。有白睛纯赤如火，热气炙人者，乃淫热反克之症也。有白睛赤而肿胀，外睫虚浮

者，乃风热不制之症也。有白睛淡赤，而细脉深红，纵横错贯者，乃七情五贼，劳役饥饱之症也。有白睛不肿不胀，忽如血贯者，乃血为邪胜，凝而不散之症也。有白睛微变青色，黑睛稍带白色，黑白之间，赤环如带，谓之抱轮红^①者，乃邪火乘金水衰反制之病也。各因病而治之。此邪火乘金，水衰反制者，或因目病已久，抑郁不舒；或因服凉药太多；或因目病内多房事。皆能以伤元气，元气一虚，心火亢盛，故火能克金。金乃手太阴肺，白睛属肺。水乃足少阴肾，黑睛属肾。水本克火，水衰则不能克，反受火制。故视物不明，昏如云雾中，睛白高低不平，口苦，舌干，眵多，羞涩，赤带抱轮而红。助阳活血汤^②主之；万应蝉花散主之。有热无热，俱服千金磁朱丸，镇心火、滋肾水为妙。

万应蝉花散：治一切风眼气眼，或疼或痒，赤烂生翳。

石决明 河水煮一伏时研为极细一两五钱 蝉退 去足五钱 归身 炙草
川芎 防风 云苓 羌活 各一两 苍术 甜洗四两 蛇
退 炙三钱 赤芍 三两

为细末，每服二钱，食远临卧茶清调下。

菊花决明散：

石决明 东流水煮 石膏 另研 木贼 羌活 炙草 防
风 菊花 川芎 蔓荆子 黄芩 草决明 各等分

为末，每服三钱，水二钟，煎八分，连末食远服。

千金磁朱丸见散而不聚之症。

助阳活血汤见劳役饥饱之症。

【注释】

- ①抱轮红：病名，又名赤带抱轮、乌睛赤晕、白睛轮红，多由心火亢盛、肝肺实热或阴虚火旺所致。症见沿黑睛周围、白睛深层环绕一带细直模糊红赤血丝，压之红赤不退，推之血丝不移。相当于睫状肌充血。常见于瞳神、黑睛和白睛深层的疾患。

- ②助阳活血汤：见“七情五贼劳役饥饱之症”。

【述要】

此节主要论述了因元气不足，心火亢盛，肺肾阴虚而致的抱轮红赤。其主要表现为视物不明，昏如云雾中，白睛高低不平，口苦，舌干，眵多，羞涩，赤带抱轮而红。治疗首选助阳活血汤益气助阳，养血调血，升阳散火，清肝明目。若兼风眼、气眼，或疼或痒，赤烂生翳者，可配合用万应蝉花散治疗。方中石决明镇坠肾水，益精还阴，清肝明目；蝉退性味甘、寒，具有疏风清热，明目退翳之效。蛇退性味甘、咸、平，具有祛风退翳之效。归身、川芎、赤芍合用，养血活血，凉血消瘀；防风、羌活引药上行，祛风散热；云苓、苍术、炙草合用，健脾益气。还可用于菊花决明散治疗。方中菊花疏风清热，解毒明目；木贼疏散风热，明目退翳；石决明镇坠肾水，益精还阴，清肝明目；石膏、黄芩清解邪热之火；草决明清肝明目，《神农本草经》谓其：“主青盲，目淫肤赤白膜，眼赤痛，泪出。”川芎活血行血；羌活、防风、蔓荆子上达头面，祛风散热；炙草益气和中。此外，不论有热无热，均可服用千金磁朱丸以镇心火、滋肾水。

内急外驰之症^①（十一）

阴阳以和为本，过与不及，病皆生焉。急者，紧缩不解也。驰者，宽纵不收也。紧缩属阳，宽纵属阴，不解不收，皆为病也。心、肝、小肠三经受邪，则阳火内盛。故上下睫之内，紧缩而不解。肺经为火克，则受克者必衰，衰则阴气外行。故目之上下睫之外者，宽纵而不收也。上下睫既内急外驰，故睫毛皆倒刺于内。睛既受刺，则深赤生翳。故目所病者皆具。如羞明砂涩，畏风怕日，或痛或痒，生眵流泪等症俱见。治法当扳出内睑皮向外，以三棱针刺拨出血，后以黄芩防风饮主之；无比蔓荆子汤主之；决明益阴丸主之；搐鼻碧云散主之。如是则紧缩自驰，宽纵自急，或过不及，皆复为和。夹治之法，甚勿施也。

黄芩防风饮：

蔓荆子	钱半	黄芩	蜜炙	防风	各八分	黄芩	酒炒钱半	细
辛	二分	炙草	五分	葛根	一钱			

水二钟，煎至一钟，去渣，临卧大热服。

无比蔓荆子汤：

黄芪 一钱二分 川连 酒炒七分 党参 生草 各一钱 柴胡 七分
蔓荆子 当归 葛根 防风 各五分 细辛 三分

水二钟，煎至一钟，食后温服。

决明益阴丸见劳役之症。

嗜鼻碧云散见劳役之症。

【注释】

- ①内急外弛之症：系指胞睑皮肤宽松，而睑弦紧缩，睫毛渐渐向内倾倒，刺扫眼珠的病症。本病老人多患，类似今之痉挛性睑内翻。

【述要】

此节主要论述了阳火内盛，阴气不足，风热毒邪壅阻胞睑脉络而致的内急外弛之症。其表现为胞睑内皮肤宽松，而睑弦紧缩，睫毛倒刺眼珠，甚者目赤生翳，兼见羞明砂涩，畏风怕日，或痛或痒，生眵流泪等症。治疗上首先扳出睑皮向外，以三棱针刺拨出血。随后用黄芪防风饮益气祛风，解毒明目；也可用无比蔓荆子汤、决明益阴丸或嗜鼻碧云散等方治疗。本病宜及时采用手术治疗，因古代所用夹法，弊病较多，现已改用内翻矫正术。

奇经客邪之症（十二）

奇经客邪，非十二经之治也。十二经之外，别有治奇经之法。缪刺论曰：邪客于足阳跷之脉^①。令人目痛，从内眦始。针经曰：“阴跷脉^②入眦^③，属目内眦，合于太阳、阳跷而上行”。故阳跷受邪者，内眦即赤，生脉如缕，缕根生瘀肉，瘀肉生黄赤脂，脂横侵黑珠，渐蚀神水，此阳跷为病之次第也。或兼锐眦病者，以其合于太阳故也。俗呼为攀睛，还阴救苦汤^④主之；拨云退翳丸主之；梔子胜奇散主之；磨障灵光膏主之。病重药不能及者，宜治以手法。先用冷水洗，以左手按定眼珠，勿令动移，略施小眉刀尖，剔去脂肉，复以冷水洗

净，仍作前药服之。

拨云退翳丸：

蒺藜	当归	川芎	各一两半	川椒	去目七钱	菊花	地
骨皮	荆芥	各八钱	木贼	蒙花	各一两	蔓荆子	一两
退翳	生草	各三钱	花粉	六钱	楮桃仁	蝉退	去头足
连	酒炒	薄荷	各五钱				黄

同为细末，炼蜜调和，每一两作八丸，每服一丸，临卧清茶化下。

梔子胜奇散：

蒺藜	炒	蝉退	谷精	生草	木贼	黄芩	菊
花	炒梔	川芎	草决明	荆芥	羌活	蒙花	

防风 各五分

同为细末，每服二钱，临卧热茶调下。

磨障灵光膏：

制甘石	六两	黄丹	水飞三两	白丁香	取末	海螵蛸	去粗皮取末
番硃砂	另研	轻粉	各一两	川黄连	重便浸一宿一两	麝香	另研一钱
滴乳香	去油五钱	归身	二钱另研	冰片	少许		

用好沙蜜十两，砂锅内熬五七沸，净纸搭去蜡面，除黄丹外，下余药，用柳枝搅匀，再下黄丹，徐徐搅至紫色；取离火，下薄荷煎成水一碗，再熬半时；取离火，再下乳香、轻粉、硃砂、麝香，搅匀倾入磁瓶内，放水三日去火毒。点时挑些须于酒杯中，或儿乳或梨汁少许，和之。有真片用些须于内尤佳，如无真者，不用亦可。

【注释】

①阳跷之脉：即阳跷脉。奇经八脉之一。起于足跟外侧，经外踝上行腓骨后缘，沿股部外侧和胁后上肩，过颈部上扶口角，进入目内眦，与阴跷脉会合，再沿足太阳经上额，与足少阳经合于风池。主要病候为目痛从内眦始，不眠。

②阴跷脉：奇经八脉之一。起于足舟骨的后方，上行内踝的上面，直上沿大腿内侧，经过阴部，向上沿胸骨内侧，进入锁骨上窝，上经人迎的前面，过颧部，到目内

眦，与足太阳经和阳跷脉相会合。主要病候为目痛，多眠，癰闭。

③ 眦：读作(qiū)，本指鼻子，这里指面颊、颧骨。如《素问·气府论》：“眦骨各一”。

④ 还阴救苦汤：载于《审视瑶函·心火乘金水衰反制之病》中，其方组成为升麻、苍术、甘草梢、桔梗、柴胡、防风、川羌活各五分，细辛二分，藁本四分，川芎一钱，当归尾七分，黄连、黄芩、黄蘗、生地黄、知母、连翘各六分，红花一分，龙胆草三分。其主治抱轮红、攀睛等眼病。

⑤ 番晓砂：即产于新疆、青海一带的晒砂。性味咸苦辛，温，有毒，具有消积软坚，破瘀散结之效。《唐本草》谓其：“去恶肉，生好肌。”《本草衍义》谓其“合他药，治目中翳。”

【述要】

此节主要论述了风热之邪客于奇经中的阳跷脉而产生的瘀肉（即胬肉）攀睛的病证。其表现为初起眼感涩痒，眦部赤脉丛生如缕，逐渐增厚为瘀肉，似昆虫翼状，瘀肉上生有黄赤脂，逐渐发展，横贯白睛、渐侵黑睛，甚者掩盖瞳神，影响视力。本病除用还阴救苦汤治疗外，还可用拨云退翳丸祛风散热，活血化瘀，清热解暑，疏风明目；用梔子胜奇散以清热解毒，活血消瘀，清肝明目，祛风散热；用磨障灵光膏点瘀肉处以活血解毒，去除瘀肉。若瘀肉红赤而厚，药物不能起效者，现多采用钩割法进行手术。本病相当西医之翼状胬肉。

为物所伤之症（十三）

阴阳应象大论曰：“邪风之至，疾如风雨，故善治者治皮毛”。若肉腠固，皮毛密，害从何来？今为物所伤，则皮毛肉腠之间，为隙必甚。所伤之际，岂无七情内移？而为卫气衰惫之原，三者俱召，风安不从？故伤于目之上下左右者，则目之上下左右俱病。当总作除风益损汤主之，兼服加减地黄丸。伤甚者，从权倍加大黄泻其败血。

除风益损汤：

当归 白芍 熟地 川芎各一钱 藁本 前胡

防风各七分

水二钟，煎至八分，大热服。兼治亡血过多之症。伤眉骨，病自目系而下，以其手少阳有隙，加柴胡；伤于额交巅、耳上角及脑者，

病自内眦而出，以足太阳有隙，加苍术；伤于耳后、耳角、耳前，病自客主人斜下，伤于颊者，病自锐眦而入，以其足少阳有隙，加龙胆草；伤于额角及巅者，病自目系而下，以其足厥阴有隙，加五味子；羞涩赤肿者，加黄芩；伤甚者，加大黄。

加减地黄丸见劳役饥饱症。

【述要】

此节主要论述了正气不足，七情内郁，卫气衰惫而又为所物伤造成眼之上下左右的病变。其治疗首选除风益损汤。方中当归、白芍养血调血；熟地大补精血；川芎祛风活血；藁本、防风、前胡合用祛风止痛，疏通经脉。其次可兼服加减地黄丸进行治疗。

伤寒愈后之症(十四)

伤寒病愈后，或有目复大病者，以其清阳之气不升，而余邪上走空窍也。其病癰涩赤胀，生翳羞明，头脑骨疼，宜作群队^①升发之剂饵之，羌活胜风汤主之；人参补胃汤主之；加减地黄丸主之。忌大黄、芒硝苦寒通利之药。

人参补胃汤：

羌活	独活	各六分	白芍	生地	泽泻	各三分	党参
云苓	炙草		白术	黄芪	熟地	归身	各四分

柴胡 防风 各五分

水二钟，煎至一钟，热服。

羌活胜风汤见风热症，加减地黄丸见劳役饥饱症。

【注释】

①群队：众多之意。

【述要】

此节主要论述了伤寒病愈之后，因正气不足，气血虚弱，清阳之气不能上

升，而余留之风寒之邪上扰清窍所致的眼病。其症状主要表现为两眼翳涩赤胀，生翳羞明，头脑骨疼等。所用方剂羌活胜风汤、加减地黄丸我们已在前面介绍过，这里不再介绍，现只谈人参补胃汤。方中羌活、独活、防风祛风散邪；泽泻、云苓健脾渗湿，使寒湿之邪从小便而去；黄芪、党参、白术、炙甘草益气健脾，扶正固本；白芍、生地、熟地、归身补阴养血；柴胡其性升散，上达目窍，具有疏解邪热之效。因本病属伤寒病后，元气不足，气血虚弱，故忌用大黄、芒硝等苦寒攻下之药。

强阳转^①实阴之症(十五)

强者盛而有力，实者坚而内实。故有力者强而欲转，内充者实而自收。是以阴阳无两强，亦无两实。强与实以偏则病，内转于身，上见于虚窍也。足少阴肾为水，肾之精上为神水。手厥阴心包络为相火，火强转水，水实而自收。其病神水紧小，渐小而又小，积渐之至，瞳神竟如菜子许，又有神水外围相类虫蚀者。然皆微觉眵躁羞涩，当早抑阳缓阴则愈，抑阳酒连散主之；还阴救苦汤主之。亦宜用啍鼻碧云散。

抑阳酒连散：

独活	生地	各四钱	黄柏	防己	知母	各三钱	蔓荆
子	前胡	羌活	白芷	生草	防风	各四钱	山梔
黄芩	酒炒	石膏	煅	黄连	各五钱		

为末，每服二钱，水二钟，煎至一钟，去渣，大热服。

还阴救苦汤见水衰反制症。

【注释】

①转：读作(tuán)，聚结之意。如《灵枢·五味》中云：“夫气转而不行者，积于胸中，命曰气海。”

【述要】

此节主要论述了强阳聚结实阴而产生的瞳神紧小症。因其瞳神属肾主

水，属阴，而瞳神内有神水充实，故名实阴。强阳火盛之邪与实阴相聚结，故瞳神自收变小。临床兼见眼痛隐隐，沙涩不爽，流泪羞明等症。治疗首选抑阳酒连散。方中生地补肾水，填真阴；黄连、黄芩、山栀、石膏泻火解毒，苦寒之性直折强阳之火邪；黄柏、知母泻相火、坚肾阴；防己苦寒，清利湿热，使热邪从小便而出；独活、羌活、白芷、防风升阳以散火，使升中有抑，抑中有升，相反相成，恰到好处；生草清火解毒，并能调和诸药。其次本病还可用于还阴救苦汤及搐鼻碧云散治疗。

亡血过多之症(十六)

六节藏象论曰：肝受血而能视。五脏篇曰：久视伤血。目之为血所养明矣。手太阴心生血，血荣于目。足厥阴肝开窍于目，肝亦多血，故血亡目病。男子吐血便血，妇人生后崩漏，亡之过多者，皆能致病。其病睛珠痛不能视，羞明癰涩，眼睫无力，眉骨太阳酸疼，芎归补血汤主之；当归养荣汤主之；除风益损汤主之；滋阴地黄丸主之。有热者加黄芩，妇人产漏者加阿胶，脾胃不佳加生姜复其血，更有养则愈，忌碱物。

芎归补血汤：

生地 天冬_{各四分} 川芎 牛膝 白芍 炙草
白术 防风_{各五分} 熟地 归身_{各六分}

水二钟，煎至一钟，温服。恶心不食加生姜煎服。

当归养荣汤见劳役饥饱症。

除风益损汤见物所伤症。

滋阴地黄丸见气为怒伤症。

【述要】

此节主要论述了因失血过多，血不能上养于目窍而致的眼病。治疗上首选芎归补血汤，方中生地、天冬滋阴养血；熟地、归身、川芎、白芍共同组成四物汤，重在补血调血；白术、炙草健脾益气，可使气血生化有源；因瘀血不去，新血不生，故用牛膝补肝肾，祛瘀血；防风祛风散邪；有热者可加黄芩清热解

毒；妇人产后漏下者可加血肉有情之品阿胶以大补精血；脾胃不佳者，可加生姜温脾和胃，以资气血生化之源。其次还可当用当归养荣汤，除风益损汤，滋阴地黄丸等方进行治疗。

痲疹余毒之症(十七)

痲疹乃胎中之毒，或因乳食内伤，或因湿热下溜，荣气不从，逆于肉理，毒气所僻伏^①者，乃为所发，五脏六腑皆病。七日齐^②，七日盛，七日谢^③，三七二十一日而愈。愈后有余毒而凝于目者，与风热不制之病，稍同而异。总以羚羊角散主之，便不结者减硝、黄；未满二十一日而病者，消毒化痲汤主之。

羚羊角散：

草决明 芒硝 升麻 防风 车前子 黄芩
黄芩 大黄酒炒 羚羊角细锉各等分

为末，每服二钱，水一钟，煎至半钟，去渣，温服。

消毒化痲汤：兼治痲痘初起已著，服之大能消毒。

柴胡 藁本 生地 连翘 细辛 黄柏酒炒
川连酒炒 当归 生草各四分 花粉 吴萸盐水浸泡 白术
苏木 陈皮 葛根各二分 麻黄 防风 升麻
羌活各五分 黄芩酒炒 苍术泔水洗 川芎各三分
水二钟，煎至一钟，去渣温服。

【注释】

①僻伏：隐藏潜伏。僻，本为偏僻，此含有隐藏之意。

②七日齐：指痲疹七天便出齐。

③七日谢：指痲疹毒邪盛极七天后，再过七天便消退。谢，本指凋落，此为消退之意。

【述要】

此节主要论述了痲疹愈后余热之毒上凝于目窍而致的眼病。治疗首选羚

羊角散，方中羚羊角清肝明目；草决明清热明目而疗目赤泪出；黄芪、升麻、防风益气升阳而祛邪外出；黄芩、大黄、芒硝清利余热之毒，使余热之毒从大便而去；车前子清肝明目，清利湿热，使湿热余毒从小便而出。此病若兼痲痘初起已显著者，可用消毒化痲汤升阳散火，祛风散邪，清热解毒、活血消痲。

深痲为害之症(十八)

卫气少而寒气乘之，元气微而饮食伤之，外乘内伤，酿而为痲。其病渴而易饥，能食而瘦，腹胀不利，作嘶嘶声，久而不治，遂生目疾。云雾渐生，睫闭不开，眵泪如糊，日久脓流，竟枯两目，何则？阳气下走也，阴气反上也。宜作升阳降阴之剂，茯苓泻湿汤主之。升麻龙胆草饮子主之。宜早治之。

茯苓泻湿汤：

柴胡	白术	甘草 ^炙	蔓荆子	党参	枳壳
茯苓	薄荷 ^{各二分}	前胡	苍术	独活 ^{各三分}	川芎
防风	羌活 ^{各三分半}	泽泻 ^{一分半}			

水一钟，煎至六分，去渣温服。

升麻龙胆草饮子：

羌活	黄芩 ^炒	胆草	蛤粉 ^{各五分}	蛇退 ^焙	炙草
谷精草	郁金 ^{各三分}	麻黄 ^{一分半}	升麻 ^{二分}		

作细末，每服二钱，热茶调下，作汤药服亦可。

【述要】

本节主要论述了卫气不足，元气衰微，外为寒气侵袭，内为饮食所伤而造成的深痲之症。其表现为两目云雾渐生，睫闭不开，眵泪如糊，日久流脓，甚者两目干枯。其治疗可首选茯苓泻湿汤，方中党参、白术、炙甘草益气健脾；茯苓、泽泻、苍术渗湿利水，燥湿健脾；柴胡、川芎合用，疏肝行气，祛风行血；枳壳宽中行气；羌活、独活、蔓荆子、前胡、防风、薄荷引清阳上升，祛风胜湿。诸药合用，可使卫气足、元气复、寒气散、饮食消，深痲为害造成的目疾将会痊愈。若寒气入里化热，可用升麻龙胆草饮子以清肝解毒，透热明目，升阳散邪。

以上一十八症，汤剂丸散四十二方，辨理分明，用药详细。虽云一十八症，即为一百八症之纲领。学者若熟读，心会神悟，则变通施治，因病用药，不但一百八症，医治无误人之失，即千症万症，左右逢原，亦可以运用而无难矣。

【述要】

最后作者简明扼要地总结了上述眼科十八症及其中方药的重要性，强调应对其熟读精思，心会神悟，只有这样才能变通施治，因病用药。

眼科启蒙 卷二

目症外障(一至四十)

天行赤热^①症(一)

此症乃天时流行,热邪感染,人或素有目疾及痰火热病,水少元虚者。尔我传染不一,若感染轻而本源清,邪不胜正者,七日自愈。盖火数七,七日火气尽,故愈。七日不愈,而二七日者,乃再传也。二七不愈者,必其触犯及本虚之故,须防变生他症,宜早服。

驱风散热饮:

连翘 牛蒡_{炒研} 羌活 薄荷 大黄_{酒炙} 赤芍
防风 归尾_{酒洗} 炒栀 川芎_{等分} 生草_{少许}

少阳症加柴胡_{五分},少阴症加黄连_{三分}。

水二钟,煎至一钟,食远,热服。

桑白皮散:治白睛肿疼,心胸烦闷。

旋覆花 枳壳_炒 杏仁_{去皮尖} 桑白皮 天花粉
元参_{酒炒} 生草 甜葶苈 菊花 黄芩_{酒炒} 防风_{等分}

同为末,每服四钱,水一钟半,生姜三片,煎至八分,食后服。

泻热黄连汤见首卷。

【注释】

- ①天行赤热:又名天行赤眼。为感受天行时气毒邪所致的一种白睛红赤肿痛的眼病,多双眼受累。由于你我相传,易致广泛流行。多发于春、秋季节,预后尚好,视力多无损。若类及黑睛,可致生翳,轻者无妨,重者雾视。类似今之急性传染性结膜炎。

【述要】

此节主要论述了感受天时流行风热毒邪而致的天行赤热眼病。其临床表现为眼症骤起，目热灼痛，白睛红赤，胞睑微肿，痒痛交作，怕热羞明，眵泪粘稠，甚则流淡红血泪，黑睛生翳等。可首选驱风散热饮治疗。方中连翘、牛蒡子、炒栀子清热解毒；大黄泻火通便，使毒邪从大便而去；羌活、防风、薄荷疏风散邪；赤芍、归尾、川芎凉血活血，消瘀祛邪；生草解毒和中。若少阳胆火炽盛，可加柴胡五分以清肝利胆；若心火炽盛，可加黄连三分以直清心火。其次若兼白睛肿痛明显，心胸烦闷者，可用桑白皮散宣肺泻热，宽胸利气，清热解毒，祛风散邪。临床上常常根据实际情况在上述两方中选加大青叶、蒲公英、板兰根等清热解毒之品。本病因传染性强，应注意预防，避免广泛流行。对患者使用过的手帕、面巾及接触过的器具要隔离消毒。

暴风客热^①症(二)

此症与天行赤热不同，乃素不保养，燥急劳苦，客感风热，卒然而发。有肿胀，乃风热夹攻，火在血分之故。宜服

局方洗心汤：热胜者服。治热气上冲，眼涩睛痛，鼻寒喉肿，咽干口渴，大小便不利等症。

荆芥 生草 当归 大黄_炙 赤芍 麻黄_{各六钱}
白术_{五钱}

同为末，每服二三钱，生姜、薄荷汤煎服。

洗肝散：风热俱盛者服。

薄荷 当归 羌活 炙草 炒栀 防风 熟军
川芎_{各等分}

同为末，每服二三钱，食远，白滚水调下。

羌活胜风汤：风胜者服。见首卷。

【注释】

①暴风客热：是指因风热之邪突然入侵，眼部暴发白睛红赤焮肿的病症。本病好发

于盛夏酷暑季节，虽可以相互传染，但不广为流传。若病情加重，可致黑睛生翳，甚至导致黑睛溃陷。本病类似今之细菌性结膜炎。

【述要】

此节主要论述了因突然感受风热之邪，眼部暴发白睛红赤焮肿的暴风客热症。其临床主要表现为骤然眼痛，刺痒交作，羞明难睁，热泪频流，甚者带血，眦多似脓，晨起眼睑胶封难睁。胞睑红肿，白睛红赤，甚者白睛红肿隆起高于黑睛。也可兼见鼻塞喉肿，咽干口渴，大小便不利等症。若热胜于风，热气上冲，眼涩睛痛，鼻塞喉肿，咽干口渴，大小便不利者，可用局方洗心汤。方中大黄清热解毒，泻火通便；当归、赤芍凉血行血，调血消瘀；荆芥、麻黄、生姜、薄荷祛风散热，透邪外出；白术、甘草健脾益气，以资气血生化之源而抵御外邪。若风热俱盛可用洗肝散祛风散热，解毒通便，养血活血。若风邪偏胜者可用羌活胜风汤治疗。此外，若热邪炽盛，眼部焮痛难睁，怕热畏光，泪热多眦，胞睑红肿，白睛红赤者，可用黄连解毒汤加减以泻热解毒。

火胀大头^①症(三)

此症目疼头重，皮内燥赤，状若大头瘟。夏月多有此病，有湿热、风热二症，湿热多泪皮烂，风热多胀痛而憎寒。若失治，则血滞于内，虽肿消，目必有变症矣。宜服

普济消毒饮：

黄连 黄芩 各五钱 僵蚕 炒一钱 薄荷 牛蒡子 连翘 橘红 板兰根 黑参 柴胡 桔梗 生草
马屁勃 升麻 各二钱 党参 三钱

同为末，半用滚水调，时时服之，半用蜜丸噙化之。

住痛解毒丸：

硼砂 五钱 没药 五钱 川芎 荆芥穗 炒 朴硝 白芷
石膏 家菊 各一钱 麝香 少许若有痧症忌用

同为细末，米糊为丸，如桐子大，每服一钱半，不拘时，温汤送下。

【注释】

- ①火胀大头：眼科病名，多因时行风火，湿热邪毒侵及六阳经所致。其症状像大头瘟，临床多表现为头面浮肿，目疼头重，两目羞明赤涩，泪如热汤，头面皮肤燥热红赤。若湿热重者，表现为多泪而眼睑湿烂；若风热重者，多见眼部胀痛而恶寒。本病多发生于夏季。

【述要】

本节主要论述了因时行风火、湿热邪毒侵及头面部所致火胀大头之症。本病可首选普济消毒饮以清热解毒，疏风散热。方中黄芩、黄连、板兰根、连翘清热解毒；薄荷、牛蒡子、桔梗、僵蚕疏风散热，因势利导；玄参（黑参）、马屁勃、生甘草清热消肿，解毒调中；柴胡、升麻解郁散火；橘皮利气行滞，有利于气机疏利而肿胀消退；党参扶正祛邪。本方升中有降，凉而不郁，既体现出治病求本之法，又显示了因势利导之道，同时还可配合服用住痛解毒丸以清热解毒、祛风散热，活血消肿。本病有一定的传染性，应注意预防，对患者使用过的器具应隔离消毒。

怕热羞明症（四）

此病原在心肝脾三经，总而言之，不过火燥血热。病在阳分，是以见亮而流泪涩痛，怕热有余之病，羞明不足之症。若目不赤痛而羞明者，乃血分不足，胆汁少而络弱，故不能敌阳光也，宜服点

明目细辛汤：治目赤痛，羞明，怯风，眵多，唾稠，大便硬。

川芎	四分	藁本	归身	云苓	各五分	红花	细
辛	各二分	蔓荆子	生地	各六分	防风	荆芥	各一钱
椒	十粒	麻黄	八分	桃仁	去皮尖十个		蜀

水二钟，煎至八分，临卧温服。

连翹饮：兼治目赤沙涩，小角紧^①，迎风流泪。

连翹	红葵花	当归	党参	生草	生地	蔓
荆子	各五分	升麻	八分	黄芪	防风	酒黄芩
羌活	各七分	柴胡	二分			

水二钟，煎八分，食远，温服。

吹云膏：

防风 青皮 连翘各四分 生地一钱五分 细辛一分
柴胡五分 生草 归身各六分 黄连三钱 蕤仁去皮尖 升
麻各三分 荆芥穗一钱煎液汁用

上除连翘外，用净水二碗，先熬诸药去半碗，入连翘熬至一大盏，去渣，入磁器内，熬至滴水成珠，加熟蜜少许，日点之。

决明益阴丸见首卷。

【注释】

①小角紧：即眼部小眦角有紧绷感。

【述要】

此节主要论述了火躁血热或血虚而引起的怕热羞明症。其表现为见明亮而流泪涩痛，目赤微痛，常欲闭目，喜在暗室，眇多怕热，若血虚者则目不赤痛。血虚者可用决明益阴丸养血调血，清肝明目，泻火坚阴，祛风散热，也可用吹云膏点眼以滋阴养血，清热解毒，祛风散热，疏肝明目。若目赤痛，羞明，怯风，眇多，唾稠，大便硬，可用明目细辛汤滋阴润燥，活血化瘀，祛风散热，止痛明目。方中生地、归身滋阴养血润燥；川芎、红花、桃仁活血化瘀，润肠通便；蕤本、荆芥、蔓荆子、防风、麻黄祛风散热；细辛、蜀椒温经止痛，通利目窍；云苓健脾利湿，以资气血生化之源。若兼目赤沙涩，小眦角紧绷，迎风流泪，可用连翘饮清热解毒，滋阴养血，益气固本，祛风散热进行治疗。

睑硬睛痛^①症(五)

此病不论有障无障，但两睑坚硬而睛痛。若头痛者，尤急。乃风热在肝，肝虚血少，无水以济火，火乘虚而入。会^②痰燥湿热，睛因火击而痛，轻则内生椒疮，重则瘀血贯睛。治当敷软，翻脾开道出血，或头疼脑胀不退，必生他症。宜服

二术散：

蝉退 胆草 黄连 枸杞 苍术 地骨皮 白

术 丹皮_{各等分}

为细末，每服一钱，食后荆芥穗汤调下。

熖^⑧肿膏：

膩粉_炒 黄蜡 赭石_{各五钱研} 细磁末 黄柏_末 麻

油_{各一两}

同为细末，入铜杓内，入油蜡同煎为膏，涂于睑硬处。

【注释】

- ① 睑硬睛痛：眼科病名。多为肝虚血少，风热或痰火湿热之邪侵袭目窍而致的胞睑肿硬，目睛疼痛的病患。即今之沙眼之主症。
- ② 会：适逢。
- ③ 熖：读作(xié)，本为火迫或用火熏灼之意，此为消除之意。

【述要】

此节主要论述了因肝虚血少、风热或痰火湿热之邪侵袭目窍所致的睑硬睛痛症。其表现为胞睑发热，目睛疼痛，沙涩羞明，胞睑肿硬，轻则胞内脉络模糊，两眦细小颗粒丛生，色红而坚，状如花椒，甚者瘀血贯睛。宜服二术散治疗，方中黄芩、胆草清热泻火；苍术、白术燥湿健脾；地骨皮、丹皮、枸杞滋阴凉血，补血养肝；蝉衣、荆芥穗透热明目，祛风散邪。同时还可配合熖肿膏外涂于胞睑肿硬处以消肿止痛，软坚散结，清热燥湿。本病根据症状表现，即今之沙眼。是由沙眼病毒引起的一种慢性传染性眼病，可并发赤膜下垂、睫毛倒入、上胞下垂、睑粘睛珠、流泪眵漏、黑睛混浊、眼睛干燥等病症。最终会严重危害视力，是致盲的重要原因之一。应采用中西医结合的治疗方法，可局部点磺胺类或广谱抗生素类眼液；对睑内颗粒累累，滤泡多者，可用摩擦法或挤压法；活动范围广者，可服磺胺类药物；有并发症者，针对并发症处理。

赤痛如邪^⑨症(六)

此症目病而赤疼，头痛，寒热交作，如风寒疟疾之状，一年数发。乃肝肾俱虚，热在内而阴虚火动。寒者荣卫虚损，外之腠里不实而觉寒。若作疟疾治，而用刚剂，病必愈深。宜服

十珍汤：滋阴降火，养血清肝。

生地_{酒洗二钱} 归身_{酒洗钱半} 白芍_{酒炒} 知母_{盐酒炒} 地骨
皮_炒 丹皮_{童便炒} 天冬 麦冬_{各一钱} 甘草_梢 党参_{各五分}

水二钟，煎八分，食远，温服。

酒调洗肝散：治实热攻眼，时时疼痛。

黑玄参_{酒炒} 熟军 黄芩 炒梔 生地 知母
桔梗 归尾 元明粉_{各等分}

为细末，每服二三钱，食远，温酒调下，早晚各一服。

【注释】

- ①赤痛如邪：眼科病名。指两目红赤疼痛，寒热交作，如感受寒热疟疾之状。多因肝肾阴虚，荣卫虚损，热邪上扰目窍所致。

【述要】

此节主要论述了因肝肾阴虚，荣卫虚损，热邪上扰目窍所致的赤痛如邪症。其表现为两目红赤疼痛，头痛，寒热交替发作，如风寒疟疾之状。本病下虚上实、里急外疏。治疗宜首选十珍汤以滋阴降火、养血清肝、益气固表。若实热攻眼，时时疼痛者，可用酒调洗肝散凉血养肝，清热解毒，泻火通便。

疼如针刺症（七）

此症谓目珠疼如针刺，乃病在心经，火实有余，须别其痛在何部位，以见病将犯其经矣。气虚目劳，兼有淋浊之人，多有此症。宜服

加减八正丸：治心热目赤，肿疼，热泪，羞明，兼治一切邪热蕴毒。

滑石 生草_梢 熟军 木通 瞿麦 车前子
炒梔 扁蓄_{各等分}

同为末，每服五钱。水二钟，灯心一撮，煎至八分，温服。若虚弱人去大黄，加生地、桑皮、苦竹叶以清之。

【述要】

此节主要论述了心经实火上扰目窍或下焦湿热之邪上扰目窍所致的两目疼如针刺的病症。其表现为目珠疼如针刺，两目红赤肿疼，心中烦热，泪热羞明，可兼见口舌生疮，小便赤涩等症。治疗可用加减八正丸以泻火解毒，清热利湿。

大小雷头风^①症(八)

此症不论偏正头痛，但挟风痰而来，疼如斧破锥刺，身热便结者，名曰大雷头风。若头疼，大小便先利而后结者，名曰小雷头风。大者害速，小者稍迟。虽大小不同，而治则一。若失之缓，瘀滞至甚，必有目损爆出之患。宜服

清震汤：治发热恶寒，口渴者服。

升麻 赤芍 生草 荆芥穗 葛根 薄荷 黄芩
荷叶 苍术各等分

水二钟，煎至八分，热服。

加味调中益气汤：治气血俱虚，头疼神效。

黄芪蜜炙一钱 升麻 细辛各三分 广皮四分 广木香二分
川芎 党参 炙草 当归 蔓荆子 苍术 柴

胡各五分

水二钟，煎至八分，热服。

将军定痛丸：治巅顶疼，挟湿痰实者，动即眩晕用之。

黄芩酒炒七钱 僵蚕 陈皮盐煮去白 天麻酒洗 桔梗各五钱
礞石煨 白芷各二钱 薄荷三钱 熟军二两 半

夏姜汁牙皂煮焙干

为细末，滴水为丸，如绿豆大。每服一钱，临卧清茶下。

【注释】

①雷头风：病名。因由目疾引起头部剧痛，痛极自觉头中似轰轰雷鸣，故名。首见于《素问病机气宜保命集·大头论》，多由风邪外袭或痰热生风引起。其表现为头痛如斧劈，两目若锥钻，身如火炙，大便不通，小便赤涩，痛不可禁等，依症状之缓急可分为大雷头风、小雷头风。

【述要】

此节主要论述了因风毒、痰火升扰头部，损及目窍的雷头风。临床多表现为头部突然痛如斧劈，自觉头中轰响似雷声，自觉两目若锥钻或目赤肿痛欲裂，可一眼先病，瞳神或大或无改变。可兼有恶心呕吐，憎寒壮热等症。若兼恶寒发热、口渴者，可用清震汤清热解毒，疏风散热，燥湿化痰；若气血俱虚者，可用加味调中益气汤益气补血，健脾行气，通络止痛；若痰湿阻滞，巅顶疼痛，动即眩晕者，可用将军定痛丸燥湿化痰，祛风平肝，通腑泻热。本病若治不及时，可出现瞳神散大，目赤珠硬之绿风内障，也可出现白睛混赤特甚，瞳神大小正常，但瞳内气血不清，有脓汁等积于睛内者。本病可出现于现代医学之急性充血性青光眼，眼内急性化脓性炎症等。

左右偏头风^①症(九)

此症或左边头疼，或右边头疼，久则左痛伤左目，右疼伤右目，或左损攻右，右损攻左，两目俱伤者，凡左右相攻。从内起，止于脑，则攻害迟；痛从脑起，止于内，则攻害速；若痛从中间发，及眉棱骨内上星中发者，两目必坏。亦各因人之触犯感受，左右轻重不同，风之害人甚矣哉！宜服

羌活芎藭汤：治太阳经头痛，夜热恶寒。

半夏_{姜炒} 杏仁_{去皮尖} 羌活 藁本 川芎 防风
云苓 生草 白芷 麻黄 广皮 桂枝_{各等分}

水煎，温服。内热加炒黄芩、薄荷、生姜三片，煎服。

柴芎汤：治少阳经头风疼痛，寒热而呕。

川芎 云苓 柴胡 薄荷 细辛 半夏_制 黄
芩 炙草 蔓荆子 广皮_{各等分}

生姜三片，水二钟，煎八分，食后服。

苍术汤：治太阴经风头痛，并腹满不食。

苍术 白芍 枳壳 云苓 白芷 广皮 川芎
半夏_炙 升麻 炙草_{各等分}

生姜一二片，水二钟，煎至八分，食后服。

吴茱萸汤：治厥阴经风头痛，四肢厥，呕吐痰沫。

半夏_炙 吴茱 川芎 炙草 党参 云苓
白芷 广皮_{各等分}

生姜三片，水二钟，煎至八分，食后服。

细辛汤：治少阴经风头痛，四肢厥，但欲睡者。

细辛 广皮 川芎 半夏 独活 云苓 白芷
炙草_{各等分}

生姜三片，水二钟，煎至八分，食后服。

升麻芷葛汤：治阳明经风头痛，身热口渴者用。

升麻 干葛 白芷 薄荷 石膏 广皮 川芎
半夏_炙 生草_{各等分} 生姜_{三片}

水二钟，煎至八分，食后服。

【注释】

①偏头风：病名。多因风邪侵袭或痰火郁结，上扰目窍及相关头部而引起头部一侧性疼痛。根据疼痛的部位可分为左偏头风、右偏头风。

【述要】

此节主要论述了因风邪侵袭或痰火郁结而致的左右偏头风症。临床多表为一侧性头痛，相应的一侧或另一侧目痛，也可有两目疼痛，目赤泪涩或视物昏渺眩晕等。若兼太阳经头痛，夜热恶寒者，可用羌活芎藭汤祛风止痛，燥湿化痰；若兼少阳头风疼痛，寒热而呕，可服柴芎汤和解少阳，疏风清热，燥湿化痰；若兼太阴经风头痛，并腹满不食者，可用苍术汤燥湿健脾，化痰行气；若兼厥阴经风头痛，四肢厥，呕吐痰沫者，可用吴茱萸汤温中回阳，健脾化痰，和胃

止呕；若兼少阴经风头痛，四肢厥冷，但欲睡者，可用细辛汤散寒止痛，祛风活络，化痰行气，燥湿健脾；若兼阳明经风头痛，身热口渴者，可用升麻芷葛汤清热生津，祛风止痛，行气化痰。本病的辨证必须以眼病为主，结合全身症状辨证论治。此种眼病引发的头痛可出现于现代医学之青光眼、闪烁性暗点、眼肌麻痹，或某些颅内肿瘤。

阴邪风^①症(十)

此症专言额角板骨，及眉棱骨疼，发则多于六阳用事之时。元虚精弱者，为内症；若兼火者，则为外症。宜服

加味柴胡汤：

柴胡 酒芩 荆芥穗 半夏^炙 生草 川芎
白芷 薄荷 防风 前胡^{各等分}

生姜三片，水二钟，煎至八分，食后服。

生熟地黄汤：治目昏，眉骨疼。此是肝虚，当养血凉血。

熟地 生草 生地 五味子 归身 酒芩 枳
壳 天冬 地骨皮 柴胡 党参^{各等分} 川连^{酒炒少许}

水二钟，煎至八分，食远服。

驱风上清散：治风热上攻，眉骨痛。

酒芩^{二钱} 白芷^{一钱半} 羌活 防风 柴胡^{各一钱} 川
芎^{一钱二分} 荆芥^{八分} 生草^{五分}

为细末，每服四钱，水二钟，煎至八分，去渣，食后服。

上清散：治风头疼及眉骨眼眶痛甚者。

乳香^研 没药^{研各一钱} 赤芍 川芎 薄荷 芒硝
荆芥穗 郁金^{各五分}

同为细末，每用一字，口噙水，鼻内吹之，甚妙。

【注释】

①阴邪风：病名。是指因眼疾而引起的额角板骨及眉棱骨疼痛，或因额角板骨及眉棱骨疼痛而导致的眼疾。本病内症多为元虚精弱，外症多为风热火邪。

【述要】

此节主要论述了因人体元虚精弱或受风热火邪侵袭所致的阴邪风。临床以眼疾兼额角板骨及眉棱骨疼痛为诊断要点。治疗首选加味柴胡汤。方中柴胡、酒芩疏肝泻热；荆芥穗、防风、川芎、白芷、薄荷祛风止痛，升阳散热；前胡、半夏、生姜宣散风热，和胃降逆。若肝虚而目昏，眉骨痛者，可用生熟地黄汤以滋阴养血，凉血解毒，益气调中，疏肝行气；若风热上攻，眉骨痛者，可用驱风上清散疏风清热，祛风止痛；若因风头痛及眉骨眼眶痛甚者，可用上清散鼻内吹之以活血化瘀，祛风止痛。本病可见于现代医学中之屈光不正、眼球运动功能失调、角膜溃疡以及由前组副鼻窦炎引起之眼疾，如虹膜睫状体炎、球后视神经炎、眶内急性炎症等。

阳邪风^①症(十一)

此症专言脑后枕骨痛^②及脑昏痛，感痰湿风寒在脑也。多发于太阴用事之日，发则有虚昏耳鸣之患，久而不治，内障成矣。宜服

防风羌活汤：

防风 羌活 半夏^{姜炒} 酒芩 南星^{姜制} 细辛
白术 炙草 川芎^{各等分}

水二钟，煎至八分，食后热服。

子和搜风散：治风热上攻，头痛耳鸣，痰嗽，二便涩滞。

党参 云苓 南星^{姜炙} 薄荷^{各五钱} 酒芩 半
夏^{姜炙} 干姜 石膏 蛤粉 熟军 白矾^{各一两} 牵牛
滑石^{各一两} 藿香^{二钱}

同为末，水叠为丸，如桐子大，每服二三钱。量其虚实酌用，生姜汤送下，日三服。虽云搜风，其实湿热痰症药也。

磁石丸：治以上头风变为内障。

磁石^{烧红醋淬三次} 炒姜 五味子 丹皮 黑参^{酒炒各一钱}
附子^{炮二钱}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服十丸，食前茶清送下。

【注释】

①阳邪风：病名。是指因眼疾而引起的枕部疼痛，或因枕部疼痛而导致的眼疾。本病多因感受痰湿，风寒之邪所致。

②脑后枕骨痛：原作“眉棱骨”，今据《审视瑶函》改。

【述要】

此节主要论述了多因感受痰湿、风寒之邪所致的阳邪风症。临床以眼疾兼头后枕骨疼痛为要点。若兼眉棱骨疼及脑昏痛，可用防风羌活汤治疗。方中羌活、防风祛风散寒止痛；半夏、南星燥湿化痰；川芎、细辛活血通络、散寒止痛；白术、炙草健脾益气；酒芩活血解毒通络。若风热上攻，头痛耳鸣，痰嗽，二便涩滞者，可用子和搜风散以搜风通络，清热解毒，燥湿化痰，益气健脾。若以上头风变为内障者，可用磁石丸以养肾益阴，聪耳明目，清热解毒，凉血化瘀，温肾回阳，生津敛阴。本病可见于现代医学之眼集合力不足，或因调节障碍引起的视疲劳，或因蝶窦疾病所导致之目疾，如视神经炎、眼外肌麻痹等。

色似胭脂^①症(十二)

此症白睛不论上下左右，但见一片犹如胭脂，或一点红者，即是此症。乃血热妄行，不循经络，偶然热客肺膜之内，滞而成患；或有因久嗽而起者，皆肺气不清之故。宜清肺散血之剂，兼用点药逐之。宜服

退赤散：

桑白皮_{蜜炒} 生草 丹皮 酒芩 天花粉 桔梗
赤芍 归尾 瓜蒌仁_{去油为末各五钱}
为细末，每服二钱，麦冬煎汤调服。

【注释】

①色似胭脂：病名，又名白睛溢血。为白睛表层出现点状或片状之鲜红色出血，甚至遍及白睛，色似胭脂，故而得名。多因热邪客于肺经，肺气失宣，遏郁白睛，塞滞目络，血不循经，迫溢络外，瘀留白睛所致。本病相当于今之结膜下出血。

【述要】

此节主要论述了热邪客于肺，遏郁白睛所致的色似胭脂症。临床主要表现为目无肿痛，仅见白睛表面某处呈点状或片状出血，大小不等，边界清楚，甚者遍及白睛，色似胭脂，治疗宜选用退赤散。方中桑白皮、黄芩、天花粉、瓜蒌仁清肺泻热；丹皮、赤芍、归尾凉血消瘀，活血通络；桔梗、生甘草宣肺利咽，桔梗并能载药上行。

赤丝虬脉^①症(十三)

此症气轮生赤丝虬脉，或因目病初起失养，致血滞于络而热赤者。其病生在气轮白珠，有丝脉纵横，或稀密粗细不等。但久而不愈，非诸赤热之比，若只赤虬昏昧，涩紧不爽，或有微湿热者轻，因犯传变者重。凡见目中有赤脉乱紫，内服外点，点服不退者，须揭开上脾深处看之，其内必有不平之形，因其滞而略刺出血，不可太过。宜服

退热散：

赤芍 黄连_炒 木通 生地 炒梔 黄柏_{盐水炒}
酒芩 归尾 生草 丹皮_{各等分}

同为末，每服五钱，水二钟，煎八分，去渣热服。

蕤仁膏：点风热赤脉，痒痛不定。

蕤仁_{—去壳去油去霜五钱} 好酥_{—栗子大}

上将蕤仁与酥和匀，研摊碗内，用艾一小团，烧烟起，将碗盖烟上薰，烟尽即止，再研匀，每以麻子大，点眼两眦日二次。

【注释】

①赤丝虬脉：病名，又名赤丝乱脉，亦称白睛乱脉。为白睛赤脉纵横，粗细不一，条缕分明，虬蟠旋曲的病症。多因热邪蕴扰白睛之血络所致。

【述要】

此节主要论述了因热邪蕴扰白睛之血络所致的赤丝虬脉症。临床主要表

现为两眼干涩刺痒，灼热泪出，眼睑沉重，不耐久视或视物昏蒙。白睛表层赤脉纵横，或稀密粗细不等，甚者虬脉粗直，虬蟠旋曲。治疗首选退热散。方中黄连、酒芩、黄柏、栀子清热解毒；生地、赤芍、丹皮、归尾养阴凉血，活血化瘀；木通、生草利湿解毒，使湿热之邪从小便而去。若风热赤脉，痒痛不定可用蕤仁膏点眼之两眦。

白眼涩痛^①症(十四)

此症俗呼白眼，不肿不赤，只是涩痛，乃气分隐伏之火，脾肺之络湿热所致，秋日多患此。宜服

桑白皮汤：

桑皮 去红钱半 泽泻 黑玄参 各八分 生草 二分半 麦冬 去心 酒芩 各一钱 菊花 五分 地骨皮 桔梗 云苓 各七分
水二钟，煎至八分，温服。

【注释】

①白眼涩痛：简称白涩。系指白睛不肿不赤，两目刺痛微痒，怕见强光，沙涩昏蒙的病症。多因风热客留于肺，或湿热隐伏于脾，上犯于目所致。

【述要】

此节主要论述了因风热客留于肺或湿热隐伏于脾所致的白眼涩痛症。临床多表现为白睛不红不肿，两眼干燥涩滞，刺痛微痒，频频眨眼，怕见强光等。治疗宜用桑白皮汤。方中桑白皮、黑玄参、酒芩清肺泻热；麦冬、地骨皮、菊花滋阴清热、养肝明目；泽泻、云苓健脾利湿；桔梗、生草宣肺解毒。本病可见于今之慢性结膜炎、结膜干燥症、视疲劳、泪腺萎缩、浅层点状角膜炎等。

白珠俱青^①症(十五)

此症乃白睛而变青蓝色，其害甚急。盖气轮本白，被郁邪蒸逼，走入珠中，膏汁游外，入于气轮之中，故色变青蓝。瞳神必有大小之患，失治则瞳神损矣。宜服

还阴救苦汤见首卷。

天麻汤：

天麻 菊花 川芎 归身 羌活 白芍 生
草 各一钱

水二钟，煎至八分，食后热服。伤寒症后白睛青者，入柴胡、麦冬、黄芩、天花粉。毒气所攻白睛青者，加黄芩、牛蒡子、连翘、黄连。

【注释】

①白珠俱青：病名，又称白睛青蓝或目珠俱青。系指白睛变成青蓝色，或白睛深层有紫蓝色或青灰色斑，多因热毒火邪郁结白睛所致。类今之巩膜炎后遗症或急性穿孔性巩膜软化症之早期。

【述要】

此节主要论述了因热毒火邪郁结所致的白珠俱青症。临床主要表现为感受热毒或火疳后期，白睛某处呈现紫红色突起，病变处变薄，呈紫蓝色或蓝色，历时数周，严重者破溃或穿孔，影响目力。治疗除用还阴救苦汤清热解毒，活血祛风外，还可用天麻汤加减以清热解毒，祛风活血，清肝明目。

痒如虫行^①症(十六)

此症如虫行之痒，不可忍。须验目上有无形症，决其病之进退。至于有障，皆有痒极之患，病源非一。大抵有病久不治而作痒者，痒一番则病重一番。若医治后而作痒者，病退之兆。若有病，时时作痒，觉低陷者，命亦不久。泪多者，血虚有火。大抵痛为实，痒为虚。宜服

驱风一次散：

川乌 川芎 荆芥 各五钱 羌活 防风 各二两半

为细末，每服二钱，食后薄荷汤调下。

重明汤：治目赤肿痒，破烂生疮，多眵沙涩。

防风 川椒 胆草 生草 细辛 各等分

上用水一大碗，慢火煎至半碗，清汁带热洗，日用五七次。

【注释】

①痒如虫行：是指眼中奇痒难于忍耐，若毒虫爬行的病症。多因感受风毒、湿热之邪或血虚所致。此病可出现于今之春季结膜炎、眼睑或结膜过敏性炎症、慢性结膜炎、睑缘炎等。

【述要】

此节主要论述了因风毒、湿热或血虚所致的痒如虫行症。其主要表现为目痒之极，若毒虫爬行，难于忍耐，眼中可无形症，也可有目赤红肿，破烂生疮，多眵沙涩等症。若为风邪所致，目痒极难忍者，可用驱风一字散驱风止痒；若为风热湿毒所致，目赤肿痒、破烂生疮、多眵沙涩者，可用重明汤以祛风止痒，清热解毒。

肿胀如杯^①症(十七)

此症目赤肿，脾胀如杯覆，是邪火有余，肝木受克，而火不能生，故火邪反乘虚而为炙燥之疾。其珠必痛而脾坚硬，重则痰滞塞目，血贯瞳神。须用开导，轻则敷治而退，若导敷不退，连头脑肿起，此风热成毒也。宜服点

散热消毒饮：

牛蒡子_{研炒} 羌活 酒连 酒芩 薄荷 防风

连翘_{各八分}

水二钟，煎至八分，食后温服。

金丝膏：点目赤肿痛。

黄连 胆草 大黄 黄柏 当归 梔仁_{各一两}

乳香_{去油研} 明硼砂 灯心_{各二钱半} 竹叶_{一百片} 大枣_{二十枚}

上用水五碗，不拘冬夏，浸一日，在磁器内慢火熬滓尽汁出，滤去渣，再熬成膏，入炼过好蜜半斤，再熬至挑起，有丝则止。用磁瓶收贮，每取一茶匙，点眼大角。

【注释】

① 肿胀如杯：病名，又名胞肿如桃。是指胞睑红赤焮肿，肿胀如杯子覆盖或臃起如桃的病症。多因风热毒邪客于胞睑肌肤之间，集聚成肿。或肝经实热传于脾土，毒火自内上攻，发于胞睑所致。本病类似于今之眼睑重型炎性水肿，可见于全眼球炎、眶蜂窝组织炎、海绵窦血栓形成等病。

【述要】

此节主要论述了因风热毒邪或肝经实热所致的肿胀如杯症。临床主要表现为初起胞睑红肿，疼痛难睁，痛连头额及目眶，热泪频流，怕热羞明。继而眼胞肿胀焮赤，如杯覆，似红桃。白睛亦可赤肿高起，甚者黑睛溃烂，目珠前突，转动失灵。治疗可用散热消毒饮疏风散热，清热解毒。若目赤肿痛者，可用金丝瓜点眼大角以清热解毒，祛瘀消肿。

状若鱼胞^①症(十八)

此症气轮肿起，不紫不赤，或水红，或白色，状若鱼胞。乃气分之病，须服清凉之药，自然消复。若头痛泪热，及内燥赤脉多者，防有变症。急服

元参饮：治肺经积热，白睛肿胀，遮盖瞳神。

元参 防己 升麻 羚羊角 沙参 车前子
炒栀 桑白皮 熟军 火麻仁 杏仁 各五分

水二钟，煎至八分，食后热服。

洗眼青皮液：

蕤仁 捶碎 桑白皮 青皮 各一钱 元参 大黄 杞
子 各五分 青盐 一分另八 竹叶 十片

水二钟，煎至一钟，滤去渣，入盐，微热洗眼皮上下。

【注释】

① 状若鱼胞：病名，是指白睛肿起，色白或淡红，形似鱼腹中之鱼鳔，故而得名。多因风热伤气，上犯目窍，余邪壅遏白睛，气机不利，滞积为肿。本病类似今之非炎症性球结膜水肿，常见于血管神经性水肿、颅内肿瘤、搏动性眼球突出，眼外伤或

全身性疾病，如心脏病、肾脏病、突眼性甲状腺机能亢进等所引起的球结膜水肿。

【述要】

此节主要论述了因风热疔气侵入肺经，上犯目窍，壅遏白睛所致的状若鱼胞症。临床主要表现为自感眼睛沙涩不爽，似异物入目，泪流难睁，白睛肿胀隆起，形似鱼腹中之鱼鳞，色白或呈淡红。若白睛肿胀，高于黑睛，头疼泪热，内燥赤脉多者，应高度重视，以防变为他证。若属肺经积热，白睛肿胀，遮盖瞳神者，可用元参饮以宣肺泻热，清肝明目，利水消肿。若白睛肿起，赤疹痛痒者，可用洗眼青皮液洗眼皮上下以清热解毒，宣肺行气。

鸬眼凝睛^①症(十九)

此症有项强头面脸肿赤燥之患。其状目如火赤，胀于脾间，不能转动，若庙堂凶神之眼，犹鸬鸟之眼珠，赤而定凝，故曰鸬眼凝睛。乃三焦闭格，阳邪实盛，风热壅阻诸络涩滞，目欲爆出矣。先于迎香、太阳、两脾、上星等穴刺之。宜内服外贴

泻脑汤：

防风 车前子 木通 茺蔚子 云苓 熟军
元参 元明粉 桔梗 黄芩 各一钱

水二钟，煎至八分，食远热服。

摩风膏：

黄芪 细辛 当归 杏仁 去皮尖 防风 松香 各五钱
白芷 以上为末 黄蜡 一两 麻油 四两

先将蜡油溶化入药末，慢火熬膏，退火毒，贴太阳穴。

【注释】

①鸬眼凝睛：病名，又名鱼睛不夜。为风热毒邪壅阻、涩滞眼络所致。症见目珠日渐胀起，赤痛坚硬，若庙堂凶神之眼，犹鸬鸟之眼珠，赤而定凝，转动失灵，视力锐减，甚至失明。鸬，读作(hú)。本病主要见于西医之眼眶部肿瘤及甲亢性突眼等。

【述要】

此节主要论述因三焦闭格、阳邪实盛、风热毒邪壅阻、涩滞眼络所致的鸢眼凝睛症。治疗首先应采用针刺迎香、太阳、两脾、上星等穴以透风泻热。其次服泻脑汤以祛风散热，清热解毒，渗湿利水，清肝明目。还可配合摩风膏贴于太阳穴以祛风散热，活血止痛。

旋胬泛起^①症(二十)

此症目病，气轮自平，惟风轮高耸而起，或从左边突起，或从右边突起。乃肝气独盛，胆液涩而木道滞，火郁风轮之故。或上或下，或左或右，各随火之所致，大抵从上涨者多。宜服

泻肝散：

升麻 木贼 细辛 甜葶苈 酒连 五灵脂
陈皮 菊花 酒芩 赤芍 熟军 薄荷 防风
炒枳 元明粉 生草_{各一两}

同为末，每服二钱，食远白汤调下。年老人加枳壳，厚朴。

救睛丸：

归身 苍术 荆芥穗 蝉退 草决明 川芎
薄荷 生草 谷精草 枳壳 木贼_{各一两}

同为末，炼蜜为丸，如弹子大，每服一丸，食后清茶下。

【注释】

①旋胬泛起：病名。系黑睛顶端突起，形似脑盖，故而得名。多因肝气独盛，火郁风轮所致。本病类似今之圆锥角膜。

【述要】

此节主要论述了因肝气独盛，火郁风轮所致的旋胬泛起症。临床主要表现为白睛正常无赤肿，黑睛高耸而突起，有的从左边突出，有的从右边突起，呈圆锥状，略似脑盖，视物日渐昏蒙，日久黑睛膨胀变薄，瞳神虽无损害，终因黑睛发生混浊而严重遮障视力。治疗首选泻肝散以泻肝明目，清热解毒，活血

行气，祛风止痛。也可配合救睛丸祛风养血，清肝明目。本病若药物治疗效果差，必要时可采用手术治疗。

珠突出眶^①症(二十一)

此症乃乌睛暴然而突出眶，非比鹞眼漫漫胀出也。然出亦不一，有真元将散，经络俱损，痒极揩拭而出者，其人不久必死。有酒醉怒甚，及呕吐而出者。有因患病热甚，致关格亢极而胀出者。有因怒甚，吼哮而挣出者。总因水衰液少，脉络涩滞，火无从出，故涌胀而出。有因打扑者，亦偶然之祸。凡出虽离两睑，而脉丝未断者，乘热擦入，但脉络损动，终是无光。若突而犹含于内者，光不损。若离睑，脉丝俱断，不能救矣。宜服

救睛丸：少年服。

枸杞子 苍术 山梔^炒 赤芍 薄荷^{各等分}

同为末，酒糊为丸，如桐子大，每服三钱，井花水送下，或凉茶亦可。少年之人可服，年老者服后方。

定志丸：老者服。

朱砂 党参^{各二钱} 天冬 石菖蒲^炒 远志 麦冬^{各一两} 预知子^{一两} 云苓^{二两}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服一钱五分，清茶下。

水沃法：治眼睛肿胀出眶，新汲凉水沃眼，频频换水，眼珠自入。更以麦冬、桑白皮、炒梔仁，煎汤通口服之。

【注释】

①珠突出眶：病名，又名突起睛高。系指眼珠突然胀痛突起，甚者高突出眶的病症。

多因真元之气将散或酒醉、暴怒、风热火毒上冲于眼所致，也有因外伤所致者。

本病可见于西医之全眼球炎，损伤性眼球突出症等。

【述要】

此节主要论述了因真元之气将散或酒醉、暴怒、风热火毒上冲于眼等所

致的珠突出眶症。若少年脉络涩滞而睛突出眶者，可服救睛九以益肾健脾，解毒活血；若老年元气不足而睛突出眶者，可服定志九以益气养阴、安神明目。若风热火毒上冲于眼所致者，临床常表现为起病急速，眼痛难忍、视力骤降，泪热如汤，胞睑、白睛红赤肿胀，黑睛混浊，珠内灌脓，睛高突起，甚至高突出眶，转动不灵，终至穿破眼珠，脓汁外流，珠塌目陷。治疗宜疏风清热，泻火解毒，可用退热散治疗。若高热昏迷、病情危重者，可按内科昏迷进行救治。若眼珠灌满脓液，丧失视力者，可采用手术方法放脓排毒，也可根据病情选用眼珠摘除术或眼内容挖出术。

黄膜上冲^①症(二十二)

此症风轮下际，坎位之间，神膏内初起膜色黄者，如人指甲根白岩相似。若凝脂翳，但脂翳从轮外生，点药可去。此从膏内生，点药不能及，若不早治，慢及瞳神，其珠必破。此是经络塞滞，三焦关格，火土诸邪之盛实者，若二便结尤凶。宜服

通脾泻胃汤：

麦冬一钱半 羌蔚子一钱 知母 元参 车前子 石
膏 防风各一钱 酒芩 天冬 熟军各七分

水二钟，煎至八分，食远服。热甚者，加元明粉一钱。

立应散：内外一切目病并皆治之。

鹅不食草_{洗晒} 白芷 当归 川附子_{去皮脐} 羊蹄躅花
雄黄_{另研等分}

同为细末，入麝香少许，和匀，嚙鼻内些须，日三次，泪出为度。

【注释】

①黄膜上冲：病名，又名黄液上冲症。黄，原误作“赤”，今据《审视瑶函》改。是指黑睛内脓液积聚于下部，随病情加重而逐渐增高，甚至掩过瞳神。因脓液多为黄色，其状似膜，故称为黄膜上冲。多由火热毒邪炽盛所致。往常见于凝脂翳，瞳神缩小及外伤，类似于今之前房积脓。

【述要】

此节主要论述了火热诸邪盛实所致的黄膜上冲症。临床多表现为眼痛难忍，头痛身热，泪热羞明，胞睑红肿，白睛混赤，甚至肿胀，黑睛与黄仁之间有淡黄色或黄绿色脓液，沉积于下部，形如月牙，随体位而改变，可有黑睛溃烂或瞳神紧小等症。治疗可首选通脾泻胃汤以泻火解毒，养阴，祛风，清肝明目。还可立用立应散吹鼻内以通窍解毒，排泪逐邪。本病宜采用中西医结合的方法治疗，伴有瞳神紧小者，可用1%阿托品眼液扩瞳；脓液较多，有掩盖瞳神趋势者，可手术放脓。

赤膜下垂^①症(二十三)

此症初起甚微，次后甚大，大者病重。其患有障也，亦多赤脉从白睛贯下，黑睛上边从目际起障一片，仍有赤丝粗大赤甚，泪涩珠疼头痛，病急有变。丝细小，色微赤，珠不疼，头不痛者，病缓，不变。大抵白珠上半边有赤脉生起，垂下黑珠者，不论多少，但有疼痛虬丝，便是凶症。总是丝少赤微，细粗连断，或贯瞳神，或翳膜厚薄，皆是恶症。便是可治，亦须年月耐久。盖此症是湿热在脑，幽隐之火，深潜在络，故有赤脉四围。虽无瘀血，其深处亦有滞积，一旦触犯，诸患并发，轻者消散，重者开导。宜服

皂角丸：治内外一切障膜，如诸般内障，同生熟地黄丸服之，神效。

穿山甲	炒	蝉退	白术	元精石	生用	谷精草	当
归	云苓	木贼	赤芍	各一两	蛇退	七条焙	刺猬皮
连翘	胆草	炒	菊花	各一两半	党参	川芎	各五钱
猪	爪	三十枚	蛤粉	炒			

同为细末，入猪牙皂角二条，烧灰和匀，蜜丸如桐子大，每服三十丸，空心杏仁汤送下。一半入仙灵脾一两，为末，每服一钱，猪肝包药煮熟，原汁汤送下，日三服。

金丝膏：治远年近日一切外障等症。

黄连	五钱	雄黄	研飞二钱	麝香	另研一钱	赤芍	朱砂	另研
----	----	----	------	----	------	----	----	----

乳香_{另研} 硼砂_{另研} 归尾_{各二钱半}

同为细末，后人研药拌匀，再研，炼蜜为丸，如皂角子大，每用一丸，滚汤泡开，避风处洗，药冷，闭目少时，候三二时，煨热再洗。一日三五次，勿犯铁器，暴发眼不可洗。

【注释】

①赤膜下垂：病名，又名垂帘翳。是指黑睛上缘有赤膜状的细小血丝，似垂帘状渐次向下延伸，掩盖瞳神，甚至盖满黑睛，故而得名。此病多见于椒疮后期，多因风热或湿热毒邪壅滞脉络所致。本病类似今之沙眼性角膜血管翳。

【述要】

此节主要论述了肝肺风热或湿热毒邪壅滞脉络所致的赤膜下垂症。临床多表现为羞明流泪，灼热刺痒，目珠疼痛，视物欠清。胞睑内颗粒丛生，白睛上方红赤，黑睛上缘有赤膜状的细小血丝，似垂帘状渐次向下延伸，掩盖瞳神，甚者盖满黑睛，难以消退，视力受损。治疗可用皂角丸以清热解毒，疏风散热，消膜退翳，清肝明目，益气健脾。其次可配合使用金丝膏洗眼以清肝明目，消膜退翳。另外若肝火炽盛者，可用龙胆泻肝汤加减以清肝泻火，退翳明目。

凝脂翳^①症(二十四)

此症最凶，昏瞽者十有七八，病形非一端起，在乌睛上有点初生如星，色白中有靛如针刺伤，后渐长大，变为黄色，靛亦渐大为窟者。有初起如星，色白无靛，后渐大色黄，始变出靛者。有初起便带鹅黄色，或有靛无靛，后渐变大者。有初起便成一片，如障大而厚，色白而嫩，或淡黄，或有靛无靛而变者。或有障，又于障内变出一块，如黄脂者。或先有痕靛，后变出凝脂一片者。所变不一，为祸则同。治之不论星障，但见起时，肥浮脆嫩，能大而色黄，善变而速长者，即此症也。凡见此症，必当速治。若迟则长大，蔽满黑睛，虽救得珠完，亦带疾矣。治后珠上必有白障，如鱼鳞园障等翳，终身不能脱，若在当中，则目视昏渺。此症但有头痛并二便不利，即是极重之

症，尤为可畏。宜服

四顺清凉饮：

归身 胆草_{酒洗} 酒芩 桑皮_{蜜制} 车前子 生地
赤芍 枳壳_{各八分} 炙草_{三分} 熟军 防风 川芎
酒连 木贼 羌活 柴胡_{各六分}
水二钟，煎至八分，食远服。

【注释】

①凝脂翳：病名。系指黑睛生翳，色带白或鹅黄，状若凝脂，故而得名。该病发展迅速，危害严重，可导致黑睛破溃，黄仁绽出，甚或神膏外溢，眼球萎陷，失明等恶候。本病多因风热毒邪外侵，肝胆实火内炽，风火毒邪搏结于上所致。类似今之化脓性角膜炎或匍行性角膜溃疡。

【述要】

此节主要论述了风热毒邪外侵，肝胆实火内炽所致的凝脂翳症。临床多表现为头眼剧痛，目赤羞明，泪热如汤，眵多似脓，胞脸浮肿。黑睛生翳，起初色白，渐大变黄色，或起初便带鹅黄色，或如黄脂者，呈点状或片状，中央溃陷，如覆凝脂。治疗宜用四顺清凉饮疏风解热，清肝泻火，退翳明目。本病发展迅猛，可溃穿黑睛，甚至失明，在治疗过程中应给予高度重视，必要时采取中西医结合法进行救治。

花翳白陷^①症(二十五)

此症因火灼络内，膏液蒸伤，凝脂从四围起，而慢神珠，故乌睛皆白。或微黄色，其睛白之际，四围生翳，渐渐厚阔，中间尚青未满者，瞳神尚见，只是四围高，中间低，此金克木之祸也。或于脂下起黄膜一片，此二症夹攻，尤急，亦有上下生起，名顺逆障，此症乃火上逼之祸也。亦有不从沿际起，只自凝脂色黄，或不黄，初小后大，其细条如翳，或细颗如星，四散而生，终必长大，牵连混合而害目，此木火之祸也。上三者，必有所滞，当寻其源，轻则清凉，重则开导。

若慢及瞳神，不甚厚重者，速救可以挽回，但不能如旧，光亦减矣。

宜服点

洗肝散：

归尾 川芎 防风 薄荷 生地 红花 苏木
菊花 蒺藜_{去刺} 蝉退_{去头足} 木贼 赤芍_{各五钱} 生

草_{二钱}

为末，每服三钱，水二钟，煎至八分，去渣服。

琥珀散：治目积年花翳。

海螵蛸_{刮去硬皮软者一钱} 白礞_{②一钱} 琥珀 牙硝 珊瑚

朱砂_{各五钱} 珍珠_{五钱}

同研细腻，不见星_③，每日三五次点于目膜翳上，久闭。

【注释】

①花翳白陷：病名，又名白陷鱼鳞症。是指黑睛生白翳，表面溃破，中央低陷，如花瓣，似鱼鳞，故名花翳白陷或白陷鱼鳞。多因肝肺积热火毒，或风热毒邪，侵犯黑睛所致。类似今之化脓性角膜溃疡早期及树枝状角膜炎等。

②白礞：即硃砂色白者。

③不见星：《审视瑶函》作“令匀”。

【述要】

此节主要论述了风热毒邪或肝肺积热火毒所致之花翳白陷症。临床主要表现为两眼沙涩，似有异物，白睛红赤，羞明泪热，黑睛生翳如星，其色灰白。（此时急治，愈后不留翳障，目力无损。）病势发展，星翳溃烂，连缀成串，或花瓣、鱼鳞、树枝等状。治疗可用洗肝散以疏风散热，清肝明目，活血退翳。还可应用琥珀散点于目膜翳上以退翳明目。若肝肺积热，肝经火毒炽盛者，还可应用龙胆泻肝汤或泻肝散加减以泻火解毒，清肺泻肝。此病发展迅速，若失治，可变为黄液上冲，瞳神紧小，凝脂翳等。若黑睛溃破，可形成蟹睛，愈后遗留较厚的翳障，严重影响视力。因此，应特别重视对本病早期的治疗。

蟹睛^①之症(二十六)

此症是真精膏损，凝脂破坏风轮，神膏绽出黑颗，小如蟹睛，大如黑豆，甚则损及瞳神，则有杏仁枣核之状，至极则青黄凸出。此症与黑翳如珠者不同，黑翳如珠，从膏内生出，此症因破坏而出。然有虚实二症，虚者软而不疼，来缓可退；实者坚而多痛，来速难去，虽能急治，难免瘢痕矣。宜服

防风泻肝散：

远志 党参 桔梗 细辛 赤芍 防风 黄芩
生草_{各一两} 羚羊角_{锉细末微焙研七钱}

为末，每服一钱五分或二钱，白滚水调下。

泻肝汤：实者服。

地骨皮 元参 车前_{各一钱} 元明粉_{一钱} 熟军 知
母_{各一钱半} 茺蔚子_{二钱}

水二钟，煎至八分，食后服。

【注释】

- ①蟹睛：病名，又名蟹目，蟹睛疼痛外障等。是指黑睛破损或溃穿，黄仁绽出破口，形圆如球，状似螃蟹之睛，故名蟹睛。多因肝有积热，上冲于目，以致黑睛翳溃或外伤所致。常见于目珠外伤，真睛破损，亦可因花翳白陷、凝脂翳、小儿疳积上目等，致目珠溃破所致。类似今之虹膜脱垂。

【述要】

此节主要论述了因目珠外伤，真睛破损或风热毒邪、肝经火炽，上冲于目所致之蟹睛症。临床常见目痛剧烈，泪热如汤，怕热羞明，胞睑红肿，抱轮红赤或白睛混赤，黑睛破损，黄仁绽出，破口突出如珠，形似蟹睛，周围绕以白翳，瞳神变形移位，神膏外溢，黑睛与黄仁靠近，视力迅降。甚者，神膏从破口大量涌出，多致失明。若风热胜者，可服防风泻肝散以祛风散热，清肝明目，活血退翳。若肝经火炽者，可用泻肝汤以泻火解毒，养阴清肝，退翳明目。外伤所致者，宜配合手术疗法。本病愈后一般遗留瘢痕。

冰瑕翳^①症(二十七)

此症薄薄隐隐,或片或点,生于风轮之上。其色光白而甚薄,如冰上之翳,若在瞳神旁侧,或掩及瞳神,目必昏花。大凡风轮有痕瓣的,服点不久,不曾补水。及凝脂聚星症初发,点服不曾去净,并点片脑过多,而金气水液凝结者,皆成此症。大抵治难速去,新患者必用坚守确攻,久而见效,若光滑深沉,亦难尽去矣。宜服

开明丸:

羊肝	一具须用白羊者切薄片上焙干为末极细	官桂	五钱	菟丝饼	草决	
明	防风	杏仁	地肤子	茺蔚子	葶苈炒	酒芩
麦冬	五味子	蕤仁	去皮	细辛	枸杞	青箱子
泽泻	车前	各一两	熟地	一两五钱酒水煮捣膏		

为细末,炼蜜为丸,如桐子大,每服三十丸,白滚水送下。日三服,忌调和辛辣炒炙之物。

琥珀煎:治眼生丁翳^②,久而不愈者。

朱砂	另研	贝齿	各五钱	琥珀	另研三钱	冰片	五分	牙
----	----	----	-----	----	------	----	----	---

硝 炼过者七钱半

同研极细如膩粉,以水一盞,别人蜜一两,入磁罐中,重汤煮,以柳枝搅诸末于内甚匀,收磁瓶中,每用少许,点之,为细末点亦可。

【注释】

①冰瑕翳:病名,又名冰瑕障。指黑睛疾病,如畏光、流泪、赤痛、溃陷诸症消退以后,遗留于黑睛之上的翳痕(即宿翳)菲薄、透明、光滑者。

②丁翳:病名,又名钉翳或钉翳根深等。是指黑睛生翳溃穿,黄仁凸向破口,与黑睛粘定,其形如钉,故称钉翳。多为花翳白翳,凝脂翳等后期所遗。多由肝火蕴结,外受风热毒邪,风火热毒相搏,上攻于目所致。本病类似今之粘连性角膜白斑。

【述要】

此节主要论述了因黑睛疾病所遗留的冰瑕翳及久而不愈的丁翳。对于冰

取翳，可服用开明丸以滋阴清热，养肝明目，祛风退翳。对久而不愈的丁翳可用琥珀煎点眼以退翳明目。

阴阳翳^①症(二十八)

此症黑睛上生二翳，俱白色，一中虚，一中实，两翳连环，如阴阳之圈。若白睛带略黄色，或纯白光滑沉涩者，皆不能去尽。若有细细赤丝绊者，尤迟，大约此症，须年月，心坚耐久，方得见效。宜服

羌活退翳丸：

羌活	五味	酒连	当归	升麻	各二钱	胆草	酒洗
黄柏	酒炒	炙草	酒芩	赤芍	柴胡	黄芪	各三钱
防风	一钱五分	石膏	二钱五分				

同为末，每服五钱，水三钟，煎至一钟，入酒少许，去渣临卧热服安睡。

【注释】

- ① 阴阳翳：病名，又名阴阳圈。是指黑睛疾病消退后，遗留在黑睛上的翳痕（即宿翳）为二翳，全都白色，一个中虚，另一个中实，两翳连环，如阴阳之圈，故而得名。若两翳白中略带焦黄色，或者色纯白并且光滑沉涩的情况，都不能完全消退，若兼有细细赤丝绊者，消退尤慢。此病多系风热毒邪侵袭心肝两经，上犯于目所致。

【述要】

此节主要论述了阴阳翳的表现特点、预后及治疗方药。治疗上宜选用羌活退翳丸以疏风散热，清肝明目，解毒退翳。

玛瑙内伤^①症(二十九)

此症障薄而圆缺不等，偏斜昏白而带焦黄，或带微红，如玛瑙之状。虽是生在风轮，实是内伤肝胆，真气精液损坏，结成此翳。最难去尽，或先有重病，过后结成者，耐久医治，方能减薄，终不能除

尽矣。宜服

补肝丸：

苍术 熟地 蝉退 车前 川芎 归身 连翘
夜明砂 羌活 胆草 菊花_{各一两}

同为细末，米泔水煮，牙猪肝捣烂入末为丸，如桐子大，每五十丸，薄荷汤送下。

【注释】

①玛瑙内伤：病名，又名玛瑙翳，因黑暗宿翳薄而圆缺不等，色黄白或微红，如玛瑙之状，故而得名。多因内伤肝胆，真气精液损坏所致。

【述要】

此节主要论述了因内伤肝胆，黑暗真气精液损坏所致的玛瑙内伤症。治疗宜补肝丸以滋阴养血，清肝明目，祛风退翳。本病需耐心长久医治，翳障始可减薄，但最终很难完全消退。

瘀血贯睛^①症(三十)

此症为害最恶，若人固执不用开砭者，珠必坏。初起红赤，次后紫胀，及白睛胀起，甚至胀形若虬筋。盖血贯风轮，滞塞不通，在脾则肿胀如杯，椒粟生之；在珠则风轮涌起，凝脂膜翳，鹊眼花翳有之，失治，必有青黄牒出。凡见白珠赤紫脾肿，虬筋紫胀，数点不退，可翻脾内视之。若皮肉泛浮，椒疮粟疮者，皆用开导之法。宜服

分珠散：

槐花 生地 白芷 炒栀 荆芥 胆草 酒芩
赤芍 生草 归尾_{各一两}

为末，每服三钱，水二钟，煎八分，热服。春加大黄泻肝，夏加黄连泻心，秋加桑白皮泻肺。

宣明丸：治赤肿涩痛，大热壅上。

赤芍 归尾 黄连 大黄 生地 薄荷 黄芩

川芎_{各一两}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三钱，食后米饮下。

【注释】

①瘀血贯睛：病名，又名瘀血灌睛。泛指血瘀引起的眼病。如胞睑肿胀，环睛青碧隐隐，白睛赤紫或高肿壅起，甚则胀形如虬筋等。多因火毒等邪，瘀阻脉络，或由眼、鼻、头面等遭受外伤，瘀血滞留眼部所致。

【述要】

此节主要论了火热毒邪，瘀阻胞眼脉络所致的瘀血灌睛症。临床多表现为头痛眼胀，羞明泪出，视物昏蒙，胞睑赤硬，肿胀难睁，筋脉虬露，白睛红赤高起，丝脉粗大，其色暗红，虬脉纤曲。甚者黑睛灰白或溃陷，黄液上冲，而致目盲。若瘀血停滞目珠周围者，则目珠高起，转动失灵。本病若火热毒邪炽盛而出现胞睑红肿如桃，焮痛难睁，白睛红赤肿胀者，可用分珠散合宣明丸以清热凉血，泻火解毒，活血消瘀。若瘀血阻滞而出现的眼睑青紫，肿胀隆起，白睛溢血，赤脉曲大而纤曲，目珠转动失灵者，可用血府逐瘀汤行气通络，活血化瘀。

血贯瞳神^①症(三十一)

此症瞳神不见黑莹，但见一点鲜红，甚则紫浊，一二日尚可救。盖肾水有伤，胆汁亦损，元阳正气皆耗，故此一点神光不见，而血之英色来乘肾部，十患九不治者。宜服

坠血明目饮：

细辛	人参 _{各一钱}	赤芍 _{八分}	五味子 _{十粒}	川芎 _{酒洗}
牛膝 _{酒炒}	石决明 _煅	生地	山药	知母 _{盐炒}
归尾	防风 _{各八分}			蒺藜

水二钟，煎至八分，温服。

落红散：治瞳神成红障。

穿山甲 _炒	桔梗 _炒	硃砂 _{另研}	人退 _{焙各三钱}	蝉退
------------------	-----------------	------------------	--------------------	----

谷精草

蛇退

甘草水洗

鹅不食草

各一钱

同为细末，吹入鼻中，次日以筒吸目，渐次为之，日久自然障化。筒以好铜打成，如漏斗样，筒上留一窍，用猪脂薄皮扎筒窍上，用时以筒安目上，医者吸气一口，次看其障轻重，渐吸则渐除矣。

【注释】

①血贯瞳神：病名，又名血灌瞳神或血灌瞳仁。是指各种原因引起的目中之血，不循经流注，溢于络外，灌入瞳神之中的眼疾。多因肝胆火炽或阴虚内热，血受热迫，破络灌瞳，以及外伤、手术等引起。症见瞳神内一点鲜红，甚则紫浊如水流入井中之状，视力迅速下降。类似今之前房出血或玻璃体出血。

【述要】

此节主要论述了血灌瞳神的症状特点、预后及治疗方药。本病临床上一概划分为血灌瞳神外障（类今之前房出血）与血灌瞳神内障（类今之玻璃体出血）。血灌瞳神外障多表现为：眼珠胀痛，甚则患侧头额剧痛，羞明难睁，热泪频流，目力受损。白睛抱轮红赤或混赤，黑睛与黄仁之间瘀血积滞，色泽鲜红，或紫暗成块。轻者仅积于瞳神下部呈月牙状，甚则一片鲜红，全掩瞳神。若失治，久则瘀血难消，积染黑睛，其色泛黄，或致瞳神干缺不圆，黄仁纹理不清，或黄仁上赤脉满布等症。血灌瞳神内障多表现为：自觉眼前黑花渐生，或似黑线坠下，继而一片黑云遮蔽，轻者视物蒙昧，如隔绢纱，或如烟雾中，或眼前红光满目，重则一片漆黑，卒然不见，乃危急之症，易致目盲。眼外观轮廓完好，隐隐透见金井之内呈一点殷红或暗红。本病出血期宜凉血止血，可用犀角地黄汤加减；出血停止期宜行气活血，可用柴胡疏肝散合血府逐瘀汤加减；久病后期宜益气养血，滋肾养肝，明目退翳，祛风散邪，可用坠血明目饮治疗。若外伤引起血灌瞳神外障，可包扎双眼，以压迫止血。若血灌瞳神前部，瘀血掩过瞳神，甚至灌满者，经治疗瘀血不散，并出现珠胀头痛，黑睛血染泛黄等变证发生者，可施行前房穿刺术。

聚星障^①症（三十二）

此症黑睛上有细颗，或白或微黄色，但微黄者急而变重。或连

缀，或围聚，或散漫，或齐起，或渐次而生。初起易治，生定退难。若兼赤脉疤绊者凶，如星翳生于丝尽头者，不但退迟，而且变重。此病多生于痰火之患，失治变症生矣。宜服

海藏地黄散：兼治痘疮入目。

熟军 熟地 元参 沙蒺藜 防风 酒连 白
蒺藜 犀角_镑 生地 谷精草 蝉退 木贼 川芎
羌活 木通 归身_{各一两} 生草_{五钱}
为细末，每服二钱，羊肝煮汤调下。

【注释】

①聚星障：病名。是指黑睛上生细小星翳。其色或白，或微黄，或连缀，或围聚，或散漫，或齐起，或渐次而生。因其细小星翳的排列如同天空中之星星，故称为聚星障。多因风热毒邪侵犯黑睛或肝热内蕴，上攻于目所致。类似今之浅层点状角膜炎、单疱病毒性角膜炎及其他一些浅层角膜炎之初期。

【述要】

此节主要论述了风热火毒所致的聚星障。此病临床多表现为：初起羞明泪热，碜涩珠痛，抱轮红赤，黑睛上骤起细小星点，其色灰色，稍稍隆起，或连缀成片，或排列成行。若及时治疗，愈后黑睛多无瘢痕；若失治，星点扩大，相互融合，黑睛表层形成溃疡，严重者可变生花翳白陷或凝脂翳，愈后留有灰白色翳膜，影响视力。治疗可用海藏地黄散以疏风散热，清肝明目，益气养血，活血退翳。若火毒炽盛者，可用龙胆泻肝汤合退热散加减治疗。

垂帘障^①症(三十三)

此症生于风轮，从上边而下，不论厚薄，但在外色白者方是，若红赤乃变症也。有初起水膏不清，便成此症者；有起先色赤，退后膏涩结为此症者。因其自上而下，如帘垂下，故名之。宜服点

天麻退翳散：兼治昏暗失明。

僵蚕_{热水泡去丝姜汁拌炒} 归身 防风 石决明 白芷

熟地 黄芩 木贼 枳壳 麦冬 羌活 蒺藜
 川芎 荆芥穗 菊花 蔓荆子 蝉退 赤芍 天
 麻 蒙花 各一两

为细末，每服二三钱，灯心汤下，眼红加酒炒黄连。

卷帘散：治翳膜遮睛，冷泪昏涩。

甘石 制四两 元明粉 五钱入黄连同煮 川连 七钱捶碎水煮去液用

三味俱用黄连五分水泡，飞过晒干。次入

铜青 一两半 白丁香 另研 乳香 另研 青盐 另研 胆矾 另研

膩粉 另研 硃砂 另研减半 白矾 半生半枯 川连 各五钱

上共研极细，同前药研匀，每少许点翳处，日点二三次。

【注释】

- ①垂帘障：病名，又名垂帘翳。是指黑睛生一白色翳膜，从上慢慢下垂，如帘子垂下，故而名之。此症与赤膜下垂不同，赤膜下垂是指黑睛上生赤膜，由上而下垂，多为风热火毒所致。垂帘障以色白为主，间有红赤或微红，多为慢性黑睛疾病积年累月发展而来。

【述要】

此节主要论述了因慢性黑睛疾病积年累月发展而来的垂帘障，肝肾不足是本病的根本。治疗上若兼昏暗失明者，可用天麻退翳散以滋肾养肝，退翳明目。若翳膜遮睛，冷泪昏涩，可用卷帘散点翳处以退翳明目。

逆顺障^①症(三十四)

此症色赤而障，及丝脉赤虬，纵横上下两边生来也。凡风轮际处由白睛而来，粗细不等，赤脉四围圈圆，侵入黑睛上，胀起昏涩者，即此症。必有瘀滞在内，滞左则从左来，滞右则从右来，诸脉络皆滞，则四围而来。脾虽不障，珠不疼，亦有瘀滞在内，不可轻视。若头痛珠疼，又重而急矣。宜服

羚羊角饮子：

羚羊角_{锉末} 犀角_{锉末} 防风 桔梗 茺蔚子 元
 参 知母 熟军 草决明 酒芩 车前_{各一钱} 生
 草_{五分}

水二钟，煎八分，食后温服。

【注释】

①逆顺障：病名，又名血翳包睛及红霞映日、彩云捧日等。是指赤脉自黑睛周围侵入，上下纵横，赤脉簇集似翳膜，掩盖整个黑睛的病患。多由椒疮失治变生。多因肝肺风热壅盛或心火上炎所致。类似今之角膜全血管翳。

【述要】

此节主要论述了逆顺障的症状特点及治疗方药。本病多因肝肺风热壅盛或心火上炎所致。临床多表现为眼内沙涩，刺痛微痒，羞明难睁，视物易疲劳，眵泪并流，白睛微赤，甚则赤紫，黑睛丝脉纵横满布，隐蔽黑睛，形成血障，久则血翳增厚似赤膜而成痼疾，视物昏蒙，终至失明。治疗可用羚羊角饮子清心泻肺，清肝明目，祛风退翳。方中羚羊角、茺蔚子、草决明、车前合用以清肝明目；犀角、酒芩、元参、知母、熟军合用以清心泻肺，泻火解毒；防风、桔梗、生草合用祛风宣肺解毒。

混睛障^①症(三十五)

此症漫珠皆一色之障，人患者最多。有赤白二症，赤者嫌其多赤脉，白者怕其光滑。若遇此症，须食发物，或用药发起，转觉昏肿红赤，然后点服。宜服

地黄散：

生地 当归 熟地 熟军_{各七钱} 谷精草 酒连
 白蒺藜 木通 犀角_{锉末} 木贼 羌活 炙草_{各五钱}

同为细末，每服二钱，羊肝煮汁，食远调下。

七宝膏：

冰片_{一钱} 珍珠_{三钱} 水晶_{研飞一两} 贝齿_{研飞一两} 石决

明 琥珀_{研各七钱} 玛瑙_{研飞五钱}

合一处，水五钟，煎至一钟，加蜜一两，煎至一半为膏。后入冰片，搅匀去火毒，每用少许临睡点之。

【注释】

①混睛障：病名，又名气翳。症见黑睛一片灰白色混浊翳障，似磨砂玻璃样漫掩黑睛，严重时赤脉深入，翳色暗红，视物不见。又因此灰白色混浊翳障如雾，形似呵气之状，故又名气翳。多因湿热蕴结，薰蒸于目，上损黑睛或肝胆火盛所致。也有因梅毒与结核所致者。本病好发于青年时期，病程缠绵。类似今之角膜实质炎。

【述要】

此节主要论述了混睛障的症状特点及治疗方药。本病多因湿热蕴结或肝胆火炽所致。临床多表现为灼热羞明，流泪难睁，目珠刺痛，视物模糊红赤或白睛混赤。初始黑睛边缘混浊不清，其色灰白，延侵中央，漫掩黑睛，表面光滑，状若呵气，久则赤脉伸入黑睛，翳色暗红，如毛刷之状，危害视力。治疗可用地黄散以泻火解毒，清肝明目，活血退翳。外用七宝膏点眼以明目退翳。若湿热重者，宜用甘露消毒丹养阴清热除湿；若系梅毒引起者，可重加土茯苓，同时配合驱梅疗法。

鱼子石榴^①症(三十六)

此二症经络治法相同。鱼子障，其状“外边垒颗聚萃而生，或淡红，或淡白。石榴障其病红肉颗，或四，或六，或八，四角生来，障满睛珠。二症俱是血部瘀实之症，乃凶症也。治须先割，割后见三光者可治，若瞋黑不见不治，畏割者以散服点之。

抽风散：

防风 元明粉 柴胡 熟军 酒芩 车前子
桔梗 细辛_{各一钱}

水二钟，煎至八分，食后温服。

化积散：

白丁香_{五粒} 朴硝_{少许} 硃砂_{一分} 冰片_{少许}

上同研细腻点之。

【注释】

①鱼子石榴：病名。是指白睛一两处生浮肉一片，色浅红，内细颗粒丛生，揉之似小铁砂，名为鱼子；其肉块圆长，色黄如榴子者，名为石榴。类似今之结膜乳头状瘤、结膜原位癌及上皮癌等。本病多为脾肺积毒，心火炽盛，毒火上壅于目，脉络瘀滞而成。

【述要】

此节所述鱼子石榴乃眼科中之凶恶之疾。临床多表现为：自觉羞明流泪，灼热疼痛，瞤涩难睁，白睛表面颗粒细小如碎砂，颗粒累累丛生，或色黄如榴子，肉颗渐增，障蔽黑睛，致视力递减甚至目盲。对本病主要应采用手术割治，切除病灶应广泛彻底，创底加用烙法，以除残根，切下组织应送病理检查，若为癌症，还应配合放射治疗。该病初起可用中药方化积散点眼。内服可选用抽风散以疏风散热，解毒明目。

胥肉攀睛^①症(三十七)

此症多起气轮，有障如肉，或如黄油，至后渐渐积厚，赤瘀胥肉遮蔽。凡性燥恣嗜贪味之人，多有此症，久则漫珠积内，视亦不见。治宜峻伐，久则自愈，积而无瘀之症，及珠尚露，皆不必用钩割之法。宜服点

还睛丸：

胆草_{酒洗} 川芎 生草 草决明 川椒_{去皮炒} 菊花
木贼 石决明_煅 荆芥 云苓 楮实子 蒺

藜_{各一两}

为细末，每服二钱，食后茶清调下。

吹霞散：专点胥肉攀睛，星翳外障。

白丁香_{一钱} 白芨 牵牛_{各三钱}

上研细腻收贮，每日点三次，重者不过一月愈。

定志丸：

石菖蒲 枸杞 菊花 麦冬 各一两 远志 二钱半 辰

砂 研细二钱

为细末，炼蜜为丸，如梧子大，每服三十丸，食后白滚水送下。

【注释】

①胥肉攀睛：病名，又名瘀肉攀睛。是指胥肉自眦部发出，横贯白睛，攀侵黑睛的病。其病变出现于大眦者较多，发生于小眦者较少，两眦同时出现者更少。此病一般进行缓慢，常经数月或1~2年，始侵入黑睛，遮盖瞳神，也有停留于黑睛边缘者。本病多因心肺二经风热壅盛，热郁血滞，脉络瘀阻而成，也可因嗜好烟酒等辛热食物，使脾胃积热，血滞眦部而发。本病相当于西医之翼状胥肉。

【述要】

此节主要论述了胥肉攀睛的症状特点、病因、治法及方药。本病临床多表现为初起眼感涩痒，眦部赤脉丛生，渐增厚为胥肉，似昆虫翼状，头尖厚大或齐而薄，色白或微黄，间夹血丝，逐渐伸展，横贯白睛，渐侵黑睛。治疗可用还睛丸以疏风散热，清肝明目，活血退翳。还可配合定志丸以镇心安神，以防心火上炎。可外用吹散散点眼以活血消肉。若胥肉菲薄、色白头齐，不再发展者，不必用药。若胥肉红赤而厚，侵入黑睛或掩盖瞳神，药物治疗无效者，可用钩割法手术。不过，某些胥肉虽经手术，仍有复发的趋势。

鸡冠蚬肉^①症(三十八)

此二症形色相类，治亦同法。其状色紫如肉，形类鸡冠蚬肉者即是。多生脾眦之间，后害及气轮，而尽掩于目。治者须宜早割，不然，恐病久虽欲割亦无益矣。目大眦内一块红肉，乃心经血部之英华，不可误认伤之，伤之则损目，重则丧命矣。宜服

凉膈清脾饮：治脾经湿热，眼胞内生蚬肉，根小头长。

荆芥 石膏 防风 赤芍 生地 黄芩 连翘
炒栀 各等分 薄荷 减半

水二钟，煎至八分，或加灯心一撮煎，食远服。

翠云锭：治眼胞内生蚬肉，先以披针尖连根切下，随用此锭磨浓涂之，其血自止。

铜绿_{研末一钱} 杭粉_{五钱} 轻粉_{一分}

上研极细末，用黄连一钱，同白米百粒水一杯，煎一半再熬，折去二分，和药作锭，阴干，临用水磨搽，兼治风火烂眼，暴赤肿痛。

【注释】

- ①鸡冠蚬肉：病名，胞睑内生色紫如肉，初起于脾眦之间，渐渐掩盖白睛和黑睛，或状若鸡冠，或形类蚌蚬吐肉，故名鸡冠蚬肉。多因脾胃积热，复感风热之邪，蕴结于目所致。此病类似今之睑结膜浆细胞瘤，眦部皮肤、结膜基底细胞癌，睑板腺瘤等。

【述要】

此节主要论述了鸡冠蚬肉症状特点及治疗原则，强调此病宜尽早割治，指出“治者须宜早割，不然，恐病久虽欲割亦无益矣。”内服药物可用凉膈清脾饮以疏风散热，清热解毒，凉血消瘀。外治宜用钩割法割尽鸡冠蚬肉。此法适用于蚬肉柔软色红者。若蚬肉质硬，色青或黑者，宜作进一步检查，然后再考虑如何治疗。

实热生疮^①症(三十九)

此症乃目病生疮，轻重不等，痛痒不同，重则有堆积高厚。紫血浓烂而腥臭者，乃气血不足，火实之邪，血分之热，尤重。如瘀滞之症，膏混水浊，每流于脾眦成疮，瘀血散而疮自除。勤劳湿热之人，每患脾眦成疮，别无疼肿症者，亦轻而无妨。火盛疮生，惟带肿疼者，又当急治，恐浊气沿于目内，病及于珠。凡见疮生，当验部分，以别内之何源而来，因其轻重而治之。宜服

加减四物汤：

生地	苦参 _{酒炒}	薄荷	川芎	牛蒡子	连翘
天花粉	防风	荆芥穗	赤芍	当归 _{各八分}	

水二钟，煎至八分，食后服。

芎归汤：

川芎 当归 赤芍 防风 羌活 各一钱

水二钟，煎至八分，去渣频洗，血和风亦去矣。

搽药妙方：治眼皮外满脸生疮。

血竭 乳香 没药 轻粉 陀僧 各一钱

同为细末，搽疮上少许。

又方：治脸生疮，破流黄水。

青黛 一钱二分 黄柏 潮脑^② 轻粉 各一钱 松香 一钱半

同为细末，用旧青布卷药在内，麻油湿透烧灰，俟油滴于茶杯内蘸搽。

【注释】

①实热生疮：病名，又名风赤疮痍。是指胞睑痒痛红赤，起水泡后溃烂化脓，溃处色如涂朱，甚者胞睑皆溃烂为疮痍的病症。多因脾胃湿热蕴积，外感风热毒邪，上攻于目所致。类似今之眼睑湿疹、眼部带状疱疹等。

②潮脑：即樟脑之处方名。

【述要】

此节主要论述了实热生疮的症状特点、患病部位、病因病机及治疗方药，指出湿热、火盛、血热是本病发生的主要原因。本病临床多表现为起初胞睑痒痛并作，皮肤红赤，继则出现水泡及脓泡。破溃后流出血脓，气味腥臭，溃处如涂朱砂，疮疹此起彼伏，秽汁痂皮结聚，高厚堆起。若浊毒秽汁浸渍目内，可引起黑睛溃烂。在治疗上，若风邪偏重，营血不足而出现胞睑痒胜于痛，溃处湿烂不显，红赤较轻者，可用芎归汤以凉血养血，祛风胜湿。若湿热偏重，胞睑肿胜于痒，紫血脓烂而腥臭，痂壳湿秽堆积者，可用加减四物汤以清热利湿，养血祛风。在外治法上，若眼皮外满脸生疮，可用搽药妙方搽疮上以解毒活血；若胞睑破烂流黄水者，可用搽药又一方蘸搽疮上以利湿解毒，收湿敛疮。

脾生痰核^①症(四十)

此症乃脾外脾内,生颗如豆,坚而不疼,火重于痰者其色红紫,乃痰因火滞而结。生于上脾者多,有不治而自愈者多。若恣辛辣热毒,酒色之人,久而变为癭瘤重疾矣。如初起知劫治之法,亦可平复。宜服

防风散结汤:

元参_{一钱} 前胡 赤芍 黄芩 桔梗 防风
土贝母 苍术 白芷 陈皮 花粉_{各八分}

水二钟,煎至八分,食后热服。

清胃汤:

炒栀 枳壳 苏子_{各六分} 石膏_钱 酒连 陈皮
连翘 归尾 荆芥穗 酒芩 防风_{各八分}

水二钟,煎至八分,去渣热服。

【注释】

- ①脾生痰核:病名,又名胞生痰核、胞睑肿核、目疣等。是指胞睑内生核如豆,硬而不疼,皮色如常,推之能移的病症。多因恣食辛辣,脾胃积热,与痰湿或痰火蕴结,使胞睑气血经络阻滞而成。此病即今之霰粒肿。

【述要】

此节主要论述了因痰火滞结或恣食辛辣等所致的脾生痰核症。本病临床多表现为:痰核初起,眼无赤痛,胞睑皮内生颗粒,渐大如豆,坚而不痛,皮色如常,或见皮色微红。治疗本病,若内有痰湿、外有风邪者,可用防风散结汤以祛风行气,化痰散结;若痰热内盛,外有风邪者,可用清胃汤以祛风散热,清热解毒,行气化痰。另外,本病若溃破之后,久不愈合,需防变生他症。

以上外障四十条,服、点、丸、散、汤剂八十四方。

眼科启蒙 卷三

目症外障(四十一至七十二)

迎风冷泪症(四十一)

此症见风则目流冷泪，乃水木二经^①血液不足，阴邪之患，久而失治，则有目昏视渺等症生焉。宜服

河间当归汤：

白术 云苓 炮姜 细辛 川芎 白芍 炙
草 各五分 官桂 陈皮 各一钱 归身 人参 各二钱

水二钟，姜一片，枣三枚，煎八分，热服，日三服。

阿胶散：

马兜铃 阿胶 各一两半 紫菀 款冬花 糯米 各一两
蒺藜 炒一钱 生草 五钱

为细末，每服二钱，不拘时，滚水调下。

【注释】

①水木二经：指肾肝二经。因肾主水，肝主木，故名水木二经。

【述要】

此节主要论述了因肝肾不足，阴寒内盛，外风侵袭所致的迎风冷泪症。临床多表现为：见风则流冷泪，眼无赤烂障翳，久而失治，则肝肾更损而视物昏花，冷泪绵绵，腰膝酸软。治疗可选用河间当归汤合阿胶散以益气养血，温肾健脾，散寒止泪。若肝肾更损而精血虚衰者，可选用杞菊地黄丸加沙苑子、菟丝子以滋养肝肾，养血明目。若泪道闭阻者，可行探通术或其他手术。

迎风热泪症(四十二)

此症不论何时何风,见风即流热泪,乃肝胆肾水津液不足,虚窍不密而风邪引出其泪也。中有隐伏之火发,故泪流而热。久而不治,必有变症。宜服

羚羊角散:

羚羊角_{煨末} 羌活 元参 车前 炒梔 酒芩
瓜蒌_{各五钱} 胡连_{酒炒} 菊花_{三钱} 细辛_{一钱}

为末,每服二钱,食后竹叶煎汤调下。

僵蚕散:

白僵蚕_焙 生草 旋覆花 细辛 木贼_{各五钱} 荆
芥_{二钱半} 桑叶_{嫩者一两}

为细末,每服二钱,滚水调食后服。

珍珠散:

珍珠_{另研} 朱砂_{研各三分} 干姜_{研二分} 贝齿_{煨水淬干研一两}
共研极细令匀,收贮,每仰卧以少许点眼中。

【述要】

此节主要论述了肝肾不足,内有伏火,外受风邪侵入所致的迎风热泪症。临床多表现为:不论何时何风,见风则泪流而热,眼无别症。若肝经受热,视物昏花者,可用羚羊角散以清热平肝,祛风散热,养肝明目。若风邪偏重者,可用僵蚕散以祛风止泪。本病外治可用珍珠散点眼以平肝解毒明目。

眦帷赤烂^①症(四十三)

此症只是眦帷赤烂,再无别病。赤胜烂者,多因劳心忧虑忿悖,无形之火所伤。烂胜赤者,多因嗜燥贪酒哭泣,风热薰蒸,有形之火所伤。病属心络,甚火盛而疮生于眦边,要分大小二眦,相火君火,虚实之症。宜服点

防风通圣散：

防风 川芎 熟军 赤芍 连翘 麻黄 芒硝
薄荷 当归 滑石 生草 炒栀 白术 桔梗
石膏_煨 荆芥穗 酒芩_{各一两}

同为粗末，每服四钱，姜三片，水二钟，煎一钟，去渣，食远温服。

如两睑溃烂，或生风粟，白睛红赤，加菊花、黄连、羌活、蒺藜，名曰菊花通圣散。弱人便不结者，减硝、黄。

紫金膏：

黄丹二两，水飞，炒研细，蜜七分，水三分，磁器内先文后武，熬膏收贮点患处。

【注释】

- ①眦帷赤烂：病名，又名目眦赤烂、目眦溃烂，是指目大小眦溃烂的病症。多因心肝火旺，风热毒邪上犯于目眦所致。本病类似今之眦部睑缘炎。

【述要】

此节主要论述了因心肝火旺，风热毒邪上犯于目眦所致的眦帷赤烂症。治疗可用防风通圣散以疏风散热，泻火解毒；若兼白睛红赤，可加菊花、黄连、羌活、蒺藜以散热泻火，清肝明目。外治可用紫金膏点患处以解毒止痒，收敛生肌。

迎风赤烂^①症(四十四)

此症不论何风，目见之，睑边即赤烂，无风即好。夫风属木，木强土弱，则邪易侵，内邪引外邪，土受土克，是以有风则烂，无风则愈。赤烂者，土木之病也。赤者木中火症，烂者土之湿症。若痰若湿烂胜赤，若火若燥赤胜烂。若心承肺者，珠亦痛而赤焉。宜服洗柴胡散：治眼眶涩烂，因风而作，用气药燥之。

柴胡 防风 赤芍 荆芥 羌活 桔梗 生地

生草 各一两

为细末，每服三钱，滚水调服。

疏风散湿汤：

赤芍 酒连 防风 各五分 铜青 研另入 川椒 归
尾 各一钱 轻粉 一分另入 羌活 五分 五倍子 三分 荆芥 六分
胆矾 明矾 各半分

共为一处，水二钟，煎至一钟，去渣，外加铜青、轻粉搅匀，用绵纸滤过澄清，以绵花蘸洗患处。

如久烂有虫，覆盆子叶煎汁以皂纱蒙眼，取笔画两目于纱上，然后滴药汁于眼下弦，须臾虫从纱中出。又

去虫神效方：

覆盆叶 研末一钱 干姜 烧灰 生矾 各半分 枯矾 一分

上研一处，蜜调用绢做膏药，贴眼上一夜，次午揭起，虫自出绢上，次晚再将肥猪肉切片，贴上眼，一宿即愈。

【注释】

①迎风赤烂：病名。是指以风邪为主引起的睑弦赤烂。

【述要】

此节主要论述了内有湿热蕴结，外有风邪侵袭所致的迎风赤烂症。临床特点为：睑弦遇风则赤烂，无风则愈。治疗可内服柴胡散以祛风解热，凉血祛瘀。外用疏风散湿汤蘸洗患处以祛风除湿，解毒杀虫，燥湿止痒。另外还可用去虫神效方做成膏药贴患处以收涩湿气，解毒杀虫，燥湿止痒。

风热病目^①症（四十五）

此症因风生病，盖风属木，木为肝，肝之窍在目，久病则热盛，木能生火，火盛则血因风火，久而不息，遂致耗损。况久病必生郁，郁则又生火，火性上炎，火热极而又生风，展转相生，内外翳障皆起于此。有因风入脾而脾反湿，赤胜烂者；有火邪乘乱清和之气，因郁

而为内障者；有风胜血滞结为外障者。大抵因风病目者，当去风为先，清火次之。若风不除而火不息。宜服

夜光柳红散：治风牵睑翻，泪出汪汪。

人参	荆芥穗	川乌 _炮	白芷	南星 _制	石膏
川芎	首乌	草乌 _{去皮尖炮}	石决明	藁本	细辛
雄黄	归身	蒲黄	薄荷	防风	苍术
藿香	全蝎 _{各一两半}	羌活 _{三两}			甘松

同为末，每服二钱，茶清调下。

加减地黄丸：治肝虚积热，膜入水轮，眵泪昏花等症。

生地 熟地 石斛 防风 枳壳 牛膝_{各四两}

杏仁_{去皮尖麸炒研去油净四两}

为末，杏霜另入，不犯铁器，蜜丸如桐子大，每服五十丸，空心盐汤送下，忌一切动风毒等物。

【注释】

①风热病目：病名。是指风热毒邪，侵袭人体，上犯于目而所致的各种眼病。

【述要】

此节主要论述了因风生病的各种情况，其中风与火热、湿热、血滞关系最为密切。此病在治疗中当以“去风为先，清火次之”。在治疗上，若风牵而胞睑外翻不收，泪出汪汪者，可服用夜光柳红散以益气祛风，解毒通络，养血明目。若肝血不足，内有积热，复受风邪而出现膜入水轮、眵泪、昏花、视物不明者，可服用加减地黄丸以滋肾养肝，祛风明目。

疮毒攻目症（四十六）

此症因生疮疡痘疹，浊害清和，累及于目。若病目在于病毒之时，治毒愈而病亦愈。若毒愈而目不愈者，乃邪入至高之深处，难以速退，当浚^④其流而清其源。若急迫，必有瘀滞之变矣。宜服

内疏黄连汤：

黄连 炒枳 黄芩 归身 桔梗 广木香 槟榔

赤芍 生草 薄荷_{各八分} 连翘 熟军_{各钱二分}

水二钟，煎至八分，食远服。

还阴解毒汤：治疮余毒移害肝肾^②，致目浊混不明。

川芎 当归 生地 银花 连翘 酒芩 土茯

苓 酒连 苦参 麦冬 白芍 黑参_{各八分} 生草_{四分}

水二钟，煎至八分，温服。梅疮余毒害眼者尤效。

【注释】

①浚：读作(jùn)，疏通之意。

②肾：原作“胆”，今据《审视瑶函》改。

【述要】

此节主要论述了患疮疡、痘疹时毒邪攻眼而导致的各种眼病。痘疹亦名痘疮，斑疮，百岁疮等，今名天花。最易传染，小儿最多见，由于牛痘疫苗的发明，此病在我国现已绝迹。疮疡、痘疹发病时往往导致眼疾，且痘疹之毒最重。其毒常侵及胞睑、白睛、黑睛等处，可引起睑弦赤烂、黄液上冲、凝脂翳、花翳白陷、蟹睛症、目珠偏斜、突起睛高，甚至内障昏渺、暴盲等。若疮毒炽盛，皮色肿硬，发热作呕，两目赤痛红肿，大便闭而脉洪者，可用内疏黄连汤以清热泻火，凉血解毒，行气活血；若疮毒未清，移害于肝肾，致瞳神窄小，目睛黑白混浊，视物不明，兼赤丝布睛者，可用还阴解毒汤以滋肾养血，清肝明目，清热解毒。

别病累目症(四十七)

此症因害别病，而累及于目，所致不同，亦各因人触犯感受，脏腑经络衰旺，随其所因而入为病。内外轻重不等，当验其标而治其本，不可拘定眼科药法治之。

前胡^①犀角饮：治伤寒两目生浮翳。

黄芪_{钱二分} 蔓荆子 犀角_{钱末} 青箱子 前胡

炒梔 防风 麦冬 羌活 生地 细辛 车前
草决明^炒 菊花^{各八分} 生草^{四分}

水二钟，煎至八分，食后^②温服。

羌蔚子丸：治瘟疫后目有翳膜。

酒连^{炮三两} 枸杞子 枳壳 青箱子 生地^{各一两}
羌蔚子 泽泻^{各一两半} 石决明 细辛 麦冬^{各二两}

为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三钱，食后浆水送下。

清神益气汤：治脾胃虚弱，或服寒凉太多，而目愈病者。

云苓 人参 白术^{各一钱} 苍术 白芍 升麻
防风 黄柏^{盐水炒} 广皮 青皮^{各六分} 炙草 麦冬
五味^{各五分}

水二钟，煎八分，温服。

顺经汤：治室女月水逆行冲眼，红赤生翳。

归身 川芎 柴胡 桃仁 香附 川乌 青皮
红花 广皮 苏木 赤芍^{各八分} 元参^{酒炒五分}

水二钟，煎至八分，用黄酒一杯，食远温服。热甚加黄连酒炒五分。

【注释】

①胡：原误作“故”，今据《审视瑶函》改。

②后：原作“复”，今据《审视瑶函》改。

【述要】

此节主要论述了因患其他疾病而累及到眼的情况。这种别病累目因感受病邪的情况不同而表现为各种各样，应根据实际病症而治病求本，不能单独拘泥于眼病治法。若患伤寒而两目浮翳者，可用前胡犀角饮以祛风散寒，清心明目；若温疫后有翳膜者，可用羌蔚子丸以滋阴清热，平肝明目；若脾胃虚弱，或服寒凉太多而致目病者，可用清神益气汤以健脾益气，行气燥湿，滋阴明目；若室女月水逆行冲眼，红赤生翳者，可用顺经汤行气活血，以使上逆之经

血从下窍而出，则红赤生翳自退。

物损真睛症(四十八)

此症乃目被物伤，迫在风轮之急者，有黄白二色，黄者害速，白者害迟。若尖细之物触伤者，浅小可治；若粗砺之物伤大而深，有损瞳神者，虽愈亦有痕迹；若触之破珠，虽急治，瞳神即在，亦难免欹侧^①之患。物虽尖小而伤深膏破者，亦有细细黑颗，如蟹睛而出，愈后有疤；若飞流之物，撞入而破风轮者，必致青黄牒出，状若稠痰白脂，凝在风轮，欲流不流，此是伤破神珠，外边气分之精膏也。若神昏者，瞳神有大小欹侧之患，久而失治，目必枯凸。大凡此症，不论大小黄白，若有流泪赤障等形，必生变症。宜服

加味四物汤：

白芍 川芎 当归 荆芥 熟地 防风_{各一钱}

水二钟，煎至八分，入生地黄汁，再煎滚，温服。

经效方：治目撞刺生翳兼风热攻痛。

前胡_{一两} 犀角_{锉末三钱} 赤芍 归尾 熟军_{各五钱}

连翘 生草_{各二钱半}

同为末，每服二三钱，白水调下。

一绿散：治打扑伤目，眼胞赤肿痛甚。

荷叶 生地_{各一两}

二味捣烂，敷眼胞上。或为末，鸡蛋清调敷亦可。

【注释】

①欹侧：欹，读作(qī)，倾斜之意。“欹”原作“倚”，今据《审视瑶函》改。欹侧即倾斜于某一侧之意。

【述要】

此节主要论述了物损真睛的各种症状表现及治疗方药。所谓物损真睛是指因外伤所致的眼珠破损，即今之眼球穿孔伤。其为严重的外伤性眼疾，病情

与损伤的部位、原因、程度、有无异物存留或感染有关。一眼真睛破损，尚可导致另一眼视力渐降而目盲。临床多表现为白睛或黑睛穿破，或珠内组织脱出，头眼剧痛，羞明流泪，胞肿难开，视力骤降。如白睛穿破可见神膏外溢，状如鸡子清；黑睛穿破，则神水立即外溢，黄仁突出，状如蟹睛；若破口大者，可致神膏、神水、黄仁、晶珠等珠内组织均可脱出，终至眼珠枯凹而失明。在治疗上，若真睛破损、风邪乘袭者，可用加味四物汤以除风去邪，养血益损；若外邪侵入、热毒炽盛者，可用经效方合五味消毒饮以清热泻火，凉血化瘀；若眼胞赤肿痛甚者，可用一绿散外敷以清热解毒，凉血消肿。在外治疗法上，一般采用西医方法，首先应处理好伤眼的创口，并注射破伤风抗毒素，其次对于眼内有异物存留者，宜尽快手术取出。最后对于眼内容物脱出较多，视力完全消失，无治愈希望者，可考虑眼球摘除，同时对真睛破损引起的交感性眼炎应高度重视。

眯目飞扬^①症(四十九)

此病因风吹砂土，柴渣入目，频多揩拭，以致血气凝为病。初起磊涩赤脉，泪流急涩，结为障翳，轻重不等。当看形症，以别经络而治，当于初眯之时，用外法治之，自不至于成症。

孙真人神效方：

盐一撮，豆豉四五钱，置于水碗中浸之，以目视水，其物自出。

又方：山居物眯眼中，以新笔蘸水缴出。

【注释】

①眯目飞扬：病名，又名异物入目、物偶入睛、飞尘入眼等。是指因风吹沙尘、木屑、谷壳等异物进入眼中引起的病症。类似今之角膜、结膜的表浅异物。眯，读作(mi)，意指灰尘等进入眼内，使眼睛一时睁不开。类似今之角膜、结膜的表浅异物。

【述要】

此节主要论述了因风吹砂土、柴渣等异物进入眼睛，频多揩拭所致的病症。临床多表现为眼感沙涩刺痛，流泪难睁。若异物在胞睑内边缘及白睛表面者，只有沙涩不适之感；若异物在胞睑内面正当黑睛部位或嵌在黑睛表面时，

则刺痛泪出，羞明难睁，甚或目赤生翳。异物入目后，严禁揉擦或以不洁之物挑拨。异物表浅者，用消毒生理盐水冲洗或用消毒棉签、清洁手帕等轻轻揩去；若深陷牢固、冲洗不去者，应在无菌条件下用 0.5% 的地卡因滴眼 2~3 次以表面麻醉，再用消毒异物针呈 15° 轻轻挑出异物，术后滴用抗生素眼药水和眼膏。

飞丝入目症(五十)

此症风扬游丝，偶然撞入目中而病痛，泪涌难开，壅瘀肿胀，珠痛难当，宜用外法治之。

丹溪经效方：

用金墨浓磨，以新笔涂入目中，闭目少时，用手扳开眼皮看之，其丝自成一团，沾在白睛上，即用笔轻轻拭出则愈，如丝未尽再涂。

又方：用火麻子一合，捣碎，井花水浸搅碗中，将舌浸水内，涎沫自出立愈。

【述要】

此节所述的飞丝入目症是指空中飞荡之金蝉、蜘蛛等虫类之游丝之物入于目内，以致倏然而痛，眼涩难开，眼肿目赤，泪出羞明，珠痛难当的病症。治疗可用消毒生理盐水冲洗除去，或用消毒棉签、清洁手帕等轻轻揩去。至于上述用新毛笔涂金墨拭出的方法，现已不再运用，仅作参考。

逐年频发症^①(五十一)

此病暴发红肿，治不得当，或岁岁至期而发，过期而愈，久而不治，终成大患。因其所发之时，别其病本在何经络，在何部位治之。

洗肝散：治发于春者。

归尾 川芎 薄荷 生地 羌活 炒栀 熟军
胆草 防风_{各八分} 生草_{四分}

为细末，每服三钱，白滚水调下。

洗心汤：治发于夏者。

黄连_{酒炒} 生地_{各一钱半} 木通 炒梔_{各一钱} 生草_{三分}
归尾 菊花_{各一钱二分}

水二钟，煎至八分，温服。

泻肺汤：治发于秋者。

羌活 黑参_{酒炒} 酒芩_{各一钱半} 桔梗 地骨皮 熟
军 芒硝_{各一钱}

水二钟，煎至一钟，食后温服。

六味地黄汤：治发于冬者。

熟地 山萸_{去核} 山药 泽泻 云苓 丹皮_{各一钱}

水二钟，煎至八分，温服。

羌活除翳汤：治太阳寒水，翳膜遮睛。

麻黄_{五分} 薄荷_{四分} 生地_{酒洗七分} 川芎 归身_{各六分}
荆芥穗 藁本_{各一钱} 羌活_{一钱半} 细辛_{二分} 知母_{酒炙八分}

川椒_{去目五分}

水二钟，煎至八分，食远稍热服。

明眼流气饮：治阳明病，眼目昏暗，生翳赤肿。

苍术 细辛 牛蒡子 熟军 川芎 防风 蒺
藜 炒梔 黄芩 菊花 蔓荆子 炙草 木贼
元参_{各七分} 草决明_{一钱}

水二钟，加酒一小杯，煎至八分，临卧温服。

【注释】

- ①逐年频发症：病名，又名时复症。本病有定期发生的特点，年年至期而发，与四时季节有关，往复循环，故又名时复症。若每逢春季发病，至盛夏则加剧，秋季之后，症热渐减而消退，翌春可再发者，相当于今之春季卡他性结膜炎。若每逢春末夏初花草丛生之时，或秋冬之交发病，过期而愈者，相当于今之枯草热性结膜炎。

【述要】

此节所述之逐年频发症，多因风热时邪，上犯肺经或脾肺湿热蕴积，复受风邪所致。临床多表现为目疾每年定期发作，眼痒难忍，灼热微痛，羞明流泪，眵涩不爽，眼眵色白，形如粘丝。胞睑微肿，白睛红赤或呈黄红色，睑内扁平颗粒丛生，排列整齐，或在黑睛与白睛之际，有褐黄色肉样厚膜。过期则减轻或自愈，第二年到期再发。在治疗上，若发于春季者，可用洗肝散以疏风清热，滋阴养血，泻热解毒；若发于夏季者，可用洗心汤以清心泻热，滋阴活血；若发于秋季者，可用泻肺汤以滋阴润燥，泻火解毒；若发于冬季者，可用六味地黄汤以滋阴清热；若太阳寒水司天，翳膜遮睛者，可用羌活除翳汤以祛风散寒，明目退翳；若阳明胃经积热，复受风邪而眼目昏暗、生翳赤肿者，可用明眼流气饮以祛风散热，解毒明目。以上是按季节时令不同而分别用药，在实际临床中，除了按时用药外，还应根据病人的实际情况灵活用药。本病还可配用激素类眼药滴眼。

脾内椒疮^①症(五十二)

此症生于脾内，红而坚者是，有则沙擦难开，多泪而疼。轻者只宜善治，若累累连片疙瘩，高低不平，不得已而导之^②，中病即止，过则血损，恐伤真水。宜服

归芍红花散：

当归 熟军 炒梔 黄芩 红花_{俱酒洗炒} 赤芍
生草 白芷 防风 生地 连翘_{各一两}

同为末，每服三钱，白滚水调服。

【注释】

①脾内椒疮：病名，又名椒疮。是胞睑内生红色微小颗粒，累累如疮，状如花椒，故名脾内椒疮，即今之沙眼。系传染性较强的眼病，由沙眼衣原体引起。

②导之：即开导之。

【述要】

此节主要论述胞睑内椒疮的主要症状及治疗方药。按椒疮的症状，与西

医眼科之沙眼的睑结膜乳头肥大、滤泡增生症状相似。临床多表现为：初起无明显异常症状或仅觉眼部微有痒涩感，翻转胞睑，可见睑里靠两眦处红赤且有少量细小颗粒，色红而硬。病势发展，睑里红赤加重，颗粒增多，可布满睑里，甚至胞睑肿硬，重坠难开，自觉睑内刺痒灼热，沙涩羞明，生眵流泪，重者伴见白睛红赤，黑睛赤膜下垂，星点翳膜，危害视力。本病中医内治可按风热客睑、脾胃湿热、血热壅滞三方面论治。此节所述症状属血热壅滞，可用归芍红花散以凉血散瘀，清热解毒，疏风散邪。外治除点眼药水外，若颗粒累累者，可用黄连制灯心草或海螺蛸棒磨擦。西医可用0.1%利福平眼药水点眼，每日3~6次，坚持1~3个月可收效。

脾内粟疮^①症(五十三)

此症生于眼胞之内，细颗黄软，似脓不出，系湿热气滞于血分，沙涩磨疼，若头痛必有变症，乃极重之症，非若椒疮红坚易散者。宜用手法挤破疮头，出其黄脓后服

除风清脾汤：

广皮 连翘 防风 知母 元明粉 酒芩 元
参 酒炒 酒连 荆芥 熟军 桔梗 生地 各五分
水二钟，煎至八分，食远温服。

【注释】

①脾内粟疮：病名，又名眼生风粟。是指胞睑内面生累累颗粒，大小均匀，色黄而软，似脓不出，状如粟米粒的病症。类似今之结膜滤泡症或滤泡性结膜炎。

【述要】

此节所述脾内粟疮症，多因脾胃湿热气滞，复受风邪，风邪与湿热相搏，壅阻于胞睑所致。临床多表现为白睛及胞睑内红赤，睑内黄色颗粒累累，大小均匀，胞肿，眵泪胶粘，沙涩不适，痒痛难开。治疗可用除风清脾汤以祛风除湿，清热通络。若湿邪阻络者，可用五皮饮以健脾除湿；若湿热壅滞者，可用甘露消毒丹以清热利湿。外治可用黄连西瓜霜眼药水点眼。本病为接触性传染眼病，患者之手巾及其他卫生用品宜专用。

木疳^①之症(五十四)

此症生于风轮者多,其色蓝绿青碧,似乎豆形。有虚实二症,虚者大而昏花,实者小而痛涩。大小不一,亦随其症,或变为尖长之形,失治不散,瞳神必然睛珠破坏。宜服

羚羊角饮子:实者服。

羚羊角_{锉末} 细辛 熟军 知母 五味子 芒硝_{各一两} 防风_{二两}

同为末,每服五钱,水二钟,煎至一钟,食远温服。

平肝清火汤:虚者服。兼治乌睛胀大。

车前子 连翘_{各一钱} 枸杞子 柴胡 夏枯草 白芍 生地 当归_{各一钱半}

水二钟,煎至八分,食后温服。

【注释】

①木疳:病名。指黑睛表面生一个或数个小疱,其形如豆,大小不一的病征。因黑睛属肝,肝属木,故称木疳。类似今之泡性角膜炎。

【述要】

此节所述木疳之病,包括虚、实二证,实证多因肝经实热或湿热蕴结,上犯于目所致。虚证多因阴血不足,虚火上炎所致。本病临床多表现为:羞明泪热,碜涩刺痛,抱轮红赤。黑睛表层可见一个或多个颗粒状小疱,大小不等,部位不定,溃破后呈一较浅的凹陷,轻浅者愈后可不留瘢痕翳障。若向黑睛深层发展,则凹陷加深,不仅红赤疼痛等症加重,而且愈后必留瘢痕翳障,影响视力。甚者可致黑睛穿孔,变成蟹睛等症。在治疗上,实证可用羚羊角饮子以泻火解毒,清肝明目;虚证可用平肝清火汤以滋阴养血,平肝清火。

火疳^①之症(五十五)

此症生于脾眦气轮,若在气轮为害尤急。盖火之实邪发于金轮,火来克金,故害为急。初起如粟疮榴子一颗,小而圆,或带横长

而圆，状如红豆，次后渐大。痛者多，不痛者少。宜服

洗心散：

熟军 赤芍 桔梗 元参 酒连 荆芥穗 知母 防风 酒芩 归尾_{各等分}

同为细末，每服三钱，食后清茶调下。

【注释】

- ①火疳：是指心肺两经实火上攻白睛，火邪无从宣泄，致使白睛里层向外发生局限性紫红色结节状隆起的眼病。因系火邪无从宣泄，滞结为疳，故称之为火疳。类似今之前部巩膜炎。

【述要】

火疳一病，多因火热毒邪蕴结心肺两经所致。临床多表现为初起患眼刺涩难睁，羞明流泪，疼痛剧烈，视物欠佳。白睛深部向外突起一紫红结节，其形或圆或椭圆，大小不等，推之不移，压痛明显。初起结节如榴子，日渐增大，色呈紫红或紫蓝，甚者可环绕黑睛，如赤环高起，病变周围白睛亦赤脉丛生，一般很少溃破。若失治或误治，可发展为白睛青蓝症，偶有白睛溃穿者属偏漏。侵及黑睛，可变为瓷白色翳膜；侵及瞳神，可致瞳神缩小或粘着变形，也可致眼前黑影飞舞。若历经数年不消，危害严重者，可导致失明。治疗本病，应以心肺热毒蕴结为主，可用洗心散合还阴救苦汤以祛邪散热，泻火解毒，凉血散结，通利肺气。本病还可配合西医疗法，可口服消炎药，用0.5%醋酸可的松眼液点眼，每日4~6次。若发现瞳神紧小者，须及时用1%阿托品眼液或眼膏点眼扩瞳。

土疳^①之症(五十六)

此症眼胞内生毒，俗呼为偷针病，乃脾家燥湿瘀滞气血之故。有一目生而转两目者，有止生一目者，轻则不治自愈，重则出血流脓。若风乘虚而入，则头脑胀痛，目亦赤红，必有为漏为吊败之凶，因其病而治之。宜服

清脾散：

薄荷 升麻 炒梔 赤芍 枳壳 酒芩 广皮
藿香 石膏 防风_{各一两} 生草_{五钱}

同为细末，每服二钱五分，白滚水调下。

敷药方：

生南星_{三钱研末} 生地_{五钱}

水少许浸药，捣为膏，贴太阳穴，其肿即消。

【注释】

- ①土疳：病名，即针眼，又名土疡，俗名偷针。是指胞睑近睑弦部生小疖肿，形似麦粒，易于溃脓的眼病。其病名是因治疗该病的针刺方法而得名。类似于西医之急性化脓性睑腺炎（即外麦粒肿），急性化脓性睑板腺炎（内麦粒肿）。

【述要】

此节所述之土疳，乃脾胃积热，瘀滞胞睑气血，加之风邪侵袭，壅阻于胞睑所致。临床多表现为：初起胞睑微痒痛，近睑弦部皮肤微红肿，继之形成局限性硬结，并有压痛，硬结与皮肤粘连，形如麦粒。若病变位于目外眦者，红肿焮痛较剧，并可引起小眦部白睛赤肿。部分患者可伴有耳前或颌下淋巴结肿大及压痛。本病轻者数日内可自行消散，重者3~5日后，于睑弦近睫毛处出现黄白色脓头，形如麦粒。对于本病的治疗，未成脓者，可用清脾散以清热利湿，祛风解毒，凉血消肿；已成脓者当切开排脓。

金疳^①之症（五十七）

此症初起，与玉粒相似，色白至大方变出祸患。生于脾内必碍睛珠疼痛，渐生障翳；若生于气轮，必有睛痛泪流之苦。子后午前阳分气升之时，病尤甚，午后入阴分，病稍轻，久而失治，违戒犯触，必有变漏之患。宜服

泻肺汤：

桑白皮 酒芩 地骨皮 知母 麦冬 桔梗_{各一钱}
水二钟，煎至八分，食后温服。

【注释】

- ①金疳：病名，又名金疡。系白睛表面起粟粒样小泡，周围绕以血丝的眼病。因白睛属肺，而肺属金，故称为金疳。类似今之泡性结膜炎，是由结核菌素引起的一种迟发性变态反应。

【述要】

此节所述金疳之病多因肺阴不足，阴虚燥热，上攻于目所致。临床多表现为眼沙涩不爽，怕日流泪，眼痛无眵，白睛表层颗粒如粟，形圆色白，周围绕以赤脉，部位不定，数目不等，大小不一，压之不痛。亦可积久变大，色白或淡黄，甚者溃破。或侵犯黑睛边缘，羞明疼痛。数日之后，渐消而愈，但易反复，本病预后良好，目力无损。治疗可用泻肺肠以滋阴润燥，清热泻肺。外治可用10%千里光眼液滴眼；颗粒破溃者，可用真珍散点眼。西医一般用0.5%链霉素和0.5%可的松眼药水点眼。

水疳^①之症(五十八)

此症生于脾眦气轮之间者多，若在风轮，目必破损，有虚实大小二症，实者小而痛甚，虚者大而痛缓，状如黑豆，亦有横长而圆者，或头如针刺，或眼眶带脑烘疼，乃肾胆火郁所致。若失治，有瞳神散大及漏睛之患。宜服

蠲毒饮：实症小而痛甚者服。

防风 赤芍 川芎 连翘 牛蒡子_{研炒} 生草_{各八分}
水二钟，煎至八分，食后温服。

加减四物汤：虚症大而痛缓者服。

当归 熟地 赤芍 川芎 生草_{各八分}
水二钟，煎至八分，食后温服。

【注释】

- ①水疳：疑指白睛生漏，又名偏漏。发病者多患有历节风，且年逾五旬的妇女多见。病程缓慢或急剧，数周内可导致失明。因病变处成漏后，神水、神膏渗出，因其属肾主水，故名水疳。类似于今之穿孔性巩膜软化症。

【述要】

此节所述之水瘡之症，相当于白睛生漏，临床多表现为目珠不红不肿或赤肿轻微，白睛正中或黑睛、白睛之际，白睛变薄，呈青蓝色，该处渐呈腐肉样，甚者坏死，渐而成漏，因而神水、神膏渗出。久则目珠萎陷，因而失明。治疗上，若风热上扰之实证，可用瞿毒饮以疏风清热；若血虚之虚证可用加减四物汤以养血祛风；若属痰湿客留肺经，可用补中益气汤合二陈汤以益气健脾，除湿化痰；若已成漏，宜尽早施行手术治疗，以免目珠塌陷。

大眦漏症(五十九)

此症大眦之间生一漏，时流紫红血水，胀疼而不爽，病在心部，实火之毒，须要补肾以泻心。宜服

燥湿汤：

酒连一钱 苍术 白术 陈皮各八分 云苓 半夏
枳壳 炒栀各七分 生草三分

水二钟，煎至八分，食后热服。

五花丸：如前。

金沸草二两 砂仁炒 川椒各七钱 炙草四钱 菊花
黄柏酒炙 枸杞各一两半 巴戟八钱

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服二十丸，空心盐汤送下。

【述要】

此节主要论述了因肾气不足，痰湿阻滞，心火上炎所致的大眦漏症。多为漏睛疮失治，溃口不敛所致。类似于今之慢性泪囊炎引起的漏管。临床多发现为：大眦之间产生一漏，时流紫红色血水，漏处红赤肿胀疼痛。治疗可用五花丸补肾化痰，清热燥湿；或用燥湿汤以燥湿化痰，清心泻火。

小眦漏症(六十)

此症小眦之间生一漏，时流血水，其色鲜红，胀沾而不爽，是病由心络而来，下焦火横行之故。当补肾而抑之，火消而目自愈。宜

服

泻湿汤：

车前子 酒芩 木通 陈皮 各一钱 竹叶 二十片 云
苓 枳壳 炒栀 荆芥 苍术 各八分 生草 三分

水二钟，煎至八分，去渣热服。

白薇丸：

白薇 五钱 石榴皮 防风 蒺藜 羌活 各三钱

同为末，米糊为丸，如桐子大，每服二十丸，白滚水下。

益阴肾气丸见首卷。加羌活、防风以补肝肾不足。

【述要】

此节主要论述因痰湿阻滞，下焦湿热，心络之火上炎，复受风邪所致的小
毗漏症。临床表现为小毗之间产生一漏，时时流出血水，其色鲜红，患处肿胀
而粘滞不爽。治疗可用泻湿汤合白薇丸以燥湿化痰，清热利湿，祛风散邪，清
心明目。

阴漏痛胀^①症(六十一)

此症不论何部生漏，但从昏至天晓，胀痛而流黑水者是，日间
病稍减，此幽阴中有伏隐之火，随气升降而来，故夜间病重，而白日
病轻，当温而清之。宜服

黄芪汤：

黄芪 麦冬 云苓 防风 人参 地骨皮 漏
芦 知母 远志 熟地 各等分

水二钟，煎至八分，热服。

【注释】

- ①阴漏痛胀：病名，又名阴漏。是指漏处肿胀疼痛，无红赤，脓液清稀如水，呈青黑
色，或腥臭不可闻，痒痛日轻夜重的眼病。此漏常生于小毗近眶骨处，类似于今
之骨髓炎引起的漏管。

【述要】

此节所述之阴漏痛胀症，多因素体虚弱，毒邪外袭，上犯于目，邪毒内陷或眼疽等失治变生所致。内服药物可用黄芪汤以益气养阴，托毒敛口。此病较难痊愈，必要时可结合外治疗法及手术疗法。

阳漏痛胀^①症(六十二)

此症不论何部分生漏，但日流黄赤水而胀痛，夜间稍轻者即是。病在阳分，随气而来，治当补正气而清凉燥湿。阴阳二症，各发有时，若常时流者，各有正名，彼此不同。宜服

保光散：

牛蒡子^炒 胆草 白芷 白芍 防风 酒芩
炒枳 川芎 生地 归身 羌活 荆芥^{各一两} 熟军
生草^{各五钱}

为粗末，每服四钱，水二钟，煎至一钟，去渣，食后服。

补漏生肌散：诸漏皆可治。

枯矾 轻粉 血竭 乳香^{去油各等分}

共研油腻，对漏处点之，外用盐花明矾少许煎水，时洗其眼。

小牛黄丸：治一切漏眼及毒疮等漏。

牛黄 珍珠 朱砂 母丁香 乳香^{去油} 没药^{去油}
沉香^{锉末} 明雄 人参^{各一钱} 琥珀^{八分} 麝香^{三分}
乳石^{煅一钱半} 白芷 归尾^{各二钱半}

同为细末，老米饭为丸，如粟米大，每服一分，空心并临卧各一服，淡土茯苓汤送下。

【注释】

- ①阳漏痛胀：病名，又名阳漏。是指漏处肿胀疼痛，红赤灼热，脓汁黄赤且稠，疼痛日重夜轻的眼病。此漏多生于胞睑外睛明穴处。

【述要】

此节所述之阳漏痛胀症，多因心肺积热，上犯于目，复受风邪所致；也可由于正气不足，心火上炎，加之湿热阻滞所致。治疗上可用保光散以祛风散邪，泻火解毒；也可配合小牛黄丸以益气行血，生肌敛口，泻火安神。外治可用补漏生肌散点眼以活血消肿，去腐生肌。

倒睫拳毛^①症(六十三)

此症皆因目病不知禁忌，或酒或欲，或风霜劳苦，致以风邪，皮松弦紧，毛渐倒睫，未免泪出频拭不已，便致羞明。故毛扫睛生翳，以药治最难，不得已用法夹之，如夹定以敷药为主，俟夹将落，即敷其痕，可保，不然依然复旧，功枉费矣。宜服敷

石膏羌活散：治久痛患目，昏暗不明，并拳毛倒睫等症。

苍术 羌活 蒙花 白芷 石膏^煅 木贼 藁
本 酒连 细辛 菊花 荆芥 川芎 生草^{各等分}

同为细末，每服二钱，食后临卧清茶调服。

流气饮：

荆芥 炒栀 牛蒡子 蔓荆子 细辛 防风
蒺藜 木贼 元参 人参 川芎^{各五六分}

水二钟，煎至八分，食后服。

紧皮膏：

石燕^{煅一对} 石榴皮 五倍^{各三钱} 黄连 明矾^{各一钱}
铜绿^{五分} 阿胶 鱼膘 水胶^{各三钱}

以上除胶余共为末，水三五碗入磁器内，文武火煎熬，槐柳枝搅为浓糊，将成膏，入冰、麝各三分，研匀收贮用。新笔蘸涂上下眼皮，日三五次。凉天可行此法，至重者，五十日全出。

起睫膏：

木鳖子^{去壳一钱} 自然铜^{煅醋淬五分}

上研烂为条子，噓鼻；又以石燕末，入片脑少许，研水调敷眼弦。

外治法：

用手翻出内睑向外，以三棱针出热血，数日一针，血散尽即愈。

夹眼法：

用薄笔管竹，破两半，做夹寸许，当归汁浸一日夜，取出阴干，以麝香拌之，夹时先翻过眼皮，如有瘀滞，即导血尽，仔细看睫毛毫无倒生者，方着力扯紧夹之，夹不可大高，只在重弦，俟干夹脱下，用光粉调香油，即早搽抹痕处，久则肉色如旧。

【注释】

- ①倒睫拳毛：病名，又名拳毛倒睫、拳毛倒插等。是指睫毛倒向睑内，拳曲乱生，刺扫眼珠的病症。相当于今之沙眼并发症之内翻倒睫及痉挛性睑内翻之内翻倒睫等病。

【述要】

此节所述之倒睫拳毛症多因风霜劳苦，嗜辛辣烟酒色欲，使湿热内生，加之受风邪外侵，上犯于目之胞睑脉络所致。另外还可因椒疮失治或睑弦赤烂等所致。临床多表现为眼疼涩刺痛，热泪频流，羞明难睁，轻者睫毛一根或数根倒生；重者胞睑内翻，睫毛拳曲，排列杂乱，扫刺眼珠。更甚则胞睑内卷，睫毛严重刺刷睛珠，白睛红赤，黑睛混浊或溃烂，危害视力。治疗内服药物可用石膏羌活散合流气饮以疏风清热，平肝明目。外治可用紫皮膏涂上下眼皮。关于针刺放血及夹眼法因问题较多，现已不用。现对于倒睫稀少者，可用电解倒睫术；倒睫多而睑内翻者，可用眼睑内翻矫正术；若椒疮所致者，可以积极治疗椒疮。

皮急紧小^①症(六十四)

此症是目脾紧急，而渐次缩小。乃膏血津液涩耗，筋脉缩急之故。亦有因拳毛倒睛，屡次用夹，伤于津液血脉急小者，皆宜服

神效黄芪汤：

蔓荆子_{八分} 黄芪_{一钱} 人参 炙草 白芍_{各一钱}

广皮_{五分}

水一钟，煎至八分，临卧温服。如有大热症加酒炒黄柏七分，如眼紧小去芍药，忌酒、醋、大料、葱、蒜、韭及生冷。

东垣拨云汤：

黄芪 柴胡_{各七分} 细辛 葛根 川芎_{各五分} 藁本
归身 荆芥穗 知母 升麻_{各一钱} 生草_{三分} 羌活
黄柏_{盐水炒} 防风_{各一钱半}

水二钟，生姜三片，煎至八分，食后温服。

【注释】

①皮急紧小：病名，又名脾急紧小、皮急。是指上下胞睑逐渐紧缩变小的病症，类似今之睑裂缩小症。

【述要】

此节所述之皮急紧小症，一方面因营血津液耗损，复受风邪，胞睑筋脉失去濡养所致；另一方面因椒疮失治，并发倒睫拳毛使用的夹眼皮法，使胞睑皮肤过损，脉络拘急所致。临床多表现为眼干涩不爽，视物模糊，胞睑紧缩变小，或胞睑内瘢痕较多，开闭困难。白睛微红，甚者黑睛有血翳垂生覆蔽。治疗宜益气养血，祛风通络。方用神效黄芪汤合东垣拨云汤加减。此病因药效不佳，或因瘢痕等所致者，应手术治疗。若椒疮所致者，应积极进行椒疮的治疗，因椒疮并发之皮宽弦紧及睫毛倒拳，勿使用夹眼皮法。

脾翻粘睑症(六十五)

此症是眼皮翻转于外，粘在外睑之上，如舌舐唇之状。乃风湿气滞，血涌于内，皮急牵吊于外，故不能复转，风疾人患者多。宜服排风散：

桔梗 天麻 防风_{各五钱} 五味子_焙 全蝎_{去钩焙}
乌蛇皮_焙 细辛 赤芍_{各一两}

同为细末，每服一钱五分，食远，米饮调下。

胆胆丸：治两胞粘睑，眼皮赤烂成疮。

苦参 牛蒡子_焙 胆草_{各等分}

同为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服二十丸，食后米饮送下。

【述要】

脾翻粘睑症，是指眼皮翻转于外，贴在外睑之上，如伸舔唇之状，致胞睑不能闭合的病症，相当于今之睑外翻。其发于下睑者较多。多因风湿气滞或湿热壅遏，阻塞睑络所治。也有因睑外伤、疮疡、椒疮等结膜收缩所致。治疗上若以风邪为主者，可用排风散以祛风止痉，散寒通络；若以湿热之邪为主者，可用龙胆丸以清热解毒，利湿敛疮。若药物治疗无效，可用现代植皮修补术，以恢复眼睑起闭功能。

脾轮振跳症(六十六)

此症目脾不待人之开合，而自率拽振跳不定。乃气分之病，属肝脾二经络血虚而气不和。若赤烂及头风病者，乃邪风之故，久而不治为牵吊，甚则为败坏之病。宜服

当归和血饮：

苍术 归身 川芎 薄荷 黄芪 熟地 防风

羌活 白芍_{各一钱} 生草_{五分}

水二钟，煎至八分，食后服。

驱风上清散：治赤烂头风。

酒芩_{二钱} 白芷_{一钱半} 羌活 防风 柴胡_{各一钱} 川

芎_{一钱二分} 荆芥_{八分} 生草_{五分}

为细末，每服二钱，白滚水，食后调下。

【述要】

脾轮振跳，又称为胞轮振跳，俗名为眼胞振跳、目跳、眼皮跳、眼眉跳等。是指胞睑不待人之开合，无端牵拽跳动，不能自主的病症。多因劳倦太过，复受风热邪气所致。治疗可用当归和血饮以益气补血，祛风散邪；若风邪偏重者，可用驱风上清散以祛风散热，清肝明目。

脾虚如球症(六十七)

此症目脾浮肿如球而虚起也。目上再无别病，久则始有赤丝乱脉之患，如火盛，皮或红，目不痛；若湿痰与火夹搏者，则有泪，有毗烂之疾。乃火在气分之虚症，不可误认肿胀如杯，血分之实症。宜服

调脾清毒饮：

天花粉 连翘 荆芥穗 生草 牛蒡子 桔梗
云苓 白术 薄荷 防风 广皮_{各五分}

水二钟，煎至八分，食后温服。

【述要】

脾虚如球，又名胞虚如球。是指胞睑浮肿而软，不红不痛，其形类球，而目珠再无别病的病症。类似于今之眼睑血管性水肿、肾小球肾炎水肿及营养不良水肿等。多因阴血不足，虚火壅于胞睑或湿痰与风热之邪相搏所致。临床多表现为眼无红肿，偶有酸胀，胞睑皮色如常，浮肿如球，柔软如绵。以手触之软而空虚，揉拭之浮肿稍平，但过片刻肿复如故。目珠通常无别病，偶有赤丝乱脉，流泪或眦部湿烂等。治疗本病宜清热燥湿，祛风散邪，滋阴降火，可用调脾清毒饮合六味地黄汤加減。

胎前目病症(六十八)

此症是妇人有孕而目病，为有余之症，要分在血分气分。在气分，如旋螺泛起，瞳神散大等症；在血分，如瘀血，凝脂等症。胎前目病，不厌疏利，但要避硝黄等峻药、与破血及泻小肠之剂，更以白术、黄芩保胎之药佐之，治胎前目病之法得矣。宜服

保胎清火汤：

酒芩_{一钱二分} 砂仁 荆芥穗 归身 白芍 连翘
生地_{酒洗} 陈皮_{各一钱} 川芎_{八分} 生草_{三分}

白水二钟，煎至八分，食后温服。

简易知母饮：治孕妇心脾壅热，目赤咽干，烦闷，多惊。

赤苓 酒苓 麦冬 知母 桑白皮 黄芪 生

草 各八分

水二钟，煎至八分，入竹沥一小钟，碗内冲服。

天门冬饮：治孕妇蕴热，忽然两目失明，并一切热症。

羌活 云苓 人参 各八分 天冬 知母 盐水炒 羌

蔚 各钱二分 防风 五味 各五分

水二钟，煎至八分，热服。

芎苏散：治孕妇外感风寒，眼疼头疼。

紫苏 川芎 麦冬 白术 陈皮 干姜 炒 白

芍 各一两 生草 五钱

为末，每服五钱，姜三片，葱头三段，水煎温服。

消风散：治孕妇胎气有伤，热毒上攻，太阳沉重，背项拘急，眼昏生花，若加痰壅，危在片刻，急宜服之。

石膏 防风 菊花 羌活 川芎 荆芥 羚羊
角 穗末 当归 白芷 豆黄皮 生草 各等分

同为细末，每服三钱，细茶调食后服。

天冬饮子：治孕妇内有伏热，肝脏壅极致胎热，临月两目忽然不见，头疼项肿。

天冬 知母 羌蔚子 防风 五味子 云苓
熟地 羌活 荆芥穗 川芎 白芍 当归 各八分

生姜三片，水二钟，煎至八分，食后服。

【述要】

此节所述之胎前目病，又称为妊娠目病，是指妇人因妊娠而导致的目病，多因胎火妄动或血虚阳亢，上攻于目所致。妊娠期间引起的目病多种多样，可按不同的表现进行治疗，如旋螺泛起，可按此病的具体表现进行治疗。但在用药时必须考虑到妊娠期间的特殊生理情况，应治病与安胎并举，用药时，凡

峻下滑利，破血祛瘀，耗气，散气等攻伐峻猛之品及一切有毒药品应慎用或禁用，以免伤胎泄气。用药之时适当配伍白术、黄芩等保胎之药。若胎火妄动，复受风邪而病目者，可用保胎清火汤以泻火解毒，祛风养血；若孕妇心脾壅热而致的目赤、咽干、烦闷、多惊者，可用简易知母饮以健脾益气，清心除烦；若阴血不足，虚热内蕴，忽然两目失明者，可用天门冬饮以益气敛阴，滋阴补肾，祛风明目；若孕妇外感风寒，眼疼头疼者，可用芎苏散以祛风散寒，健脾行气；若孕妇胎气有伤，热毒上攻，背项拘急，眼昏生花者，可用消风散以祛风散热，清肝明目；若阴血亏虚，内有伏热，复受风邪而出现的胎热，临月两目忽然不见，头疼项肿者，可用天冬饮子以滋阴养血，清肝明目，祛风散热。另外对妊娠后期因高血压、蛋白尿引起的中毒性视网膜病变，应及时治疗，中止妊娠，其眼底部病变可减轻或完全恢复，否则有失明之危。

产后目病症(六十九)

此症乃产后而目生病。盖产则百脉皆动，气血俱伤，虚而不足，故邪得以易乘目病者多。然轻重内外不同，有劳胆竭思，悲伤哭泣，而为无时冷热泪流等症；有窍不密，引入风邪，为湿烂头风者；有因虚湿热，湿气入脑而为内障者；有因虚劳碌，恣食辛热而伤目血，为外障者。皆是不足所致，当以四物汤养血为主。宜服

熟地黄汤：

熟地 八分 糯米 一撮 人参 一钱 麦冬 一钱五分 炙草 五分
花粉 三钱

水二钟，姜一片，枣二枚，煎至八分，温服。

四物补肝散：治产后目，午后至夜，昏花不明。

熟地 焙二两 香附 酒炒 川芎 白芍 当归 各八钱 夏
枯草 八钱 生草 四分

同为末，每服二三钱，食后白滚水调下。

【述要】

产后目病是指妇女分娩后及哺乳期所引起的目病。多因产后气血俱虚，

不能上荣于目，目失濡养所致。可表现为视物昏花，眼前黑花飞舞，或有夜盲，或视力骤降而暴盲等等，宜用熟地黄汤合四物补肝散以益气养血，补肝明目；另外，其他病因所致者，应各随其症而治之。对于产后目疾的治疗，必须照顾到气血，解郁防耗散，消导必扶脾，温燥、寒凉均不宜太过。

辘轳转关^①症(七十)

此症病目，六气不和，或因风邪所击，脑筋如拽，神珠不待人转，而目忽上忽下，忽左忽右，上之不得下，下之不得上，左之不得右，右之不得左，轻则气定脉偏而珠歪，重则翻转而为瞳神反背^②矣。宜服

钩藤饮：

钩藤 炙五分 麻黄 去节 炙草 各三分 天麻 川芎 防风
人参 各七分 全蝎 去毒一钱 僵蚕 炒钱二分

白水二钟，姜三片，煎八分，食后服。

【注释】

①辘轳转关：病名，又辘轳转关外障、辘轳自转等。因其是以两只眼珠往复旋转，运动不停，有似深井吸水之辘轳，上下辗转无时而得名。相当于西医之眼球震颤。

②瞳神反背：是指眼珠严重偏斜，黑睛被眼匝遮蔽，几乎只见白睛的病症。

【述要】

此节所述之辘轳转关，多因肝经积热，兼受风邪，攻冲于脑所致；另外可由胎中先天禀受而来。临床多表现为双眼外无红痛，惟目珠不由自主地或左右，或上下，往复摆动或旋动不定。治疗可用钩藤饮以镇肝熄风，祛风止痉，益气调中。

双目睛通^①症(七十一)

此症幼时目珠偏邪，视亦不正，患非一端。有脆嫩之时，目病风热攻损，脑筋急缩者；有因惊风天吊带转筋络，失于散治，风热遂致

凝结经络而定者。凡有此症，急宜乘其日近，血气未定治之。若久则气血定，不能愈矣。俗名通睛，宜服

牛黄丸：治肝受惊风，致两目斗睛。

牛黄 珍珠 天竺黄 琥珀 青黛 僵蚕 白
附子^炮 地龙^{各三钱} 麝香^{少许} 苏合油 香油^{各一钱}

以上九味研极细，用甘草梢煎汁三分之二，次入二油兑匀，共和为丸，金箔为衣，量其大小，大者每服五分，小者每服三分，薄荷汤化下。忌一切酒面猪肉，辛热生痰等物，乳母亦忌。

【注释】

- ①双目睛通：病名，又名小儿通睛。是指自幼时目珠偏斜，视亦不正，到了长大而不能痊愈的眼病。相当于西医之共同性斜视。后世一般认为通睛乃指眼珠自幼向内偏斜者，俗名斗鸡眼。

【述要】

此节所述双目睛通症，多因年幼时风热攻损，脑部筋脉急缩或因惊风转筋，风热上攻，使目之经络凝结而致。此症治疗宜抓紧时机，在刚刚发作、血气未定之时积极治疗，否则就难以治愈。本病治疗以肝受惊风而致两目通睛为主，可用牛黄丸以清热解毒，镇肝熄风，祛邪止痉。

浊害清和症(七十二)

此症乃痘疹余毒害目之症，夫痘疹为毒最重，自秉受以来，蕴积火毒深久，痘疹一发则诸经百脉，清纯之气皆被蒸灼，正气大虚，则邪乘虚而入，各因其犯而为病。总之目疾，皆痘疹余毒所致，不论内症外症，瞳神未损者，皆可治之。须要早治，早治则易退，若迟则气血凝定，虽无变乱之患，退亦难矣。宜服

谷精草汤：

谷精草^{六分} 白芍 荆芥穗 元参 牛蒡子 连
翹 菊花 草决明 胆草^{各五分} 桔梗^{三分}

水二钟，灯心十段，煎至六分，不拘时服。

退翳散：治痘后内外翳障，或疮疹余毒未散。

蛤粉^{另研} 谷精草^{生研为末各一两}

研匀，每服二钱，用猪肝三指大一片，批开两片撒药在上，卷定用麻线^①扎之，米泔水煮至肝熟为度，食后临卧细嚼，却用原汁送下，忌一切发物。

望月丸：治痘毒入目生翳。

望月砂^{四两} 石决明^煅 防风 白芍 谷精草 草决明 木贼^{各一两} 当归^{五钱}

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，量其大小，或一钱五分，荆芥汤化下。

通窍散：治痘后眼生星翳。

辰砂^{三钱} 珍珠 琥珀^{各二钱} 麝香^{一钱} 玛瑙^{一钱五分}
冰片^{五分}

上研如膩粉，若翳在左目，吹右耳，翳在右目，吹左耳，两目有翳吹两耳。

清解散：早服，清肝经积热之毒。

谷精草^{一两} 石决明^{八钱} 菊花^{酒洗七钱} 绿豆皮^{六钱}

同为细末，每服二钱，用大陈柿饼一个，去蒂核，米泔水一钟半，煎半干，空心食柿饼，原汁汤并服。

补元汤：晚服，补真元。

夜明砂^{淘净一两为末} 蛤粉^{五钱为末}

共研为细末，每服二钱，用公猪肝一大片，将肝竹刀破开，撒药在内，米泔水煮熟，以原汁汤嚼下，每日早晚服，过一七再服。

加味地黄丸：

生地^{酒洗四两} 山萸^{酒洗焙} 山药 云苓 泽泻 丹皮^{各一两半} 菊花 麦冬 当归^{各一两} 五味子^{五钱}

共为细末，炼蜜为丸，空心淡盐汤送下，量小儿大小为丸，大者

一钱，小者五分。如少年火旺，加盐水炒黄柏、知母各五钱；如翳重不退，可用点药。

退云散：

珊瑚 珍珠 辰砂 硼砂_{各三钱}

俱生用，研如膩粉，每日点二次，早晚各一次，避风，如外无翳，神光淡白色，或瞳神散大，乃不足之症，不可服退翳药，亦不用点药，当培其本。

疳目症：亦是浊害清和，并附于后。大凡小儿疳眼，不论肥瘦，但见白睛带黄兼白色皱起，后微红生翳，上下眼脾，频频劓动不定，黑珠上有白膜堆起，膜内又一黑一白，即是疳眼无疑。此病皆由饮食失节，饥饱失调，以致腹大面黄，重则伤命，轻则害目，害疳眼声哑者不治，宜服

消疳散：

陈皮 厚朴 苍术 莱菔子_{少许} 柴胡 炙草_{少许}
枳壳 草决明 桔梗 青皮 酒连 蒙花 炒
梔 酒芩 神曲_炒 菊花_{各五分}

姜皮、灯心为引，水二钟，煎至八分，热服。

九味芦荟丸：治肝脾疳热，眼目生翳，耳疮龈烂。

芦荟 木香 胡连 黄连 青皮 鹤虱 雷
丸_{白者} 茺莢_{炒各一两} 麝香_{一钱另研}

共为细末，神曲糊为丸，如麻子大，每服五分，空心米饮送下，忌一切炙煨油食等物。

生熟地黄丸：治疳眼生翳，羞明怕日，肚大青筋，状热消瘦，面色青黄。

生地 熟地_{各五钱} 川芎 杏仁 赤苓 酒连
半夏 天麻 地骨皮 归身 枳壳_炒 生草_{各二钱半}
黑豆_{四十五粒，煮熟去皮，再煮捣膏后加炼蜜}

为细末，蜜丸重一钱，空心滚汤化下。

消痞散： 治如前。

使君子 去橘皮 雷丸 白者

上将雷丸，以米泔水浸苍术少许，用火温之，用雷丸去苍术，炒干，二味等分研为细末，每一岁用一分，男用雌鸡肝，女用雄鸡肝，不见铁去筋膜血水，炖半熟，蘸药食，不过三四服见效，若翳厚加木贼烧灰，雄黄各一钱入前药服。

【注释】

①缘：为“线”的异体字。

【述要】

本节所述的浊害清和症是指包括痘疹余毒害目与小儿疳积上入于目所致的病症。有关痘疹余毒害目的情况我们已在此卷疮毒攻目症中介绍过一些，因痘疹（天花）在我国已绝迹，因此，这里我们不再论述。疳目是指因饮食失节，饥饱失调等所致的疳积，上入于眼而形成的病症。因小儿多见，故又名小儿疳目。临床多表现为病初起，日间视物完好，入夜则视物不清，眼痒涩不爽，频频眨目，继之病情日重，怕亮难睁，泪出眵涩。检查可见白睛萎黄，眼睛转动时，白睛表层于环绕黑睛处呈晕状皱起，黑睛失泽，知觉减退。视力递减，随病情发展则白睛皱襞增多，粗糙肥厚，羞明显著，黑睛表面枯晦，呈灰白色胶冻样混浊，知觉丧失，甚至黑睛表面糜烂破损，并有黄液上冲等症，愈后往往遗留翳障，影响视力。本病黑睛极易溃破，变为蟹睛、旋螺突起、眼珠枯萎等恶候。可表现为患儿面色萎黄，身体羸瘦，毛发枯焦，掩面而卧，或烦躁不宁等。若见腹大如鼓，青筋暴露，频频泄泻，胃纳全无，哭声嘶哑而低微，手足俱肿者，病属危重，除可导致双目失明外，尚有生命危险。本病相当于西医维生素A严重缺乏引起的角膜软化症。西医将其分为夜盲期、干燥前期、结膜及角膜干燥期、角膜软化症等四个期。治疗可根据病变的不同表现选用消痞散、九味芦荟丸、生熟地黄丸以健脾化积，清肝明目，滋阴养血，行气杀虫，消痞退翳。西医治疗主要为改善全身营养，大量补给维生素A和防止角膜继发感染。首先应改善饮食，多吃含胡萝卜素的蔬菜如胡萝卜、菠菜以及肝、鸡蛋、鱼、肉等。病情较轻者，如夜盲及干燥前期，口服鱼肝油即可治愈；病情严重

者，应肌肉注射2.5万~5万国际单位的维生素A，每日一次。为了预防继发感染，可滴用抗生素眼药水及眼药膏，并散瞳。在检查或滴药时注意不可压迫眼球，以免眼内容物脱出。

以上外障三十条，服点、丸、散剂八十四方。外障共七十二症，医方共一百六十八方。

钩割胬肉、蜬肉手法

凡外障大小眦间，生出胬肉、蜬肉、鸡冠等症，用服点药不能退者，必至侵遮黑睛，恐碍瞳神，不得已而用钩割之法施治，方能退去，或未侵及黑珠者，只宜点服缓退，不可轻易钩割。凡割之时，先用明矾一撮，热水化开，用新羊毛笔蘸矾水，抹于胬肉上，其肉即皱起，用细钩勾起，易于下手，或用锋利之针，穿入肉中，上下露针，挑起横担上下眼胞上方，用锄刀从中锄起，至近黑珠边，轻轻拨下，且不可碍动黑珠，又从针处搜拨白睛至大小眼眦尽处，或用刀割，或用小花剪，剪断亦可，不可碍动大小眦红肉，此肉乃眼窍通于心脉，若稍伤之，轻则坏眼，重则伤命，慎之慎之！割肉有出血者，用软绵纸蘸凉水拭之即止。

凡割眼之日，须择不犯人神之日，如人神在面目，万不可割，若犯之无益有损，贻害必深。割后要戒色欲烦恼，冲风冒雨，辛苦劳碌；禁食鱼腥，煎炒，酒面，鸡、鸭、驴、马、猪头、犬肉，葱蒜，韭芥，胡椒，辛辣等物。割后宜清热疏风汤药剂，须要静养三七日方佳。

【述要】

此节所述钩割胬肉、蜬肉的手法可供医者临床参考。此法不宜清晨进行，因人在清晨多系空腹，易昏闷晕倒。操作应轻缓，不宜过速，以防损破黑睛。此法经吸收现代医学的消毒与麻醉方法，器械经过改良后，已与中西医结合治疗胬肉的手术方法基本上趋向一致。

补 遗

外采名医经验良方，录之于后，以备应用。

三黄丸：治三焦积热，眼目赤肿，大小便结滞。

川连 黄芩 黄柏 俱酒炒各一两

共为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三钱，空心白滚水送下，忌辛炙调和。

当归汤：去翳益瞳神。

当归 黄芩 赤芍 各一钱 柴胡 酒连 各一钱 生草 六分 熟地 二钱

水二钟，煎至八分，温服。

羚羊角散：治冰翳久不去者。

羚羊角 性末 升麻 细辛 各三两 炙草 一两

为细末，一半炼蜜为丸，每服五六十丸，一半为散，米泔水煎滚吞丸子，食后送下，或为散，每服二钱，空心白滚水调下，亦可。

济阴地黄丸：治三阴亏损，虚火上攻致目睛散大，或昏花涩紧，作痛畏明。

五味 当归 山萸 菊花 苁蓉 山药 巴戟
枸杞 熟地 麦冬

各等分，为细末，蜜丸如桐子大，每服四十丸。空心白滚水送下。

目闭不开：治小儿生下，目闭不开，用熊胆少许，蒸水洗眼皮，一日七次，如三日不开。宜服

生地黄散：

生地 赤芍 川芎 生草 天花粉 归身 各等分

上为细末，量小儿大小，灯心汤调擦入口内。

乳香丸：治一切眼疾疼痛。

五灵指 三钱 乳香 去油 没药 去油 草乌 蚕砂 各五钱

木鳖子 去壳二枚

同为末，酒糊为丸，如桐子大，每服十一二丸，薄荷汤下，或清茶下。

拈病散：治一切暴发眼痛。

生白矾 一两研极细

用鸡蛋清调匀，以鸡翎扫眼胞上下，日五次，即止。

太乙真人还睛丸：治远年近日一切内外翳障。

人参 杏仁 苁蓉 酒洗焙 杜仲 酒洗炒 牛膝 酒炒 石斛
斛 枸杞 各一两半 犀角 镑末 防风 各八钱 菊花 菟丝饼
当归 熟地 焙 赤芍 酒洗 青箱子 枳壳 炒 蒺
藜 去刺炒 羚羊角 镑末 石决明 煅 草决明 山药 各一两
天冬 去心 麦冬 去心 生地 各一二两 川芎 酒洗 酒连 五味

生草 炒各七钱 知母 酒炒一两

同为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服四五十丸，空心盐汤下。

加减四物汤：治瞳神散大。

当归 川芎 熟地 白芍 五味子 炒 枸杞 各一钱
水三钟，煎至一钟，临睡热服。

熟地汤：治妇人产后两目不见。

熟地 九蒸者一两

水三钟，煎至一钟，早晚各一服，三五日愈，忌调料。

外点灵方

灵飞散：消肿止泪明目，去翳退赤定痛。

制甘石 一两 朱砂 琥珀 珍珠 牛黄 熊胆 一钱
灵药 一钱

上各研如粉和匀，用牙簪挑少许点眼，闭目片时再点，每日三四次，待药力行过，以温水洗之。

灵药方：

水银 黑铅各五钱 火硝八钱 硼砂二钱

先将铅化开，入水银作一家，再加硝、硼研匀，入阳城罐内，盐泥封固，打火三炷香，先文后武，待冷取开，刮下收贮听用。

宋真宗敕封琼液膏：治一切眼疾。

熊胆 牛黄 硼砂 蕤仁 黄连各一钱 冰片五分

上熊胆、蕤仁、黄连三味，长流水二大碗，入砂锅内熬至半碗，用纸滤过，入蜂蜜一两，文武火熬至紫金色，离火入熊胆、牛黄，研细腻和匀，再入冰、硼搅极匀，收磁瓶封固，埋土内七日出火毒，簪挑黍米大，点大眦，闭目，每日点三四次。

紫金锭：治眼病不论远年近日一切翳膜。

制甘石 黄丹各半斤 当归 硼砂各五钱 黄连 朱砂各一两 白矾生 硃砂 白丁香 轻粉 贝齿 石蟹煨飞 海螵蛸去粗皮 熊胆 乳香去油 没药去油 梅花片 麝香各一钱

上除麝片外，余各另制，为末和匀，入黄连水搗至千万下，晒干，次入麝片再研，入后膏和作锭子。

生地 当归 黄连各五两 防风 胆草 黄柏各二两 诃子八枚 蕤仁五钱 梨汁一碗 炼蜜八两 猪胰

子 四枚去膏膜油布包捣烂

上将生地、当归等八味，浸四五日或一七，滤去渣，添水将渣再熬三次，取尽药力，以绢滤净，澄去砂土，漫火煎熬，用槐柳枝不住手搅，得熬如饴糖，入梨汁蜂蜜溶化，入前细末药为丸锭，阴干，金箔为衣，每以少许新汲水浸化，或薄荷水化，日点三四次，或热水泡化洗眼，日洗五六次。

還元紫金膏：治一切外障等症。

纯阳丹：

青盐三钱 水银五钱 火硝五钱 胆矾三钱 白矾三钱 硼砂三钱 硃砂三钱 甘石三钱 朱砂三钱

研匀，装入阳城罐内，盐泥封固，文武火打三炷香，去火毒听用。

阴丹：

老葱一把 猪胰去油膜二枚 大梨二枚切片

雪水煎去渣，白蜜一斤，熬至滴水成珠，入前药汁内，匀化听用。

火硝二钱半 青盐二钱 硃砂一钱 皮硝五钱 胆矾一钱
铜绿二钱 硼砂二钱

水三碗，熬至一碗，去渣入前蜜内溶化，徐徐下甘石二两，搅至红色，又徐徐下飞丹二两五钱，搅至绛色为止，退火待温，后入细药。

麝香三分 熊胆四分 乳香一钱半 没药一钱半 轻粉二钱
黄连八分 冰片五分 儿茶一钱 阳丹六分

同研如粉，入前膏内，搅匀收贮，用米大一些，点眼大角。

制甘石三黄汤：

黄连 黄柏 黄芩 羌活 山栀 防风 木贼
菊花 蝉退 白芷 薄荷 细辛 当归 川芎
荆芥 大黄 赤芍 连翘各一两

水六碗，煎至三碗，去渣澄清，甘石一斤，打碎入倾银锅内，火煅金色，入药汁内淬，去药汁晒干，又煅又淬，如是七次，晒极干研，即以药汁飞，澄去粗者再研，再飞，有石渣研不细者弃之，将飞过细者，以纸上盖，晒干听用。

拨云锭：治目中一切翳膜。

制甘石一两 飞丹一两 海螺蛸去粗皮用内软者一两 乳香去油二钱
没药去油二钱 硼砂二钱 青盐二钱 冰片二分 麝香五分

同研如腻粉，炼蜜作锭，以鹅翎装之，用时以水化点之。

一扫光：治一切眼疾。

制甘石一两 黄连一钱 轻粉三分 硃砂五分 雄黄三分

朱砂_{三分} 青盐_{三分} 没药_{五分} 乳香_{五分} 归尾_{三分} 薄荷_{八分} 麝香_{三分}

同研如膩粉收貯。用乳汁蘸点米大一些于眼大角，量轻重多少点。

洗赤弦烂眼方：并治暴发疼痛，用以施人甚便。

苦参_{四钱} 五倍子_{去虫} 荆芥穗 防风 黄连_{各三钱}
铜绿_{五分}

同为细末，外以薄荷煎汤，丸如弹子大，临用以滚水化开洗眼，每日三五次，神效。

经验方：

用大花蜘蛛数个，阴阳瓦焙干，研细末，或滚丸药上，或温汤服一分，收蟹睛神效。

【述要】

此节补遗篇主要收录了前代名医治疗眼病的经验良方，既有内服方，又有外用方，其内容丰富，治病种类较多，临床应用价值高，可供广大医务工作者临证时参考。

眼科启蒙 卷四

目症内障(一至三十六)

瞻视昏渺^①症(一)

此症内外无别病，只是目视昏渺，蒙昧不亮。有神劳，有血少，有元气弱，有元精亏而昏渺者，皆当因病而治。若人年过五十而昏者，气血皆衰，虽治不能复旧，若知保养，可以不至全昏矣。大抵人未过五十，皆能复明，当早调治，若久而失治，必有青盲内障之患。宜服

明目地黄丸：治肾虚目暗。

熟地 生地 山药 泽泻 山萸_{酒洗} 丹皮_{酒洗}
柴胡 茯神_{乳蒸} 当归 五味子_{各二两}

为末，蜜丸如桐子大，每服三钱，空心淡盐汤送下。

龟鹿膏：治气血虚损，泄精少气，目视不明。

鹿角_{二斤} 龟板_{一斤} 枸杞_{六两} 人参_{三两}

上将鹿角截碎，龟板打碎，长流水浸三日，刮去垢皮，入砂锅，用河水以桑柴慢火煮三昼夜，不住火，常添滚水，至三日取出，晒干为末。另用河水，将末并枸杞、人参又煮一昼夜，滤去渣，再慢火熬成膏。初服一钱五分，渐加至三钱，空心无灰酒化下。

五子丸：治肝肾不足，内障生花。

柏子仁 肉苁蓉_{酒浸} 车前子 苡仁 酸枣仁
枸杞子 菟丝饼 当归 覆盆子 云苓_{各二两} 沉香_{性末五钱} 五味子_{一两} 熟地_{三两}

上除沉香末，熟地捣膏另入，余为细末，蜜丸如桐子大，空心青

盐汤送下五十丸，白滚水亦可。

【注释】

- ①瞻视昏渺：病名，又名视瞻昏渺。是指眼外观端好，眼内外无翳障气色等异常情况而自觉视力减退，视物不清的眼病。类似于西医学之脉络膜、视网膜炎及球后视神经炎等。

【述要】

此节所述之瞻视昏渺症，多因气血不足或精血亏耗，目失所养而致。在治疗上，若肾虚目暗，可用明目地黄丸以滋肾明目；若气血虚损，泄精少气，目视不明者，可用龟鹿膏以补气温阳，益精明目；若肝肾不足，内障生花者，可用五子丸以滋肾养肝，补血明目。西医可用皮质激素和B族维生素。本病若拖延失治，或病情严重者，可发展为青盲而失明，临床应高度重视。

睛黄视渺^①症(二)

此症风轮黄亮如金色，视物昏渺，乃湿热重而浊气薰蒸，清阳之气升入轮中，故轮黄色。好酒恣食热燥之人，多有此病。宜服

葛花解毒汤：

酒连	黑参	当归	胆草	茵陈	生草	葛花
熟地	云苓	炒栀	连翘	车前	各等分。	

水二钟，煎至八分，食远服。

【注释】

- ①睛黄视渺：病名。是指风轮黄亮如金色，视物模糊的病症。此病可出现于今之角膜血染或虹膜异色。

【述要】

此节所述之睛黄视渺症，多因湿热重而浊气薰蒸或血灌瞳人，日久不消，瘀血积滞，损及黑睛所致。在治疗上，若湿热浊气薰蒸者，可用葛花解毒汤以清热除湿，解毒明目；若瘀血积滞，损及黑睛者，可用决明益阴丸合血府逐瘀

汤以明目退翳，活血祛瘀；若黄仁病变所致者，必须及时扩瞳。

干涩昏花症(三)

此症目觉干涩，视物昏花，乃因劳胆竭视，耽酒恣燥之人，不禁房事，致伤神水之故。惟急滋阴养水，略带抑火以培其本。宜服

四物五子丸：

熟地 当归 白芍 地肤子 川芎 菟丝子
覆盆子 枸杞子 车前_{酒煮等分}

上为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服五十丸，不拘时，盐汤送下。

五胆膏：点眼涩。

猪胆 黄牛胆 羊胆 鲤鱼胆 胡连 青皮
川连 熊胆_{各二钱半}

白蜜二两，与诸药胆汁和匀，入磁瓶内，以细纸封口牢紧，坐饭甑内蒸，待饭熟为度，用净绵滤过，以铜筋取麻子大一粒，点目眦，每日二三次。

【述要】

此节所述的干涩昏花症是指自觉眼珠干涩，视物昏花的病症。多因嗜食辛辣烟酒或房室不节，损伤神水所致。治疗上，可内服四物五子丸以滋阴养血，补肾明目；可外用五胆膏点眼以滋阴泻火，清肝明目。

坐起生花症(四)

此症别无他症，或久坐、久立、久视，便头旋目花昏晕。因元气怯弱，阴精亏损，水少液枯，脉络衰疲之故。荒淫酒色之人，多有此病。宜服

加减驻景丸：

车前_{略炒} 枸杞 五味_{各二两} 归身 熟地 川

椒_{去目} 楮实_{晒干无脂者不用各一两} 菟丝饼_{半斤}

上为细末，蜜水煮糊为丸，如桐子大，每服五十丸，空心淡盐汤送下。

止痛散：治额角目睛疼痛，时见黑花。

瓜蒌根_{二两} 柴胡_{一两半} 炙草_{七钱半} 当归 生地_{各一两}
黄芩_{四两一半酒浸一半炒}

同为粗末，每服三钱，水二钟，姜三片，枣一枚，煎至一钟，去渣，临卧热服。若小便不利，加云苓、泽泻各五钱。

【述要】

坐起生花症是指眼睛别无他症，只是久坐、久立、久视便头旋眼花昏晕的病症。多因元气虚弱，阴精亏损，水少液枯，脉络衰疲所致。治疗宜滋阴养血，益肾明目，可用加减驻景丸方；若额角目睛疼痛，时见黑花者，可用止痛散以滋阴养血，疏肝止痛。

无时冷泪症(五)

此症目无别病，只是时常流出冷泪，久则视瞻昏渺。因精液耗伤，肝气渐弱，肾水不足，久而失治，必有内障青盲之患。宜服

菊花丸：

甘菊_{四两} 巴戟_{去心一两} 苁蓉_{去皮二两} 枸杞_{焙三两}

同为细末，蜜丸桐子大，每服三钱，青盐汤空心送下。

【述要】

无时冷泪症是指目无红肿赤痛等病症，只是时常流出冷泪，久则视瞻昏渺的病症。多因肝肾虚衰，精气耗伤所致。治疗可用菊花丸以滋肾养肝。

无时热泪症(六)

此症目无别病，只是时常流出热泪。因肝胆肾水不足，阴精亏损，动其火而伤其汁，故流热泪，久而失治，变为内障者多矣。宜服

当归饮子：

归身 人参 柴胡 黄芩 白芍 生草 熟军 各一钱 滑石 五分

水二钟，生姜三片，煎至八分，食远温服。

仙人椒灵丸：

熟地 焙 生地 酒洗 川椒 去目炒

各等分为细末，蜜丸如桐子大，每服五十丸，空心盐汤送下。

【述要】

此节所述的无时热泪症是指目无别病，只是时常流出热泪的病症。多因肝肾阴亏，虚火上炎所致。治疗可用当归饮子以滋阴清热，也可配合仙人椒灵丸以健脾养血。

云雾移睛^①症(七)

此症自见目外有如蝇蛇旗旆等物，或青黑白黄色，其源皆属胆肾自病，因其内损，故有此状，各因五脏之病而现形。宜服

猪苓散：

猪苓 木通 扁蓄 苍术 黑狗脊 熟军 滑石 炒梔 各一两 车前 酒煮五钱

上为细末，每服三钱，空心青盐汤调下。

蕤仁丸：

蕤仁 去皮尖 地肤子 云苓 细辛 人参 石决明
地骨皮 白术 各二两 楮实子 熟地 各三两 防风 一两
青羊胆 一枚 鲤鱼胆 五枚

为细末研匀，以胆汁同蜜炼为丸，如桐子大，每服二三钱，食后米饮送下。

羚羊羌活汤：

黄芪 炙草 羚羊角 锉末 羌活 黄芩 山萸 酒洗

车前 附子_制 人参 青箱子 草决明_炒 泽泻

秦艽 柴胡_{各一两半}

上为末，每服五钱，水二钟，煎至八分，去渣，不拘时温服。

【注释】

①云雾移睛：病名，又名蝇翅黑花、蝇影飞越等。是指眼外观端好，惟自觉眼前似有蚊蝇或云雾样黑影飞舞飘移，影响视力的病症。其病变在于神膏，相当于西医学之玻璃体混浊。常由玻璃体临近组织的病变，如葡萄膜和视网膜的炎症、出血、退变以及玻璃体的变性等引起，亦可由眼外伤引起。

【述要】

此节所述的云雾移睛症，病因多种多样。若湿热蕴蒸，湿浊上犯者，可用猪苓散以清热利湿，泻火解毒；若气血不足，虚火伤络，目窍失养者，可用菟仁丸以益气补血，滋阴清热，清肝利胆；若肾气不足，肝阳偏亢者，可用羚羊羌活汤以益气温肾，平肝明目；若气滞血瘀，血溢络外，渗入神膏者，可用丹栀逍遥散合血府逐瘀汤加减以疏肝理气，活血化瘀。

萤星满目^①症(八)

此症自视目外有细细红星，如萤火乱飞。其人必耽酒食燥，劳心伤肾，痰火上升，目络涩滞，精汁为邪火薰蒸所损，乃水不胜火之病，久而不治，内障成矣。宜服

滋阴降火汤：

当归_{一钱} 川芎_{五分} 生地_{姜汁炒} 熟地 黄柏_{蜜炒}
知母_{蜜炒} 麦冬_{各八分} 白芍_{薄荷汁炒} 黄芩 柴胡_{各七分}
生草_{梢四分}

水二钟，煎至八分，食远热服。咯唾衄血加丹皮_{八分}、藕汁_{三匙}、犀角末_{五分}，咳嗽加阿胶、杏仁_{各七分}，五味子_{三分}。

加味坎离丸：升水降火，清心明目。

大熟地_{八两一半用砂仁一两煎袋装用酒一碗煮干去砂仁不用一半用云苓二两煮如前法}

枸

杞 菊 当 归 白 芍 川 芎 女 贞 实 知
 花 柏 母
酒浸晒 酒浸晒 酒浸晒 各四两 四两
 三兩 八兩二兩酒浸二兩盐水浸二兩乳浸二兩蜜水浸一昼夜晒炒褐色
 六兩分四分如黄柏制法

除地黄膏另入，余为末，铺纸上日晒夜露二昼夜，再为细末，蜜丸如桐子大，每服八九十丸，空心滚水送下，忌三白生菜。

【注释】

①萤星满目：病名。是指自视目外有细细红星，如萤火乱飞的病症。

【述要】

此节所述的萤星满目症多因劳心伤肾，阴精亏虚，痰火上升，目络涩滞所致。治疗宜滋阴补血，升水降火，清心明目。可用滋阴降火汤合加味坎离丸加减。

神光自现症(九)

此症自见神光出现，每如电光闪掣，甚则如火焰霞明。乃阴精亏损，孤阳飞越而光出，内障之重者。宜服

补水宁神汤：

熟地 生地 各二钱 白芍 当归 麦冬 茯神 各钱半
 五味 三十粒 生草 六分
 水二钟，煎至八分，空心温服。

【述要】

神光自现，又名电光夜照。是指眼外观如常，自视眼前一片电光闪掣，甚则如火焰霞明，时发时止或倏然而止的病症。本病可见于今之高度近视、视网膜脱离或闪辉性暗点等病中的光视症。多因阴精亏损，孤阳飞越所致。治疗宜滋补肾水，养血安神，可用补水宁神汤治疗。

黑夜睛明症(十)

此症黑夜间开目,看见屋中诸物。必水火不交,精华关格,背乎阴阳,乘乱不和之甚,阳光飞越之害。宜服

加减八味丸:

熟地 山药 山萸 各四两 云苓 泽泻 丹皮 各三两
五味 一两半 肉桂 去皮一两

除地黄膏,余共为细末,蜜丸如桐子大,每服三钱,空心盐汤下,忌三白生菜。

【述要】

黑夜睛明症是指患者黑夜间睁开眼睛,可以看见屋中诸物的病症。多因水火不交,阴阳不和所致。治疗可用加减地黄丸以滋肾补火,交通阴阳。

视正反斜^①症(十一)

此症视物之正者,而反为歪斜。乃内之阴阳偏胜,神光欲散之候。阳胜阴者,恣辛贪酒,痰火气伤之病。阴胜阳者,色欲哭泣,经产血伤之病。二者皆元府郁遏有偏,而气重于半边,故发见之光亦偏而不正,久而失治,内障成矣。宜服

补阳汤:治阳不胜阴,早服。

炙草 羌活 独活 人参 熟地 白术 黄
芪 各一两 云苓 生地 知母 炒各三钱 柴胡 二两 肉桂 一钱
白芍 陈皮 泽泻 防风 归身 各五钱

上为粗末,每服五钱,水二钟,煎至八分,去渣温服。

连柏益阴丸:治阴不胜阳,晚服。

生草 羌活 独活 归身 五味 防风 黄芩
草决明 黄柏 知母 酒连 各一两 石决明 六钱

为细末,蜜丸绿豆大,每服五十丸,渐至百丸,临卧清茶送下。

升阳泄阴汤:治阴胜阳者,后服。

羌活 归身 独活 生草 白芍 熟地 各一两
 人参 生地 黄芪 楮实子 白术 各一两半 云苓
 防风 陈皮 知母 各三钱 柴胡 肉桂 各一钱半

为粗末，每服五钱，白水煎服。另合蜜丸如桐子大，每服五十丸，清茶下。热甚加五味三钱，天冬五钱，楮实五钱。

【注释】

①视正反斜：病名，又名视正为斜、视正为横等。是指视端正的物体呈歪斜状的病症。

【述要】

此节所述视正反斜症，多因体内的阴或阳的偏胜所致。阳胜阴者，多因痰火气伤，复感风邪，风痰阻络，上扰清窍所致，治疗可用连柏益阴丸以清热化痰，祛风散邪。阴胜阳者，多由房室不节、忧伤、失血等伤及气血，精血不能上承于目窍所致，治疗可用补阳汤或升阳泄阴汤以益气温阳，祛风养血。

视定反动症(十二)

此症视物之定者而觉反动。乃气分火邪之害，水不能济火，故虚火上升，旋转振掉不定。此光华欲坠，久则觉地亦动，内障成矣。贪酒食燥，阴虚血少之人，多有此症。宜服

钩藤散：

钩藤 陈皮 麦冬 石膏 菊花 人参 天麻
 防风 云苓 鹿茸 酥炙 半夏 生草 各一两

为粗末，每服五钱，姜三片，水二钟，煎八分，去渣温服。

【述要】

视定反动，又名视定若动、视定犹动等。是指眼外观如常，视静止之物，反似有移动之感的病症。多因气血亏虚，血不养筋，调节不利或肾阴不足，虚火上炎所致；也有因平素恣酒嗜燥，风火痰热阻滞所致。治疗可用钩藤散以平肝

潜阳，补肾益气，祛风行气。若风火痰热盛者，可用导痰汤加天麻、钩藤，以豁痰开窍，祛风通络。

视物颠倒症(十三)

此症视物皆振动而颠倒。盖气不正，阴阳反覆，真元损伤，阴精衰弱，阳邪上干，虚眩而运掉，有一年数发，有一月数发者。因其发时，别其因虚、因风、因痰、因火而治之。若不在意，内障之患，终不能免。宜服

羚羊角散：

半夏_{姜制七次} 归身 川芎 白芷 防风 天麻
枳壳 生草_{各二钱半} 茯神 羚羊角_{各一两}

为粗末，每服四钱，姜三片，水二钟，煎八分，去渣温服。

【述要】

视物颠倒症，又称为视物倒置。是指眼外观正常，所视之物旋转倒置的病证。类似于各种原因引起的眩晕发作时的症状。多因气血亏虚，肾精不足，肝阳上亢或痰浊上扰等引起。治疗可用羚羊角散以养血祛风，镇肝潜阳，化痰降浊。

视一为二症(十四)

此症是目视一物而成二，乃肝肾真一之精不足而阳光失主，故错乱而渺视为二，瞳神将盲之候。若目赤痛，视一为二者，乃火壅于络，阴精不得上升以养神光，阳光错乱，神光而渺其视。若清火滋阴，而病自愈，非不赤不痛，视一成二之重症。宜服

补肝散：兼治眼见花发黄、白、黑、赤等形。

车前 黄芩 羌活 细辛 黑参_{各一两} 人参
云苓_{各二两} 羚羊角_{钱末} 防风_{各三两}

为末，每服一钱五分，食后米饮调服。

千金磁朱丸见首卷。

冲和养胃汤见首卷。

【述要】

视一为二症是指眼外观正常,只是视一物为二形的病症,类似今之“复视症”。多因素体虚弱,肝肾精亏,不能上承于目以滋神光;或火邪壅盛,邪毒结聚,阻塞脉络所致。也有因跌扑损伤,瘀血内停,脉络瘀滞,筋脉失利所致。若肝肾精亏者,可用补肝散合千金磁朱丸以益气祛风,清肝明目;若火邪壅盛者,可用内疏黄连汤以清热明目,泻火解毒;若瘀血阻络者,可用血府逐瘀汤以行气止痛,活血化瘀。

视赤为白^①症(十五)

此症视赤色为白色,或青黄青黑不等。因物着形,皆非本色,此内络气郁,元府不和之故,因其色而别其脏腑乘侮之为病以治之。宜服

复明汤:

黄芪 归身 柴胡 连翘 炙草 生地 各一钱半
黄柏 三分半 川芎 苍术 陈皮 各五分

水二分,煎至八分,食后热服。

益气聪明汤见首卷。久服精神倍增,元气充足,耳目聪明,无内外等障,老人服之最佳。

【注释】

- ①视赤为白:即视物易色,又名视黑为赤、视白赤黄、视红为紫等等。是指眼外观正常,但明辨颜色的能力降低,或不能辨识某些颜色,只能辨别物体明暗及形态的病症,类似今之色觉异常。主要见于先天遗传因素,也可见于屈光间质的某些病变以及视网膜、视路、脉络膜等某些病变。

【述要】

对于视赤为白症的治疗,若先天所致者,很难取效。若后天所致而见肝气

郁结，脉络阻滞者，可用复明汤合益气聪明汤以疏肝理气，益气补血，燥湿健脾。

瞳神散大症(十六)

此症是瞳神散大，而风轮反为窄窄一周，甚则如一线，乃热邪郁蒸，风湿攻击，以致神膏游光散坏。若初起即收瞳神，可以复元，缓则气定膏损，不能收敛。大抵瞳神散大，十有八九，皆因头风痛攻为害。宜服

羌活退翳丸一名地黄丸。

熟地 生地 归身 羌蔚子 黄柏 丹参各五钱
附子炮 寒水石煅 柴胡 知母 丹皮 川芎
羌活各三钱 防风酒炒二钱 白芍一两二钱

同为细末，炼蜜为丸，如小豆大，每服五六十九，空心滚水送下，后以食压之。

泻肾汤：治食辛辣煎炒之物过多，以致瞳神散大。

枸杞一钱二分 生地 黄柏酒炒 知母酒炒 麦冬 山
萸 白芍 归尾各一钱 五味七粒 云苓 独活各八分

水二钟，煎一钟，食后热服，兼服

磁朱丸见首卷。

调气汤：治因暴怒，瞳神散大，兼服磁朱丸。

白芍 陈皮 生地 黄柏 香附醋炒 知母盐炒
归身各一钱 枳壳 云苓各八分 生草五分

水二钟，煎至一钟，食后热服。

清痰饮：治因头风痰厥，瞳神散大。

陈皮 半夏 天花粉 炒栀 石膏 黄芩 云
苓 胆南星 枳壳各一钱 青黛六分

水二钟，煎至一钟，食后热服。

滋阴地黄丸见首卷。治火旺阴分，瞳神散大。

每服百丸，食后茶清送下，日进二服。

【述要】

瞳神散大，又名瞳子散大、辘轳展开、瞳神扩大等，是指瞳神大于常人的病症，瞳神极度散大者，古人又名通瞳。瞳神散大可见于多种眼病，如西医中之青光眼、视神经萎缩、动眼神经麻痹、眼外伤、颈交感神经刺激、精神兴奋等。此节所述瞳神散大，多因热邪郁蒸，风痰阻络，肝肾阴虚所致。临床多表现为瞳神扩大、展缩欠灵或失灵，重者黄仁缩窄如线，视物不清，甚者盲无所见，眼外可无他症，亦可见红赤肿痛诸候。若湿热阻滞者，可用羌活退翳丸以祛风养血，清热燥湿，退翳明目；若肝肾阴亏者，可用泻肾汤以滋阴补肾，清热燥湿；若暴怒伤肝者，可用调气汤以疏肝解郁，理气调血；若风痰阻络者，可用清痰饮以清热化痰，解毒通络。

瞳神缩小症(十七)

此症是瞳神渐渐细小如簪头，甚至如芥子。乃因恣色过度，及劳伤气血，心意竭思，肝胆二经俱伤，元气衰弱，不能升运清汁以滋胆，胆中之精有亏，则轮汁亦乏，故瞳神中之精亦自耗损，甚则陷没，永为废疾。宜早服

清肾抑阳丸：

寒水石	黄柏	生地	知母	枸杞	酒连	云
苓	独活	草决明	当归	白芍		
各二两	八钱			各一两		

同为细末，炼蜜为丸，如梧子大，每服三钱，空心滚水送下。又宜用

嚏鼻碧云散见首卷。

还阴救苦汤见首卷。

【述要】

瞳神缩小，又名瞳神紧小、瞳神焦小、瞳神细小等，是指瞳神失去正常之展缩功能，持续缩小，甚至缩小如芥子或针孔的眼病。类似西医学之虹膜睫状

体炎。此节所述多因心血不足，肝肾精亏，兼夹湿热之邪所致。治疗可用清肾抑阳丸以滋阴清热，补肝明目，解毒退翳。

能远怯近症(十八)

此症目能远视，不能近视。盖精不足，阳光有余，病于水者，故光华发见，散乱而不能收敛近视。治之止在心肾，心肾平则水火调而阴阳和畅，则远近发用，各得其宜矣。宜服

地芝丸：治目不能近视，水亏之故，当补肾水。

麦冬 生地_{焙各四两} 枳壳 菊花_{各三两}

同为细末，蜜丸如桐子大，每服百丸，食后茶下。

六味地黄丸：

云苓 丹皮_{炒各两半} 泽泻_{炒一两} 山药_{二两} 山萸_{酒蒸二两}

熟地_{四两}

上熟地，酒水煮烂，捣膏另入，余为末，蜜调入熟地膏为丸，如桐子大，每服三钱，空心淡盐汤送下。如遗精加牡蛎烧红，水淬为末，焙干二两。

【述要】

能远怯近症，又名视远怯近、远视等。是指视远清楚，视近模糊的眼病，相当于西医之远视眼。多因肝肾不足，虚火过旺，目之光华散漫不收所致。治疗可用地芝丸合六味地黄丸以滋阴清热，补益肝肾。本病若药物或针刺治疗效果欠佳者，可配镜矫正视力。

能近怯远症(十九)

此症目能近视，不能远视，远视则昏花，乃阳气不足之故。病于火少，火少是以光华不能发越于远，而拘敛近视耳。治在胆肾，胆肾足，则神膏厚而阳光盛矣。宜服

定志丸：

远志 菖蒲 各二两 人参 云苓 各一两

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，以朱砂为衣，每服三十丸，米饮送下，食后早午晚各一服。

补肾磁石丸：治肝肾气虚。

石决明 菊花 磁石 煅红醋淬 苁蓉 各一两 菟丝饼 一两

同为细末，雄雀十五双，去毛、嘴、足，留肚、肠，以青盐二两，水三碗，煮雀烂，水尽为度，取出先捣膏，和药为丸，如桐子大，每服三钱，空心温酒送下。用雀杀物命，非仁者所为，不如炼丸服之最善。

【述要】

能近怯远症，又名近觑、视近怯远症等，是指视近清晰，视远模糊为特征的眼病。多因先天遗传，心阳衰弱，肝肾两虚或久视伤睛所致。治疗上，若心阳衰弱者，可用定志丸以补心益气，安神定志；若肝肾两虚者，可用补肾磁石丸以滋肝补肾。对于久视伤睛者，应积极预防，培养良好的阅读习惯，选择光线明亮适度的工作环境。

神水^①将枯症(二十)

此症珠外神水枯，涩而不润泽，乃火郁蒸于膏汁，故睛不清而珠不润泽，汁将内干。凡见此症，必有危急病来，治之若迟，则神膏干涩而瞳神必伤，青盲之患难免。其症有二，一阴虚，二阳虚，阴虚以补肾丸治之，阳虚以调中益气汤治之。不论阴阳二症，宜先服

滋肾丸：一名坎离丸，兼治小便不通。

黄柏 盐水炒 知母 盐炒各三两 肉桂 二钱

为细末，水叠为丸，如桐子大，每服百丸，空心滚水下。

补肾丸：治阴虚。

杜仲 牛膝 陈皮 各二两 黄柏 四两 龟板 酥炙四两

五味 夏加一两 炒姜 冬加五钱

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸，空心盐汤下。

调中益气汤：治阳虚元气下陷，两目紧涩。

黄芪_{一钱} 升麻_{五分} 陈皮_{六分} 木香_{二分} 人参 生
草 苍术 柴胡_{各五分}
水二钟，煎至八分，临卧温服。

【注释】

①神水：指泪液。

【述要】

神水将枯症是指泪液减少，甚则枯竭，致白睛黑睛干涩不润泽，转动失灵的眼病。类似今之沙眼后遗症、维生素A缺乏、泪腺疾病等导致的泪液减少。多因脾失健运，气血生化不足，或肝肾阴虚，虚火上炎而致目失所养；也有因椒疮毒邪，客于睑络，瘀阻窍道，泪液减少所致。在治疗上，若气血不足，元气下陷，两目紧涩者，可用调中益气汤以升阳益陷，补养气血；若肝肾阴虚，虚火上炎者，可用滋肾丸合补肾丸以滋肾养肝，交通心肾。

聚开障^①症(二十一)

此症目障，或圆或缺，痛则见之，不痛不见，聚散不一，来去无时，或一月数发，或一年数发。乃脑有湿热之故，痰火人患者多。宜服

生熟地黄丸：治内外一切翳障。

牛膝 石斛 枳壳 防风_{各六两} 生地 熟
地_{各一斤半} 杏仁 羌活_{各四两} 白菊_{一斤}

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸。以黑豆三斤，炒令烟尽为度，淬好，酒六升，每用半盏，食前送下，或蒺藜汤亦可。

【注释】

①聚开障：病名，又名星月聚散、浮萍障、聚散障等。是指黑睛生翳，或厚或薄，或如

云似月，或数点如星，痛则见之，不痛则隐，聚散不一，来去无时，或月数发或年数发的病症。

【述要】

此节所述之聚开障症，多因湿热痰火上攻于目，或肝肾阴虚，虚火上炎所致。若湿热痰火所致者，可用三仁汤加黄芩、银花、夏枯草以清热利湿，解毒化痰；若肝肾阴虚，虚火上炎，复受风邪者，可用生熟地黄丸以滋肾补肝，祛风退翳。

枣花障症(二十二)

此症障薄而白，起于风轮周匝，从白膜之内，四围环布而来。凡性急、嗜酒、痰火之人，多生此病。虽有枣花锯齿之说，实无正形。凡见白圈旁青轮际，从白膜四围圈圆而来，即是此症。若白嫩在轮外四围生起，乌珠赤痛者，是花翳白陷，不可误认为此症。宜服

羚羊角饮子：

羚羊角	<small>挂末</small>	防风	云苓	酒芩	熟地	桔梗
枸杞	人参	车前	细辛	黑参	知母	<small>各一钱</small>

水二钟，煎至八分，食后温服。

【述要】

枣花障症是指黑睛周边生翳，色白而薄，从白膜四围圈圆而来，形如枣花的病症。多因肝肾不足，痰火上犯于目所致。治疗可用羚羊角饮子以滋肾补肝，清热化痰。

圆翳障症(二十三)

此症色白，大小不等，厚薄不同，薄者最多，间有厚者，亦非堆积之厚，但不过比薄的稍厚耳，多有掩及瞳神，名曰遮睛障。病最难治，以其光滑深沉之故。有阴阳二症之别，阳者明处看不甚鲜白，暗处看则明亮白大；阴者暗处看则浅小，明处看则深大。虽有阴阳二

症之别，而治则一同。宜服

空青丸：治沉翳。细看方见其病，甚重。

细辛 五味子 石决明 车前_{各一两} 空青_{一钱} 生地 知母 防风_{各二两}

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸，空心清茶送下。

羚羊角饮子：

羚羊角_{三两} 细辛 知母 人参 车前 酒芩_{各三两}
防风_{二两半}

为细末，每用一钱五分，食后温服。

【述要】

此节所述圆翳障，又名遮睛障。是指黑睛生翳，色白而圆，大小不等，厚薄不同，薄者最多，间或也有厚者，亦非堆积之厚，但比薄者稍厚，多有掩及瞳神的病症。因圆翳障多遮盖瞳神，不论厚薄，均可不同程度地影响视力。治疗可用空青丸合羚羊角饮子以滋肾补肝，明目退翳，益气祛风。

水晶障症(二十四)

此症色白清莹，但高厚而清珠，看虽易治，见效甚迟，盖病久根深之故。其名有三，曰水晶，曰冰翳，曰玉翳。旁珠斜视，白透睛瞳内，非若白混浮嫩之可治者，治虽略减，而亦终身不痊之症。宜服拨

七宝丸：治冰翳坚结睛上，宜先针拨取之后服药。

石决明_{二两} 琥珀_{研七钱半} 珍珠 熊胆_{各五钱} 茺蔚子
人参_{各一两} 冰片_{二钱半}

同为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服十五丸加至二十丸，食前清茶送下。

【述要】

水晶障，又名冰翳障、玉翳障等。为成熟期白内障以形色命名的一种，是指眼不红不痛，睛珠完全混浊，翳障全遮蔽瞳神，色白如水晶，清莹见内，但高

厚而满珠的病症。治疗先以针拨取之，而后用七宝丸以清肝退翳明目。

剑脊翳症(二十五)

此症白色，或如糙米色，或带焦黄色，但形如剑脊，中间略高，两边稍薄，横于风轮之外者，即此症。厚薄不等，厚者虽露上下风轮，而瞳神被掩，视物不见，薄者终是被掩，视亦昏眊，较之重者稍明耳。总然色嫩根浮，亦有疤迹，若滑色深沉，即治亦只减半，倘微红罩绊者，尤难退去，此症需要缓治，非岁月之功不能也。宜服拨

七宝汤：宜先针拨去翳后服药。

羚羊角末 犀角末各一两 胡连 车前 石决明
煅末 炙草各五钱 朱砂五钱另八

上除朱砂、决明外，余捣粗末，每服三钱，水二钟，煎至一钟，入朱砂末三分，决明末三分，再煎两沸，食后温服。

【述要】

剑脊翳，又名横翳内障、横关翳内障、横剑翳内障等 是指瞳神内渐生内障，眼不红不肿，色白如银，或带焦黄色，形如剑脊，中间略高，两边稍薄，横置于瞳人之中的病症。治疗本病，若睛珠完全混浊，翳障完全遮蔽瞳神者，可先用针拨术拨去翳障，再用七宝汤以泻热清肝，明目退翳。

鱼鳞障症(二十六)

此症色白而不光亮，状带斜歪，故名之曰鱼鳞障。乃气结膏凝，最难治者，皆由病初，误认他症，用药有错，或点凉药过多之故，总治之只可减半，不能复元。宜服

羚羊角散：

羚羊角 细辛 升麻各二两 炙草一两

同为细末，一半炼蜜为丸，如桐子大，一半末，每日用一钱，煎引服丸药，每五十丸，食后送下。

【述要】

鱼鳞障是指瞳神内渐生翳障，眼不红不肿，色白而不光亮，状带倾斜不正，形似鱼鳞的病症。治疗可用羚羊角散清肝明目，散寒退翳。

暴盲恶症(二十七)

此症目中内外，别无他病，忽然暴盲而视不见。其故有三，曰孤阴，曰寡阳，曰神离。乃闭塞关格之病，病于阳伤者，因贪酒嗜辛，及久患痰火之人得之。病于阴伤者，多色欲悲伤思虑哭泣之人得之。伤于神者，因用心太过，劳役惊恐之人得之。发皆多因头风痰火寒暑触犯，眩晕盲瞽不见，若疑为鬼神为祟，而不急治，永为废疾矣。宜服

加味逍遥饮：

归身 白术 茯神 生草 白芍 柴胡 各七分
炒梔 丹皮 各七分

水二钟，煎至八分，食远服。

柴胡参术汤：治怒伤阴阳二气，暴盲不见。

人参 白术 熟地 白芍 各一钱半 炙草 八分 川芎 七分 归身 二钱 青皮 四分 柴胡 三分

水二钟，煎至八分，食远服。

熊胆丸：治目忽然翳膜遮蔽睛瞳。

熊胆 三钱研末 川芎 蒙花 羌活 各一两半 蛇退 地骨皮 仙灵脾 木贼 胆草 各一两 旋覆花 菊花 瞿麦 各五钱 蒺藜 三钱 血竭 二钱 蔓菁子 二钱

上除熊胆末，余同为细末，羯羊肝一具，煮其一半，焙干为末，杂于群药中，一半生者去膜捣烂，入熊胆群药捣匀，丸如桐子大，食后米饮送下三十丸。

【述要】

暴盲恶症，是指平素眼外观正常，一眼或双眼视力忽然急剧下降，甚至盲而不见的内障眼病，属眼科急症之一。可见于今之视网膜中央动脉阻塞、眼底出血性病变、急性视神经炎、视网膜脱离、糖尿病性黑蒙、皮质盲等。本病多因贪酒嗜辛致痰热内生，情志抑郁致肝气郁结，暴怒惊恐致气机逆乱，肝风内动致气血上逆，气血两虚致目失所养，外感热邪或阴虚火旺致热盛血壅等等。临床治疗可按眼络阻塞与目系猝病两方面进行论治。若气血瘀阻，眼络阻塞者，可用通窍活血汤以活血通窍；若痰热上壅，眼络阻塞者，可用涤痰汤以涤痰开窍；若肝风内动，气血并逆，眼络阻塞者，可用天麻钩藤饮以平肝熄风，通络开窍；若肝火亢盛，目系猝病者，可用龙胆泻肝汤以清肝泻火；若气滞血瘀，目系猝病者，可用加味逍遥饮合柴胡参术汤以疏肝解郁，行气活血；若阴虚火旺，目系猝病者，可用知柏地黄丸以滋阴降火；若气血两虚，目失所养而目系猝病者，可用八珍汤以益气补血；若风热邪毒上犯于目，忽然翳膜遮蔽睛瞳者，可用熊胆丸以祛风清热，明目退翳。本病属急重症，应采用中西医结合及时救治，若视网膜中央动脉阻塞者，应采用血管扩张剂，如硝酸甘油舌下含化；若视神经炎暴盲者，应静滴地塞米松及酌用抗生素类药物。

青盲^①恶症(二十八)

此症目中内外并无别病，只是视之不见，乃元府幽隐之源郁遏之故。其因有二，曰神识，曰胆涩。伤于七情，则伤于神，若伤于精血，则损于胆，皆不易治，年老者尤难。宜服

镇肝羊肝丸：

羯羊肝—具切片晒干 官桂 柏仁 羌活 菊花 白
术 五味子 细辛各五钱 川连炒七钱

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服四十丸，空心滚水送下，或食远服亦可。

复明散：治肝肾两虚或因他症，青盲初起者神效。

菟丝饼 补骨脂 巴戟 枸杞 牛膝 苁蓉各一两
青盐二钱另研

同为细末，用猪腰子一个，竹刀切两片，去内筋膜，入药末一钱，将线扎紧，用陈酒蘸湿，炙熟食之良。

本事方：专治青盲内障。

羊肝_{一片焙} 车前 防风 黄芩 麦冬 地肤子
杏仁 桂心 苦苈 茺蔚子 细辛 云苓 青
箱子 五味子 枸杞_{各一两} 熟地_{一两半}

同为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服四五十丸，温汤送下，日进三服。

【注释】

①青盲：病名。是指眼外观正常，瞳内无翳障气色，但视力渐降，逐渐失明的眼病。类似于西医学之视神经萎缩。

【述要】

此节所述之青盲症，多因肝肾两亏，精血虚少或肝气郁结，经络阻滞所致。也可因头眼部外伤或肿瘤压迫而致气血瘀阻脉道。若肝气郁结而致者，可用镇肝养肝丸合柴胡疏肝散；若肝血不足，肾中阳气虚弱，可用复明散以补肝明目，温补肾阳；若肝郁化火，肺气郁闭而致脉道阻塞者，可用本事方以清肝明目，宣通肺气；若眼部外伤，气血瘀滞所致者，可用血府逐瘀汤以行气活血，化瘀通络。本病宜尽早治疗，视力尚可恢复一些，待至晚期，则难以见效。西医一般针对病因治疗，早期采用大量维生素B族、血管扩张剂、能量合剂及组织疗法。

高风障^①症(二十九)

此症俗名鸡盲眼，本科曰高风障，晚间目视不见，至晓复明。乃阳衰不能抗阴之病，若人调养得宜，神气融和，精血充足，而阳光盛，不治自愈，倘不知保养，反而丧真，必变为青盲内障矣。宜服

人参补胃汤：治劳役所伤，饮食不节，内障昏暗。

蔓荆子_{一钱} 黄芪 人参_{各一钱} 炙草_{八分} 白芍

黄柏_{各七分}

水两钟，煎至八分，食远温服，临卧再服，病减即止，不可再服，春日服最佳。

补中益气汤：治元气下陷，至晚不见。

归身 白术 陈皮_{各一钱半} 人参_{二钱} 炙草 升麻
柴胡_{各一钱} 黄芪_{二钱}

水三钟，姜三片，枣三枚，煎至一钟，食后热服。

转光丸：治肝虚雀目青盲。

生地 云苓 川芎 山药 蔓荆子 白菊 防
风 细辛 熟地_{各等分}

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服五十丸，空心桑白皮汤送下。

还明散：治小儿雀目。

夜明砂 谷精草 蛤粉_{各五钱}

为末，煎黄蜡为丸，如鸡头大，三岁一丸，猪肝一片，切开置药于内，麻扎定煮熟，先薰眼，后食肝，去渣。

决明夜灵散见首卷。

【注释】

- ①高风障：病名，又名高风雀目、高风雀目内障，俗名鸡盲眼。是指眼外观如常，暗处不见，亮处复明及视野日渐缩窄为主要症状的内障眼疾。本病具有遗传的特点，后期可发展成青盲等病，类似西医学之原发性视网膜色素变性。

【述要】

此节所述之高风障，多因禀赋不足、命门火衰，或肝肾亏损、精血不足，或脾胃虚弱、清阳不升等所致。临床多表现为初起入暮或黑暗处视物不清，行动困难，至天明或光亮处视力复常。日久上症加重，且视野日渐缩窄，甚至缩窄如管状，仅能看见正对眼前的事物，因而行动极为困难，最终可失明。若饮食不节，脾胃虚弱，中气下陷者，可用人参补胃汤合补中益气汤以健脾益气，升

阳举陷；若肝肾阴虚者，可用明目地黄丸以滋肝补肾；若小儿雀目，可用还明散以补肾清肝明目。因本病为慢性进行性眼病，发病主要与遗传有关，一般疗效不佳。目前对早期患者治疗的目的在于稳定病情，延缓发展，对晚期患者力求维持视力，避免发展成青盲而失明。

青风障症(三十)

此症视瞳神内有青气昏蒙，自视尚能看见，但昏蒙日进，急宜治之。若迟变成绿色，则病危而光没矣。阴虚血少之人，用心太过及患头风痰火者，多有此病，至危至重，失治则盲在反掌矣。宜服

羚羊角汤：

人 参 车 前 元 参 地 骨 皮 羌 活 羚 羊

角 锉末各等分

白水二钟，煎至八分，食后服。

益气聪明汤见首卷，气虚者与前药兼服。

地黄丸见首卷，血虚者与前药兼服。

【述要】

青风障，又名青风内障，为五风内障之一。是指起病无明显不适，眼珠逐渐胀硬，瞳色淡青微混，视野逐渐缩窄，终至失明的病症。类似于西医学之开角型青光眼。检查眼底可见视神经乳头凹陷增大，眼压增高。在治疗上，若气郁化火者，可用丹栀逍遥散以清热疏肝；若痰火上扰者，可用黄连温胆汤以清热祛痰，和胃降逆；若肝热生风者，可用羚羊角汤以清热明目，平肝熄风；若阴虚血少，肝肾阴亏者，可用地黄丸以滋肝补肾；若气虚者，可用益气聪明汤以益气明目。西医一般局部使用缩瞳剂，用1%~2%的毛果芸香碱液，每日滴眼3~4次，或视病情而定。用抑制房水生成的药物降眼压，用0.25%~0.5%的噻吗心安溶液滴眼，每日1~2次。若药物治疗无效者，可考虑西医手术治疗。

绿风障症(三十一)

此症瞳神浊而不清，其色带绿，乃青风炎重之症，久则变为黄

风。虽曰头风所致，亦因痰湿所攻，火郁忧思忿怒之故，大凡病到绿风，十治九不愈。宜服

半夏羚羊角散：

羚羊角_{性末} 薄荷 羌活 半夏_{各一钱半} 菊花 川
乌 川芎 防风 车前_{各五钱} 细辛

同为末，每服三钱，生姜三片，水二钟，煎至一钟，去渣食后服，或荆芥汤调服亦可。

羚羊角散：治绿风头旋目痛。

羚羊角_{性末} 防风 知母 人参 元参 云苓
黄芩 桔梗 车前_{各一两} 细辛_{二两}

同为细末，每服二钱，滚水食后调下。

【述要】

绿风障，又名绿盲、绿水灌瞳等，为五风内障之一。是以眼珠变硬，眼压增高，瞳神散大，瞳色淡绿，视力严重减退为主要特征的眼病。类似于西医学之闭角型青光眼，多因情志刺激或劳累过度而发作。在治疗上，若肝胆火炽，风火攻目者，可用《医宗金鉴》绿风羚羊饮合《通俗伤寒论》羚羊钩藤汤以清热泻火，凉肝熄风；若肝郁气滞，气火上逆者，可用丹栀逍遥散合左金丸加减；若肝郁积热，风邪外侵者，可用半夏羚羊角散合羚羊角散以清肝明目，祛风散邪。本病宜采用中西医结合治疗，西医一般主张局部及早频频使用缩瞳剂，可用1%~2%的毛果芸香碱滴眼液，重症每3~5分钟滴眼一次，症状缓解后，可视病情改为每1~2小时1次，或每日2~3次。若眼压急骤升高，眼珠胀硬如石者，可考虑配合使用高渗剂降眼压，如用20%的甘露醇250毫升，静脉滴注30~60分钟滴完。还可使用抑制房水生成药物降眼压，如用0.25%~0.5%的噻吗心安溶液滴眼，每日1~2次。药物治疗无效者，可考虑手术治疗，若在房角出现周边虹膜前粘连及小梁损害之前，一般采用周边虹膜切除术，以防止病情进一步恶化。对于晚期病例，房角大部分闭塞，一般应作小梁切除术。

乌风障症(三十二)

此症瞳神色昏乌黑,视物不明,有风有痰,酒色过度,败血伤精,肾络损而胆汁亏,元阳大伤,神光将坠之候。宜服

白附子汤:治黑花昏昏内障。

白附子_炮 荆芥穗 防风 菊花 苍术 木贼
羌活 蒺藜_{各八分} 人参_{五分} 生草_{三分}

水二钟,煎至八分,食后服。

凉胆丸:

胆草 黄连 防风 柴胡 黄芩 芦荟 黄柏
荆芥_{各等分}

为细末,炼蜜为丸,如桐子大,每服三钱,清茶送下。

【述要】

乌风障,又名乌风内障,为五风内障之一。是指病后眼无赤痛,视觉渐暗,瞳神色昏乌黑的眼病,类似于今之继发性青光眼。在治疗上,若肝胆郁热,风邪外侵者,可用凉胆丸以泻肝胆之热,散外风之邪;若风火挟痰上攻者,可用白附子汤以祛风化痰,清肝明目。若效果欠佳者,可考虑中西医结合治疗。由于继发性青光眼是指一些眼部疾病和某些全身性疾病在眼部出现的合并症,影响房水循环使眼压升高。这类青光眼种类繁多,既无相同的原发病因,临床表现又各有特点,因而治疗原则不尽相同,其预后也有很大差异。引起继发性青光眼的常见原因有:粘连性角膜白斑、虹膜睫状体炎、外伤性眼内积血、房角挫伤、白内障膨胀期、白内障过熟期及血管功能不全性青光眼等。

此外,在此书中没有介绍到黑风内障与黄风内障,在此仅作简单介绍。黑风内障,为五风内障之一,是指头眼俱痛与绿风内障相似,眼前时起黑花,瞳内气色昏暗的病症。类似于今之闭角型青光眼,若不及时救治,可转为黄风内障。黄风内障亦为五风内障之一,是指头眼胀痛,眼珠胀硬,瞳神散大,瞳色昏黄,视力丧失为主的眼病。属各种五风内障的晚期,类似于今之青光眼绝对期,虽经治疗亦很难复明。

偃月障症(三十三)

此症乃风轮上半边，气轮交际，从白膜内隐隐白片，薄薄盖下来，其色粉青，非内非外，从膜中而来者，初起不觉，从渐结久，始下风轮而损光；或沿边周匝而为枣花，为害最迟，人不为虑，每受其害；或脑有风湿，久滞郁中，微火攻击，脑油滴下，好酒暴怒者多有此病；有痰火人，好食辛燥物者，皆得此病。宜服

补肝散：

羚羊角^{锉末} 细辛 羌活 云苓 人参 楮实子
元参 车前 防风 石斛 夏枯草^{各等分}

同为细末，每服三钱，食后米饮调下。

坠翳丸：

青羊胆 鲤胆^{各七个} 熊胆^{二钱} 石决明^{一两} 牛胆^{五钱}
麝香^{少许}

同为细末，面糊为丸，如桐子大，每服十丸，空心清茶下。

【述要】

偃月障，又名偃月侵睛。是指在风轮上部，与气轮交界处，渐生一白色翳膜，形似偃月状的眼病。此病好酒嗜燥暴怒之人易患。多因风湿热邪，郁滞于目所致。临床多表现为：初起白睛无红赤，无畏光、流泪等不适，仅在风轮上部与气轮相交之处有半月形白色翳膜，薄而青白，表面光滑无损，逐渐发展，白膜向下延伸，重者可遮盖瞳神。治疗可用补肝散合坠翳丸以清热除湿，清肝利胆，祛风退翳。

如银障症(三十四)

此症瞳神之中有白障，轻则一点白亮如银星，重则瞳神皆雪白而圆亮，圆亮者一名圆翳内障，有偃月变重而圆者，乃郁滞伤乎清纯之元气，故光华为其闭塞而不得见，亦有湿热在脑，脑油滴落而凝结为障。若早治之，皆可复明，迟则气定难治矣。宜服

决明散：

石决明 防风 人参 茺蔚子 车前子 知母
云苓 五味子 元参 黄芩_{各等分} 细辛_{减半}
同为细末，每服二钱，食前清茶调下。

【述要】

如银障症，又名如银内障。是指眼不红不痛，瞳神内渐生圆翳内障呈银白色的眼病，类似于今之老年性白内障。治疗可用决明散以清肝明目，解毒退翳，祛风明目。

瞳神欹侧症(三十五)

此症瞳神歪斜不正、或如杏仁枣核，三角半月。乃肾胆之神膏所损，瞳神将欲没矣。若早治之，虽难复圆，亦可挽住，免坠尽丧明之患。宜服

犀角丸：治气血虚瞳神歪斜。

犀角_{锉末} 石决明 归身 麻黄_{减半} 枸杞 防风
楮实_{各等分}

同为细末，面糊为丸，如桐子大，每服五十丸，清茶送下。

【述要】

瞳神欹侧，又名瞳神不正、瞳神偏射。是指瞳神失却于黄仁正中之位置以及正圆之形，偏斜于某侧。属西医学之瞳孔形态异常。多因黑暗疾病或先天禀赋不足所致。治疗可用犀角丸以清肝明目，养血祛风。若药物治疗差，影响视力者，可考虑手术治疗。

瞳神反背症(三十六)

此症因六气偏胜，风热搏击，眼珠斜翻倒转，白向外而黑向内也。药不能治，须用拨法，看其珠从何入何背，或带上带下之分，然后下手拨转，当时如旧，拨转之后，宜服

钩藤饮：

钩藤_{五分} 麻黄_{去节} 炙草_{各三分} 天麻 川芎 防
风 人参_{各七分} 全蝎_{去毒一钱} 僵蚕_{炒钱二分}
水二钟，姜三片，煎至八分，食后服，亦可增加作丸药服之。

【述要】

瞳神反背症是指眼珠严重偏斜，黑睛被眼眶遮蔽，几乎只见白睛者的眼病，属西医学之麻痹性斜视重症。治疗可用钩藤饮以镇肝熄风，祛风活血，通络牵正。若药物治疗效果差，可采用西医之斜视矫正术。

内障共三十六症，丸、散、汤剂共六十五方。

龙树王菩萨金针拨内障法

针以马嚼铁作之，如鼠尾样，长一寸，或用赤金抽粗丝略尖，先用乌头、巴豆各一两，硫黄、麻黄各五钱，木鳖子、乌梅各十个，将针入水，磁罐内煮一日，洗拭净，再用没药、乳香、当归、花蕊石各五钱，入水煮一日取出，皂角水洗，再于犬肉内煮一日，再瓦屑打磨净，松子油涂之，常近人气最好。

针柄用柴檀木，花梨木，或犀角，长二寸八九分，如弓弦粗，两头钻眼，深三四分，用干面调生漆，将针蘸漆插入柄眼内，两头各插一针，外余六分许，不可太尖，恐伤瞳神，以鹅毛管套收，平日收藏匣内，临用取出。

金针式：



拨内障用针手法

凡拨眼之时，医者预先清斋三五日，病者亦清斋静养三五日，须看病者老弱肥壮，若气壮者，先三二日先服退气散血之剂数服，平其五脏，弱者不必服之。临拨新汲井水一盆，放于桌上，将病者头眼眉棱骨，频频淋洗，必得睛珠冰冷，眼内脑脂凝结，血气冷定为度。令病者端坐椅上，后用二人将头扶定，医者先用大指二指分开眼皮，按定黑珠，不令转动，次用右手持金针，如拨右眼，令患者视左，方好下针。庶鼻梁骨不碍手，离黑珠与大眦两处相平分中慢慢将针插入，白睛甚坚，必用力插之方入，然后斜回针头，至瞳神上，将脂拨下，复放上去，又拨下来，试问患者看见青白颜色分明，然后将脂送至大眦近开穴处，护睛水内尽处，方徐徐出针，不可早出，恐脂复还原位，针出令患者闭眼勿开。如拨左眼令患者亦视右，离黑珠与小眦两处相平分中下针，拨下脑脂，送至小眦近开穴处。大小二眦，针不可碍动，若稍伤，必有目瞽之祸，慎之慎之。

封眼法

凡眼拨后，必须封护，预收荷叶晒干为末，用井水调匀，以绵纸剪圆块，如茶杯口大，将药敷眼上，及眉棱骨与下眶以纸一层封贴药上，又药一层，又纸一层，用绢缚定，约将干，去绢以笔蘸凉水润之，仍缚定，如此日夜数次，一日一换药，仰面而卧，起坐饮食，大小二便，俱宜缓，不可出力震动。七日内只用稀粥食之，不可震动牙齿，七日后开封，静养百日，再服还睛丸（见三卷），千金磁朱丸（见首卷），免其后犯。若不服药，后犯必有。此症只能拨一眼，不能拨二眼，若强拨二眼，一眼愈而一眼不愈。拨后若目疼痛，急取生艾或生葱各半，共捣烂炒熟，布包熨太阳穴三五次即止。若瞳神有油气不清，用槟榔、枳壳、柴胡之类，以平肝气。

退气散血饮：气血壮盛者，未拨以前先服数剂。

大黄 归身 乳香 没药 连翘 穿山甲 白

芷 各一钱

水二钟，煎至八分，食远温服。

镇心丸：眼拨后服之养心神，兼治怔忡、痫症。

牛黄一钱另研 生地酒洗炒 归身酒洗炒 远志 茯神 各五钱

金箔十五片 石菖蒲 酒连各二钱半 辰砂二钱另研

除牛黄、辰砂二味，余为细末，后入牛黄、辰砂和匀，猪心血为丸，如黍米大，金箔为衣，每服五六十丸，晚煮猪心汤送下，痫症空心送下。

看内障法

按内障之症，乃湿热郁蒸，致脑脂下垂，故珠内有膜遮蔽瞳神之光，犹如布幔悬于明窗之内，外人虽见其窗外明，不知窗内有幔悬挂，而内不明也。初患之时，其眼不疼不痒，不涩不燥，头不旋不痛，而翳膜已结成，必待岁月障老，始可用金针拨去其膜，如拨云见日，即时复明。若岁月少，脂膜嫩，不可拨，如强拨之，随开随合，拨下复上，枉受疼痛。但此症若有头疼、眉棱骨疼，及睛疼赤涩者，俱非拨症，虽强拨去其障，而视终不见，亦枉受疼痛。医者需要预先认明病症，然后施治，百发百中矣。今将内障可拨不可拨诸症，开具于后。

圆翳：初患时，见蝇飞垂蚊，薄雾轻烟，先患一目，次第相牵，俱成圆翳，如油点浮水中，阳看则小，阴看则大，宜拨之。

涩翳：翳如凝脂色，宜拨之。

浮翳：藏形于睛之深处，细看方见，宜拨之；若甚薄，似有如无不宜拨，宜服药。

横翳：横如剑脊，两边薄，中央厚，宜于中央厚处拨之。

滑翳：翳如水银珠，宜拨之。

以上五翳，皆先患一目，一目不见，又传一目，向后二目俱伤。

冰翳：初患时，头额、眼眶骨、鼻夹骨微觉疼，目内微见赤色，先

患一目，次后二目俱病，翳如冰冻坚白，宜针拨动，不宜强拨，须药治，不拨亦可。

偃月翳：初患时，微微头旋额痛，先患一目，次第相连而俱损，翳一半厚，一半薄，宜先从厚处拨之。

枣花翳：初患时，微有头旋眼涩，目中痒痛，先患一目，向后俱损，周围如锯齿，轻轻拨去。

散翳：翳如黑点，乍青乍白，宜拨之。

青翳：初患时，头旋眼涩，见花黑黄不定，凝结成青色，宜拨之。

惊翳：头脑被打筑，恶血流入眼内，至二三十年，凝结成翳而色白。先患之眼不宜拨，牵损后患之眼，宜拨之。

以上六翳，古人皆言宜拨，亦要审辨轻重而拨，不可拘执古法。

内障亦有不痛不痒，其翳黄色、红色者，不宜拨，翳破散者不宜拨，中心浓厚者不宜拨，拨之不动者为死翳，不宜强拨。惟白翳黄心，宜先服药后针之，若无翳，名曰风赤，不宜针。

白翳黄心：四边白，心中黄，先服逐翳散，后用金针轻拨，若中心浓厚者，亦不宜拨。

乌风：无翳，但瞳人小，三五年内结成青白色，不宜拨。

肝风：无翳，眼前多见虚花，或白或黑，或赤或黄，或一物见二形，两眼同患，宜补治，不宜拨。

五风：初患时，头旋额疼，一目先患，后因呕吐，两目俱损，瞳神白如霜，不宜拨。

绿风：初患时，头额偏痛，连眼眉及鼻颊骨痛，先患一目，后两目俱损，无翳，眼见红黑花，不宜拨。

黑风：初患时，头旋额痛，眼眶及鼻颊骨痛，先患一目，向后两目俱损，但见黑花，无翳，不宜拨。

青风：初患时，微有头旋脑痛，先患一目，向后两目俱损，觉劳倦昏沉，无翳，不宜拨。

雷风：初患时，头旋恶心呕吐，先患一目，次后两目瞳神俱损，

或散大，或缩小，凝脂结白，不宜拨。

以上八症，俱不宜拨。初患时，若保养服药调治，可以挽救一二，若日久气定，永为废疾矣。大抵内障之症，但头额眉棱骨、鼻颊骨疼者，便是恶症，非针拨可治也。

附眼科针灸要穴

百会：在前顶后一寸五分，顶中央旋毛心，容豆许，直两耳尖上对是穴，刺二分，灸五壮。主治风头痛。

合谷：在手大指次指岐骨间陷中，即虎口穴，刺三分，留六呼，灸三壮。主治头疼目暗，视物茫然。

土星：在鼻直上，入发际一寸陷者，中可容豆，宜三棱针出血以泻热，刺三分，留六呼，灸五壮。主治头风晴痛。

神庭：直鼻上入发际五分，发高者发际是穴，发低者加二三分，灸三壮，禁刺。主治角弓反张，目上视，头风流泪。

太阳：一名童子髻，在目外，去眦五分，刺三分，灸三壮。主治头疼目痒，眦赤痛，翳膜青盲。

颊车：一名曲牙，在耳下曲颊端，近前陷中，侧卧开口取之，刺三分，灸三壮，炷如小麦大。主治口眼歪斜，牙关不开。

地仓：在夹口吻旁四分外，近下微有脉动，刺三分，留五呼，灸七壮，病左治右，病右治左，艾炷宜小。主治偏风，眼视昏昧，夜间不见。

后顶：在百会后一寸五分枕骨上，刺二分，灸五壮。主治头痛项强，额疼恶风，目眩不明。

临泣：在目上直入发际五分陷中，正睛取之，刺三分，留七呼，禁灸。主治鼻塞，目眩，生翳，眼目诸症。

三里：在膝下三寸，胫骨外廉，大筋内宛宛中，低跗取之，重按之则跗上动脉止矣。刺五分，留六呼，灸三壮。主治泻胃中湿，眼目

不明。

风池：在耳后颞颥后，脑空下，发际陷中，按之引耳。刺四分，灸三壮七壮，炷不可大。主治中风项强，头晕目眩，赤痛泪出。

目髎：一名丝竹空，眉稍陷中，刺三分，留六呼，禁灸。主治头痛目赤，拳毛倒睫，风病发狂。一云：眼目赤疼，刺一分出血。

人中：在鼻下人中陷中，刺三分，留六呼，灸三壮，炷如小麦大，灸不如针。主治中风口禁，口眼歪斜。

承浆：一名天池。在颐前下唇棱下陷中，刺三分，留五呼，灸三壮，炷宜小。主治偏风，口眼歪斜。

迎香：在禾髎上一寸，鼻孔旁五分，刺三分，禁灸。主治消眼热赤红，偏风，口眼歪斜。

上关：一名客主人，在耳前起骨上廉，开口有空，侧卧张口取之。刺一分，留七呼，灸三壮。治口眼歪斜，目眩牙疼。

角孙：在耳廓中间，上发际下，开口有孔。刺三分，灸三壮。主治目中生翳，项强牙肿。

光明：在外踝上五寸，刺六分，留七呼，灸五壮。治热病目痒疼。

解溪：一名鞋带，在足腕上系鞋带处陷中。刺五分，留五呼，灸三壮。主治头疼目昏。

丰隆：在外踝上八寸，下廉胫骨外廉陷中，刺三分，灸三壮。主治头疼，癫狂见鬼好笑。

攒竹：在两眉头梢穴宛宛中，刺一分，留五呼，禁灸。主治眼中赤痛，瞳子痒，刺出血妙。

印堂：在两眉中间，灸三壮，炷如小麦。治小儿惊风。

睛明：在内眦头外一分宛中，刺一分半，留六呼，禁灸。主治目痛，流泪，雀目。

大骨空：在手大指前，二节前尖上，屈指当骨节中。灸三七壮，禁刺。主治内障，久疼。

小骨空：在手小指第二节前尖上，屈指当骨节中，灸二七壮，禁

刺。主治迎风流泪，风眩烂眼。

后溪：在手小指本节后，外侧横纹尖上，仰手俯拳取之。一云：在手腕前外侧，拳尖起骨下陷中。刺一分，留二呼，灸一壮。主治一切目翳，风热等症。

行间：在足大指间，动脉应手陷中。一云：在足大指岐骨间，上下有筋，前后有小骨尖，其穴正在陷中，有动脉。刺三分，留十呼，灸三壮。主治中风口歪及雀目流泪。

二间：在食指本节前，内侧陷中，刺三分，留六呼，灸五壮。主治目昏不见，口歪目黄。

洗灸疮法

古人灸艾住火，便用洗法，以赤皮葱、薄荷叶煎汤，洗疮周围约一时久，令驱逐风散于疮口出。若退痂后，用东南桃枝青嫩皮煎汤温洗，能护疮中风毒；若疮内黑烂，加胡荽煎汤洗；若疼不可忍，加黄连煎洗，神效。灸后洗后，以无力膏药贴护，一日一换。

针灸避人神日时

月人神

初一日在足大指，初二日在外踝，初三日在股内，初四日在腰，初五日在口，初六日在手，初七日在内踝，初八日在腕，初九日在尻，初十日在腰背，十一日在鼻柱，十二日在发际，十三日在牙齿，十四日在胃脘，十五日在偏身，十六日在胸，十七日在气冲，十八日在股内，十九日在足，二十日在内踝，廿一日在足小指，廿二日在外踝，廿三日在肝及足，廿四日在手阳明，廿五日在足阳明，廿六日在胸，廿七日在膝，廿八日在阴，廿九日在膝胫，三十日在足趺。

日人神

建日在足禁晡时，除日在眼禁日入，
满日在腹禁黄昏，平日在背禁人定，
定日在心禁半夜，执日在手禁鸡鸣，
破日在面禁平旦，危日在鼻禁日出，
成日在唇禁食时，收日在头禁寅时，
开日在耳禁午时，闭日在目禁日昃。

时人神

子时在踝，丑时在头，寅时在耳，
卯时在面，辰时在头，巳时在乳，
午时在脚，未时在腹，申时在心，
酉时在背，戌时在腰，亥时在股。

经
验
奇
方

第二部 经验奇方 (共上、下两卷)

嘉庆二十二年镌，悟元山人集编《经验奇方》，榆中栖云山藏版。

经验奇方 卷上

瘟疫^①门

瘟疫者，天地不正之气，逢火运而有之。疫轻而瘟重，病传手六经，不传足六经，从口鼻而得之，其感邪在膜原^②，迷闷昏沉，恶寒发热，目胀头痛，舌上苔白，六脉洪数者轻，闭塞者重。疫有见红点者，有浑身见红朵红丝者，有咽喉疼痛难忍者，有头疼如斧破者，皆是也。瘟有大头瘟，有浑身疙瘩瘟，有黑水泻瘟，有吐血瘟，种种不一，俱是彼此传染，甚至一乡一邑同病相传。若不传染者，必是别症，非瘟疫也。此症虚人多得，实人不得，间或得之亦轻。

羌活桂枝汤：治外感兼瘟疫，头疼发热，腿疼，此受病在阳经，先宜发散。

羌活—钱 防风—钱 川芎—钱 桂枝—钱 苍术—钱
生草四分 生地—钱 厚朴—钱

葱一根，生姜一片，水三钟，煎至一钟，热服出汗。

达原饮：舌上有白苔或苔消，胸膈饱闷，谵语，恶寒发热，头微疼。

槟榔—钱 厚朴—钱 草果仁五分 南芍—钱 知母酒炒—钱 生草四分

葱一根，姜一片，水三钟，煎一钟，热服。

头疼加川芎—钱，浑身疼加羌活—钱，鼻干目疼加葛根—钱，口苦干呕加柴胡—钱。

小承气汤：服前药一剂，舌心有黄色，此邪传于胃，急宜下之。

生大黄二钱 厚朴—钱五分 枳实—钱

葱一根，姜一片，水煎服。

大承气汤：治多日不便。

生大黄二钱 芒硝—钱五分 厚朴—钱五分 枳实—钱

葱一根，姜一片，水煎服。

黄连解毒汤：瘟毒汗下后，舌胎黑，发渴，谵语，发热不退。舌胎黑有茨^③者，可治。无茨而平光者，难治。有茨先将舌以青布蘸浆水润洗，用竹箴^④刮去刺，然后服药。

黄连酒炒五分 山栀炒黑七分 黄柏酒炒五分 黄芩酒炒六分

重者各—钱

姜一片，枣一枚，水煎服。

竹叶石膏汤：汗下后余热不退。

竹叶—握 石膏—钱 麦冬去心—钱 车前子六分

姜一片，水煎服。

败毒丹：专治瘟疫火毒，咽喉痛。

桔梗五钱 薄荷二钱 荆芥穗二钱 当归一两酒炒 朴硝—钱 雄黄二钱 山豆根—钱五分 辰砂真者二钱五分 硼砂二钱 生草二钱 雅黄连二钱 黄芩酒炒三钱 乳香去油三钱 没药三钱 马牙硝—钱

同为细末，酒糊为丸，重一钱五分，苍术煎汤下。

普济消毒饮：专治大头瘟。

柴胡—钱五分 黄连酒炒 牛蒡子酒炒 黄芩酒炒各—钱 连

翘 升麻 马屁勃 各一钱 僵蚕 炒七分 桔梗一钱 生草一钱
青黛一钱 白芷一钱

一方无白芷，有人参、陈皮，气虚脉弱者加人参，便秘者加大黄，水煎，食后徐徐饮之。

灵应散：治瘟疫，风寒头疼，浑身疼，恶寒发热。

蟾酥 五钱 轻粉 三钱 雄黄 三钱 朱砂 三钱 麝香 三分
冰片 二分 牙皂 去皮弦三钱

为末，收贮磁瓶内，每用些须吹于两鼻，取嚏，出汗愈。吹药后汗不出者，覆被出汗妙。

【注释】

- ①瘟疫：病名，最早出自《素问·本病论》，又名温疫。是指感受疫疠之气，造成流行的急性传染病的总称。
- ②膜原：又名募原。一般指胸膜与膈肌之间的部位。在温病辨证中指邪在半表半里的位置。《温疫论》中云：“其邪去表不远，附近于胃。……邪在膜原，正当经胃交关之所，故为半表半里。”
- ③茨：通“刺”，其余均相同。
- ④箴：即“箴”，读作(miè)。是指用竹子劈成的细薄竹片。

【述要】

此节首先论述了瘟疫的病因、传播途径、感邪部位、症状表现及疫和瘟各自的特点。同时指出瘟疫“俱是彼此传染，甚至一乡一邑同病相传”。在治疗上，若外感兼瘟疫，病在阳经者，可用羌活桂枝汤以发表散寒，燥湿除邪；若邪伏膜原，出现胸膈饱闷，谵语，头身疼，恶寒发热，舌上有白苔如积粉者，可用达原饮以清热燥湿，疏利透达；若邪传于胃，舌心有黄色者，可用小承气汤以通腑泻热；若兼多日不大便者，此热邪内盛，可用大承气汤以行气通腑，泻火通便；若瘟疫汗下后，舌苔黑，发渴，谵语，发热不退者，此热毒极盛，可用黄连解毒汤以泻火解毒；若汗下后余热不退，此为阴液不足，可用竹叶石膏汤以养阴清热；若瘟疫火毒而致咽喉痛者，可用败毒丹以解毒利咽；若属大头瘟者，可用普济消毒饮以疏风清热，泻火解毒；若温毒外侵，浑身恶寒发热，头痛者，

可用灵应散以避秽解毒，醒脑开窍。

咳嗽门

咳嗽之症不一，有受风而咳嗽者，有受热而咳嗽者，有积痰而咳嗽者，有伤劳而咳嗽者，有癆瘵而咳嗽者，有吼喘而咳嗽者。其病多皆系肺经受伤而然，当因其所受而治之。

清顺饮：治气逆咳嗽，口舌干燥。

天冬 去心一钱 麦冬 去心一钱 知母 蜜浸一钱 贝母 甘草汤洗一钱
党参 五分 归身 酒洗一钱 桔芩 酒炒二钱 山栀 炒焦一钱 元
参 酒炒一钱 桔梗 一钱 花粉 一钱 半夏 姜汁拌炒七次一钱 薄荷 七分
紫苏 一钱 生草 三分 枳实 麸炒黄一钱 干葛 一钱 陈皮 一钱
水三钟，煎至一钟，温服不拘时。

感冒肺热咳嗽加杏仁、桑皮、黄芩、乌梅，胸膈痰多加瓜蒌仁，气促喘嗽倍二母，肺寒加五味、干姜。心下烦热闷嘈或停酒加黄连、枳实，鼻血加乌梅炒焦、白茅根，心发热加柴胡、黄芩，头痛加川芎、细辛，吐血加升麻、丹皮、生地，久热咳嗽倍二母、麦冬，见血加阿胶、生地、乌梅、赤芍、丹皮，痰嗽带血，四物汤加五味子、杏仁。

宁嗽丸：不论风热虚实皆治。

麻黄 杏仁 去皮尖 桔梗 生草 知母 蜜水浸 贝
母 甘草水洗 款冬花 酒芩 柴菴 各五分 黄连 酒炒二钱 胆
南星 五钱 香附 蜜便炒二钱

同为细末，炼蜜为丸，如芡实大，每服一丸，白汤食后化下。

百劳散：治久咳虚嗽。

粟壳 二两去筋膜醋炒一两 乌梅 烧焦五钱

同为细末，临卧时服一钱半，白滚水调下。

复元丹：治阴虚痰嗽，盗汗发热。

熟地 八两 鹿茸 一对酥炙 云苓 二两 菟丝饼 二两 百

合蜜炒二两 丹皮二两 麦冬一两半 五味八钱 虚胫骨一对

覆盆子二两 龟胶一两半炒 归身一两

同为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服七八十丸，盐汤送下。

粟壳散：治诸般咳嗽，兼治痢疾吐泻。

粟壳去膜五两 麻黄一两 半夏制五钱 胆南星五钱 全
蝎五钱焙 乳香五钱 乌梅烧五钱 马兜铃一两

同为细末，每服一钱，蜜汤下。

香术丸：专治痰喘咳嗽，兼治积气，胃口疼痛。

青木香四两 莪术醋炒四两 槟榔四两 神曲四两

同为细末，牙皂四两，去皮弦为末，煮糊为丸，如桐子大，每服五六十九，食远，陈皮汤送下。

救肺汤：治忽然咳嗽不止，气喘胸背胀，发渴口干，大小便闭，右寸脉浮数，命在须臾，不可作咳嗽治，此肺痿也。痿者，缩小也。乃热毒太盛所致。

生百合一两 杏仁去皮尖炒五钱 苦竹叶七片

水煎温服，不过三服，大便通即愈，忌油荤燥物。

【述要】

此节主要论述了咳嗽病的分类及证治方药。在治疗上，若气逆咳嗽，口舌干燥者，可用清顺饮以滋阴润燥，宣肺降逆；若寒热交错，虚实夹杂者，可用宁嗽丸以宣肺止咳，清热润肺；若长久咳嗽，肺气虚者，可用百劳散以敛肺止咳；若阴虚痰嗽，盗汗发热者，可用复元丹以益精补血，养阴润肺；若咳嗽兼泄泻呕吐者，可用粟壳散以敛肺止咳，涩肠止泻，和胃止呕，宣肺化痰；若痰喘咳嗽兼积气、胃口疼痛者，可用香术丸以行气化痰，消积化食，理气止痛；若热毒太盛所致的肺痿咳嗽，可用救肺汤以润肺止咳，清热泻火。

积聚门

积聚有食积，气积，血积，痰积，水积，冷气积。所积不一，皆是

自招之病，轻则疼痛，重则成痞成块，早治易愈，迟则最是难愈。

桃灵丹：治九种积聚，胃脘疼痛。

桃仁一两 五灵脂五钱 沉香三钱 草果仁五钱 木香三钱
乳香去油三钱 公丁香三钱 砂仁三钱 肉桂三钱

同为细末，神曲打糊为丸，如桐子大，每服六十丸，生姜汤下。

瘀血疼醋汤下；脊背疼，黄酒羌活汤下。

阿魏丸：治同上。

木香 公丁香 三棱醋炒 莪术醋炒 沉香各一钱
青皮二钱半 陈皮一钱半 巴豆六钱去油 大黄五钱制 神曲一两
胡椒三钱 良姜一钱 乌梅烧焦一两 阿魏①三钱醋化

同为细末，面糊为丸，如绿豆大，每服九丸，冷姜汤下。

皂矾丸：专治小儿癖块。

发麦面一块，包皂矾核桃大一块，慢火内煨，熟焙干，为末，枣肉为丸如麻子大，每服二十丸，枣汤下或米饮下，忌油荤。

神保丸：治诸般积聚疼痛。

木香二钱半 胡椒二钱半 全蝎七个去毒 巴豆十个去心

同各为细末，和匀汤浸，蒸饼为丸，如麻子大，朱砂三钱为衣，每服三十丸，各随引下。

心膈疼，柿蒂灯心汤下；腹疼，柿蒂煨姜汤下；血积疼，炒姜干柿醋汤下；气喘，桑白皮糯米饮下；肾气疼、胁下疼，茴香酒下；大便闭，蜜调槟榔末下；气噎，木香汤下；酒面热毒、臂疼，柿蒂汤下；膀胱气、胁下痛，酒下；一切积聚，姜汤下。

七气汤：专治虫积。

青皮一钱 陈皮一钱 三棱醋炒五分 莪术醋炒五分 香附酒炒一钱 益智仁 藿香 官桂 桔梗各一钱 熟军一钱半
槟榔一钱 生草五分

水三钟，煎至一钟，露一宿，五更服，肚腹必疼，当下虫物至日午，下虫尽，方用温粥，止之后服。

退黄丸：

苍术二两五钱 厚朴二两五钱 陈皮二两五钱 炙草二两五钱

皂矾一两

同为细末，醋糊为丸，如桐子大，每服六十丸，枣汤下，忌生冷怒气，生面肉食等物。

消滞丸：治诸气食积，噎膈痞满，症瘕疝气，胸胁刺疼。

青皮 陈皮 三棱 莪术 各一两 香附 神曲

麦芽 莱菔子 白丑头末 槟榔 郁金 黄连 各五钱

枳实三钱 皂角一钱半 锅煤三钱半

同为细末，面糊为丸，如绿豆大，每服三五十丸，烧酒姜汤伍下。

化铁膏：专治虚人积块，日久不愈。

肥皂四两熬膏 生姜四两 大葱半斤 独蒜半斤 皮

硝半斤化水

大黄四两，入膏再熬成稠膏，每用青布摊贴块上，一日一换，内服消积药易愈。

化坚汤：治症瘕痞块，痰饮食积，死血成块者。

白术一钱 云苓一钱 当归一钱 川芎一钱 香附炒一钱

山楂炒一钱 枳实炒一钱 陈皮一钱 半夏姜炒一钱 桃仁去皮尖

红花各五分 莪术煨一钱 生草五分

生姜三片，水煎温服。

肉积加黄连，面积加神曲，左块倍川芎，右块加青皮，饱闷加卜子，壮人加三棱，弱人加人参。

【注释】

- ①阿魏：为伞形科植物阿魏的树脂。性味苦辛，温。具有消积，杀虫之功。主治症瘕痞块、虫积、肉积、心腹冷痛、疟疾、痢疾。

【述要】

积聚是指腹内结块，或痛或胀的病症。严格来讲，积是有形，固定不移，痛有定处，病属血分，乃为脏病；聚是无形，聚散无常，痛无定处，病属气分，乃为腑病。此节中将积聚合二为一，并认为积聚轻则疼痛，重则成痞成块。本病相当于今之肿瘤、炎症、寄生虫等所致的腹腔包块。在治疗上，若气滞血瘀所致的各种积聚，兼有胃脘疼痛者，可用桃灵丹或阿魏丸以行气止痛，化瘀消积；若小儿湿毒虫积癖块，可用皂矾丸以解毒燥湿，杀虫补血；若寒积血滞的各种积聚疼痛，可用神保丸以温中行气，破血攻积；若气滞血瘀，加之虫积为患者，可用七气汤以破血行气，杀虫消积；若湿邪阻滞，中满腹胀黄肿者，可用退黄丸以燥湿行气，杀虫消肿；若气郁食积，噎膈痞满，症瘕痞气，胸胁刺疼者，可用消滞丸以行气消食，破血化积，理气止痛；若虚人积块，日久不愈者，可用化铁膏以化痰和胃，解毒消积；若症瘕痞块，痰饮食积，死血成块者，可用化坚汤以燥湿健脾，行气化痰，破血消积。

黄疸门

疸病不一，有黄汗^①，有酒疸^②，有黄疸，有谷疸^③，有女癯疸^④。虽疸不一，同是湿热郁积于脾胃之中，久而不散，故其土色形于面目肌肤。治法湿在上，宜发汗；湿在下，宜利小便。

渗湿汤：专治湿热黄汗、黄尿，甚至身目俱黄，小便不利。

猪苓 泽泻 苍术 云苓 陈皮 枳实 黄
连^炒 黄芩 梔子^炒 防己 茵陈 木通

以上各等分。生姜三片，水煎服。如不思饮食加砂仁、神曲、麦芽各一钱。

绿矾丸：治五疸神效。

五倍子^{半斤炒黑} 绿矾^⑤ 针砂^{四两姜汁白色} 神曲^{半斤炒黄}

同为细末，生姜汁煮红枣肉为丸，如桐子大，每服六七十丸，温酒下或米饮下，愈后终身忌芥面。

桃仁承气汤：专治妄言如狂，遍身黄色，胸膈疼，手不可近，此

中焦蓄血为患，服此打下蓄血即愈。

大黄_{三钱} 枳实_{二钱} 芒硝_{二钱} 桃仁_{三钱}

水煎，温服。

退黄散：专治遍身发黄，面带黑色。

苍术_{二两} 木香_{一两} 云苓_{六钱} 当归_{六钱}

肚胀加槟榔四个，同为末，每服三钱，茵陈汤调下。清晨油核桃七个，烧至黑色，去皮先食之，饮童便一钟，后服药，忌油食酒肉百日。

泻湿除热散：专治女癆黄疸。

猪苓 云苓 陈皮 泽泻 当归_{各一两} 白芍_{酒炒一两} 熟地_{一两} 麦冬_{去心一两} 滑石_{一两} 生草_{五钱}

同为细末，茵陈汤服三钱。

小豆汤：治伤寒身目发黄。

麻黄 连翘根 生姜 炙草_{各二钱} 杏仁_{五粒}
枣_{二枚} 梓白皮_{一钱} 赤小豆_{三钱}

水三钟，煎至一钟，温服。

【注释】

- ①黄汗：病名，出自《金匮要略·水气病脉证并治》。多因汗出入水，壅遏荣卫或湿热内盛，风、水、湿、热交蒸溢渗所致。症见头面四肢肿，身热不恶风，汗出沾衣，色黄如柏汁，腰髋弛痛，两胫冷，身疼重，小便不利，脉沉迟等。治疗可用芪芍桂酒汤以调和营卫。
- ②酒疸：病名，又名酒黄疸，出自《金匮要略·黄疸病脉证并治》。多因饮酒过度，湿热郁蒸，胆热液泄所致。症见身目发黄，面发赤斑，心中懊恼热痛，鼻燥，腹满不欲食，时时欲吐等。治宜清利湿热，化解酒毒。
- ③谷疸：病名，出自《金匮要略·黄疸病脉证并治》。多因饮食不节，湿热食滞阻遏中焦所致。症见寒热不食，食即头眩，胸腹胀满，身目发黄，小便不利等。治宜清热化湿，消积导滞。可用茵陈蒿汤。
- ④女癆疸：病名，黄疸病的一种，出自《金匮要略·黄疸病脉证并治》。多因劳累或房劳过度所致。症见身目发黄，傍晚手足心热而恶寒，额上黑，少腹满急，大便色

黑，小便自利等。本病多见于黄疸病后期，肝肾两虚兼瘀浊内阻之证。治宜补肾化痰，可用硝石矾石散加补肾药。

⑤绿矾：即皂矾，又名青矾、降矾。为硫酸盐类矿物水绿矾的矿石或化学合成品。具有解毒杀虫，燥热退黄之效。

【述要】

黄疸是以身黄、目黄、小便黄为主症的病症，其中目睛黄染为本病最主要的特征。此节中依据《金匱要略》将疸病分为五类，但在《金匱要略》中黄汗没有列入到黄疸病中，而是把黑疸列入五疸之中。其最基本的病机是湿热郁积于脾胃之中。治疗原则是湿在上，宜发汗；湿在下，宜利小便。在具体治疗上，若湿热所致的黄汗、黄尿，甚至身目俱黄，小便不利者，可用渗湿汤以渗湿利水，清热燥湿；在各种黄疸中，若湿邪偏重，可用绿矾丸以解毒燥湿，健脾消食；若中焦蓄血、湿热中阻所致的妄言如狂，遍身黄色，胸膈痛，手不可近者，可用桃仁承气汤以攻逐蓄血，清热燥湿；若湿阻气滞，遍身发黄，面带黑色者，可用退黄散以利湿退黄，行气调血；若肝肾不足，湿热内阻所致的女劳疸，可用泻湿除热散以滋肾补肝，泻湿除热；若伤寒表证不解，郁而不达，内阻中焦所致的身目发黄，可用小豆汤以清热解表，宣肺退黄。

痢疾门

痢疾有红白二症，俱是湿热积滞，脾胃受伤。积于血分者则赤，积于气分者则白。治之要分新久，新者先下之，下之通之后未愈，随症调之；久者止之，补之。

化滞汤：治赤白痢初起，积滞不行，小腹疼先下之。

归尾—钱 白芍—钱生用 黄连—钱酒炒 黄芩—钱炒 黄柏—钱酒炒 枳壳—钱半炒 槟榔—钱 大黄—钱 滑石—钱
生草—三分 木香—五分

水三钟，煎至一钟，空心热服。

和中汤：治白痢下后不愈。

当归—钱半 白芍—钱半炒 白术—钱半炒 云苓—钱 陈

皮 八分 黄芩 炒六分 黄连 炒五分 生草 三分 木香 二分另八

水三钟，煎至一钟，食前温服。

调血汤：治赤痢下后不愈。

当归 一钱半 川芎 一钱 白芍 酒炒三钱 黄连 酒炒一钱 黄芩 酒炒一钱 桃仁 去皮一钱 升麻 五分

水三钟，煎至一钟，空心温服。如白痢加吴茱萸一钱汤泡，赤白痢加白术、云苓、陈皮、香附各一钱。

逐瘀汤：治赤痢、血痢疼不可忍，兼治血痔。

阿胶 炒 枳壳 炒 云苓 茯神 白芷 川芎
赤芍 生地 木通 五灵脂 炒 生草 各一钱 桃仁 去皮尖

大黄 各一钱半

水三钟，煎至一钟半，入蜜三匙，再煎温服。

香连丸：治久痢不止，百方不效。

黄连 酒炒一两 木香 三钱

同为末，猪脏头一节，去油秽净，装药煮烂，捣为丸，如桐子大，每服五十丸，空心米饮送下。

蜡矾丸：专治痢疾，兼治水泻。

五倍子 一两炒黄色 白矾 二钱半生半枯 黄丹^① 四钱水飞过

同为细末，黄蜡一两二钱，化开为丸，如绿豆大，每服大人十五丸或二十丸，小儿七八丸，红痢清茶下，白痢姜汤下，红白痢姜茶下，水泻姜汤下。

【注释】

- ①黄丹：即铅丹，又名广丹、东丹，为铅的氧化物四氧化三铅。性味辛，微寒，有毒。具有解毒止痒，收敛生肌之功。

【述要】

痢疾是以腹痛，里急后重，下痢赤白脓血为主的病症，多发于夏秋季节。此病在《内经》谓之肠澼，《难经》谓之大瘕泄，后世又有将其称为“滞下”者。

此节中将痢疾分为红痢、白痢二种，其病机俱为湿热积滞，脾胃与肠腑受伤所致。湿热积于血分则为赤痢，积于气分则为白痢，赤多重用血药，白多重用气药。新痢实则通之，久痢虚则补之。在治疗上，若赤白痢初起，积滞不行，小腹疼痛者，可用化滞汤以清热解毒，调气行血；若白痢下后不愈，脾胃损伤者，可用和中汤以健脾燥湿，解毒调血；若赤痢下后不愈，瘀血阻滞者，可用调血汤以清热解毒，养血祛瘀；若赤痢、血痢疼不可忍者，可用逐瘀汤以调气养血，解毒活血；若久痢不止者，可用香连丸以清热解毒，燥湿行气；若痢疾兼水泻者，可用蜡矾丸以解毒燥湿，涩肠止泻。

泄泻门

泄泻有数等，皆属虚属湿。凡泻水腹不疼者，湿也。饮食入胃不化者，气虚也。腹疼泻水如热汤，疼一阵，泻一阵者，火也。或泻或不泻，或多或少者，痰也。腹疼甚而泻，泻后疼减者，食积也。腹疼，四肢冷而泻者，寒也。常常泻者，脾泻也。五更泻者，肾泻也。宜分别治，但泻症因湿伤脾者居多。

胃苓汤：治诸般泄泻。

苍术 厚朴 陈皮 猪苓 泽泻 各一钱 白术 炒一钱
云苓 一钱半 白芍 炒一钱半 肉桂 三分 炙草 三分 生姜 三片
枣 二枚

水三钟，煎至一钟，温服。

泻稍久加升麻、防风，有热加酒连、酒芩，有寒加炮姜、附子，暴泻水泻加滑石，食积加山楂、神曲，有痰加半夏、陈皮、乌梅，气虚加人参、白术，气恼加木香，久泻加干姜、肉桂，暴痢赤白相兼加槟榔、木香、黄连。

附子理中汤：专治泄泻，腹疼，四肢冷，属于寒者。

白术 炒一钱 干姜 炒一钱 人参 一钱 厚朴 姜炒一钱 苍术 一钱 熟附子 一钱 炙草 五分

水三钟，生姜三片，煎至一钟，热服。

扶脾散：治常常稀溏，脾泄。

莲肉—两半 陈皮—两 云苓—两 白术土炒三两 麦芽炒五钱

为细末，每服二钱，白沙糖二钱，滚白水调下。补脾助元气，止泻进食。

豆蔻丸：治大人、小儿久泻不止。

肉蔻面包火煨去油三钱 诃子面包火煨用肉三钱 丁香二钱 砂仁土炒二钱 枯矾二钱 木香七分 赤石脂煨过—钱五分

同为细末，面糊为丸，如麻子大，每服二三十丸，空心米汤下，小儿不能吞丸，研细米饮调下，大人用五六十九丸。

蜡矾丸：见痢疾门，治久泻不止。

【述要】

泄泻是指排便次数增多，粪便稀薄，甚至泻出如水样的病症。此节中将泄泻分为湿泻、气虚泻、火泻、痰泻、食积泻、寒泻、脾泻、肾泻等。尽管种类较多，但以湿伤脾者较多。在治疗上，若寒湿阻滞的各种泄泻，可用胃苓汤以渗湿利水，温中健脾；若素体虚弱，寒湿内盛所致的泄泻，腹痛，四肢冷者，可用附子理中汤以益气温阳，健脾燥湿；若脾胃虚弱，泄泻稀溏者，可用扶脾散以健脾止泻；若久泻不止者，可用豆蔻丸以健脾行气，湿肠止泻；若肾阳虚衰，五更泄泻者，可用四神丸加味以温肾健脾，固涩止泻；若肝气乘脾，每因抑郁恼怒或情绪紧张之时，发生腹痛泄泻者，可用痛泄要方（白术、白芍、陈皮、防风）以健脾柔肝，升清止泻。

吼喘^①门

喉中有声谓吼，无声气是谓喘，皆是肺经受伤，宜分虚实治之。

三子汤：治气喘不得睡。

苏子 白芥子 莱菔子 各—钱

水三钟，煎至一钟，食后服。

三子养亲汤：治痰嗽气喘，坐卧不得。

白芥子 莱菔子 苏子 各研八分 南星 水泡八分 橘红 六分
枳实 炒六分 片苓 六分 赤苓 八分 生草 二分

生姜三片，水三钟，煎至一钟，温服。

九宝汤：素有喘病，遇寒热即发，哮喘夜不能眠。

紫苏 一钱 薄荷 五分 麻黄 五分 杏仁 一钱 桑白皮 一钱
大腹皮 汤泡 官桂 各一钱 生草 三分

生姜三片，乌梅一个，水二碗，煎至半碗，食后服。得效，即服六味地黄丸加黄柏、知母、人参、紫苑、五味、百合各二两，小麦面熟蜜打糊为丸，每服百丸，空心柿饼汤送下，柿饼亦食之。

紫金丹：治肺窍有冷痰，乘天阴寒，即肺胀作声，吐出臭痰即愈。

白矾 一钱 煅 枯矾 三钱 淡豆豉 出江西者一两水煎去皮研加二味和匀

上捻作丸，如绿豆大，但觉发用冷茶送下七丸，甚者九丸，以不喘为愈，不必多增丸数，小儿服一二丸。

加减甘桔汤：喘^②治吼病

苏子 一钱 枳壳 炒一钱 桔梗 一钱 防风 五分 半夏 姜炒一钱
瓜蒌仁 去油 云苓 各一钱 生草 五分

水煎，食后服。冬月加麻黄八分，夏月痰多加石膏一钱，挟痰者加生姜五分。

胡桃汤：治小儿吼喘。

人参 五分 连翘 一钱 胡桃 一个

水煎服。

紫苏饮：治风痰吼喘。

紫苏 天麻 苍术 各二钱

黄酒煎，入白沙糖一撮服之后，以热薄饼卷牙猪油食之。

立效散：治痰喘咳嗽，兼治胃口疼痛，挫气疼痛。

青木香 四两 莪术 醋炒四两 槟榔 四两 神曲 四两

同为细末，牙皂去皮弦为末，煮汁为丸，如桐子大，每五六十丸，陈皮汤下，或以神曲为糊作丸亦可。

通气丸：专治痰喘气促，哮喘等症新方。

当归 酒洗一两 熟地 一两 麦冬 去心一两 白芍 酒炒一两 紫菀 一两 黄芩 酒炒一两 黄连 酒炒三钱 半夏 姜炒一两 瓜蒌仁 去油
桔梗 各五钱 五味子 炒一两 杏仁 去皮一两 防风 五钱 荆芥 五钱 苏子 一两 枳壳 炒一两 生草 五钱 苍术 五钱

同为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服百丸，晚用白滚水送下，忌调和油荤。

【注释】

① 吼喘：即哮喘，是指哮证与喘证。哮证是一种发作性的痰鸣气喘性疾患，发作时喉中哮喘有声，呼吸气促困难，甚则喘息不能平卧。喘证是以呼吸困难，甚至张口抬肩，鼻翼煽动，不能平卧为特征的病症。

② 𠂔：为“专”的异体字。后面所有“𠂔”均改为“专”。

【述要】

此节中将哮证、喘证放在一起论述，并指出：“喉中有声谓吼，无声气是谓喘，皆是肺经受伤，宜分虚实治之。”在治疗上，若痰浊阻肺而致的气喘不得睡，可用三子汤以化痰降气；若湿邪困脾，痰浊阻肺者，可用三子养亲汤以燥湿健脾，降气化痰；若素有喘病，遇寒热即发，哮喘夜不能眠者，可用九宝汤以清热宣肺，化痰平喘；若肺窍有冷痰，乘天阴寒，即肺胀作声者，可用紫金丹以劫痰平喘；若风寒外束，痰浊内阻而哮喘者，可用加減甘桔汤以祛风散寒，化痰理气；若小儿肺肾气虚而吼喘者，可用胡桃汤以补肾纳气，益气解毒；若风痰吼喘者，可用紫苏饮以熄风潜阳，降气平喘；若气滞血瘀之痰喘咳嗽，胸口疼痛，挫气疼痛，可用立效散以行气止痛，活血化痰；若肺肾阴亏，痰热郁肺，风寒外袭而痰喘气促、哮喘等症，可用通气丸以滋阴养血，清热化痰，宣肺降气，祛风散邪。

肿胀门

肿胀之病有二，曰双腹胀，曰单腹胀。喘急气满，肿而不安，四肢微肿，此单腹胀。因内伤七情所致，取效迟。四肢浮肿，肚大身重，此双腹胀。因外感风湿所致，取效速。又有水肿、气肿之分，以指压肿处，有坑随起者，是气肿，先须理气。手指坑起迟者，是水肿，只须导水立愈。至于臌胀，有谷胀、水胀、血胀、气胀之分，大抵腹胀，皆脾胃受伤之故。肚大青筋，脐心突出者不治；脚心平者不治；肿病上身消，下身不消者亦不治。

木香流气饮：此药快利三焦，安和五脏，不论水肿、气肿、蛊胀，皆先服此。

木香	七钱半	藿香	七钱半	半夏	二钱半	党参	五钱	白术	五钱
赤苓	五钱	厚朴	姜炒二两	青皮	去穰二两	陈皮	四两	草	
果	七钱半	槟榔	七钱半	腹皮	七钱半	香附	二两	紫苏	二两
木		瓜	五钱	白芷	五钱	麦冬	五钱	莢术	煨五钱
通	一两	石菖蒲	五钱	生草	二钱	肉桂	七钱半	木	

同和匀，每用八钱，生姜三片，枣二枚，水一碗半，煎至七分，去渣热服。

蛊肿加白豆蔻，肚腹肿加枳实倍青陈皮，肿满加黑牵牛，脐至脚肿加桑白皮，头面肿加葱白。

木香丸：治蛊肿之神药，服前药四五剂，即服此药收功。

大戟	五钱	芫花	炒五钱	甘遂	五钱	黑丑	头末二钱	巴	
豆	生熟五钱	生军	五钱	青皮	五钱	陈皮	五钱	广木香	五钱
青木香	五钱	胡椒	一钱	川椒	去目五钱	益智仁	五钱	槟榔	五钱
大腹皮	五钱	葶苈	炒五钱	射干	三钱	桑白皮	五钱	木	
通	五钱	泽泻	五钱	连翘	五钱	砂仁	五钱		

同为细末，醋煮糊为丸，如梧子大。每服五十丸，壮人加七八十

丸，第一消头面肿，五更葱白酒送下。

五苓导水汤：治浑身肿胀，小便不利新方。

猪苓_{一钱半} 云苓_{一钱半} 白术_{一钱} 陈皮_{一钱} 泽泻_{一钱}
木通_{一钱} 青皮_{一钱} 腹皮_{汤泡一钱} 牛膝_{一钱} 紫苏_{一钱}
桑白皮_{一钱} 生草_{五分} 车前子_{一钱} 滑石_{一钱} 葱白_{一节}
水一大碗半，煎七分，五更初热服。

蟠桃丸：治男妇浑身浮肿，肚腹胀满疼痛，上气喘急，神效。

沉香_{三钱} 木香_{三钱} 乳香_{去油三钱} 没药_{去油三钱} 琥
珀_{一钱} 白丑_{生用八钱} 黑丑_{牙皂煎汁浸半日焙干一半生一半研末八钱} 槟
榔_{一两一半生用一半牙皂煎汁浸透焙干}

同为细末，牙皂水打面糊为丸，如桐子大，每服一钱五分，五更空心白沙糖煎汤送下。

中满分消丸：专治中满腹胀，气胀，水胀，热胀。

党参_{二钱半} 白术_{二钱半} 姜黄_{二钱半} 猪苓_{一钱} 炙草_{一钱}
砂仁_{二钱} 干姜_{二钱} 泽泻_{三钱} 陈皮_{三钱} 知母_{酒炒三钱}
云苓_{三钱} 枳实_{五钱} 半夏_{炒五钱} 黄连_{姜炒五钱} 黄
芩_{酒炒六钱} 厚朴_{姜炒五钱}

同为细末，蒸饼为丸，如桐子大，每服百丸，食远，白汤送下。

香圆丸：专治食厥，水厥，气厥。

陈皮 三棱_{醋炒} 莪术_{醋炒} 泽泻 云苓_{各三钱} 香
附_{醋炒三钱} 卜子_{炒六钱} 山楂_{去子一两} 青皮_{一两} 香圆^①_{四两}

同为细末，神曲糊为丸，如菟豆大，每服五六十丸，空心米饮下。

【注释】

①香圆：为香橼之俗称。具有疏肝理气，和中化痰之功效。

【述要】

此节所述之肿胀包括了双腹胀、单腹胀、水肿、气肿等病症。双腹胀是指全身肿胀的病症。单腹胀又名鼓胀，因其惟腹部膨胀如鼓而命名，根据病因病机可有谷胀、水胀、血胀、气胀之称，多因酒食不节、情志所伤、血吸虫感染或黄疸、积聚等病，迁延日久所致。其病机主要为肝、脾、肾三脏功能相互失调而形成的气滞、血瘀、水停腹中。若病至晚期，腹大如瓮，脉络怒张，脐心突起，便如鸭蹼，四肢瘦削者，多不治。水肿是指体内水液潴留，泛滥肌肤，引起眼睑、头面、四肢、腹背，甚至全身浮肿的病症。多因风邪外袭、感受水湿、饮食伤脾及劳倦伤肾等引起。其病机涉及肺、脾、肾三脏的功能失调而致水液的通调、输布等功能失常。若病至晚期，出现肿势较甚，唇黑，缺盆平，脐突，足下平，背平或见心悸、唇绀、气急喘促不能平卧，甚至尿闭、下血者，属病情危重而预后多不良。气肿是指水肿而见气郁为主者，其肿按之觉皮厚，随按随起。在肿胀的治疗上，此节有很多著名的有效医方，现作以列举。若脾虚湿阻，气滞血瘀所致的水肿、气肿、腹胀，可用木香流气饮以健脾燥湿，理气活血；若臌肿而水停于腹中者，可用木香丸以攻下逐水，健脾理气，通调水道；若肝郁脾虚，湿热下注而致的浑身肿胀，小便不利，可用五苓导水汤以健脾疏肝，清热利水；若气滞水停所致的浑身浮肿，肚腹胀满疼痛，上气喘急者，可用蟠桃丸以理气活血，攻逐水饮；若湿热蕴结中焦所致的中满腹胀、气胀、水胀、热胀，可用中满分消丸以健脾利湿，清热利水；若饮食不节，气滞血瘀所致的食胀、水胀、气胀，可用香圆丸以消食化积，理气行血。

翻胃^①门

噎膈、反胃一病也，轻则噎之膈之，而犹能食，重则食之入胃，即吐出。噎膈者，翻胃之渐也。其病之因，皆由喜怒不常，忧思劳役惊恐无时，饥饱寒热不节，有伤脾胃，郁而生痰，痰与气转，升而不降，饮食不下，气血留于咽嗝。五噎结于胸膈者，为五膈，久则重而成翻胃。法当顺气化痰，温脾养胃为先。

人参参膈丸：治噎膈胸中不利，大便结燥，痰嗽喘满，脾胃壅滞，此药能推陈致新，乃治噎膈之灵丹也。

人参_{三钱} 当归_{三钱} 藿香_{一钱半} 厚朴_{姜炒二两} 枳
实_{炒一两} 大黄_{酒蒸一两} 木香_{一钱半} 槟榔_{一钱半} 炙草_{三钱}

为末，水糊为丸，如桐子大，每服五十丸，白水下。

开关饮：治胃不受食，食下即吐出。

人参_{二两} 白术_{一两} 半夏_{三两} 生姜_{三两} 白蜜_{一碗}

上五味咀片，水五升，和蜜扬二三百下，取一升半，分三次服之。

五汁膏：治噎膈饮食不下，大便秘结。

竹沥_{半钟} 韭汁_{三匙} 姜汁_{三匙} 牛乳_{半碗} 藕汁_{半钟}

童便_{一钟}

同煎，温服。如无藕汁、竹沥，入荆沥、梨汁亦甚效。

真人活命膏：治噎膈翻胃，兼治臌胀难忍。

青皮 陈皮 枳壳 槟榔 青木香 大黄 人
参 紫菀 半夏_炒 广木香 腹皮_{汤泡各一两}

先用桑柴灰一斤，莽柴灰一斤，摊于大罗内，以长流水浸淋於磁盆内，约五七碗，取淋下咸水，将前群药煎至药力出，去渣熬成膏，入麝香、冰片各一钱搅匀，磁瓶收贮，每服一二钱，生姜汁一匙，白滚水调下。

皂连开关丸：专治噎膈饮食不下。

黄连_{姜炒三分} 牙皂_{一个烧焦去皮弦} 滑石_{二钱水飞}

为末，枣肉为丸，如弹子大，食远，鲜姜汤下，当吐出痰即能食，再服后药。

黄连_{三分姜炒} 元参_{酒炒钱半} 麦冬_{去心一钱} 白蔻_{去壳二钱}
白术_{一钱} 枳实_{炒五分} 炙草_{三分}

生姜三片，水二钟，煎至八分，温服。如大便燥加桃仁_{一钱}，红花_{三分}。胸膈疼加炒山栀_{三分}，瓜蒌仁_{去油一钱}。

病愈后，多服六味地黄丸加麦冬、百合、当归，以除根。

【注释】

①翻胃：即反胃，在《金匮要略》中又名胃反。

【述要】

此节中将反胃与噎膈列为同一种病论述，其实反胃与噎膈不同。反胃是指食入之后，停留于胃中不化，朝食者暮吐，暮食者则朝吐。噎膈是指吞咽之时噎塞不顺，饮食格拒不下，或食入即吐的病症，类似于今之食道肿瘤。多因忧思郁怒而致气滞痰凝于食道，或因酒食所伤而致食道痰浊中阻、津伤血燥。本病本虚标实，其基本病理改变为食道狭窄。此节中所述的反胃，实际上指的就是噎膈。在治疗上，若脾胃壅滞所致的噎膈胸中不利，大便结燥，痰嗽喘满者，可用人参枳膈丸以益气调血，行气通膈；若气虚痰阻而致的胃不受食，食下即吐者，可用开关饮以健脾益气，化痰止吐；若津亏热结而致的饮食不下，大便秘结者，可用五汁膏以养胃生津，和胃降逆；若气滞痰凝所致的噎膈反胃，可用真人活命膏以理气散结，通膈和胃；若湿热中阻，痰凝气滞所致的噎膈饮食不下，可用皂连通关丸以清热燥湿，理气涤痰。

心胃疼痛门

心胃疼痛之症，多因好食煎炒辛酸，饮酒嗜荤，复食寒凉生冷之物，日久郁而成积，由积生痰，痰火煎熬，血亦妄行，痰血相搏，以致胃脘^①疼痛，吐酸噯气，嘈杂，恶心皆发。此噎膈反胃之渐者也。但因热者多，因寒者少。若果因寒而得者，新则用湿散温利之药，久则成郁成热，当用山栀、芩、连之类。少用热药为之乡导，则邪易伏，病易退。其症有真心疼者，大寒触犯心君，污血冲心，手足青过节者，早发夕死，乃不治之症，非药所能疗也。

清热解郁汤：治胃脘有郁热，痛不可忍者。

炒栀—钱 炒姜五分 川芎—钱 黄连酒炒—钱 香附炒—钱
枳壳炒—钱半 苍术七分 陈皮五分 生草三分

生姜三片，水三钟，煎至一钟，热服后戒饮食半日，再服一剂神

效，如疼加姜汁二三匙服。

栀子汤：治心气及胃脘疼，郁火所致者。

栀子_{去壳十五枚姜汁炒黑} 川芎_{一钱} 香附_{童便炒一钱}

水三钟，煎至一钟，入姜汁三四匙，再煎一滚，去渣入百草霜二匙，调和服之。

三建汤：治胃脘疼痛属寒者。

丁香 良姜 官桂_{各一钱半}

水一碗，煎七分，用胡椒五十粒，炒为末，调入顿服。

桃灵丹：治诸般心腹疼，气疼，瘀血疼。

桃仁_{去皮尖五钱} 五灵脂_{火煨五钱}

为末，醋糊为丸，如梧子大，每服二三十丸，酒下或醋汤下。

乌梅丸：治虫攻心疼，呕吐，四肢冷。

当归_{四钱} 人参_{六钱} 炮姜_{一两} 肉桂_{六钱} 附子_{炮六钱}

川椒_{去目四钱} 细辛_{六钱} 酒连_{一两六钱} 黄柏_{六钱}

为末，乌梅三十枚，去核，捣烂炼蜜为丸，如梧子大，每服五十丸，空心盐汤下。

至宝丹：治食积，酒积，茶积，肉积，一切积聚，在胃脘当心而痛，及痞满恶心，呕吐酸水，脾痛诸痛。

白术_{二两} 枳实_{炒一两} 苍术 猪苓 麦芽 神曲_{各一两} 半夏_{汤泡一两} 泽泻 赤苓 川芎_{各七钱} 黄连_{陈土炒} 砂仁 草蔻 黄芩_{陈土炒} 青皮 生姜_{各五钱}

橘红 香附_{童便炒} 瓜蒌仁_{去油} 槟榔_{各三钱} 厚朴_{姜炒二钱}

木香_{二钱} 生草_{二钱} 白螺蛳壳_{煨七钱}

同为细末，荷叶泡汤浸粳米粉作糊为丸，如梧子大，每服七八十丸，米饮送下。吞酸加吴萸汤泡，寒月用五钱，热月用二钱半。久病挟虚加人参、扁豆、石莲肉各五钱，常吐清水加滑石一两，牡蛎煨五钱，神效。

去瘀散：治诸般心疼，气疼，疝疼，并妇女血气疼。

青皮 五灵脂 川楝^②子 穿山甲^炒 大茴^{炒各二钱}
 元胡^{醋炒二钱} 木香^{一钱二分} 良姜^{香油炒} 没药^{去油} 槟
 榔^{各一钱半} 沉香^{一钱} 砂仁^{一钱}

诸药一处，用木鳖子去壳一钱二分，炒令焦，去木鳖，共为细末，每服一钱，加盐一星^③，或黄酒，或滚水，食前调下。

手拈散：治寒气血气心胃疼。

元胡^{醋炒} 五灵脂^炒 草果仁^炒 没药^{去油}

各等分，同为细末，每服二钱，黄酒下。

五灵散：治急心疼。

古石灰^{研水飞炒黄一两} 五灵脂^{去石五钱一半生一半炒} 蒲黄^{炒五钱}
 良姜^{油炒五钱} 乳香^{去油三钱} 元胡^{醋炒三钱} 橘核^{三十枚焙}

同为细末，每服二钱，黄酒下。

九味桃灵丹见积聚门，治九种心胃疼。

化痞膏：治胃脘积聚疼痛。

松香^{四两滚水煮一时} 蓖麻子^{去壳一两研如泥} 阿魏^{三钱酒化} 皮
 硝^{五钱}

同捣百余棒，成膏以绵纸摊贴患处，加麝香少许，一日一换，以痞消为度。

化虫丸：治虫攻心痛，并腹中有块，按之不见，往来疼痛不止，神效。

鹤虱^{三钱} 胡粉^炒 枯矾 槟榔^{用白者各五钱} 苦楝根
 皮^{去浮皮五钱}

同为末，面糊为丸，如梧子大，每服十五丸，米饮入香油一二点，和匀送下，其虫小者化为水，大者自下。

【注释】

①脘：原作“腕”，今改。

②楝：原作“练”，今改。

③一星：一点。星，此为量词，指微小量或小量。

【述要】

此节所述的心胃疼痛包括了胃脘痛与真心痛。胃脘痛是以上腹胃脘部近心窝处经常发生疼痛为主的病症。多伴有噯气、吐酸、呃逆、恶心等脾胃证候。此节中的胃脘当心而痛、心腹疼、心胃疼、九种心胃疼、虫攻心痛等皆属于胃脘痛的范畴。真心痛乃是胸痹的进一步发展，症见心痛剧烈，甚则持续不解，伴有汗出、肢冷、面白、唇紫、手足青至节、脉微细或结代等危重证候。在治疗上，若胃脘有郁热，痛不可忍者，可用清热解郁汤以清热燥湿，行气解郁；若郁火所致的心胃疼痛，可用栀子汤以清热泻火，活血行气；若寒邪所致的胃脘疼痛，可用三建汤以温胃散寒，行气止痛；若瘀血停滞胃脘所致的心腹痛，可用桃灵丹以化瘀止痛；若蛔虫攻心痛，呕吐，四肢冷者，可用乌梅丸以安蛔定痛，驱除蛔虫；若因食积、酒积、茶积等所致的胃脘当心而痛，伴有痞满恶心，呕吐酸水者，可用至宝丹以健脾和胃，消积导滞，清热燥湿，行气止痛；若气滞血瘀所致的心胃疼痛，可用去瘀散以理气止痛，活血化瘀；若寒凝血滞所致的心胃疼痛，可用手拈散以行气散寒，化瘀止痛；若寒凝血滞重者，可用五灵散以温胃散寒，化瘀止痛；若胃脘积聚疼痛者，可用化痞膏以燥湿行气，杀虫消积；若虫攻心痛，伴腹中有块，按之不见，往来疼痛不止者，可用化虫丸以杀虫止痛，理气消积。

疯症门

疯症有狂、癫、痫三者之分。狂症之发，面赤面热，妄见妄言，甚则弃衣而走，登高逾墙，骂詈不避亲疏，为痰火实盛。癫症之发，喜笑不常，自言自语，颠倒错乱，为心血不足。痫症之发，暴然仆地，嚼舌吐沫，张目上视，手足搐搦或作六畜声，多因惊恐而得，独主乎痰。治法狂症宜下，癫症安神养血，痫症宜吐。若神脱目瞪，如痴呆者，为不治之症矣。

防风通圣散：治狂症痰实盛。

防风 当归 川芎 白芍 连翘 薄荷 麻

黄_{各四分} 石膏 桔梗 黄芩_{各八分} 白术 栀子 荆
芥_{各三分} 滑石_{二钱四分} 大黄 芒硝_{各一钱} 生草_{一钱} 丹
皮 生地 桃仁_{各一钱}

生姜一片，水三钟，煎至一钟，温服。

清心汤：治癫症心血不足。

人参 白术 云苓 远志 酸枣_炒 川芎_{各一钱}
生地_{二钱} 石菖蒲_{一钱} 当归_{一钱半} 生草_{五分} 麦冬_{一钱半}
水三钟，煎至一钟，晚服。

清心抑气汤：治痫症气血俱虚而兼痰火。

当归 白芍 白术 云苓 陈皮 半夏_{姜汁炒}
枳实_炒 竹茹 石菖蒲 黄连_{姜炒} 香附_{各一钱} 麦冬_{去心}
川芎 人参 远志_{各四分} 生草_{四分}
生姜一片，水三钟，煎至一钟，空心温服。

三圣散：治癫狂风痫，逾墙上屋，骂人不分亲疏，妄见鬼神及中
风厥逆，牙关紧急。

防风_{二两} 瓜蒂_{炒二两}

为粗末，每服五钱，用薤^①汁二盏煎三沸，滤于大碗内，再用薤
汁一盏，煎渣三沸，入前药内，又熬三沸，澄清候温，徐徐投下，以吐
为度，不必尽剂。吐后以温米粥补之，安睡勿动，如吐后眩晕跌扑，
可与新汲水饮之，能降心火。

清心滚痰丸：治癫狂五痫，痰火实盛。

大黄_{酒蒸四两} 黄芩_{四两} 礞石_{煅五钱} 沉香_{三钱半} 牙
皂_{去皮三钱} 犀角_{镑末五钱} 麝香_{五分} 朱砂_{五钱为衣}

为细末，水为丸，如梧子大，每服四五十丸，白滚水送下，空心
服。

二黄丸：治急心疯。

黄连_{姜炒五分} 大黄_{五钱} 牙皂_{去皮弦一钱半}

同为细末，蒸饼水泡为丸，如菟豆大，浓茶送下六七十丸，当下

痰物，后暖床覆盖出汗，次日煎葱一茎，服木香末一钱，下痰后不可饮食，困两日方食。

除疯散：治小儿诸痫。

僵蚕_{七个焙} 全蝎_{三个去毒} 朱砂_{一分} 轻粉_{二厘}

为细末，每用一些抹乳头，令儿吮之，大儿姜汤调一些服之。

妙应丸：治惊痰。

甘遂_{一两} 紫大戟_{一两} 朱砂_{二钱} 全蝎_{三钱} 白芥子_{一两}

酒糊为丸，如梧子大，临卧姜汤下七丸至十丸，气实痰盛二十丸。

滚痰丸：治一切痰症。

熟军_{八两} 黄芩_{酒炒八两} 沉香_{五钱} 青礞石_{火硝煅为金色五钱}

百药煎_{五钱}

为细末，水丸桐子大，白汤空心服三钱，但取积痰自大肠次第而下，并不大泻，为痰症之灵丹也。

导痰汤：治诸痫吐下后，复调理之。

南星_{姜汁浸} 半夏_{姜汁炒} 橘红 瓜蒌仁 云苓 枳实 桔梗 炒枳 酒芩_{各一钱} 生草_{五分} 辰砂_{五分}

木香_{五分另研}

水三钟，生姜一片，煎至八分，入竹沥、姜汁各一匙，朱砂二分同木香末，服之。

辰砂散：治癫狂不睡，高丽^②方。

辰砂_{一两} 枣仁_{炒五钱} 乳香_{去油五钱}

同为细末，温酒调作一剂，服之安睡，轻者作二服。

育魂丹：治诸痫怔忡惊怕。

山药 半夏_{姜炒} 胆南星 云苓 白术 黄连_{酒炒}
远志 枣仁 柏子仁 竹茹 白附子_煨 川芎_{各五钱} 犀角_{镑末} 羚羊角_{镑末} 白矾_{各三钱} 陈皮_{三钱二分}

全蝎_{三钱二分} 辰砂_{二钱三分} 牛黄_{一钱二分} 麝香_{一钱} 金

箔二十四片

同为细末，竹沥打甘草膏为丸，重二钱半，每服一丸，淡姜汤下。

断病丸

黄芪^①蜜炒 钩^②藤 细辛 生草各五钱 蝉退全者四个

牛黄三分 蛇退一条炒焦

同为细末，枣肉为丸，如桐子大，小儿绿豆大，每服二十丸，人参汤下。

独圣散：治诸病。

瓜蒂炒黄用一钱为末

热水调下，即吐痰出，如不吐，再进一服。如吐风痰加全蝎五分微炒，如有虫者加猪油五七点，雄黄末一钱，甚者加芫花末五分，立吐虫出，如受湿肿满加赤小豆末一钱，热水服。

五位散：治诸病。

藜芦五钱 明矾二钱 牙皂一钱去皮 赤小豆一钱 绿矾一钱

同为末，每用一钱，浆水调下，即吐。

凡吐法择天色晴明，空心服药。吐之如昏眩，饮冷水立解。如不吐含白沙糖一块，涎出不损人自吐之。若口闭无门可入，以吐药、痰药皆从鼻中灌下，入咽喉便吐。

【注释】

①薤：同“薤”，读作(ji)，是指捣碎的姜、蒜、韭菜等。

②高丽：原指朝鲜历史上的王朝，此指朝鲜。

③钩：原作“葛”，今改。

【提要】

此节所述的病症包括了狂症、癫症、痫症三种病症。其中癫与狂都是精神失常的疾患，癫症以沉默痴呆，语无伦次，静而多喜为特征；狂症以喧扰不宁，

躁妄打骂，动而多怒为特征。痫症是一种发作性神志异常的疾病，其特征为发作性精神恍惚，甚则突然仆倒，昏不知人，口吐涎沫，两目上视，四肢抽搐，或口中如作猪羊叫声，移时苏醒。狂症多因痰火实盛，癡症多因心血不足，痫症多因痰浊上扰。在具体治疗上，若狂症痰火实盛者，可用防风通圣散以解表散邪，清泻痰火；若癡症心血不足者，可用清心汤以健脾益气，养血安神；若痫症气血俱虚而兼痰火者，可用清心抑气汤以益气补血，清泻痰火，开窍安神；若癡狂风痫，逾墙上屋，骂人不分亲疏，妄见鬼神者，可用三圣散以祛风散邪，催吐痰浊；若癡狂五痫，痰火实盛者，可用清心滚痰丸以清心安神，泻火通便，化痰开窍；若心火上炎，痰热壅滞所致的疯症，可用二黄丸以清热泻火，通腑涤痰；若小儿惊风所致的痫症，可用除痰散以熄风止痉，清心涤痰；若惊痫而痰饮内停者，可用妙应丸以镇惊安神，攻逐痰饮；若痰火内盛所致的痫症，可用滚痰丸以泻火涤痰；也可用导痰汤以泻热除痰，清心安神；若癡狂不睡者，可用辰砂散以养心安神；若诸痫怔忡惊怕者，可用育魂丹以清热化痰，解毒开窍，镇惊安神；若素体虚弱，风热上扰，痰热内盛所致的痫症，可用断痫丸以益气祛风，泻热止痉；若痰浊上扰所致各种痫症，在确诊为内有痰浊，正气不虚的情况下，可用独圣散或五位散催吐以祛除痰浊。

癆瘵门

癆瘵之症，皆由恣情纵欲，或五味之偏，或劳役之过，耗散精气，损伤脾胃，百病皆生。盖精气有伤，肾水不足，相火上炎，薰克肺金，所以咳嗽喘急，五心潮热，吐血便血，耳鸣眼花，遗精便浊，蛊胀肿满，四肢倦怠等症皆有。治宜先滋肾水，养心血，扶元气，健脾胃以培其本；降相火，清湿热，润肺金，以治其标。日久方见其功，又要病者坚心保养，绝色欲，淡饮食，戒酒气，自培其根。若求其速效，自不保养，虽神仙不能治也。更有传尸癆症，内有癆虫，逐出癆虫方愈。若气干涸，贴皮贴肉者，为不治之症矣。

清离滋坎汤：治色欲过度而成阴虚火动，而成癆瘵之症，六脉沉数而涩。

生地—钱 熟地—钱 麦冬—钱 丹皮六分 当归—钱酒洗
白芍酒炒—钱 山药—钱 云苓—钱 天冬去心—钱 山
萸酒蒸—钱 白术土炒—钱 泽泻五分 黄柏蜜炒五分 知母酒炒五分
炙草三分

姜一片，枣一枚，水煎空心温服。

痰盛加竹沥、姜汁，热甚加童便、人乳，盗汗加黄芪、酸枣仁，嗽
盛加五味子，怔忡加远志、枣仁，遗精加龙骨、牡蛎，胸膈不快加陈
皮，泄泻加莲肉、陈皮去黄柏、知母，吐血衄血加犀角、元参，气虚加
人参，阳虚加熟附子，咽喉痛加桔梗、元参。

加减补中益气汤：治虚劳发热，咳嗽吐痰，大便泄泻，肚腹胀
满，六脉浮数无力。

黄芪蜜炒—钱 人参—钱 白术炒—钱半 当归—钱 云
苓—钱 陈皮六分 白芍—钱 山药—钱 莲肉—钱 炙
草三分

姜一片，枣一枚，水煎热服。

痰盛加半夏，口渴加麦冬，腹胀加厚朴蜜炒，胸痞加枳实，泄泻
加炮姜，呕吐加半夏，肿满加泽泻、木通，增寒发热加柴胡，元气下
陷加升麻，元气虚加附子、肉桂。

调元百补膏：专治五癆七伤，诸虚百损，咳嗽吐痰，潮热喘急。

当归四两 生地一斤 熟地四两 枸杞一斤 白芍一斤
人参四两 五味子—两 麦冬—两 地骨皮四两 白术二斤
云苓十二两 远志四两 山药五两 贝母去心三两 生草三两
薏苡仁三两 琥珀二钱

同锉细和匀，水十斤煎之，如干再加水十斤，如此四次，滤去渣
取汁，文武火熬之。待减去三分，加熟蜜四两，春五两，夏六两，共熬
成膏。每服三匙，白汤化下。吐血加丹皮二两，骨蒸加青蒿汁、童便
各二碗，同熬成膏。

试传尸癆瘵法：

先以安息香烧之，令烟出病人吸之，不嗽非传尸，若嗽不止，乃传尸也。又法用乳香烧薰病人手，令病人仰手掌，以帛覆其上，良久二手背出毛长寸许，白黄者可治，红者稍难，青黑者死。若无毛者，非此症也。

运心散：治癆虫，高丽方。

当归 黄芪 生草 鳖甲^{酥炙} 前胡 柴胡
独活 羌活 防风 防己 云苓 半夏^{姜制} 黄
芩^{酒炒} 陈皮 阿胶^{炒成珠} 官桂 白芍^{酒炒} 麻黄^{连根}
杏仁^{去皮尖} 莲蕊 胆南星 川芎 枳壳^{各五钱} 芫
花^{醋炒黑一把}

同作一剂，姜三片，枣二枚，水煎服。须待吐有异物，芫花渐减。

明月丹：治如前，高丽方。

兔屎^{二两} 天灵盖^{①酥炙} 鳖甲^{酥炙各一两} 雄黄^{五钱} 木
香^{五钱} 轻粉^{二钱半}

同为细末，先以好黄酒一盏，大黄末五钱，熬膏和诸药为丸，如弹子大，朱砂为衣。五更初童便和酒化一丸，必当吐虫，如不吐再服。

天灵散：治如前，高丽方。

天灵盖^{二指大檀汤洗酥炙} 槟榔^{五个} 阿魏^{二钱} 甘遂^{二钱}
安息香^{二钱} 朱砂^{一钱} 麝香^{二钱}

同为末，每服三钱，以后药为引。

韭白^{一把} 葱白^{一把} 青蒿^{一把} 生草 桃枝 柳枝
梅枝^{俱东引者各五寸} 桑皮^{一片} 石榴^{根皮一斤}

用童便四碗于磁器内，文武火煎至一碗，分作三分，每取一分调煎药末，五更初服。男病女煎，女病男煎，服药后，如欲吐，用白梅含之。五更末须下癆虫，或恶物黄水黑类，如未下，又进一服，天明更进一服，如泻不止，用龙骨、黄连等为末三钱，白水调下立止，白

粥补之。如下虫物，急以钳夹火中焚之，将灰装罐中密封，埋于山野中，病人衣服火化埋僻处。

五枝散：治如前，高丽方。

桃枝 李枝 梅枝 桑枝 石榴枝 俱取东向小枝七茎长三寸

苦楝根 长七寸 生蓝青 七叶

以童便二碗半，煎取其半，去渣，再入安息香一钱，苏合香一钱，煎至一盞，滤清，再入朱砂五分，雄黄五分，枯矾五分，雷丸五分，槟榔一钱，麝香二分半。

同为末，调和分作二服，月初五更空心一服，若未下再服一服，或下虫物恶积，急用铁钳夹入烈火烧之，收灰入瓶密封，埋于深山，衣服亦烧灰埋僻处，后服补药。

打下虫白色者可三十日服补药，虫黄赤色者可六十日服补药，虫紫黑色者可一百二十日服补药，十中可活一二。又云：头赤食人肉，其病可治；头白食人髓，其病难治。

【注释】

①天灵盖：又名脑盖骨、巅顶骨，即顶骨。左右各一，如瓦状列于颅盖两侧。

【述要】

此节中之癆瘵即肺癆，是指具有传染性的慢性虚弱疾患，由于劳损在肺，故称肺癆。主要以咳嗽、咳血、潮热、盗汗及身体逐渐消瘦为特征。多因感染“瘵虫”及正气虚弱、阴精耗损所致。治疗当以补虚培元和治癆杀虫为原则。在具体治疗上，若色欲过度而成阴虚癆瘵之症者，可用清离滋坎汤以清泻相火，滋肾养阴；若虚劳发热，咳嗽吐痰，大便泄泻，肚腹胀满者，可用加减补中益气汤以甘温除热，益气补中，健脾理气；若五癆七伤，诸虚百损，咳嗽吐痰，潮热喘急者，可用调元百补膏以滋阴养血，润肺止咳，健脾益气；若确属“瘵虫”感染者，应在上方上配伍白芨、百部等补肺杀虫之药。此节中治“瘵虫”之方如运心散、明月丹、五枝散等仅供参考。此外，本病在调理方面也很重要，应戒酒色，禁恼怒，忌辛辣，加强营养，可常食猪羊肺以补肺脏，也可常食百合、梨、藕

等以补肺润燥生津。本病即今之肺结核，一经发现，特别是痰菌阳性的病人，在中医治疗的同时，必须结合使用西医抗结核药物进行治疗。

疝气^①门

疝气有五：心疝^②，肝疝，脾疝，肺疝，肾疝。又有狐疝^③，小肠疝^④。虽疝不一，总属虚寒湿热所致。

荔枝散：治小肠偏坠。

小茴香 青皮 荔枝核 各等分 青盐 等分

同炒黄色，出火毒，为末，酒调三钱，早晚各一服。

沉香荔枝散：治外疝下坠疼痛。

荔枝核 十四个 沉香 大茴 炒 木香 青盐 食盐 各一钱 小茴 川楝子 各三钱

同为末，每服三钱，空心酒调下。

神效散：治男子疝气肿大，疼痛难忍，小便红数短涩不利者服之立效。

昆布 三分 海藻 三分 海带 三分 橘核 十五个 炒研 大香 七分 另入 木香 五分 另入 山楂 一钱半 山枝 七分 赤苓 一钱
荔枝核 火煨打碎一钱 良姜 七分 沉香 五分 研冲 车前子 一钱 芫
沉茄 一钱 川楝子 酒炒一钱 肉桂 五分 研冲 川草薢 一钱 檀
香 七分 研 小茴 七分 酒炒

生姜一片，水煎澄出渣，入黄酒少许，不拘时服，再复渣，忌生冷，反甘草。

三层茴香丸：治下寒疝气。

大茴 和盐秤五钱炒 川楝子 去核炒一两 沙参 一两 木香 一两

共为细末，米糊为丸，如桐子大，每服三钱，空心盐汤送下，日进三服。

法制半夏方：

大半夏一斤，石灰一斤，滚水七碗，入盆内搅晾，澄清去渣，将半夏浸之，手搅日晒夜露，七日捞出，并花水洗净三四次，泡三日，每日换水三次，捞起控干。用白矾八两，皮硝一斤，滚水七八碗，入盆内搅晾，浸半夏七日，日晒夜露，取出水洗三四次，泡三日，每日换水三次，取出控干，后人

甘草 薄荷_{各四两} 丁香 枳实 木香 白姜
陈皮 青皮 枳壳 五味 砂仁_{各五钱} 肉桂 白豆
蔻_{各三钱} 沉香_{一钱}

上切片，滚水十五碗，将半夏同群药入盆内泡二七日，日晒夜露，搅之日足取出，药与半夏用白布包住，放在热坑，用器皿覆住，三炷香时，药与半夏分胎，半夏干收用。

有痰火者服之一日，大便出似鱼胶，一宿尽除，痰根永不生矣。

此药化痰如神，若不信，试将半夏七八粒研入痰碗，化为清水。有痰疾中风不语，用七八粒井水送下，以手摩运腹上，即醒能言。

【注释】

①疝气：病名，可包括多种病症。其发病多与肝经有关，故有“诸疝皆属于肝”之说。

根据临床表现可归纳为：其一，泛指体腔内容物向外突出的病症。多伴有气痛症状，包括疝气、小肠气、小肠气痛等病名。如突出于腹壁、腹股沟，或从腹腔下入阴囊的肠段。其二，指生殖器、睾丸、阴囊部位的病症。如男女外生殖器溃肿流脓，溺窍流出败精浊物，睾丸或阴囊的肿大疼痛等病症，或可兼有腹部症状。包括水疝、癰疝、气疝、血疝、筋疝等。其三，指腹部的剧烈疼痛，兼有二便不通的病症。如《素问·骨空论》：“督脉为病，……从少腹上冲心而痛，不得前后（指大小便秘结），为冲疝。”

②心疝：病名，原出自《素问·脉要精微论》，因心经受寒而致。症见腹部疼痛，腹皮隆起，自觉有气自脐上冲心，治宜温经散寒，和血止痛。可用木香散（木香、陈皮、良姜、干姜、诃子皮、赤芍、川芎、枳实、草蔻、黑牵牛）。其余肝疝、脾疝、肺疝、肾疝皆仿此。

③狐疝：病名，出自《灵枢·五色》，又名小肠气、阴狐疝。多因肝气失于疏泄而发。

病发时腹内肠段滑入阴囊，阴囊时大时小，胀痛俱作，如狐之出没无常，故名，即今之腹股沟疝。治宜疏肝理气。可用此节中的三层茴香丸治疗。

- ④小肠疝：病名，见于《医宗必读》。因小肠虚，风冷之邪入侵而致。症见小腹冷痛，牵引睾丸腰背。治宜温中行气，祛寒散滞。可用此节中的荔枝散治疗。

【述要】

此节中论述常见疝气的治疗方法。在具体治法上，若气滞寒凝所致的小肠偏坠，可用荔枝散以行气散滞；若肝经气滞寒凝所致的外疝下坠疼痛，可用沉香荔枝散以疏肝理气，散寒止痛；若男子疝气肿大疼痛，小便红数，短涩不利者，可用神效散以软坚散结，理气活血，清热利湿；若下寒所致的疝气，可用三层茴香丸以行气散寒。另外，此节中所述之法半夏制法，颇具特色，业医者可参考其炮制方法。

经验奇方 卷下

出血门

出血之症不一，有吐血，有衄血，有咳血，有咯血，有呕血，有唾血，有便血，有溺血。虽血出不一，大抵皆阴虚而邪火妄动之故，当分虚实治之。

凉血地黄汤：治虚火妄动，血热妄行而吐血者。

犀角_{锉末二钱} 生地_{酒洗二钱} 丹皮二钱 赤芍_{七分} 黄连_{酒炒一钱} 黄芩_{酒炒一钱} 知母一钱 天冬一钱 扁柏_{三钱} 茅根_{二钱} 元参_{酒炒一钱}

水煎，入后十汁饮同服。

吐血成块者加大黄一钱、桃仁_{十枚去皮尖研如泥}，衄血加炒梔、元参、沙参，尿血加木瓜、牛膝、条芩、荆芥穗、地榆，倍知母、黄柏，便血加黄连、槐花、地榆、荆芥穗、乌梅，生平好酒者加天花粉。

十汁饮：

藕节汁 甜梨汁 茅根汁 韭菜汁 生地汁 萝卜汁 竹沥 童便 京墨_{磨浓汁} 荠菜汁

上十汁各二三匙，合一处不见火，同前汤药徐徐服之，不可间断服之，血止再服滋阴清火汤。

滋阴清火汤：吐血衄血皆宜。

当归一钱 川芎五分 赤芍七分 生地一钱半 黄柏_{乳炒一钱} 知母一钱 麦冬一钱 丹皮一钱 元参一钱 犀角一钱 黑梔一钱 阿胶_{炒五分} 生草三分

水煎入十汁饮同服，不思饮食加白术一钱。

二汁饮：治诸般失血。

韭菜连根洗净，捣烂入童便在内，用布滤去渣，重汤煮一盞，用清者服之，或调百草霜二钱服之。

清肺汤：治吐痰见血。

云苓 陈皮 当归 生地 白芍 天冬 麦冬
黄芩 山梔 紫菀 阿胶炒 桑皮各一钱 乌

梅炒焦一个 生草五分

枣一枚，水煎服。喘急加苏子去天冬。

梔子饮：专治吐血。

归尾 赤芍 生地 百合 贝母 梔子 麦冬各一钱 蒲黄炒 丹皮各七分 川芎 阿胶炒 熟地

桃仁各五分

生姜一片，水煎温服。

神效汤：专治吐血。

百草霜^①研细，三钱米饮调下，连进三服。

三汁汤：专治鼻血不止。

人乳 童便 好酒

各半钟，重汤煮，热饮之，立止。

玉液饮：同上。

萝卜自然汁和酒饮之即止。

清嗽饮：专治肺嗽痰中见血。

当归 白芍 桃仁 贝母各一钱 白术 丹皮
黄芩 炒梔各五分 青皮 桔梗各五分 生草二分 潮热加
柴胡、赤苓各一钱

水煎服，日饮童便一二钟良。

冬苓汤：专治吐血，咯血，止嗽。

天冬一两 云苓 阿胶 杏仁 贝母 生草各五钱

为细末，蜜丸芡实大，口中噙化，日可服十丸。

山梔四物汤：治怒气逆，呕出血者。

当归 川芎 赤芍 生地 山梔 各一钱

水煎，临服入童便一钟，姜汁一匙同服。

加减四物汤^①：治脏腑湿热而便血，及肠风下血。

当归 八分 川芎 五分 白芍 六分 生地 一钱 黄连 炒一钱

黄芩 炒八分 黄柏 炒七分 炒梔 七分 地榆 八分 槐花 炒五分

阿胶 炒七分 侧柏叶 六分

水煎，温服。

腹胀加陈皮六分，气虚加人参三分、白术三分、云苓六分，肠风加荆芥五分，气下陷加升麻五分。

芩连丸：治肠风下血，不论新旧皆效。

黄连 黄芩 槐角子 枳壳 黄柏 防风 荆
芥 地榆 归尾 侧柏叶 各五钱

为末，酒糊为丸，如桐子大，每服六七十丸，米饮送下。忌葱、蒜、烧酒、生冷、色欲。

金黄散：专治心经积热，移于小肠而溺血。

槐花 炒 郁金 纸包火煨各一两

同为细末，每服二钱，淡豆豉汤送下。

去滞汤：治小便出血，兼治五淋。

车前草根叶不拘多少，洗净取汁，频服亦通五淋。

【注释】

①百草霜：中药名，又名灶突墨。为杂草经燃烧后附于烟囱内的烟灰。性味辛，温，功专止血。

②汤：原作“汁”，今改。

【述要】

此节所述的出血之症是指血液不循常道，或上溢于口鼻诸窍，或下泄于

前后二阴所形成的吐血、衄血、咳血、呕血、唾血、便血、溺血等疾患。并指出：“虽血出不一，大抵皆因阴虚而邪火妄动之故，当分虚实治之。”若具体治疗上，若虚火妄动，血热妄行而吐血者，可用凉血地黄汤合十汁饮以清热解毒，凉血止血；若阴虚火旺而吐血、衄血者，可用滋阴清火汤合十汁饮以滋阴清热，凉血止血；若肺阴亏损，虚火上炎而吐痰见血者，可用清肺汤以滋阴润肺，清肺止咳；若肺胃阴血不足，虚火上炎而吐血者，可用梔子饮以清胃凉血，滋阴润肺；若血虚气郁，热邪蕴肺，咳嗽痰中见血者，可用清嗽散以理气养血，清热凉血；若湿热下注，热迫血溢而便血者，可用加减四物汤以清热燥湿，滋阴凉血；若湿热下注，风邪侵入之肠风下血，可用芩连丸以清热燥湿，祛风止血；若心经积热，移于小肠而溺血者，可用金黄散以凉血清心。若湿热下注之小便出血及五淋病患，可用去滞汤以清热利湿，利水通淋。

出血之症可由外感、内伤多种原因引起，但多属火热亢盛及气虚不摄。在具体治法上，实火当清热泻火，虚火当滋阴降火；实证当清气降气，虚证当补气益气。另外，针对各种出血，均应适当配伍凉血止血、收敛止血或活血止血的方药。

瘫痪^①门

左瘫半身不遂，为血虚，乃痰火流注于左而致病。右瘫半身不遂，为气虚，乃痰火流注于右而致病。所谓瘫者，坦也。坦然而不举也。痪者，涣也。气血散涣而不收也。二者皆正气不足之症。凡人身上不拘何处，有一块常麻木者，即是瘫痪之根，有一二年发者，甚至四五年发者，人多不觉。遇气运风热年，或因酒后，或因气恼，或因受风，忽然跌仆，轻者手足不来，腰腿不收，重者昏迷不醒人事，口眼歪斜，语言蹇涩，为不治之症。宜分虚实，实者可治，虚者难治，速治可愈，迟治难愈。

加减四物汤：治左瘫属血虚者。

当归_{三钱} 川芎_{一钱} 生地_{酒炒二钱} 白芍_{酒炒一钱} 钩

藤_{二钱}

竹沥半钟，姜汁二匙，水煎温服。

加减六君子汤：治右疾属气虚者。

人参 白术 云苓 各一钱 炙草一钱 半夏 炒一钱 陈皮 二钱

水煎，临服加竹沥半钟，姜汁二匙同服。

上池饮：治一切中风瘫痪，半身不遂，口眼歪斜，语言不清，头目眩晕。

人参一钱 白术一钱半 云苓一钱 当归一钱三分 川芎一钱二分 白芍一钱 生地 姜炒一钱 南星 姜炒一钱 半夏 姜炒一钱 熟地 姜炒一钱 陈皮 盐炒一钱 羌活 六分 防风 六分 天麻 一钱 牛膝 酒炒八分 红花 酒洗四分 柳桂 六分 酒苓 八分 黄柏 酒炒三分 枣仁 炒八分 乌药 四分 炙草 四分

水煎，入竹沥、姜汁各二匙，温服。语涩加石菖蒲。

通关饮：治中风仆倒，左瘫右疾，不省人事。

麝香三分为末，加麻油三两搅匀，将病人口干开灌下，通其关窍，即便苏醒。

顺气散：治初中风邪，四肢麻痹，手足瘫痪，语言不真。

乌药 陈皮 各二钱 麻黄 去节 川芎 白芷 桔梗 枳壳 各一钱 僵蚕 炒 炮姜 五分 炙草 三分

姜一片，水三钟，枣一枚，煎服。口眼歪斜加姜炒黄连、羌活、防风、荆芥、竹沥、姜汁，瘫痪加天麻、当归、竹沥、姜汁。

【注释】

- ①瘫痪：见于《外台秘要》卷十四。是指半身不遂，语言不利，口眼歪斜的疾患。多因肝肾亏虚，气血不足，复因邪气侵袭，酒后或气恼所致，系中风之后遗症。相当于今之脑血管意外后遗症，以及神经系统其他一些疾病。

【述要】

此节主要论述了瘫痪病的症状表现，病因病机，治疗原则及证治方药。认

为气血不足，正气散涣是瘫痪病发作的根本。在具体治疗上，若左瘫属血虚者，可用加减四物汤以养血通络；若右瘫属气虚者，可用加减六君子汤以益气通络；若气血亏虚，肝肾不足，风邪外侵，痰浊瘀滞而中风瘫痪，半身不遂，口眼歪斜，语言不清，头目眩晕者，可用上池饮以益气养血，滋肾补肝，祛风活血，化痰通络；若中风仆倒，左瘫右瘫，不省人事，牙关紧闭，口禁不开，两手握固者，可用通关散以开窍通闭，醒神回苏；若初中风寒之邪而四肢麻痹，手足瘫痪，语言不真者，可用顺气散以温中散寒，理气通络。另外，此病还可配合针灸、按摩等治疗方法。

中风门

中风有中腑、中脏、中血脉、中经络之分。中腑者，多着手足，恶风恶寒。中脏者，多滞九窍，失音，耳聋，目瞽，二便闭。中血脉者，四肢不能举，口不能言。中经络者，口眼歪斜。当因病治之，若口闭遗尿，手撒鼻鼾，吐沫直视，面赤，黑汗如珠，俱为不治之症也。

夺命通关散：治中风，中气，痰厥，不省人事，牙关紧急。

猪牙皂角 去皮弦二两，再用白矾一两，李麻布包入水同牙皂煮化，去布再煮干，晒干为末。

细辛 为末五钱 或加薄荷、雄黄各二钱尤妙。

同匀和，遇痰厥或喉闭不省人事者，以少许吹入鼻中，有嚏可治，无嚏不可治。

闭牙散：治牙禁不开。

乌梅肉 焙 **南星** **细辛** 各等分

同为细末，以中指药擦牙自开。

清热导痰汤：治中风痰涎壅盛，昏迷不省，牙关紧急，有火有痰有气，手足温暖，脉紧盛。

黄连 酒炒一钱	黄芩 酒炒一钱	瓜蒌仁 一钱	枳实 炒一钱	桔
梗 八分	白术 炒一钱	云苓 一钱	陈皮 一钱	半夏 姜炒五钱
星 五分	人参 一钱	生草 五分	白附子 五分	防风 一钱

生姜三片，枣一枚，水煎熟，入竹沥、姜汁各一匙服。

三生饮：治中风不省人事，口眼歪斜，痰气上壅，不论外感风寒，内伤喜怒，六脉沉伏，属虚寒者。

南星_{生五钱} 川乌_{去皮尖生一钱} 大附子_{去皮尖生一钱} 广木香_{一钱半}

生姜十片，水煎温服。气虚甚加人参一钱。

疏风汤：治风中腑，多着四肢，手足拘急不仁，恶风恶寒，其病在表。

当归 川芎 云苓 陈皮 半夏 乌药 香附
白芷 羌活 防风_{各八分} 麻黄_{五分} 生草 细辛_{各二分}

生姜三片，水煎热服。

滋润汤：治风中脏者，多滞九窍，唇缓失音，耳聋，目瞽，二便闭涩，为在里也。

当归 生地 枳壳 厚朴 槟榔 大黄 火麻仁 杏仁_{各一钱} 羌活_{七分} 红花_{三分}

水煎，空心温服。

养荣汤：治风中血脉，外无六经形症，内无便宜阻隔，肢不能举，口不能言，为在中也。

当归 川芎 白芍_{酒炒} 生地_{酒洗} 麦冬_{去心} 远志_{甘草泡} 石菖蒲 南星_{姜炙} 半夏_{姜炒} 陈皮 云苓 枳实_{炒各一钱} 乌药 酒连 防风 羌活_{各五分} 秦艽_{一钱} 生草_{三分}

竹茹一团，或各等分，生姜三片，水煎热服。

如圣散：治风中经络，口眼歪斜。

川乌_泡 草乌_泡 防风 川芎_{各二钱} 白芷_{四钱} 雄黄_{三分} 细辛_{二钱} 苍术_{四钱} 天麻_{五分} 白术_{五分} 麻黄_{五分}

同为细末，每服五分，临卧温酒调服。

立正膏：专贴口眼歪斜。

大皂角五两，去皮子为末，陈米醋和为膏，左歪贴右，右歪贴左，干即换之。

神效膏：同前。

天南星 草乌 白芨 各一两 僵蚕 七个

为细末，姜汁调如前，涂正便洗去。

正颜丹：同前。

白芷 独活 薄荷 各等分

为细末，蜜丸弹子大，每服一丸，细嚼茶清下。

皂角散：治中风痰涎壅盛，用吐法。

皂角 去皮弦 莱菔子 各等分

同为末，每服二钱或三钱，水煎尽服，吐出痰，服后药。

解语丹：治中风失音。

白附子 石菖蒲 远志 全蝎 羌活 天麻

胆南星 僵蚕 各等分

同为末，炼蜜为丸，如绿豆大，每服五七十丸，姜汤下。

牛黄清心丸：治中风不语，痰涎壅盛。

山药 七钱 炙草 五钱 党参 二钱半 蒲黄 炒二钱半 犀角 二钱

肉桂 一钱八分 豆黄 一钱八分 阿魏 泡一钱半 白芍 麦冬

黄芩 当归 防风 朱砂 白术 各一钱半 柴胡

桔梗 杏仁 云苓 川芎 各一钱半 牛黄 二钱二分 羚羊

角 一钱 麝香 一钱 冰片 一钱 雄黄 一钱 白藜 七分半 炮

姜 七分半 金箔 一百二十张内留四十张为衣

同为末，用大枣二十枚，取肉研为膏，炼蜜和匀，每一两作十丸，每服一丸，温水化下。

不换金丹：治中风口眼歪斜，高丽方。

薄荷 三两 荆芥穗 僵蚕 防风 天麻 生草 各一两

川芎 白附子 生 羌活 细辛 蝎梢 藿香 各五钱

为末，蜜丸梧子大，茶清嚼下一丸。又歪左涂右，歪右涂左便止。

趁疼散：治白虎历节风^①

桃仁 红花 当归 地龙 五灵脂 牛膝 羌活 酒浸 香附 童便炒 生草 各二钱 乳香 去油 没药 各一钱去油

同为细末，每服二钱，温酒调下。

立效散：治破伤风。

蝎梢七个，为末，温酒调服，日三服。

水调膏：杏仁研为泥，白面等分，新汲水调成膏，涂伤肿处即消。

二乌丸：治同上，高丽方。

川乌 生二钱 草乌 生一钱 白芷 二钱 天麻 二钱 雄黄 一钱

同为末，酒糊为丸，如桐子大，每服十丸，温酒下。

【注释】

①白虎历节风：又名历节、历节风、白虎风、痛风等，见于《金匮要略·中风历节病脉证并治》。此病并非中风，实属痹症的一种。多因风寒湿邪侵入经络，流注关节所致。症见关节肿痛，游走不定，疼痛剧烈，屈伸不利，昼轻夜重。若邪郁化热，则关节见红肿热痛。治宜祛风散寒，活血止痛。可用此节中的趁痛散进行治疗。

【述要】

中风又名卒中。是以卒然昏仆，不省人事，伴口眼歪斜，半身不遂，语言不利，或不经昏仆而仅以喎僻不遂为主症的一种疾病。因本病起病急骤、证见多端、变化迅速，与风性善行而数变的特征相似，故以中风名之。本病多因肝肾阴虚，心肝之火亢盛，肝风内动，外风侵袭，风痰、湿痰蒙闭清窍及气虚、气逆、血瘀等所致。此节中将中风分为中腑、中脏、中血脉、中经络四种，并论述了各自的临床表现及证治方药。在具体治疗上，若中风中气，痰厥而不省人事，牙关紧闭者，可用夺命通关散吹入鼻中以取嚏通窍；若中风牙禁不开者，可用闭牙散擦牙以开闭；若中风痰涎壅盛，昏迷不省，牙关紧急，有火有痰有气，手足温暖，脉紧盛者，可用清热导痰汤以清热化痰，理气通络；若素体虚

寒，痰气上壅而致的中风不省人事，口眼歪斜，可用三生饮以温中散寒，理气化痰；若风中于腑而四肢拘急，手足不仁，恶风恶寒，其病在表者，可用疏风汤以解表散寒，理气通络，祛风养血；若风中于脏而九窍郁滞，唇缓失音，耳聋，目瞽，二便闭涩，其病在里者，可用滋润汤以滋阴养血，行气导滞，活血通窍；若风中血脉而肢不能举，口不能言者，可用养荣汤以滋阴养血，化痰通络；若风中经络而口眼歪斜者，可用如圣散以散寒通络，活血通络，还可外用立正膏、神效膏外贴以使歪斜牵正；若中风痰涎壅盛者，可用皂角散以催吐痰涎；若风痰上阻，经络失和而语言不利者，可用解语丹以祛风除痰，宣窍通络；若中风不语，痰涎壅盛者，可用牛黄清心丸以清热化痰，醒神开窍，祛风通络；若风寒之邪外侵而致的中风，口眼歪斜，可用不换金丹以祛风散寒，熄风通络。另外此节中提到的用立效散治疗的破伤风，并非中风疾患，是指多因外伤而中风邪，或伤愈或未愈即发寒发热，颜面肌肉痉挛，呈苦笑面容，牙关紧闭，舌强口噤，流涎，继则角弓反张、频频发作，再发展则说话、吞咽、呼吸俱困难，甚至窒息的疾患。

补益门

凡人六气委和，则五脏各司其职，安得有病。若阴阳偏胜，恣情纵欲，则五劳七伤之病生焉。当因其所伤损之由，而调理补益之。

四君子汤：治元气亏损，脾胃虚弱，体瘦而黄，痰嗽吐酸。

人参 白术 云苓 各二钱 炙草 一钱

姜三片，枣一枚，水煎服。加陈皮名异功散，加半夏、陈皮名六君子汤，去云苓加干姜名理中汤。

四物汤：治心血亏损，肝、脾、肾血虚发热，头目不清，胸膈胀满，肋肋作疼等症。

当归 熟地 各三钱 白芍 酒炒二钱 川芎 一钱半

水煎，温服。

八珍汤：治气血两虚，烦燥作渴，寒热往来，小便赤淋，不思饮食，小腹疼痛等症。即四君子汤加四物汤是也。又名八物汤。

十全大补汤：治遗精白浊，盗汗自汗或潮热作渴，心神不宁，喉痛舌裂，小便赤涩，或腹冷，或畏寒，皆元气虚弱，斫丧^①太甚之故。宜大补。

人参一钱 白术炒一钱 云苓一钱 当归酒洗一钱 川芎一钱
白芍酒炒一钱 熟地一钱 黄芪蜜炒一钱 肉桂五分 麦冬去心五分 五味子一钱 炙草五分

生姜一片，枣一枚，水煎温服。

补中益气汤：治中气不足，饮食无味，自汗困倦等症。

黄芪炒一钱半 人参一钱 白术一钱半 当归一钱半 陈皮七分 柴胡 升麻 炙草各五分

姜、枣水煎，热服。

六味地黄丸：治肾经虚弱，自汗盗汗，阴虚发热等症。

生地蒸黑八两 山萸酒蒸四两 山药蒸四两 云苓三两 丹皮三两 泽泻三两

同精制，入石臼内捣成膏，微火焙干，捣为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三钱，盐汤酒任下，忌铁器三日。

多吐痰涎津唾，姜汤下。虚劳咳嗽加麦冬、五味，名八仙长寿丸。腰腿加鹿茸、木瓜、续断，消渴加五味，诸淋沥加倍云苓、泽泻，夜多小便加益智仁去泽泻、云苓，下元虚冷、胞转不便、膨急而疼倍泽泻，虚火耳聋加黄柏、知母、远志、菖蒲，小儿遗尿加破故纸、益智仁、肉桂、党参。

六味丸加肉桂、大附子各一两，名八味丸。水亏火旺者，宜服六味丸；水火俱亏者，宜服八味丸。

固本丹：治男子、妇人，五劳七伤，一切虚损之症。

当归 虎骨酒炙 苁蓉 莲肉 牛膝酒炒 陈皮
枸杞炒 杜仲炒 龙骨煅 家菊 生地 熟地 茯神各四两
首乌制一两 菟丝饼 沙蒺藜炒 山楂肉 建曲各一两 巨胜子 桑椹子 锁阳炙各二两 白芥子八钱

炙草二两 川芎二两 云苓四两 木鳖制四十枚 白术二两
砂仁二两 木瓜二两 贝母盐炒二两 草阿魏二两 麦芽二两

同为末，炼蜜为丸，重三钱，朱砂为衣，每服一丸，空心白汤化下。

二益丹：治男妇肚腹寒冷，胃口疼痛，中气虚弱，痰嗽呕吐，不思饮食。男子下元寒，妇人子宫冷，赤白带下，腰腿痛。

木香一两 沉香五钱 麝香一钱 肉蔻煨一两 母丁香一两
砂仁二两 官桂一两 吴萸汤泡一两 草果仁一两 桂
心一两 朝脑五钱 当归二两 胆南星一两 附子制一两 川
椒去目一两 血竭五分 川乌制一两 草乌制一两 硫黄煮一两
三奈一两 甘松一两

同为细末，炼蜜为丸，如弹子大，重二钱，赤金为衣，每服一丸，临时因病用引。

【注释】

①斫丧：损伤、损坏。多指沉迷于酒色而损害身体。斫，读作(zhuó)，意为用刀斧砍。

【述要】

此节补益门论述了多种原因所致的脏腑亏虚，气血阴阳不足的虚损疾患。在具体治疗上，若元气亏损，脾胃虚弱，体瘦而黄，痰嗽吐酸者，可用四君子汤以益气健脾；若心血亏损，肝、脾、肾血虚发热，头目不清，胁肋作痛者，可用四物汤滋阴养血；若气血两虚者，可用八珍汤益气养血；若气血严重亏虚而致的遗精白浊，盗汗自汗，或潮热作咳，或腹冷，或畏寒等，可用十全大补汤以大补气血；若中气不足，饮食无味，自汗困倦者，可用补中益气汤以补益中气；若肾经虚弱而自汗盗汗，阴虚发热者，可用六味地黄丸以滋补肾阴；若男子、妇人五劳七伤，一切虚损之症，可用固本丹以养血补肾，健脾温阳；若男子、妇人肚腹寒冷，胃口疼痛，中气虚弱，痰嗽呕吐，不思饮食及男子下元寒、女子子宫冷、赤白带下、腰腿痛等症，可用二益丹以益气温阳，理气散寒。

腰腿疼痛门

腰腿疼痛，多因风寒湿气所伤，如腰疼腿不疼，或腰痛引于脊项，及二胁下疼痛，不可俯仰，此由肾气虚弱，当滋肾调气。

青娥丸：治肾虚腰痛，足膝疼。

破故纸_{酒炒} 萆薢_{童便浸} 杜仲_{姜炒} 牛膝_{各四两} 黄柏_{盐炒四两} 胡桃_{去皮泡八两研} 知母_{酒炒四两}

同为细末，炼蜜为丸，如梧子大，每服八十丸，空心黄酒送下。

双丢拐：治风寒阴湿，腰腿疼痛。

马钱子_{一两甘草水煮去皮心土炒枯} 苍术_{三钱} 木瓜_{一两半} 草乌_{制一两} 川乌_{制一两} 天麻_{一两} 牛膝_{酒炒一两} 杜仲_{盐炒一两} 没药_{去油一两} 乳香_{去油一两} 防风_{一两} 归身_{二两} 五加皮_{一两} 穿山甲_{一两} 五灵脂_{去石脂炒一两五钱}

同为细末，蜜丸弹子大，每服一丸，空心黄酒下。

四神丸：治寒湿腰腿痛。

肉桂_{六钱} 苍术_{一两} 当归_{二两} 牛膝_{一两} 白木耳_{五钱}

同为末，蜜丸桐子大，每服三钱，空心黄酒下。

应疼丸：治风痹筋病，游行不定，聚于关节，或赤肿筋纵，即是痰火。

草乌_{制熟一两五钱} 五灵脂_{去石脂炒一两} 赤石脂_{一两} 乳香_{去油五钱} 没药_{五钱}

同为末，醋糊为丸，鸡豆大，每服十五丸，温酒下，每日二服。

二神散：治手足搐麻。

川乌_{一两面包煨熟七钱生用三钱} 香附_{一两酒炒}

同为细末，每服三分，黄酒下。

【述要】

此节所述之腰腿痛，多因肾虚、风寒湿气、瘀血阻滞所致。在具体治疗上，若肾虚而腰痛，足膝疼者，可用青娥丸以补肾利湿；若风寒阴湿所致之腰腿疼痛，可用双丢拐以温阳散寒，祛瘀止痛，强腰健腿；若寒湿血虚而腰腿痛者，可用四神丸以温阳除湿，养血补肾；若寒湿阻络，瘀血停滞之游行性关节疼痛及红赤肿胀，可用应疼丸以散寒止痛，活血化瘀。另外，若寒湿、气滞所致之手足麻木，可用二神散以理气散寒，通络。

疮毒门

疮毒者，皆因饮食不节，寒暑不调，喜怒太过，以致五脏六腑热郁于内，久而毒发于外，为痈^①，为疽^②，为疔^③，为疖^④。治法初生当清火败毒，已溃当大补气血。

内消散：治一切疮毒初起即消，已肿即溃，血从大便出，已溃勿服，孕妇忌服。

当归一钱半 赤芍一钱 白芷一钱 木鳖子一钱 穿山甲三片 银花三钱 皂刺一钱 僵蚕一钱 瓜蒌仁一钱 天花粉一钱 乳香去油一钱 没药去油五分 大黄炙二钱 生草五分

水三钟，煎至一钟，入热黄酒半钟同服。

蜡矾丸：治疮毒疼甚者。

黄蜡一两 枯矾一两 乳香去油一钱 没药去油一钱 雄黄二钱

同为细末，蜡熔化为丸，朱砂为衣，如桐子大，每服五十丸，视疮上下，蜜水送下。

三神膏：治痈疽发背已溃。

蓖麻仁一合 陈醋一碗 盐一撮

三味入锅，以槐柳枝搅成膏，先将疮口用米泔水洗净，以鸡翎续续扫上其皮，即缺其肉即生。

替针散：治疮不开口。

木鳖子、川乌二味磨水，以鸡翎蘸扫疮上，空疮头一处出脓，水干再扫一时自破。

生肌散：治疮已溃，久不生肌。

血竭二钱 乳香去油 没药去油 轻粉各一钱半 龙骨煨一钱半 赤石脂二钱 朱砂五分 海螵蛸五分

同为细末，撒些须^⑤于疮口上。

夺命丹：治诸疮初起。

蟾酥四钱 胆矾二钱 没药五钱 血竭二钱 石膏二钱
白矾枯二钱 麝香一钱 蜗牛四十三个 蜈蚣二钱 乳香五钱
朱砂五钱

同为细末，酒糊为丸，如绿豆大，朱砂为衣，每服二丸。葱白三节，包药嚼碎，以无灰酒送下出汗。

小灵丹：治三十六种疔，七十二般黄^⑥，又治积气、寒气。

蟾酥五钱 雄黄一钱 硃砂一钱 轻粉五分 血竭五分
朱砂五分 麝香三分

同为细末，乳汁面糊为丸，如黄米大，每服五丸。用葱三节，包药于内纸卷，慢火烧熟，黄酒下。小儿诸病，用金研凉水下。

青黛散：治小儿口疮。

硼砂 青黛 薄荷 石膏各等分

同为细末，吹患处。

回疔丹：治诸般疔疮。

大黄一两 雄黄一两 巴豆八钱去皮膜心生用

同为末，面糊为丸，如凤仙子大，重者二十三丸，轻者二十一丸，再轻者十七丸，米饮下，或滚水下，喉中打噎即愈。如泻过五六次不止，饮冷米汤一二口即止，忌酒、冷水、肉食，调和三七日。

灵宝散：专治毒疔。

雄黄二两 皮硝一两 蒲公英一两 冰片一分 麝香一钱

同为细末，先用银针挑破疔头，捏出血些须，填药于疔口，外以膏药护之。

立效散：专治指头疔。

蜈蚣一条焙 雄黄五钱

为末，破者贴之，不破者鸡蛋破一孔，将雄黄末五分入内，以指插蛋内，待热又换一蛋，如是数蛋即消。

败毒散：专治杨梅疮^⑦。

槐花炒三钱 轻粉三钱 油核桃三钱 蜈蚣一条炒 朱砂一钱 雄黄一钱 大枫子火煨一个

同为末，分作丸剂，每日早午晚各一服，作三日服，黄酒调下。

扫疥膏：专治湿热疥疮^⑧。

水银一钱 人言^⑨三分 大枫子去仁三钱 油核桃净仁三钱

同捣如泥，每用黄豆大一粒，放于脐下一寸三分处，用自己津唾些子，缓缓研至药干，再取再研，每日二三次。研两日歇一日，研后以布裹，用热茶壶熨之，勿使药渣入阴下，须要将下身护住，慎之慎之。

赤金散：专贴上下疳疮^⑩。

赤金七张 朱砂五分 轻粉三分 冰片一分

同为极细末，每用些子贴患处。

如圣散：专贴咽疳蚀伤小舌。

真蟾酥一钱 雄黄一钱

同为末，用些子以箸头蘸湿沾搽小舌上，数次愈。

扫毒丹：专治倒发天疳系水银毒。

铅灰五钱 硫黄三两 石决明煨三两

同为末，大黄煎膏，丸如桐子大，每服三十九丸，土茯苓、金银花各五钱，煎汤下。头服出汗，毒气即出。外用后贴药。

大枣一枚，以皂矾末装内，火煨焦，研为细末，入冰片一二分，贴患处即愈。如是轻粉毒，用石膏末贴之。

二黄散：治一切疔疮。

冰片一分 乳香一钱 没药一钱 枯矾一钱半 轻粉一钱
儿茶一钱 雄黄一钱 硼砂一钱 青黛一钱 黄柏一钱 石
决明一钱

外加狼牙子焙末一钱更效。

同为细末，每用些子敷患处，先用米泔水洗疮。

龙脑散：治同前。

冰片五分 人中白一钱 黄柏一钱 百草霜一钱 海
巴一钱 儿茶一钱 五倍一钱去虫 青黛一钱 轻粉一钱 乳
香一钱 枯矾一钱 狼牙子一钱 酒连一钱

同为细末，先用米泔水洗疮净，贴药些须。

又山枝一枚，开孔去穰，装豆大人言一粒，火上煨焦，入前药内
神效，小儿不加。

化毒丹：治痔瘻如神。

象牙一钱 蝉退 蜂房 僵蚕 木香 乳香
没药 血竭各六钱

同为末，黄蜡为丸，如黄豆大，每服四五丸，空心开水下。服完
再服后药除根。

朱砂 雄黄 陀僧 枯矾 鹿茸各五钱 黑芝麻五钱

同为末，炼蜜为丸，如桐子大，每服三十丸，空心黄酒下。

化坚汤：治鼠疮^①初起，左为瘰癧，右为马刀。

当归一钱 白芍六分 黄芪一钱 元参六分 花粉六分
连翘一钱二分 柴胡一钱 黄芩五分 牛蒡子七分 胆草四分
升麻七分 桔梗一钱 陈皮八分 羌活四分 薄荷四分 昆
布四分 生草三分

再加知母、贝母、海藻更佳。

生姜三片，水三钟，煎至一钟，晚服。

二妙丸：治鼠疮已溃久不愈者，兼治喉痹。

斑猫 二两去头足糯米炒黄 南薄荷 四两

为细末，乌鸡蛋清为丸，如梧子大，初服一丸，渐加至七丸，又每日减一丸，黄酒下，或夏枯草煎汤下，如是加减，以好为度。

千捶膏：专贴鼠疮破烂。

松香 半斤溶化七次去渣滓 乳香 二钱半 没药 二钱半 血竭 一钱
铜绿 一钱半 杏仁 去皮一钱 儿茶 三钱 乳汁 二盅 麻油 二两
蓖麻 去壳一两

同捣千杵下，成膏，绢贴。

消毒膏：治项核已破者。

狸猫头 焙黄一个 马钱子 焙去毛皮各等分

同为细末，清油调搽，已破者去腐生肌，未破者即破，流去恶水即愈。

红绿膏：同上。

辛红 铜绿 杏仁 松香 蓖麻 各等分

同捣为膏，先用磁罐一个，装汾酒，上再盖一罐，煎热去酒，以罐口对患处巴上，少顷提出烂肉，后贴膏药，一日一换，以好为度。

救脑散：专治脑鼻渊^⑫。

防风 一两 独活 一两 连翘 一两 藁本 一两 生草 五钱
川芎 一两 归尾 一两 牙皂 去皮五钱 辛夷 三钱 石菖蒲 一两
黄芩 一两 元参 一两 细辛 一两 麦冬 去心一两 生地 一两
酒连 五钱

同为细末，每服二三钱，晚用黄酒调服。

藤黄膏：专贴一切顽疮。

藤黄^⑬ 一两为末 白蜡 一两

香油四两炼熟，次入白蜡溶化，再入藤黄末搅成膏，先以花椒水洗疮，后贴膏药。

又方：车前子根叶焙干为末，透灯油调贴。

穿山饮：专治肠痈小腹疼，不敢着手者是。

穿山甲^炒 白芷 贝母 僵蚕 大黄^{各等分}

水煎服，打下脓血即愈。

搽疳散：治鼻疳^①破烂。

乳香 没药^{各五分} 儿茶^{一钱} 鸡肫皮^{炒黄一钱}

同研细末，搽患处。

扫毒饼：专治青腿疳^②未破者。

羯羊肝^{一具} 葱^{一把} 独蒜^{一枚}

先将羊肝切为细丝炒大半熟，次炒葱亦大半熟，蒜捣烂入葱肝内拌匀，卷热薄饼顿食之，再饮后四物汤，厚盖出汗，要腰上汗出为度。

老葱^{二根} 姜末^{一撮} 核桃^{四个} 枣^{四个}

水一大碗煎滚，同前肝服之。

雄黄丸：专治鱼口^③。

雄黄^{二两} 木鳖子^{去壳土炒透一两}

同为末，面糊为丸，如绿豆大，每服四十丸，晚用开水送下，或黄酒下。

外贴玉金：生白矾、白芷、白芨、生大黄各五钱为末，凉水调搽，干则换之，冬日温水调。

【注释】

①疔：是一种发生于皮肉间的急性化脓性疾病。多由外感六淫及过食膏粱厚味，内郁湿热火毒，或外来伤害，感受毒气，引起邪毒壅塞，气血凝滞而成，有内疔、外疔两大类。内疔是生于脏腑间的脓肿，如肺疔、肠疔等。外疔是指生于体表部的脓肿，其特点是局部光软无头，红肿热痛，结块范围多在6厘米～9厘米左右，发病迅速，易肿、易脓、易溃、易敛，一般不会损伤筋骨，也不会造成陷证。初起可用仙方活命饮以疏风清热，行瘀活血；成脓迟缓者，可用透脓散以透脓。本病初起肿胀者，也可用内消散以疏风清热，活血透脓。

②疔：分为有头疔和无头疔。有头疔是发于体表软组织之间的阳性疮疡（急性化脓性疾病），其特点是初起皮肤上有粟粒样脓头，焮热红肿疼痛，易向深部或周围扩散，脓头亦相继增多，状如莲蓬、蜂窝。根据发生的部位不同而名称各异，生于

脑后(项后)部的叫“脑疽”,生于背部的叫“发背疽”,生于胸部膺中穴的叫“膺中疽”,生于少腹部的叫“少腹疽”等。一般来讲,发于项后、背部者,常不易透脓,内陷变证较为多见,故病情较重;发于四肢者,病情较轻。初期、成脓期,可用内消散或仙方活命饮加减以清热托毒,活血透脓;收口期若气血两虚,疮口愈合迟缓者,可用十全大补汤以大补气血,促进愈合;若腐肉阻塞,脓液积蓄难出而有波动时,可作十字形切开引流术。无头疽是一种初起无头,发生于骨骼、关节或肌肉深部的疮疡(脓疡),多因毒邪深陷,寒凝气滞,或热毒深陷,凝滞筋骨而成。具有漫肿无头,皮色不变或晦暗,疼痛彻骨之症状,甚者伤筋烂骨,难溃难敛。若属寒凝气滞者,可内服阳和汤、醒消丸、小金丹等,外用阳和解凝膏等。若属湿热壅滞者,可内服黄连解毒汤,外用金黄膏。本病包括了流痰、流注、附骨疽、环跳疽等多种疾病。

- ③疔:即疔疮。因其疮形如粟,坚硬根深,如钉丁之状,故以疔疮命名。是指发病迅速而危险较大,容易引起走黄的急性化脓性疾病。发生于颜面部的疔疮,更容易走黄而导致生命危险。本病相当于今之深部毛囊炎。可用五味消毒饮合黄连解毒汤以清热解毒。
- ④疖:是一种发生于皮肤浅表的急性化脓性疾病,随处可生。其特点为色红、灼热、疼痛,突起根浅,肿势局限在3厘米~6厘米左右,脓出即愈。可分为有头、无头两种。有头疖相当于今之浅部毛囊及其周围组织的炎症,无头疖相当于今之汗腺炎。治疗宜祛风清热,利湿解毒。
- ⑤些须:即些许,指少许,一点儿。
- ⑥黄:即走黄。是指疔毒走散,毒入血分,内攻脏腑的一种急性危重证候。此处之黄即毒也,多因疔疮失治或误治所致。其症状表现为忽然疮顶陷黑无脓,肿势弥漫,迅速向四周扩散,皮色暗红,伴有寒战高热,头痛烦躁,甚者神志昏迷等。宜中西医结合治疗,中医内治可用五味消毒饮、黄连解毒汤、犀角地黄汤三方合并加减以凉血清解毒;西医可根据感染性质选用抗菌素。本病类似今之全身化脓性感染。
- ⑦杨梅疮:即今之梅毒,又名霉疮、广疮、时疮、棉花疮。多因气化传染(间接传染)和精化传染(直接传染)或胎中染毒所致。此病多在疳疮、横痃之后发生,亦即感染梅毒螺旋体后10周左右发生。生疮前先有发热,头痛,骨节酸痛,咽痛等症,两三天后出现皮疹,全身症状渐即消失。皮疹形态颇多,有色如黄蜡,破烂肉翻的翻花杨梅;有形如赤豆,嵌入肉内的杨梅豆;有形如风疹的杨梅疹;有先起红晕,后起斑片的杨梅斑。后期毒侵骨髓、关节或流窜脏腑,甚者危及生命,称为杨梅结毒。治宜清血解毒。

- ⑧疥疮：是指由于接触疥疮患者或有疥虫寄生的动物传染而得的皮肤病。皮损初起为针尖大小的丘疹或水疱，并可看到条状黑线；病久可全身遍布抓痕、结痂、黑色斑点，甚至引起脓疱，伴有自觉奇痒，遇热及夜间更甚，妨碍睡眠。其病损多见于指缝、腕屈面、腋窝前缘、肘部曲侧、股内侧、小腹等处。
- ⑨人言：为砒石之别名。
- ⑩上下疳疮：即上疳疮与下疳疮。上疳疮是指梅毒发生于口唇、眼睑等处的病患；下疳疮是指梅毒发生于阴茎、龟头、女子大小阴唇等处的病患，可分为硬下疳与软下疳，若初起豆粒大硬结，不痛亦不溃破，为硬性下疳；若初起小疮，渐即破溃，为软性下疳。
- ⑪鼠疮：即瘰疬，又名鼠瘻等。多因肺肾阴虚，肝气久郁，虚火内灼，炼液为痰，或受风火邪毒，结于颈项、腋、胯之间。初起结块如豆，数目不等，无痛无热，后渐增大串生，久则微觉疼痛，或结块相互粘连，推之不移。若溃破则浓汁稀薄，其中或夹有豆渣样物质，此愈彼起，久不收口，可形成窦道或瘻管。相当于淋巴结核、慢性淋巴炎。治疗宜疏肝解郁，祛风清热，益气养血，软坚散结。可用此节中之化坚汤治疗。
- ⑫脑鼻渊：为鼻渊之重症，又名脑漏、脑崩等，相当于今之鼻窦炎等症。主要症状为鼻流浊涕不止，如髓如脓，腥臭难闻，鼻塞鼻酸，甚则头晕目眩，头痛健忘。治宜祛风清热，理肺通窍。可用此节中之救脑散。若鼻中血水淋漓，腥臭难闻，头目昏晕，形体消瘦者，已形成控脑砂，有癌变可能，临床应高度重视。
- ⑬藤黄：为藤黄科植物藤黄的胶质树脂，又名玉黄、月黄。多分布于印度、泰国等热带地区，性味酸涩，有毒。功用消肿化毒，止血杀虫。主治痈疽肿毒，顽癣恶疮，损伤出血，牙疳蛀齿等。本品毒性较大，应严格掌握内服剂量，体质虚弱者忌服，多量易引起头昏、呕吐、腹痛、泄泻，甚或致死。
- ⑭鼻疳：见于《小儿药证直诀》。症见鼻中赤痒，连唇生疮，涕多而黄，皮毛枯焦，肌肤枯瘦，手足潮热等。多由乳食不调，上焦积热，壅滞肺中所引起。治宜清热凉血。可外用搽疳散以活血消肿。
- ⑮青腿疳：即青腿牙疳，见于《医宗金鉴》，是指患牙疳而兼见下肢青肿的病症。症见齿龈肿痛，渐致牙龈溃腐出血，甚者可穿腮破唇，两腿青肿，形如云片，色似茄黑，筋肉顽硬，步履艰难，兼见肢体疼痛，四肢浮肿。本病类似于今之坏血病。多因寒湿之气凝滞经脉，气血不畅，瘀郁于下，加之胃肠郁热，热毒上冲，灼伤牙龈所致。若青腿牙疳未破者，可用扫毒饼以养血解毒散寒。西医认为本病系维生素C缺乏所致，因此还可配合服用维生素C及食用含维生素C丰富的新鲜蔬菜、水果等。若表现阴虚火旺者，可用六味地黄汤化裁治疗。

④鱼口：继发于梅毒瘡疮之后，为横痃之一，见于《外科正宗》，是指梅毒发生于胯腹合缝间之左侧的病患，在右侧者名便毒，两者合称为横痃。其表现为：初起形如杏核，渐大如鸡卵，色白坚硬不痛，皮核不相亲。很少溃破，可存数月或数年。如经治疗，可迅速消退。

【述要】

此节疮毒门较全面地论述了痈、疽、疔、疖、小儿口疮、杨梅疮、疥疮、鼠疮、肠痈、鼻渊、鼻痔、青腿牙疳及鱼口等病的论治及方药，其内容丰富，各具特点，具有很好的参考价值与应用价值。

女科门

女人属阴，以血为主，血调而精神旺，浑身无病，若血不调，百病生焉。不但不能生育，而且膨胀咳嗽，五疰八瘕，痞块瘀积俱生，甚至血枯成癆，丧其性命者多矣。法当因类而治之。

四物汤：治妇女百病，调益荣卫，溢养气血。

当归_{酒洗} 川芎 白芍 熟地_{各二钱}

水煎温服，因病加减。

经候将来腹中阵阵作疼，乍疼乍止者，血气实也。用生地，加黄连、香附、桃仁、红花、元胡、丹皮、莪术。经水不及期而行者，血热也。用生地，加黄连、黄芩、白芷。经水过期而来者，瘦人多是血少，倍当归、地黄，加黄芪、甘草，佐以红花、桃仁。肥人经水过期而来者，是气虚挟痰，阻滞升降而然。去地黄，加参芪、甘草、云苓、半夏、陈皮、香附。过期而紫黑成块者，血热也，多作腹痛。用生地，加香附、黄连、元胡、五灵脂、乳香、没药。过期而血淡色者，是痰多血少。用生地合二陈汤煎服。肥人经水，或三、四个月一行者，面脂脂闭塞经脉，本方去熟地、白芍，加香附、苍术、白术、合导痰汤煎服。经行适来适断，寒热如疟者，合小柴胡汤煎服。经行三、五日，腹中绵绵走疼者，此血行而滞气未尽行也。加木香、槟榔。经行后而作疼者，

血气俱虚也。加四君子汤煎服^{见补益}。临经行脐腹绞痛者，血涩也。加川楝子、小茴、木香、槟榔、元胡。经行时着恼后，得心腹腰胁疼不可忍，脉弦急，乃瘀血作痛。加桃仁、红花、元胡、莪术、青皮。经行不止，加阿胶、地榆、荆芥穗。

斑黄丸：治经水闭塞不通。

斑猫二十个糯米炒 大黄五钱 桃仁去皮尖四十九个炒

同为末，酒糊为丸，如桐子大，轻者五丸，甚者十丸，空心黄酒下。

掌中金：治妇人干血癆^①。

穿山甲炮 生草 苦丁香 川椒 苦葶苈 牙皂去皮炙 白附子 草乌各三钱 巴豆一钱生用

同为细末，生葱绞汁和为丸，如弹子大，每用一丸，新绵包裹，以丝线紧扎，留线七八寸，将药用竹筒送入阴中极深处，一日流白，二日流赤，三日流血。

一粒仙丹：治干血癆，并赤白带下，久不受孕。

巴豆一百二十粒纸包碾去油令极净为白色 穿山甲五钱油煎过 斑猫六十个去腥足 大黄一两 苦葶苈一两 皂角一两炮去粗皮

同为末，枣肉为丸，如弹子大，用绵裹药，丝线扎紧，以竹筒送入阴中，外留线四五寸，先以温水洗阴户令净，拭干，以葱汁浸药湿，送入极深处，一日一夜取出药，埋于地中，少间发寒发热，任意饮食，并无妨碍，半日即通，或鲜血，或紫血，一切恶物尽下，子宫温暖，易于受孕，忌生冷发物。

暖宫丸：治妇人子宫寒冷，赤白带下。

车前子二钱 木鳖子土炒二钱 母丁香二个 蛇床子二钱

同为末，炼蜜为丸，分作三丸，每一丸入阴中，待自化下，恶物尽出，子宫温暖，易于受孕。

阿胶散：治妇人血山崩。

蚕砂炒一两 伏龙肝半两 阿胶炒一两

同为细末，空心酒调二三钱服之。去阿胶名无比散。

将军丸：专治干血癆。

大黄四两为末，醋熬成膏，丸如鸡头大，每服一丸，晚用温酒化下，大便利一二次，红脉自下，或加当归头一两，香附二两重便炒，二味为末入大黄膏内，丸如桐子大，每服四十丸，黄酒下。

生地黄丸：治师尼寡妇欲心不遂，寒热如疟。

生地二两 赤芍一两 柴胡五钱 黄芩五钱 秦艽五钱

同为末，蜜丸梧子大，每服三十丸，乌梅汤送下，每日早、午、晚各一服。

牛黄膏：治妇人热入血室^②，胡言乱语，发狂如见鬼神，不认人者。

牛黄二钱半 朱砂 郁金 丹皮各三钱 生草一钱

为末，蜜丸柏子大，每服一丸，凉水化下。

养真汤：治妇人经闭，脐下有块，久治不效，服此能通经消块。

当归 川芎 白芍酒炒 熟地姜炒 云苓 陈皮
炒梔 山萸 小茴酒炒 香附醋炒 益母草等分

每服一两，水煎服，通经后作丸药服。

斩鬼丹：治妇人鬼胎^③，如抱一瓮，面色或青或黄，寒热往来者是。

吴萸汤泡 川乌制 秦艽 柴胡 僵蚕焙 巴戟
巴豆不去油 芫花醋煮各二两

同为末，炼蜜为丸，如梧子大，每服七丸，蜜酒下。

赵氏金丹：治妇人血脉一切病症，及久不受孕。

熟地四两 赤石脂煅二两 芫蔚子二两 沉香一两 丹
皮二两 白芍二两酒炒 牛膝酒炒二两 没药去油二两 白芷二两
山药二两 元胡醋炒二两 白术二两 云苓二两 藁本一两
陈皮二两 白薇一两半 山萸二两 炙草五钱 川芎二两
当归四两 肉桂一两 砂仁一两 续断一两 香附酒炒半斤

益母叶 六两

为末，蜜丸重三钱，朱砂为衣，空心黄酒下或童便下。

中风荆芥穗汤下，产后虚弱加人参二三分。

大造丸：治妇人血块疼痛，经水不调，久不受孕。

归身 二两 川芎 一两半 白芍 一两 熟地 二两 川楝子 一两

小茴 童便炒 槟榔 一两 香附 醋炒二两 桃仁 五钱 红花 五钱

丹皮 一两 青皮 炒八钱 陈皮 元胡 醋炒 云苓 各一两

苍术 石泽兰 牛膝 白术 各一两 三棱 醋炒一两 莪

术 醋炒一两 乳香 去油一两 没药 去油一两 益母草 去梗四两

同为末，炼蜜为丸，重三钱，空心黄酒下。

毓麟珠：治妇人气血俱虚，经脉不调，久不受孕，服一二斤，即可受胎，种子第一方也。

熟地 四两 菟丝 煮四两 当归 三两 鹿角霜 杜仲 炒各一两

川椒 去目二两 川芎 炙草 各一两

为细末，炼蜜为丸，如梧子大，每服二三钱，白汤送下。男子服加枸杞、胡桃、鹿角胶、山萸、山药、巴戟肉 各二两。妇人经迟腹疼加故纸 酒炒、肉桂 各一两，甚则加吴萸五钱盐汤泡。带多加故纸一两，五味五钱，龙骨醋煨一两。子宫虚寒，或泻或疼加附子、炮姜各五钱。血热经早加续断、地骨皮各二两，或先以汤剂暂清其火，后服丸药。

保胎丸：预防胎坠。

白术 炒四两 熟地 姜炒四两 杜仲 姜炒四两 当归 续断

阿胶 蛤粉炒 香附 制四两 酒芩 各二两 陈皮 艾叶 醋炒

川芎 各一两 砂仁 炒五钱 益母草 三两去梗

同为末，枣肉为丸，如桐子大，每服百丸，空心米饮下。

固胎汤：治妇人有孕，触撞腹疼，服之即安。

阿胶 炒 熟地 艾叶 醋炒 川芎 当归 杜仲

白术 各一两

咀片，每服四钱，枣三枚，水煎，食前服。

【注释】

- ①干血癆：病名，多见于妇女。因五劳所伤，虚火久蒸，干血内结，瘀滞不通，久则瘀血不去，新血难生，津液不能外荣所致。症见经闭不行，身体羸瘦，不思饮食，骨蒸潮热，肌肤甲错，面目暗黑等。治宜活血行瘀，清其积热。先宜服用大黄廑虫丸，待血行后，继而用四物汤以调经养血。此节中提到用掌中金、一粒仙丹放入阴中极深处治疗妇人干血癆，方法新颖，值得进一步研究。
- ②热入血室：病名，是指妇女在经期或产后感受外邪，邪热乘虚侵入血室，与血相搏所致的病患。症见下腹或胸胁下硬满，寒热往来，白天神志清醒，夜晚则胡言乱语，神志异常等。可用小柴胡汤或此节中之牛黄膏等方治疗。
- ③鬼胎：病名，出自《诸病源候论》。主要包括以下三个方面的病症。其一，属于症瘕一类的病症。因素体虚弱，七情郁结，气血凝滞不散，冲任壅滞不行而致。如《傅青主女科》中载有：“腹似怀妊，终年不产，甚则二、三年不生者，此鬼胎也。其人必面色黄瘦，肌肤消削，腹大如斗。”治疗宜益气扶正，攻积消瘕。可用《傅青主女科》中之荡鬼汤（人参、当归、大黄、雷丸、川牛膝、红花、丹皮、枳壳、厚朴、桃仁），或斩鬼丹。若效果不佳，可选用西医手术治疗。其二，相当于葡萄胎。如《肖山竹林寺女科》云：“月经不来二、三月或七、八月，腹大如孕，一日血崩下血泡，内有物如虾蟆子，昏迷不醒人事。”治疗宜气血双补，方用十全大补汤。同时应积极采取中西医结合的方法治疗。其三，指胎气怯弱而致早产或过期难产的婴儿，婴儿出生后一般体弱多病。此种情况见《普济方·婴童门》。

【述要】

此节较详尽地论述了妇人经、带、胎、产等多种疾病的证治方药，尤其详尽地载录了四物汤的加减运用。在具体治疗上，若妇人气血不足，冲任不调而致的各种病患，可以四物汤为基本方加减治疗；若瘀血阻滞胞宫，经水闭塞不通者，可用斑黄丸以破血通经；若干血内结、瘀滞不通之干血癆，可用掌中金放入阴中极深处以行气破血，温阳导滞；若妇人干血癆合并赤白带下，久不受孕者，可用一粒仙丹放入阴中极深处以破血通经，温暖胞宫；若妇人子宫寒冷，赤白带下者，可用暖宫丸纳入阴中以理气活血，温暖胞宫；若妇人血崩者，可用阿胶散以补血止血；若师尼寡妇欲心不遂，寒热如疟者，可用生地黄丸以和肝清热，滋阴凉血；若妇人热入血室，胡言乱语，发狂如见鬼神，不认人者，可用牛黄膏以清心解毒，凉血解郁；若妇人经闭，脐下有块，久治不效者，可用养真汤以补血调血，理气散结；若妇人鬼胎，如抱一瓮，面色或青或黄，寒热往

来者，可用斩鬼丹以理气温阳，攻逐鬼胎；若妇人血脉有病，久不受孕者，可用赵氏金丹以理气补血，温肾通脉；若妇人经行疼痛，有血块，经水不调者，可用大造丸以养血调血，理气活血；若妇人气血俱虚，经脉不调，久不受孕者，可用毓麟珠以补肾养血，调中益气；若预防胎坠，可用保胎丸以健脾养血，补肾安胎；若妇人有孕，触撞腹痛，胎动不安者，可用固胎汤以补肾养血安胎。

幼科门

小儿诸病，但见两眼无精光，黑睛无运转，目睫无锋芒，如鱼眼、猫眼之状，俱不治。或魂藏于内，外若昏困者无妨。其有病症，眼中神气不脱者可治，眼者神气之所发，观眼而生死可知。

开口汁：治撮口风^①啼声不出，当先看齿龈之上，有小泡子如粟米状，急以青布裹指，轻轻擦破，取出浓汁，即能开口。甚者用牛黄三分、竹沥一匙，调匀滴入口中，即愈。

定命散：治小儿初生口噤不开，名曰噤口风^②，舌上聚肉如粟米状，吮乳不得，口吐白沫，自满月一百二十日内，皆见此，可急看儿上腭有点子，先以指甲轻轻刮破，取出恶汁，次服药。

蝉退^③ 十四个去翅足 全蝎^④ 十四个去毒

同为细末，轻粉少许和匀，乳汁调服。如口噤不开，百治不效者，用生南星去皮脐，研为细末，冰片少许和匀，指蘸生姜汁擦牙龈立开。

除风散：专治小儿脐风^⑤。其症多因断脐，为风湿所乘，或胎元有热毒，下胎时，脐必硬直，必自脐发出青脉一道行至肚，却分两岔行至心者必死。于青脉初生时，急用灯心蘸香油点灯，于青脉头、并岔行尽处燎之，截住不致攻心，更以艾灸中脘三壮，再用僵蚕三个，为末，以全生葱捣汁涂乳头头上，令儿吮之，或用乳调蚕末灌之，口即开。总之，脐风撮口噤口，是胎毒，并宜服淡豆豉汁与吃，取下胎毒最妙。

铁门拴：治小儿五种泄泻，赤白痢疾。

文蛤_{一两炒黄} 黄丹_{二钱} 白矾_{一钱半生半枯}

同为末，用黄蜡一两，化开为丸，如绿豆大，每服五七丸，泄泻姜茶下，白痢姜汤下，红痢清茶下，红白相兼姜茶下。

梨蜜膏：治小儿噤口痢^④。

用甜梨一个，挖空入沙蜜填满，纸包火煨熟，吃下立止。

又方：萝卜汁、蜜各等分，搅匀服三四匙即效。

朱红散：治小儿四六风。

轻粉_{三钱} 朱砂_{三钱} 僵蚕_{四十九个焙} 全蝎_{二十一个焙}

为细末，每服三厘，抹于乳头上使吮之。

鸡肝散：治小儿疳积。

三棱 槟榔 苍术 使君肉 远志_{各等分}

如泻加肉豆蔻、麦芽，先将诸药同捣罗过，其余药渣，再同蔻、芽同捣为末，另收。不泻者用前药，泻者用后药，每用一钱，用鸡肝子一个，竹刀切开，包药在内。

定惊散：治小儿急慢惊风^⑤。

乳香_{去油二钱} 朱砂_{一钱} 枣仁_{炒研三钱}

同为细末，每服二钱，临卧滚黄酒下，安睡勿惊。

去乳香加大黄_{一两}、朱砂_{二钱}、枣仁_{五钱}，名驱风散，一切风症皆治。

雷君丹：治小儿肚大青筋，食不生肌，或好吃泥土，有时腹疼，此疳积^⑥也。

白雷丸_{一两纸包火煨} 使君肉_{一两蜜炒} 山楂_{酒炒二两} 槟榔_{二两}

白芨黄_{五钱} 二丑_{麦炒三钱} 神曲_{炒五钱} 苍术_{二两} 广陈

皮_{炒五钱} 青皮_{醋炒五钱} 白扁豆_{一两} 芡实_{炒一两} 鸡胃

儿_{酒炒焙干十张}

同为细末，入洋糖一斤半，和匀姜汤调下四五分，或为丸如麻子大，每三五十丸，姜汤下。

开关新方：余曾治一小儿三四岁，自生下即大便不下行，只在口中吐出，三四年常如此，抱求余治。余曰：“此不经之病，非药可治”。大人再三叩求。余思儿饮食如常，形容润泽，只是粪不下行，以意会之，此必生产时，恶血灌于大肠，瘀结闭塞而然。因用：

当归_{一钱} 川芎_{一钱} 桃仁_{一钱} 红花_{三分} 大黄_{五分}

合为剂，淡黄酒与水同煎，空心服之，取下一硬棒如指粗，长四五寸，而粪遂下行矣。

【注释】

- ①撮口风：脐风三证之一，又名撮口、唇紧。临床以唇口收紧，撮如鱼口为特征，并伴有舌强唇青，痰涎满口，气促，啼声不出，身热面黄等症。
- ②噤口风：脐风三证之一，又名著噤，噤风。临床以目闭口噤，啼声难出，口吐白沫，不能吮乳，二便不利为主要证候。另外挤风之第三证为锁肚风。指婴儿生下一月后，忽然乳不下咽，腹壁板硬，腹皮发红，撮口啼哭，手足口气俱冷者。
- ③脐风：病名。又名风搐、七日口噤、四六风、七日风，即今之新生儿破伤风。系由于断脐不洁，感染外邪所致。本病以全身各部发生强直性痉挛，牙关紧闭，面呈苦笑状为其特征，属危重疾病，病死率高。治疗宜通经开闭，镇痉熄风。方药可选用中成药小儿脐风散（皂角、全蝎各60克，大黄125克，当归18克，牛黄3克，朱砂340克，巴豆霜6克。为末，每服0.06克，乳汁调服）。
- ④噤口痢：是指痢疾患者饮食不进或呕吐不能食的病患。多由疫毒痢、湿热痢演变而成，是痢疾中较为严重的证候。可见于今之中毒性痢疾。临床辨证可按初痢噤口与久痢噤口，一般初痢噤口多属实，久痢噤口多属虚。治疗可根据具体情况选用清热解毒，辟秽降逆，养阴益气等法。
- ⑤急慢惊风：即急惊风与慢惊风。惊风是小儿时期常见的一种以抽搐伴神昏为特征的证候，俗名“抽风”，又名“惊厥”。一般以1至5岁的小儿为多见，年龄越小，发病率越高。其证情凶险，变化迅速，可危及生命。急惊风以发病急为特征，症见突然高烧惊厥，烦躁不安，面红唇赤，痰壅气促，牙关紧急，继而四肢抽搐，神志昏迷，头项强硬，甚则角弓反张，涕泪皆无。或时发时止，或持续不止。多因内热炽盛或风邪外袭，痰凝气滞，化热化火，热极生风所致。治疗宜清热豁痰，镇惊熄风。可用《小儿药证直诀》之抱龙丸（胆南星、天竺黄、辰砂、雄黄、麝香）治疗。慢惊风是以发病缓慢为特征，症见抽搐缓慢无力，时发时止，一般体温不高，面色淡黄，或青白相间，多合目昏睡或睡时露睛，神情倦怠，懒言少语，大便色青或下

痢清谷，脉来沉缓或沉迟无力。本病多因大病久病之后或急惊风治疗不愈而来，其以气血不足，肝盛脾虚为主。治疗以温中健脾、温阳散寒、育阴潜阳、调肝理脾、柔肝熄风为主。可用《小儿药证直诀》温白丸（人参、防风、白附子、僵蚕、全蝎、南星、天麻）治疗，也可配合使用此节中的定惊散进行治疗。

- ①疳积：即脾疳，又名食疳、肥疳，为小儿五疳之一。多因喂养不当，引起脾胃虚损，营养不良所致。症见面黄肌瘦，能食易饥，肚腹膨胀，甚则青筋暴怒，毛发稀黄，精神不振，睡眠不宁，或伴有好吃泥土，有时腹痛等症。治疗宜杀虫化积，消疳健脾。可用此节中之雷君丹或《医宗金鉴》中之肥儿丸（人参、茯苓、白术、黄连、胡黄连、使君子、神曲、麦芽、山楂、芦荟、甘草）治疗。

【述要】

此节幼科门首先论述了小儿疾病的望诊中望眼的重要性，进而论述了撮口风、噤口风、脐风、泄泻、赤白痢、噤口痢、急慢惊风及疳积等小儿诸病的证治方药。其治疗方法灵活多样，颇具参考价值。

补 遗

百应丸：此方专治三十六种风，七十二般气。

熟川乌	四两	草乌	一两	全归	酒浸二两	天麻	二两	白
术	二两	蒸首乌	二两	细辛	二两	苍术	二两	炙草
黄	五钱	荆芥穗	炒一两	乳香	一两	川芎	二两	麻

蜜丸弹子大，重三钱，随引下。

口眼歪斜，生姜竹沥汤下；口吐痰涎，韭菜汁生姜汤下；左偏头风，香附川芎汤下；右偏头风，菊花生地汤下；急惊风，生姜黄连汤下；慢惊风，生姜砂仁汤下；四六风，生姜薄荷灯心汤下；右肋疼，枳壳汤下；左肋疼青皮柴胡汤下；白带，椿根皮炮姜汤下；赤带，白薇地榆汤下；白痢，生姜白芍汤下；赤痢，地榆黄连金银花汤下；疝气攻心，青盐山枝汤下；肩疼，羌活汤下；膀胱疝，木香槟榔汤下；肝疝，青皮汤下；肺疝，桑白皮汤下；白淋，车前子沉茄汤下；滑淋，炒冬葵子通草汤下；血淋，炒冬葵子山枝汤下；沙淋，王不留瞿麦穗汤

下；偏坠，荔枝核煨研黄酒下；肠风下血，地榆荆芥穗汤下；产后风，荆芥穗炒黄酒下；妇人白淫，黄柏丹皮汤下；茄病，蛇床子炒茄杆子汤下；小便白浊，连须汤下；跌打伤损，红花黄酒汤下；搐麻，木瓜黄酒下；脚腿疼，牛夕青盐汤下；紫白癜风，防风汤下；鹅掌风，梨灰汤下；大麻风，生姜白附子汤下；手腕疼，僵蚕桂枝汤下；经闭，桃仁红花汤下；脾疝，砂仁莪术汤下；肾疝腰疼，故纸牛夕汤下。

立胎丸：治妇人久不受孕。

青皮_{五钱} 陈皮_{五钱} 梅子_{九个} 莱菔子_{三钱炒} 巴豆_{十八个去油} 胡椒_{五十四颗炒}

共末，陈醋为丸，如绿豆大，每服二十一丸，空心姜汤下。

咽喉十八症方：石青 青黛 朱砂_{各一钱} 枯矾_{五钱} 硼砂_{一钱} 冰片_{五分} 人中白_{五钱} 山豆根_{二钱} 玄明粉_{五钱}

共为细末，用二三厘吹喉中，勿咽。

头疮方：治小儿白秃。

马前子不拘多少，驴油煎枯，去马前子不用，加轻粉一钱，枯凡一钱。

为末，先播疮甲净，见血然后将油和药末搽之。

血山崩方：当归_{五钱} 黄芪_{一两}

水煎入黄酒少许，服之立止。

下死胎方：干漆_{炒烟尽一钱半} 肉桂_{一钱}

为细末，黄酒下。

回阳救急汤：治阴极发绝，面红结燥，起卧不定，口干舌燥，只欲饮冷水，饮之即吐。小腹疼，或下痢清谷，六脉沉迟，或迟弱，此阴极隔阳于外，宜连进数服。四肢热，脉浮不渴疼止，方能回阳。此症不过三日有治，若过三日不治，阴缩舌卷者不治。

人参_{一钱} 白术_{三钱} 上桂_{为末调服一钱} 附子_{三钱} 陈皮_{一钱半} 五味_{一钱酒炒} 厚朴_{一钱姜炒} 公丁香_{一钱} 云苓_{一钱} 半夏_{一钱} 白蔻仁_{一钱研} 山药_{土炒二钱} 炮姜_{二钱}

姜枣煎冷服，入浆水半烧酒钟，不使阴火上炎，忌大小米白滚水。

辰砂益元散：治大人小儿中暑，发热昏沉，上吐下泻，小便不利。

朱砂一钱半 滑石六两煅水飞 生草一两

为末，大人二三钱，调凉水下，小儿用五七分。

玉真散：治伤风并疯犬咬。

天南星 汤泡七次如急用以纸裹煨 防风等分

为末，每服二钱，温酒下。甚重者每服三钱，童便调服；昏死心头尚温者，速进二服；如疯犬咬，须用嗽口水或热童便洗净，用南星为末搽之，出血为妙。

倒发天疔方：系水银毒气。

铅灰五钱 石决明一两 硫黄三两

为末，大黄膏丸如梧子大，每服三十丸，土茯苓、金银花各五钱，煎汤下，头服出汗，毒气即出。外用后贴药，大枣一枚去核，以皂矾末装内，火煨焦研末细，入冰片一二分，贴患处即愈。轻粉毒，用石膏贴最佳。

清骨散：治男妇五心潮热，骨蒸劳症。

柴胡二钱 生地 黄芪 防风 赤苓 熟地
藜芦各一两 胡连五钱 薄荷七分

为末，每服四钱，食后黄酒下。

吕祖一枝梅方：此方能试人病疾吉凶，用豆大一粒，捏成饼，贴印堂，一炷香时去药，一时许有红痂肿起者生，不变色者死。

朱砂三钱 辛红一钱半 五灵脂三钱 蓖麻仁五钱 麝香三分 雄黄五钱 巴豆仁 生用五钱

端午日净室中细研，加麻油胭脂为膏，磁罐内收藏，用过后送入河中。小儿急慢惊风，及老幼痢疾俱贴。

【述要】

此节补遗(篇)主要介绍了治疗许多疾病的有效方剂。如具有养血散寒、祛风通络、活血止痛的百应九方,经配伍不同的汤药后,就可以治疗三十六种风,七十二般气;再者,若妇人久不受孕,可用立胎丸以疏肝理气,消积导滞;若阴极隔阳于外之面红结燥,起卧不定,口干舌燥,只欲饮冷水,饮之即吐,小腹痛,或下利清谷,六脉沉迟或迟弱等症,可用回阳救急汤以健脾益气,温中回阳;若大人小儿中暑,发热昏沉,上吐下泻,小便不利者,可用辰砂益元散以清暑解热;若男子、妇人五心潮热,骨蒸劳症,可用清骨散以滋阴清热等等。当然,对上述医方的应用,我们只有在辨明疾病的寒、热、虚、实后,才能准确运用,有的放矢。

经
验
杂
方

第三部 经验杂方(共上、下两卷)

嘉庆二十五年刊,悟元山人集《经验杂方》,栖云山藏版。

经验杂方 卷上

栖云悟元子采集

靖远

毕尔德 滕浩直

刊梓

加功散:专治大人小儿一切痢症。

广木香	五分	公丁香	五分	沉香	五分	乳香	去油净五分	真	
麝香	二分五厘	真熊胆	二分五厘	轻粉	四分五厘	雄黄	五分	白丁	
香	三十粒	嫩黄芩	酒炒五分	黄连	酒炒五分	青皮	五分	胡黄连	五分
三棱草	一钱	黑丑	一钱	莪术	一钱	白雷丸	一钱	生草	一钱
陈皮	一钱	巴豆	一粒	赤小豆	三十粒	大黄	一钱五分		

荞面一两半,打糊为丸,重一钱,朱砂为衣,阴干,温水化开服之,熟睡勿惊,轻者二三剂,重者七八剂。愈后服十全大补汤加枣仁、远志、麦冬、朱砂、金银箔,多服为妙。

【述要】

本方具有理气化痰、解毒开窍、活血导滞之功,用治气滞血瘀,痰热上扰型痢症最适宜。

乌头散：专治偏正头风。

白芷二两五钱 川芎炒一两 炙甘草一两 川乌头生熟一两
同为细末，每服一钱，薄荷汤下，清茶亦可。

【述要】

此方祛风通络、散寒止痛，用治风寒阻络型偏正头风最妙。

化血汤：专治从高跌下，胁肋疼痛，此血积肝经。

柴胡五钱 当归五钱 甘草二钱 穿山甲炒二钱 天花
粉二钱 红花二钱 桃仁去皮五十个 大黄酒浸一两
黄酒三钟，煎至一钟半，温服，以利为度。

【述要】

此方疏肝调血，活血逐瘀，功专治疗肝经积血。

荆子汤：专治跌伤眼目。

蔓荆子油炒三钱 生大黄三钱 桃仁去皮尖二钱 归尾酒洗一钱
甘草梢五钱 杏仁去皮尖五钱
水三钟，煎至一钟，温服，如不下加柏树根三钱再服。

【述要】

此方祛风明目，活血逐瘀，且方中蔓荆子可引药上行于眼而治疗瘀血停
滞。

姜附汤：专治寒中阴经，手足冷，小腹胀，脉沉而迟。

炮姜一钱 熟附子二钱

姜三片，枣一枚，水二钟，煎至一钟，冷服，返阳再不可服。

【述要】

此方温中散寒，回阳救逆，是治疗寒中阴经之要方。

附子理中汤：专治少阴下利，太阴腹胀，小肚疼，手足冷。少阴
脉沉细，口干；太阴脉沉迟，烦渴，囊缩。但是，二阴具宜服之。

党参一钱 白术_{去炒五钱} 炙草一钱 炮姜一钱 附子_{三钱}

姜三片，枣三枚，水二钟，煎一钟，冷服。

四肢发热，六脉浮者勿服，忌白滚水。有阴寒停食，胃口按之则痛，加枳实一钱，去附子，名枳实理中汤。

【述要】

少阴下利，太阴腹胀，手足冷，乃脾肾阳虚之证，治疗可用附子理中汤以温肾回阳，健脾益气。

绿矾丸：专治黄肿病。

五倍子_{半斤炒黑} 绿矾_{四两姜汁炒白} 针砂_{四两醋炒红} 神

曲_{半斤炒黄}

为末，生姜汁煮枣肉为丸，如桐子大，每服六七十丸，温酒下或米饮下，愈后终身忌芥面。

【述要】

黄肿病即黄肿，是指以全身肌肤萎黄，面浮足肿，神疲乏力，呕吐黄水，好食生米等为主症的病患，多见于钩虫病。绿矾丸具有解毒消肿，燥湿杀虫，消食和胃之功，确属药证相合。

三妙散：专治虫心疼，唇上有白点者是。

雄黄_{五钱} 雷丸_{一两} 槟榔_{五钱}

面糊为丸，如麻子大，每服一钱半，洋糖水下，以好为度。

【述要】

此方解毒杀虫，消积止痛，为治疗虫心痛之妙方。

槐枝膏：专贴脚上顽疮。

先用花椒一撮熬水，煮白布一块，下用乱发护疮口，上以布裹二三层，去毒气，如是三四次后，用槐枝一把，牙猪油半斤，熬成膏贴之。一日一换，以好为度。

【述要】

槐枝为豆科植物槐的嫩枝，味苦，无毒。《滇南本草》谓：“洗皮肤疥癬，去皮肤搔痒之风。”此处用槐枝膏专贴脚上顽疮，亦具特色。

朱粉败毒丹：专治天疳梅疮。

明雄_{三钱} 朱砂_{三钱} 轻粉_{三钱} 槐花_{三钱} 石决明_{煅三钱}
硼砂_{三钱} 铅灰_{三钱}

同为细末，枣肉为丸，如麻子大，每服三十九丸，黄酒下，每日早午晚各一服。

【述要】

此方专治天疳梅疮，主要因其具有解毒杀虫之效。方中铅灰又名黑锡灰，其制作方法见于刘禹锡《传信方》，其云：“取铅三两，铁器中熬之，久当有脚如黑灰。”

洗毒汤：专治麻风眉毛脱落。

松香 硫黄 皮硝 火硝_{各三钱} 松毛_{五钱} 地肤子_{五钱}

水煎洗患处，如眉毛落用白矾_{三钱}，皂刺_{三钱}，连须葱白一把，共研一处，用醋泡，每日搽眉毛上，渐次毛即生矣。

【述要】

此方解毒杀虫、祛风燥湿、拔毒生肌，可解麻风之毒，为外洗、外搽之良方。

化毒散：专治大麻风。

穿山甲_{全的一个} 朱砂_{一两} 明雄_{一两}

同为细末，用生漆二两调，朱雄二味搽甲上，待干再搽，漆尽甲干后，将甲首中尾分作三节，各记一号，各装一磁罐内，盐泥封口，各钻一孔晒干，文武火煅三炷香，先出青烟，次出红烟，后出白烟，烟尽住火，各研为末，治首用甲，治中用中，治下用尾，引用苦参、红

浮萍各三两煎，入烧酒半钟调药，大人一钱，小儿五分，早晚各一服，以好为度。

【述要】

大麻风，即痲风，又名大风、癰病、麻风。本病系麻风杆菌引起的慢性传染性皮肤病，需隔离治疗。宜祛风化湿，活血杀虫。多因感受暴痲风毒，或接触传染、内侵血脉而成，初起患者麻木不仁，次成红斑，继则肿溃无脓，甚者出现眉落、目损、鼻崩、唇裂、足底穿等重症。

螃蟹消毒散：治如前。

鲜螃蟹_{四两} 生漆_{一斤} 蟾酥_{二两} 明雄_{二两}

用以磁瓶装蟹，次入漆封口埋土内，二七日化二物为水，去渣净，慢火煎干为末，同雄酥末和匀蜜封，早晚用上烧酒送下一二钱，不过一月全愈。

【述要】

此方清热解毒、杀虫消肿，用烧酒送下，取其活血通络，使药速达病所。

胜金丹：专治噎膈食物不下。

蟾酥_{二钱} 烧酒_{化匀} 雄黄_{五分} 朱砂_{五分}

研匀作丸如黄米大，重者二十二丸，白水下，当吐痰出，如是二三次必能食，须以稀米粥缓缓食之，不可食厚味，能食后减至十一二丸，当服以除根为止，兼治吼病，不可多服。

【述要】

此方解毒消肿，其药物组成均系有毒之品，服用时应严格控制剂量，以防中毒。

甘草汤：专治水肿。

甘遂为末，水和涂绕脐外，内服甘草汤，水皆从小便出，肿即消矣。

【述要】

甘遂，味苦寒，有毒。功专泻水饮、破积聚、通二便。水和涂绕脐外，既可达利水消肿之功，又可减轻对脾胃的损伤等副作用，尽管甘遂反甘草，但两者外用内服分别使用，取其相反相成。

秦艽散：专治转𦵿。

秦艽一两咀片，水一钟，煎至六分，作二服，大效。

【述要】

转𦵿，即转胞，又名胞转，是指以脐下急痛为主症的小便不通。多因强忍小便或寒热所迫膀胱所致。治宜秦艽疏利小便。秦艽，《本经》谓其“下水，利小便”。

独圣散：专治跌打损伤。

大五倍一个去虫，不见铁器，火烧存性为末，每服八分，黄酒下，出汗。

外敷药方：梔子净末一两，胡椒三钱，麦面半斤，为细末，烧酒调敷患处，干则换之，以好为度。

【述要】

独圣散中取五倍子治跌打损伤是取其解毒消肿，敛疮止血之功效。

鹿茸散：专治眉毛脱落。

皂刺_{五钱} 新鹿茸_{烧存性三钱}

同为细末，姜汁调搽眉上，每日一二次。

【述要】

用鹿茸散外搽眉上以治疗眉毛脱落，是取其温阳活血，促进眉毛生长之功效。

上清丸：治虚火上升，解热除暑。

薄荷_{四两} 乌梅_{四两烧焦} 苏叶_{二两} 檀香_{二两} 孩儿

茶二两 硼砂二两 生草一两 冰片五分 洋糖一两 冰糖半斤 柿霜二两 沉香五钱

同为细末，和二糖柿霜，加熟蜜为丸，如桐子大，每四五丸噙化。治热症，凉水服一钱。

【述要】

此方清热生津、理气开窍，用治虚火上炎的暑热之症较为适宜。

消痞散：专治小儿痞疾有虫。

白雷丸二两 君子肉二两 山楂一两酒炒 槟榔三钱 神曲炒三钱 鸡合儿酒洗十张

同为末，白糖一两和匀，每服一钱或二钱，早晚姜汤下，忌肉食。

【述要】

此方杀虫消积、健脾和胃，为治小儿痞疾有虫之良方。方中鸡合儿即鸡内金，功专健脾消积。

加減平胃散：专治胎衣不下。

苍术八钱 厚朴姜炒一钱 广陈皮一钱 炙草四分 枳壳炒五分 芒硝一钱

姜一片，枣一枚，水煎温服。

【述要】

胎衣不下，又名胞衣不下。是指胎儿娩出后，胎盘超过半小时以上迟迟不下。多因分娩后气血大虚，无力继续排出所致。宜急用手法取出胞衣。此处的胎衣不下，是因气机壅滞而成，故用加減平胃散以理气导滞。

革薺饮：专治小便白浊频数，漩白如油，凝如膏糊。此真元不足，虚寒所致。

益智仁 革薺 石菖蒲 川乌药制 生甘草 云苓各等分

水煎入盐一撮，空心温服。肾虚加牛膝、杜仲、山药，小便赤加麦冬、泽泻。

【述要】

此方所治，乃为膏淋。是因脾肾阳虚，真元不足，不能制约脂液所致。革藓饮具有温肾健脾、分清去浊之功。本病类似于今之泌尿系感染、前列腺炎、结核、丝虫病等疾病。

导赤散：专治膀胱有热，小便不利。

当归	酒洗一钱	瞿麦	一钱	车前子	一钱	滑石	煨五分	赤	
苓	一钱	泽泻	五分	猪苓	一钱	石莲子	去壳一钱	木通	一钱
山枝	炒五分	黄连	酒炒五分	黄柏	酒炒一钱	知母	盐水炒一钱	生	
草	五分								

灯心一撮，水煎空心服。

【述要】

《小儿药证直诀》中的导赤散(木通、生地、甘草梢、竹叶)与此方不同，此方重在清利膀胱湿热。

润肠汤：专治大肠血少，结燥不通。

当归	酒洗一钱半	生地	二钱	熟地	二钱	桃仁	一钱半研	红	
花	五分	升麻	一钱	熟军	一钱	大麻仁	一钱研	生草	五分

水煎一钟，调槟榔末二钱，稍温服。

又方：冬葵子一两，水煎服，治大小便不通。

【述要】

润肠汤重在滋阴养血，活血通滞，润肠通便，实为治疗大肠阴血不足，兼有瘀血停止于中之良方。冬葵子性味甘，寒。功用利水通淋、润肠通便。

行湿养血汤：专治水肿，浑身上下肿胀。

党参	一钱	白术	土炒一钱	陈皮	一钱	当归	酒洗一钱	川	
芎	一钱	白芍	酒炒一钱	云苓	一钱	苏梗	六分	厚朴	姜炒一钱

大腹皮 水泡二钱 萝卜 炒二钱 木通 一钱五分 生甘草 一钱 海金砂 一钱 广木香 五分另入

生姜三片，枣一枚，水煎温服。

气虚倍参、白术，血虚倍归、芍、芍；小便少加猪苓、泽泻、滑石以消胀。别处俱消，只有面足不消，此阳明气虚，倍用白术、云苓。

【述要】

此方重在理气化湿，补气养血，利水渗湿，功专治疗气滞湿阻之水肿。

破积丸：专治五积六聚，七症八瘕。

三棱 煨一两 大黄 煨一两 干漆 炒烟尽一两 礞砂 醋炒一两 巴豆 去油五钱

为末，醋糊为丸，如绿豆大，每服三丸，重者五丸七丸，空心米饮下，量人虚实加减。

【述要】

此方破血消积，解毒导滞。适宜于瘀血凝结，肠腑壅滞之症瘕、积聚。本方力峻有毒，宜中病即止，虚人慎用。

木香消胀丸：专治气胀不安。

木香 二钱五分 槟榔 五钱 陈皮 大腹皮 滚水泡 枳壳
桑皮 蜜炒 苏子 各一两 莱菔 炒一两 香附 醋炒一两

同为细末，神曲糊为丸，如梧子大，每服五七十丸，淡姜汤送下，不拘时。

【述要】

此方理气消肿，为治气胀不安之要方。（注：后面手拈散方后之消胀丸与此方相同，故已删除。）

朴香丸：专治寒胀气虚。

厚朴 姜炒五钱 大附子 炮去皮脂六钱 木香 一钱五分

生姜七片，枣三枚，水煎热服。

【述要】

此方理气宽肠，温阳散寒，治疗寒胀气虚者甚宜。（注：后面手拈散，已删消胀丸方后之朴香丸与此方相同，故已删除。）

渍坚汤：治有积聚，腹胀如石，通身虚肿。

厚朴_{姜炒} 黄芩_{酒炒} 黄连_{姜炒} 益智仁 当归_{酒洗}
草蔻_{各五分} 半夏_{姜炒七分} 木香_{另入} 升麻 红花 吴
萸_{各三分} 生草 柴胡 泽泻 神曲_炒 青皮 陈
皮_{各三分}

口干加葛根四分。生姜三片，水煎冲木香末，食远服。忌酒、醋、湿面。

【述要】

积聚之症，腹胀如石，通身虚肿者，乃气机阻滞、瘀血内结、寒热交杂于中所致。可用渍坚汤以理气活血，清热消积。

加减通圣散：治癫狂风热实盛。

防风 当归_{酒洗} 川芎 白芍_{酒炒} 连翘 薄
荷_{各四分} 麻黄_{五分} 石膏_煨 黄芩_{酒炒各八分} 桔梗_{八分} 白
术 栀子_炒 荆芥_{各三分} 滑石_{二钱四分} 熟军 芒硝_{各一钱}
生草_{七分} 丹皮 生地 桃仁_{去皮尖各一钱}
生姜一片，水三钟，煎一钟，温服。

【述要】

此方祛风散热，泻火解毒，凉血活血，为表里双解之典型方剂。适宜于癫狂外有风热，内有火热实盛之证。

荆芥散：专治惊痫。

白矾_{半生半枯一两} 荆芥穗_{炒二两}

同为末，面糊为丸，如黍米大，朱砂为衣，每二十丸，空心姜汤下。

【述要】

此方所治之惊痫，乃外受风邪，内有痰热。方中荆芥祛风散热，白矾清热消痰。

姜桂汤：专治腹疼，绵绵不绝，脉沉迟，此寒疼也。

干姜 肉桂 良姜 油炒各七分 枳实炒 陈皮 朱砂仁
厚朴 姜炒 吴萸 水泡各一钱 香附 姜汁炒一钱半 木香 五分别入

生草二分

生姜水煎，空心热服。

疼不止加元胡 醋炒一钱、小茴香 姜炒一钱、乳香 去油净研五分，寒极手足冷加川乌子煨一钱，去茱萸、良姜，泄泻去枳壳。

【述要】

此方具有温中散寒，理气宽中之效，适宜于脾胃虚寒之腹痛。

散火汤：治腹疼，乍疼乍止者，火疼也。

黄连 酒炒 白芍 酒炒 栀子炒 枳壳炒 厚朴炒 香
附 醋炒 川芎 各一钱 木香 另入研 朱砂仁 生草 各五分

水煎，温服。疼甚加醋炒元胡一钱。

【述要】

腹疼乍疼乍止，乃火郁气滞。此方清热泻火，行气止痛。

活血汤：治腹疼不移处者，此血疼也。

归尾 酒洗 赤芍 桃仁 研 丹皮 元胡 醋炒 乌药
香附 酒炒 枳壳 炒各一钱 红花 官桂 各五分 川芎 五分
生草二分 木香 五分别入

生姜三片，水煎，热服。

【述要】

气行则血行，气滞则血瘀。此方以活血为主，兼以理气，为治疗瘀血腹痛之有效方药。

三仙丸：治腹中多小块，唇上有白点，腹疼甚者，此虫痛也。

雄黄 白矾 槟榔 各五钱

同为末，神曲糊为丸，如黍米大，每服五分，食远白滚水下，干疼只吐不泻便是虫。

【述要】

三仙丸解毒杀虫，行气消积，功专治疗虫积腹痛。

疏肝散：治左胁疼，系肝积，属于血分。

黄连 吴茱萸煎水泡透炒干三钱 柴胡 二钱半 当归 酒洗二钱半 青皮

桃仁 去皮心研 枳壳 炒各一钱 白芍 酒炒七分 川芎 七分 红

花 五分

水煎，温服。

【述要】

此方清热疏肝，理气活血，为治疗血瘀肝积之良方。

推气散：右胁疼，肝邪入肺也。

姜黄 一钱 枳壳 炒一钱 桂心 少许 炙草 五分 陈皮 一钱

半夏 姜汁炒一钱

生姜一片，水二钟，煎一钟，温服。

【述要】

肝邪入肺，乃肝木气旺而反克肺金。推气散具有活血行气、疏肝理肺之功。

天麻僵蚕散：专治脚气疼痛。

乳香 去油 没药 去油 天麻 白附子 煨， 僵蚕 各等分

同为细末，每服五分，空心黄酒调服。

【述要】

脚气又称脚弱。多因外感湿邪风毒，或饮食厚味所伤，积湿生热，流注于

脚而成。症见腿脚麻木软痛,软弱无力,或挛急,或肿胀,或枯萎等。

立应散:专治咽喉肿疼。

青盐 白矾 硃砂 各三钱

同为细末,用一分吹入患处,日四五次,如肿甚,先刺少商穴。

【述要】

以立应散吹入咽喉肿痛之处,可起到解毒消肿的作用。

加减益气汤:专治鹤膝风。

黄芪 蜜炒一钱半 党参 一钱 白术 一钱五分 当归 酒洗一钱半
升麻 五分 炙草 五分 熟附子 一钱 牛膝 酒炒一钱 杜仲 炒一钱
防风 一钱 羌活 五分 川芎 五分 白芍 酒炒五分 熟地 一钱
草薢 五分 防己 五分

生姜三片,枣一枚,水三钟,煎一钟,空心热服。

【述要】

鹤膝风是因病后膝关节肿大,形如鹤膝,故名。多因三阳亏损、风邪外袭、阴寒凝滞而成。本病后期宜温阳散寒、扶正祛邪,可用加减益气汤治疗。

移毒救生汤:疮毒生于紧要穴道,难以下手,服此方移于别处易治。

雄黄 一钱研 麝香 三分研 独蒜 一个捣

同和一处,研如泥,贴于手大指右湾槽穴上,再用杏仁壳盖之,外用布裹之,不一时疮移于别处,再如疮移不动,难治,两手俱贴。

【述要】

本方解毒开窍,故能移毒救生。

神效散:治小儿走马牙疳。

用妇人尿桶白垢火煨一钱 铜绿 三分 麝香 一分半

同为细末,先以米泔水漱口,用些须搽患处,每日四五次,药力

行过，仍用米泔水漱口。

【述要】

走马牙疳是指牙龈红肿疼痛，继之腐烂，流腐臭血水，发病急而病势险者。妇人尿桶白垢之物乃人中白，为人尿自然沉结的固体物，具有清热解毒、祛瘀止血之功。

碧雪散：治小儿咽喉肿，兼治重舌木舌。

青黛 硼砂 火硝 生草 蒲黄_{等分}

同研极细，每用少许搽患处。

【述要】

碧雪散具有清热解毒，活血利咽之功，故能适宜于咽喉肿痛。重舌，又名子舌、莲花舌。多因心肺湿热，复感风邪，邪气相搏，循经上结于舌而成。症见舌下经脉胀起，形如小舌，或红或紫，或连贯而生，状如莲花。

八珍汤：治产后不语。

党参 石菖蒲 生地 川芎_{各一两} 防风_{五钱} 辰砂_{另研五钱} 生草_{一钱}

同为细末，每用一钱，薄荷汤调下，不拘时服。

【述要】

此方具有益气养血、祛风开窍之功，可用治产后气血不足，遭受风邪而致之不语。

辛夷散：治鼻渊脑漏。

辛夷花_{一钱} 黄芪_{蜜炒一钱半} 当归_{酒洗一钱} 白芍_{酒炒一钱}
川芎_{一钱} 白芷_{八分} 细辛_{八分} 黄芩_{酒炒一钱} 生草_{六分}
灯心三十根，水煎，食远服。

【述要】

此方对气血不足，风热上扰所致的鼻渊脑漏疗效最佳。

乳香丸：专治鼻疳。

乳香 去油五分 没药 去油五分 孩儿茶 一钱 鸡肫胗 炒黄一钱
同为细末，搽患处。

【述要】

孩儿茶原作孩儿查，今改。具有清热化痰、止血、消食、敛疮收口之功。

椒硼散：专治牙根溃烂。

川椒 炒一钱五分 铜青 一钱 硼砂 一钱
同为细末，米泔水漱口，搽患处。

【述要】

此方具有敛疮生肌之效。方中铜青即铜绿之别名，为铜器表面经二氧化碳或醋酸作用后生成的绿色锈衣，具有退翳、去腐、杀虫之功。

消积通经丸：专治妇人血块积滞，经水不通。

香附 醋炒十两 艾叶 醋炒二两 当归 酒洗二两 川芎 二两 赤芍 一两 生地 二两 桃仁 去皮尖一两 红花 酒洗一两 三棱 醋炒一两
莪术 醋炒一两 干漆 炒烟尽一两

同为末，醋糊为丸，如梧子大，每服七八十丸，晚用淡醋汤送下。

【述要】

此方理气养血，破血通经，祛邪兼以扶正。

凉血饮：治妇人五十以上经血暴行。

黄连 酒炒一钱 黄芩 酒炒一钱 黄柏 酒炒一钱 棕灰 存性一钱半
莲壳 二钱半烧灰 当归 一钱

水煎，温服。轻者一服，重者二服，即止。

【述要】

此方所治之经血暴行，乃血热妄行所致。方中莲壳即莲房，为睡莲科植物莲的花托，性味苦涩、温，具有消瘀止血、解毒去湿之效。

槐花汤：治如前。

槐花炒一两 百草霜五钱

每服二钱，烧红铁秤锤淬黄酒温服。

【述要】

槐花汤重在凉血止血。取淬黄酒温服是取其行血消瘀之力。

调经种子汤：专治月经不调，久不受孕。

当归一钱 川芎七分 白芍酒炒七分 熟地姜炒一钱 陈
皮八分 白术炒一钱 香附酒炒一钱 条芩酒炒一钱 朱砂仁三分
炙草四分

水煎，空心热服。先期来者热，加酒炒黄连五分 倍黄芩；后期来者血虚，加黄芪倍芎归；腹疼有块加元胡、丹皮各一钱；发热加柴胡、地骨皮各一钱；赤白带加柴胡、升麻各五分，半夏、云苓各一钱，苍术、黄柏、知母、干姜各八分；肥人痰脂满子宫，加制南星、半夏、苍术、云苓各一钱；瘦人血少倍芎归；经血过多加炮姜、荆芥穗、地榆各一钱；经闭不行加桃仁、红花、莪术各一钱；气大善怒、加乌药五分，陈皮、香附各一钱。

【述要】

调经种子汤功专养血调经，理气健脾。随症灵活加减可治疗多种原因所致之不孕症。

加减二陈汤：专治一切痰症。

陈皮二钱 半夏姜炒一钱 云苓一钱 生草五分

水煎服，随病加减。湿痰身软加苍术、白术炒各一钱；热痰加黄连酒炒、黄芩酒炒各一钱；眩晕久痰加山栀炒一钱，黄连酒炒五分，黄芩酒炒一钱；风痰加天麻、枳壳各一钱，胆南星五分，白附子一钱，僵蚕焙五分，皂角烧去皮弦五分，气虚加竹沥，气实加荆沥各一匙，俱用姜汁；老痰加海石煨倍半夏、瓜蒌仁去附五分，香附醋炒一钱，连翘、五倍子去虫各一钱；痰结喉中

如有物加瓜蒌仁_{去油}、杏仁_{去皮尖}、海石_煨、桔梗、连翘、香附_{醋炒各一钱}，少加朴硝、姜汁，蜜丸黄豆大，噉化；寒痰痞塞胸中倍半夏，甚者加麻黄、细辛、乌头_{制各五分}；食积痰加神曲、麦芽、山楂、枳实_{各一钱}，酒炒黄连_{五分}，消之甚者宜丸药。噎气吐酸水，食积有热加黄芩_{酒炒一钱}，胆南星_{五分}；血虚有痰加天冬、知母_{盐炒}、瓜蒌仁_{去油}、香附_{酒炒各一钱}，竹沥、姜汁；带血者更加白芍_{酒炒}、酒芩、桑白皮_{各一钱}；血滞不行，中焦有饮，取竹沥、姜汁、韭汁三五盏，必先烦躁后安宁；痰在膈上泻之不去，痰在经络者俱用吐法，以瓜蒂散吐之，避风；痰在肠胃加枳实、大黄、芒硝_{各一钱}；痰在皮里膜外，或在四肢，或在经络，具加竹沥、姜汁、韭汁，或癫狂健忘亦用竹沥；痰在胁下加白芥子_{炒一钱}。

凡人身上有痰块，问呼好吃何物，吐下后再服药，头面颈项有结痰不疼不红，名痰注，加连翘、瓜蒌仁、香附、胆南星_{各一钱}。

【述要】

加减二陈汤以理气化痰为主，灵活加减可治疗一切痰症。

开关立效散：专治噎膈不能食。

姜片不拘多少，装于布袋内，五月端阳日埋于牲口圈土坑内，苦好七七四十九日，取出晒干为末，每服四五厘，姜汤下，一服即能食。

【述要】

开关立效散和胃止呕，故能治疗噎膈不能食。

手拈散：专治疝气疼痛。

黄土和泥一块，火上烘热罨于患处，立时止痛，其效如神。

【述要】

热罨(yǎn)，即热敷。此方用黄泥土烘热贴患处治疝气，是取其散寒止痛之力。

硝黄散：专治喉痹，先刺少商穴。

皮硝 四两 僵蚕 炒八分 青黛 八分 蒲黄 五分 马屁勃 三分
麝香 一分 冰片 一分

同为末，每用一钱，新汲水调一盞，徐徐呷咽，如是喉痹即破，出血愈。如不是即消；若是诸般舌胀，用药五分，以手蘸药搽在舌上下咽津液；如是小儿用一钱，作四五服，如前法调呷。

又禁法：

用水一大钟，右手剑诀一气，写龙师火帝四字于水中七遍，吞之效。

【述要】

少商为手太阴肺经之井穴，位于拇指末节桡侧，距指甲根角 0.1 寸处，该穴可治疗昏迷、休克、咽喉肿痛及腮腺炎等病。马屁勃即马勃，性味辛、平，具有清肺、利咽、解毒之效，《本草衍义》谓其：“治喉痹咽痛”。

消毒捻：治舌肿出口外。

蓖麻子数枚，去壳纸裹捶出油透，将纸作燃烧，烟熏之立愈。

【述要】

蓖麻子原作蓖麻子，为大戟科植物蓖麻的种子，性味甘、辛、平，有毒。具有消肿拔毒、泻下通滞的作用。

胆矾散：治喉痹喉风紧急兼时气。

胆矾末二三分，吹入喉中，立时痰出病轻。

又方：真蟾酥四五分，研末点少许于患处，即消。

【述要】

用胆矾末吹入喉中，是取其涌吐痰涎的作用。用蟾酥少许点于患处是取其解毒消肿之功。

铁笛散：治声哑不出。

当归 酒洗一两 生地 一两 熟地 一两 天冬 盐炒五钱 麦

冬 盐炒五钱 黄柏 蜜炒一两 知母 盐炒五钱 党参 三钱 云苓 一两
 诃子 去核五钱 阿胶 炒五钱 乌梅肉 十五个

人乳一碗，牛乳一碗，梨汁一碗，拌诸药晒干为末，蜜丸黄豆大，每服八九十丸，萝卜汤下。

【述要】

此方滋阴养血，润肺生津，益气健脾。其所治之声哑不出，乃肺肾阴亏，脾气不足。

消解散：专治喉中结核如梅子，吐之吐不出，咽之咽不下，俗名梅核气。又治遍身结核。

胆南星 五分 半夏 蜜炒一钱 陈皮 一钱 枳实 炒一钱 桔梗 五分 前胡 五分 柴胡 五分 黄连 酒炒五分 白附子 炙一钱
 连翘 一钱 赤芍 一钱 防风 五分 独活 五分 莪术 醋炒一钱
 木通 五分 苏子 一钱 生草 五分 白芥子 五分研 蔓荆子 一钱

生姜三片，灯心一撮，水煎临卧温服。

【述要】

此方清热化痰，疏肝理气，祛风活血。适合于治疗气郁痰阻为主的梅核气。

金丝膏：专贴一切恶疮，黑疔锁口，死肉刀割无血，针刺不动，用药不效，不知疼痛，无如奈何。用此膏口嚼布摊，贴之二三日，揭起黑疔死肉即去，再用灵药贴碧云膏生肌收功。

松香 一斤米泔水煮半柱香倾入水中四五次为末 乳香 没药 孩儿茶
 血劫 各一钱为末 龙骨 煅末一钱 轻粉 一钱末 山甲 火煅一并为末

香油四两，慢火熬至滴水成珠，再用黄蜡、白蜡各一两，同松香入油内搅匀离火，入细药末搅匀，磁罐盛之，不可见火，用口嚼摊贴布上，小疮小毒不可用此。

【述要】

血劫疑指血竭，为棕榈科植物麒麟竭果实及树干中的树脂，性味甘、咸、平，具有散瘀定痛，止血生肌之效。

碧云膏：专贴一切疮毒，不痛者贴之即痛，痛者贴之即不痛，其效如神。

铜绿

三两为末陈醋八两用六两浸铜绿搅匀半月取出晒干再六两洗器用

松香

二斤四两用米泔水煮一炷香倾凉水内凝块

香油半斤，冬加二两，入锅内用蓖麻子一两、杏仁一两熬枯捞出，再入松香柳条搅半炷香，滴水成珠，扯丝三寸长为度。如油熬太过加黄蜡二两，熟香油少许，不老不嫩为佳，离火入乳香、没药为末各一两，搅匀入凉水内，冬月入温水内，用手蟠数百蟠出水，再将前余陈醋洗器内余绿，亦揉膏内，仍入凉水浸之，三日换一水，过一月取出盛于磁罐内，用时以手拈摊绢上，贴之。

【述要】

方中铜绿去腐生肌；松香祛风燥湿，拔毒生肌止痛。两药合用，相得益彰。

黄灵药：去腐生肌。

朱砂_研 水银_研 枯矾_研 青盐_研 火硝_{各一两}

先将矾、盐、硝入铁锅内按作一窝，将朱砂、水银入窝内，将矾、盐、硝盖上少许，锅上用碗盖之，盐泥封固。将麦楷小火半炷香，炭文火一炷半香，武火二炷香，碗底不离水，火候足冷定，取开将黄药扫下，另收一处，将五色药另收一处。五色者去腐生肌，黄者收口。又白芨为末贴患处即生肌止疼；又好皮胶炮为末，亦能生肌。

【述要】

此方为去腐生肌之良方，但水银毒性较大，在制作时一定要严格掌握操作方法及剂量，以免中毒。

阴阳普救膏：

大黄_{二两} 三棱_{一两} 厚朴 槟榔 天花粉 细辛
穿山甲 芫花 独活 全蝎 防风 杏仁 黄
柏 大戟 皂刺 皂角 巴豆_{去皮} 肉桂_{各一两} 白
芷_{八钱} 羌活_{八钱} 香附 麻黄_{一两} 川乌 枳实_{各八钱}
甘遂_{二两} 莪术_{一两} 蓖麻_{一两} 当归_{二两} 马前子_{一两}
草乌_{一两} 蛇退_{五钱} 元参_{七钱} 黄连_{七钱} 生地_{一两} 蜈
蚣_{十条} 五倍子_{七钱}

香油六斤，浸药五日，熬至药枯，去渣，油熬至滴水成珠，入炒过黄丹三十四两，陀僧末四两，搅至不沾手为度，入冷水五日去火毒，贴诸病，兼服食丸如小豆大，每服七丸滚水下。

贴气滞加沉香末_{一分}，麝香少许；贴疼痛加乳香少许；偏正头风左患贴左，右患贴右，正患贴正，或卷条塞鼻孔，立效，常含甘草咽之；暴发眼耳上角针刺出血，贴针眼上，或有云雾拳毛，迎风冷泪，卷条塞鼻；咽喉三十六症外贴，口含甘草咽之；牙疼头面肿贴患处；九种心疼贴前后心，服甘草汤，或疼极作丸服，不含甘草；瘫痪贴肩井、虎眼、三里三处，或不省人事作丸服，开水下，立醒，如不醒作条塞鼻孔；癆症癆虫贴夹脊穴、尾间、脐三处，饮甘草水七日虫即死；咳嗽吐痰贴前后心，再服清痰降火药，弱人勿服；翻胃噎膈贴胃口肚脐，常服甘草汤；臌胀贴脐丹田，忌甘草；食不下作丸，滚水服之，不用甘草；吼喘痰嗽贴前后心，服甘草汤，如痰盛气塞作条塞鼻孔，或丸服，不用甘草；大小便闭贴脐，服甘草，如病危作丸服，再用甘草末、葱汁调搽小腹立通，不用服甘草；红白痢贴胃口、脐，二三日愈；红白痢病危作丸，红者用龙眼核桃皮七个，打碎煎汤下，白者用荔枝核皮，煎汤下；难产胎衣不下俱用热酒下，产门小腹用甘草汤洗；小儿惊风作条塞鼻贴脐；小儿疳症贴脐内，服甘草；妇人经闭贴脐丹田内，服甘草，如病久作丸服，小肚上甘草汁搽之；痞瘕血块贴痞块并脐上，服甘草汤，如人壮日服丸二次，即从大便出，不用甘

草，弱者勿服；疔疮内服外贴，不用甘草；诸毒疮贴患处，内服甘草汤；内疮作丸服，外贴肿处，不用甘草；臃疮脚气摊绢上贴，外以竹叶盖之托定，每日温水洗患处；吐血衄血贴两脚心，服甘草；便血贴肚脐，服甘草；跌打损伤贴患处，服甘草；瘫痪风症，牙关紧闭作条塞鼻，撬口作丸，滚水灌下。

【述要】

阴阳普救膏具有破血通腑、攻逐痰浊水饮、祛风宣肺、理气止痛、温阳散寒的作用。外贴、内服可治疗许多疾病。本方力量较猛，内服时应严格掌握剂量。

九转灵砂：治男妇五癆七伤。

水银_{八两} 朱砂_{一两研} 硫黄_{二两研}

先将硫黄入锅，微火化开，次入砂汞，用铁筷子不住手搅至结黑色，再炒至碎砂待微烟起，取出为末入罐，上盖铁盏，盐泥封固，用砖三块支罐高地二寸半，罐离地二寸，火离罐底一指，文一武二，住火冷定，取出腰红底白上紫研末，为一转，盏中不可离水。二转硫黄_{一两}，盐_{五钱}，同入罐，火候如前法；三转加硫黄_{一两五钱}，盐_{一两}；四转加硫黄_{二两}，盐_{一两五钱}；五转加硫黄_{二两五钱}，盐_{一两五钱}；六转加硫黄_{三两}，盐_{一两七钱}；七转加硫黄_{三两}，盐_{一两七钱五分}；八转加硫黄_{三两五钱}，盐_{一两七钱五分}；九转加硫黄_{三两五钱}，盐_{二两}。九转皆如头一转法，九转完装磁器内，入井水中，七七四十九日，去火毒，取出又入锅内煮三日，听用。

灵砂_{一两} 广木香_{三两} 母丁香_{三钱}

为末，蜜丸绿豆大，每服三分或五分，量人大小，酌用滚水下或米饮下，诸病酌配，各随引下。

治噎食灵砂_{一钱研}，明雄_{五钱研}，五灵脂_{五钱研}，黑狗胆为丸，如梧子大，每服一丸，定缸水送下；治狂症灵砂_{三分}，苦参_{三钱}，为末，蜜丸如梧子，每服二十一丸，滚水下；治黄病灵砂_{三分}，皂矾_{二钱}，明雄_{二钱}，五

灵脂二钱，同为末，枣肉为丸，如绿豆大，白矾为衣，每服二十一丸，姜汤下；治蛊病鲫鱼一尾，去肠肚，入明雄五钱，灵砂五分，以线紧包纸三层，火内烧熟，去纸，黄酒冲食之；治麻风未发时，灵砂一分三厘，苦参五分，荆芥五分，玉金五分，煎汤下。

一切杂症，俱用灵砂一分三厘，枣肉为丸。治痰迷便燥，大黄煎汤下，日三服；治遗精，人参汤下；治白淋，朴硝黄酒下；治胃口疼，元胡汤下；治胁疼，元胡汤下；治小肠疝气，泽泻汤下；治虚劳，人参黄芪汤下；治脏毒下血，棕灰米饮下；治热嗽，乌梅汤下；治反胃，陈米半夏柿蒂汤下；治水臌，葶苈汤下；治吞酸，丁香姜枣汤下；治胎动，人参大枣汤下；治邪祟，降香汤下；治产后恶血，苏木汤下。

【述要】

九转灵砂配伍相应药物可治疗诸多疾病，因其有毒，故运用时应严格控制剂量，以防过量而中毒。

甘遂散：专治转胞。

甘遂为末，搽脐下，内以甘草汤服之最妙。

【述要】

甘遂苦、寒，有毒。功专泻水饮，破积聚，通二便。《卫生杂兴》谓其治小便转脐：“甘遂末一钱，猪苓汤调下。”

一贯丹：治诸般杂症。

马前子一斤，用生甘草五两，麻黄五两，同入磁锅内，用水五碗煮马前子透，取甘草、麻黄埋于地内，恐生灵食之伤命，只将马前子皮手刮净去心，又入净锅内用黄土炒马前子黑透，取出为末，酒糊为丸，如黄米大，每服二分至重三分，不可多用，各随引下。

大便不通，竹叶、灯心、槟榔各五分，如腹痛加熟军四钱，煎汤下；小便不通，车前子汤下；白痢，生姜黑糖下；红痢，甘草生姜汤下；白浊，葱汤下；疝气，小茴香童便炒，煎汤下；梦遗，莲须、牡蛎、

龙骨、山药、白术、芡实各一钱，煎汤送下；恶寒发冷，姜汤下；呕吐不止，砂仁二钱，姜汁半匙，煎汤下；痰喘盗汗，炒黑豆煎汤下；五淋，车前子或酒炙大黄煎汤下；疟疾逐日发，陈皮半夏枣姜汤下；疟疾隔日发，槟榔厚朴半夏山楂柴胡姜枣汤下；肠鸣气疼，乳香没药汤下；肠鸣有虫，君子肉槟榔汤下；反胃噎食，枣汤下；隔食，神曲麦芽汤下；两肋胀满，陈皮白芍汤下；气积走疼，莪术汤下；满身气走疼痛，川椒_{九个}，巴戟_{一钱}，姜汁半匙，煎汤下；呕吐清水，诃子煨去核，煎汤下；追虫去积，大黄汤下；伤肉，山楂汤下；面积，神曲莱菔子汤下；痰积，白芥子半夏胆南星生姜汤下；咳嗽吐痰，姜汁蜜汤下；年久积痰，牙皂煨去皮，煎汤下；梦寐不宁，茯神枣仁汤下；骨节疼，羌活生姜汤下或黄酒下；肾气腰疼，八味汤加牛膝续断汤下；湿热腰疼，黄酒童便下；湿气腰疼，白术苍术生姜羌活汤下；吐血，乌侧柏叶芽根汤下；半身不遂，稀荏苒二钱，如冷气加五加皮_{一钱}，火盛加菊花_{一钱}，酒煎服下；便血，生地槐花枯芩汤下；虚劳咳嗽，六味汤加麦冬、五味子、知母，煎汤下；衄血，京墨调服；血崩，侧柏叶四物汤下；瘀血，红花苏木黄酒下；肠风下血，槐花地榆汤下；干血癆，四物汤加半夏、红曲、红花、川乌煎汤，六味丸三钱服百日通；乳汁不通，木通汤下；吹乳结核，黄酒下；月经不通，红花、川芎、当归、川乌、荆芥各三钱，少加黄酒，煎汤下；痔漏，土茯苓汤下；鼠疮，夏枯草汤下；肿毒，雄黄一钱酒下；邪祟，藿香远志汤下；疳疮，槐花银花汤下，外以药末吹之，诸疮俱用药末贴之；跌打损伤，黄酒下，外以药末贴之；疯狗咬，甘草汤下，外用药末蜜和烧酒贴之；跌打瘀血攻心，茜草汤下；汤炮火烧，白糖滚水下，外药末搽之；血晕，紫苏汤下；惊风，人参枣子汤下；小儿疳疾，雷丸使君子汤下；五疸，茵陈汤下；小便频数，益智仁汤下；小儿惊吐，猪乳下；胎衣不下，牛膝半夏汤下；心胃疼，元胡汤下；五疳潮热，葛根汤下；呕吐恶心，公丁香白水下；鼻血不止，黄连汤下；瘫痪，麻黄麝香汤下；牙关闭，天麻汤下；阴症，附子理中汤下或附子汤亦可；胎死腹中，香油蜜红花黄酒

下；口舌生疮，炒山栀煎汤下；小儿四六风，生姜薄荷灯心汤下；口眼歪斜，生姜竹沥防风荆芥汤下；偏坠，荔枝核煨研，黄酒下。

【述要】

一贯丹中之马前子即马钱子，性味苦、寒，有毒。功专通络散结，消肿止痛。经精心炮制后，配合各种不同的汤药服用可治疗许多种病。因马钱子有毒，故在具体用药时应以安全有效为主。

经验杂方卷上终。

经验杂方 卷下

秦艽汤：专治痛风历节风。

当归二钱 赤芍酒炒七分 苍术童便浸一钱 黑狗脊去毛二钱
川芎七分 羌活一钱五分 生地酒炒一钱 革薺一钱 秦艽一钱五分
独活一钱 黄连酒炒二钱 五加皮二钱 黄柏酒炒一钱 红
花酒洗八分 黄芩酒炒一钱五分 黄芪酒炒一钱 人参二钱 牛
膝酒炒钱半 杜仲小茴香盐水拌炒二钱 生草三分

桃枝七根，长一寸半，灯心七根水煎，临服入童便，酒各一钟，空心温服。忌酒、面、鱼、鸡、鸭等肉。

午后夜甚者阴虚，加升麻五分，丹皮一钱；早晨甚者阳弱，加连翘一钱，沉香五分，竹沥、乳汁各半钟；疼甚者倍羌活、红花、酒芩，凉血则疼止。

【述要】

此方活血祛风，清热燥湿，益气通络，强腰健肾。对于阴血不足，风邪外侵，湿热内侵，脾肾两虚之历节风最为适宜。

二灵丹：专治迎风流泪。

大熟地切焙 川椒去目并闭口者

等分为末，蜜丸梧子大，每服五十丸，盐米饮下。

【述要】

二灵丹中熟地滋阴补血，川椒温中散寒，二药合用可用于治疗血虚寒凝之迎风流泪。

三妙散：治小儿虫积腹疼，吐清水者是。

使君肉 三钱 槟榔 三钱 雄黄 一钱五分

同为末，每服一钱，苦楝根煎汤下。

【述要】

此方功专杀虫解毒，消积导滞，故可治小儿虫积腹痛。

止啼散：治小儿夜啼。

蝉退七个下半截，为细末，生炒一次，薄荷汤加黄酒少许调下。

又朱书写子、午、卯、酉于脐心四旁即止。

【述要】

蝉退性味甘、咸、凉，具有疏散风热，宣肺定痉的作用。《赤水玄珠》蝉退膏条有治小儿夜啼：“蝉退二七枚，辰砂少许。为末，炼蜜丸，令儿吮。”

白芨散：治顽疮不生肌。

白芨一两研末，以面些须水和为饼，用湿纸包，火中煨熟，研为细末，以陈猪油化匀摊贴，不数次，即去腐生肌。

【述要】

白芨为兰科植物白芨的块根，性味苦、甘、凉，具有补肺止血，消肿生肌，收疮敛疮之功。《神农本草经》谓其：“主痈肿恶疮败疽，伤阴死肌。”

化毒膏：专治搭背腰毒。

好醋三碗，大独蒜十五个，切片煎枯去蒜，将醋熬膏，不论已破未破，五七日愈。

【述要】

醋性味酸温，具有散瘀止血，解毒杀虫之功；独头蒜即大蒜，性味辛、温，具有行气导滞，温脾暖胃，解毒杀虫之功。两药合用，制成膏剂可治疗搭背腰毒。此病又名搭手，即有头疽生于背腰部两旁，患者能以自己的手触及者。

通耳散：治少年耳聋。

蚯蚓去土阴干，不拘多少，为末，七分麝香，三分葱白寸许，包

药塞耳内，左患塞左，右患塞右。

【述要】

蚯蚓即地龙，性味咸、寒，具有清热平肝，止喘通络之功。《圣济总录》中谓其治耳聋气闭：“蚯蚓、川芎各两半。为末，每服两钱，麦冬汤下，服后低头伏睡，一夜一服，三夜效。”麝香、葱白合用以开经络，通耳窍。

妙应丸：治虫积。

槟榔 一两二钱 黑丑 头末三钱 大黄 雷丸 煨 锡灰
芫夷 使君肉 木香 各一钱

同为末，用葱白煎汤，露一宿和丸，粟米大，每服四钱，五更葱汤调下。取寸白虫，石榴根皮煎汤下；小儿或一钱，或五分，五更葱汤下。天明取下虫物，有虫即下虫，有积即下积，有气即消气，一服效。

【述要】

此方消积导滞，解毒杀虫，为治疗虫积实证之良方。

贯仲丸：治三尸九虫。

雷丸 根一两五钱 贯仲 一两二钱五分 白僵蚕 焙 狼牙子 干
漆 烧烟尽 雄黄 白藿芦 各一两

为末，蜜丸梧子大，新汲水下五丸，三服后，渐加渐服，加至十丸，二十丸，虫当尽死。

【述要】

此方解毒杀虫，祛风散结。

解语丹：治中风不语。

白附子 炙 菖蒲 远志 去心 全蝎 焙 羌活 天麻
胆南星 僵蚕 焙等分

同为末，蜜丸绿豆大，每服五七十丸，姜汤下。

【述要】

此方化痰开窍，祛风止痉，为治疗中风痰壅窍闭之不语良方。

不换金丹：专治中风口眼歪斜。

薄荷_{三两} 荆芥穗_炒 僵蚕 防风 天麻 生
草_{各一两} 川芎 生白附子 羌活 细辛 制川乌
蝎梢 藿香_{各五钱}

蜜丸弹子大，茶清化下一丸，如口眼歪斜，左歪以药贴右，右歪以药贴左，立正。

【述要】

此方祛风止痉，温阳通络。本方可治疗面神经麻痹之口眼歪斜。

腹皮散：治孕妇二便不通。

大腹皮_{汤泡洗} 赤苓 枳壳_{炒各一两} 炙草_{一钱}

同为末，每服二钱，葱白汤调下。

一方为散，入郁李仁去皮尖一钱五分，水煎空心连服数服，以通为度，如不通是六腑热甚，用枳壳一钱，大黄二钱，炙草一钱，研为末，作三服，葱白汤调下。

【述要】

本方行气利水、健脾调中，药力平稳，适合于孕妇二便不通。

一次散：治破伤风危急者。

蜈蚣_{一条焙} 天麻_{五钱} 草乌_{五钱} 全蝎_{十个焙} 白芷_{一钱}

同为末，每用一次，发热茶清下，发寒温黄酒下，忌一切调和油荤水酒，百日犯之必死。

【述要】

本方熄风止痉，解毒通络。

固精丸：治肾虚精滑。

知母_{盐炒一两} 黄柏_{盐炒一两} 牡蛎_{煅五钱} 芡实_{三钱} 莲
蕊_{三钱} 云苓_{三钱} 远志_{三钱} 龙骨_{煅三钱} 山萸_{去子五钱}

同为末，山药糊为丸，如梧子大，朱砂为衣，每五十丸，空心盐汤下。

【述要】

本方可治疗肾虚而相火妄动之精关不固，遗精，滑精等症。

牡蛎散：治同前。

牡蛎五两火煅，醋淬七次，为末，醋糊为丸，梧子大，每服五十丸，空心盐汤下，或加韭子_{黄炒}、龙骨_煅各一两，尤妙。

【述要】

此方主要功用为收涩止遗。

缩阳法方：治遗精病先要阳不兴好，治病阳兴时，用皮硝一撮，放左手心内，以右手合之，夹于两大腿内，使其自化，阳即缩。次日再兴再用，久之阳不兴，治痼病易愈，病愈后，以烧酒和黄土，涂阴毛际，阳即兴矣。

【述要】

皮硝即朴硝，为矿物芒硝经加工而得的粗制结晶。具有泻热、润燥、软坚之功。用皮硝外用缩阳是取其泻火坚阴之效。

阴阳攻积丸：专治五积六聚。

吴萸_{泡去苦水} 炮姜 官桂 川乌_{炮切各一两} 黄连_{酒炒}
半夏_{姜炒} 橘红 云苓 槟榔 厚朴_{姜炒} 枳实_炒
菖蒲_{不见铁} 元胡_{醋炒} 党参 琥珀 桔梗_{各八钱} 巴
霜_{去油五钱}

同为末，皂角去皮弦，六两为末，煎汁为丸，如绿豆大，每服八分，渐加至一钱五分，生姜汤送下。

【述要】

阴阳攻积丸治疗五积六聚是取其温经通络，消积导滞之功。

肥气丸：专治左肋肝积。

柴胡二两	黄连酒炒七钱	厚朴姜炒五钱	花椒去闭目炒四钱	
炙草三钱	莪术醋炒二钱半	昆布二钱半	党参二钱半	皂
角煨去皮弦三钱	云苓二钱	川乌炙一钱五分	干姜五分	巴
霜去油五分				

除云苓、皂角、巴霜，为细末，另研云苓、皂角为末，再研巴霜共
和匀，蜜丸梧子大。初服二丸，一日加一丸，加至大便微溏，仍从二
丸加服积去大半，即服补药除去根方止。

【述要】

此方治肝积，是取其疏肝理气，软坚消积，益气活血之功。命名肥气丸是
取其消除肝积，使气机通畅而强壮之意。

息贯丸：专治右肋肺积。

厚朴姜炒八钱	黄连酒炒一两二钱	党参三钱	炮姜一两二钱	
云苓二钱五分	川椒炒二钱五分	紫苑二钱半	桂枝一钱	桔梗
三棱醋炒	天冬去心	陈皮	白蔻面包煨	川乌炮各一钱
青皮五分	巴霜去油四分			

丸服法如服肥气丸。

【述要】

此方功专健脾理气，润肺消积。方名息贯丸是取其消除肺积使气息贯通
之意。

熊胆丸：治喉风、喉痹、乳蛾危急。

山豆根末五钱 熊胆一钱研

水和为丸，鸡肫皮为末为衣，丸如绿豆大，每用一丸放舌上噙
化，徐徐咽下，立效。

【述要】

方中山豆根性味苦寒，具有清火解毒，消肿止痛的作用；熊胆苦寒，具有清热镇痉，明目杀虫的作用。两药合用可增强清火解毒之功。

椒莪丸：治妇女经水不通，渐成血块。

当归_{酒洗} 桂心 青皮_炒 干姜_炒 川椒_{炒出汗} 莪
术_{醋炒} 干漆_{炒烟尽} 大黄_炮 桃仁_{去皮心炒}

各等分为末，先将四分用米醋熬成膏和，所余六分成剂，石臼内捣匀为丸，如桐子大晒干，每服二十丸，淡醋汤空心下，渐加至三十丸，以通为止。

【述要】

本方理气调血，破瘀通经，可专治瘀血阻滞之经血不通。

五灵散：治妇女血分病。

五灵脂不拘多少，炒令烟尽研末。

产后有病，或腹内疼，胁痛、脚痛不可忍，每服三钱，酒、童便煎服。血崩，酒调一钱，立止；中风，五灵脂一钱，以草乌头煎黄酒调下，如不饮酒，乌梅柏叶汤调下；心烦口干，五灵脂一钱，加炒蒲黄一钱，滚水调服；又治失血，产后恶血攻心，昏迷，心腹疼，黄酒调服，其效如神。

【述要】

五灵脂功专活血止痛，化瘀止血。为瘀血阻滞所致之痛经、经闭、产后瘀阻腹痛等证之要药。

五灰散：治妇人下血不止或血崩。

莲壳灰 黄绢灰 血余灰 百草霜 棕皮灰_{俱存性}
山梔_{炒黑} 蒲黄_炒 血竭 京墨_{各一两}

为细末，炼蜜为丸，如桐子大，每服五十丸，米饮下。

【述要】

此方以止血为主，兼以化瘀。功专治疗妇人下血不止或血崩。

棕灰散：治如前。

槐花一两炒 棕灰五钱

水二钟，盐少许，煎七分，温服立止。

【述要】

此方功专凉血止血，但止血力量较五灰散稍弱。

胶艾汤：治妇人劳伤气血，月水过多，淋漓不止，及孕调摄失宜，胎气不安，或因损动下血。

熟地一钱 白芍酒炒一钱 当归七分半 艾叶醋炒七分半 阿胶炒研五分 川芎五分 炙草五分 地榆一钱 黄芪蜜炒一钱

水煎温服。

【述要】

此方养血调经，益气安胎。对于气血不足之光兆流产最为适宜。

阿胶饮：治横生逆产。

阿胶炒一两研 滑石煅一两 冬葵子一合

合一处，每四钱，水煎连服二三服。一方加酥油一两，更妙。

【述要】

此方具有补血利水，催生下胎的作用。方中冬葵子性味甘、寒，功专利水滑肠，催生下乳。《食疗本草》中谓其治“难产，若生未得者：冬葵子一合捣破，以水二升，煮取一升；已下，只可半升，去滓，顿服之。”

遇仙丹：催生易产。

蓖麻子十四个去壳皮 朱砂 雄黄各一钱五分 蛇退一条烧存性

浆水饭和丸，弹子大，临用椒汤洗脐，安药一丸，于脐中用纸盖，以帛束之，生下急去之，一丸可用三次，富家预造就，救人其功

最大。

【述要】

遇仙丹为催生堕胎之方，方中蓖麻子具有消肿拔毒，泻下通滞，催生下胎之功。《卫生家宝方》中有：“催生并死胎不下，蓖麻子三个，巴豆四个。研细，入麝香少许，贴脐心上。”

荡胞汤：治妇人不孕育及断绝久不产二三十年者。

朴硝 当归 丹皮 大黄_{蒸熟} 桃仁_{各三两} 细辛
厚朴_{姜炒} 桔梗 赤芍 党参 云苓 桂心 生
草 牛膝 陈皮_{各二两} 附子_{炮一两五钱} 虻虫_{炒焦十个} 斑
猫_{糯米炒五个}

为末，每服六钱，水酒各半钟，煎至六分，温服，日二服，夜一服。出微汗，当下恶物。如人弱不堪，只服二三日止。如恶物未尽，用后方。

【述要】

此方活血通经，消积导滞，可用治气机壅滞，瘀血内阻胞宫之不孕症。

坐导药：

肥皂_{烧去皮弦一两} 吴萸 当归_{各二两} 大黄 细辛
五味子 炮姜_{各一两} 枯矾 食盐 川椒_{各五钱}

同为细末，以绢袋装如指粗，三寸长入产门内，勿行走，小便时去之，一日一换，恶物尽为止。如未尽可用十日，早晚用苦参汤薰洗下部。

【述要】

以坐导药放入产门下恶物，是取其祛瘀导滞，解毒杀虫之力。

肘后方：治妇人阴户生疮，或痒或疼。

杏仁_炒 雄黄 白矾_{各五钱} 麝香_{二分}

为细末，传入阴户内，一方单用硫黄研细传之。

【述要】

本方功专去腐生肌，解毒杀虫。方中杏仁在此亦主治疮，在《神农本草经》中谓杏仁“主咳逆上气，雷鸣，喉痹，下气，产乳，金疮，寒心奔豚”。

百部散：久嗽不止，虚劳痰喘。

款冬花一两 紫菀一两 百部五钱

同为末，每服三钱，生姜乌梅汤调下，食后临卧各一服。

【述要】

本方用治久嗽不止，虚劳痰喘之证，主要取其润肺止咳，化痰平喘之功。

倒发天疮方：

草薢三两酒浸 皂刺一钱 牵丑一钱

水六碗，煎作三碗，三次温服，忌牛肉。

【述要】

用此治疗倒发天疮，主要用其利湿解毒，活血消痈，去积杀虫的作用。

平毒汁：治瘤突额头。

先用小针十数苗，作一束微刺瘤通窍。用新南星醋磨汁，加麝少许，日搽二次，任如碗大，一月全消，最妙之方。防葵醋磨亦消瘤。

【述要】

平毒汁中的生南星醋磨汁外搽主要取其散结消肿止痛的作用。近年来发现南星有抗肿瘤作用，主要用于治疗子宫颈癌。

去斑汁：治汗斑，去疥癣。

白附子醋磨汁，用茄蒂搽患处，数日愈，忌洗。又研末搽阴囊湿痒。

【述要】

此处用去斑汁治疗汗斑，是取其解毒散结之功。汗斑即紫白癜风，相当于今之花斑癣。多发于胸背、颈项、肩胛等处，初起为斑点，大小不等，色紫褐或

灰白，斑点可扩大，互相融合成片，表面光滑而成光泽，边缘清楚，搔之稍有细屑，有时微痒，夏重冬轻。

抱龙丸：治小儿四时感冒，瘟疫喘嗽，惊风抽搐，咬牙蛊毒等症。

胆南星_{八钱} 天竺黄_{四钱} 雄黄_{四钱} 辰砂_{四钱} 麝香_{一钱}

同为细末，甘草汁为丸，如皂子大，每服一丸，薄荷汤化下，或用腊雪水，煮甘草汁尤佳。

【述要】

此方抱龙丸原出自《卫生宝鉴》，具有清热化痰，解毒开窍之功。

肥儿饼：治小儿饮食伤脾，生疳生黄，潮热痰嗽，肚大青筋或吐泻。

莲子 云苓 芡实 山药 白扁豆 薏苡仁_{各四两}
神曲_炒 麦芽_炒 陈皮 使君子 山楂 炙草_{各二两}
糯米_{二升炒}

同为末，布裹蒸熟，再用洋糖二斤，和匀作饼，一二钱重，每食二三饼，白滚水下。

【述要】

本方治疗小儿疳积，是取其健脾消食，杀虫消积之功。

雄黄解毒丸：治小儿诸病。

雄黄_{三钱五分} 郁金_{二钱五分} 巴豆_{二十四个去油}

为末，醋糊为丸，如绿豆大，每服七丸，热茶清吞下。

中风卒倒，不省人事，角弓反张，茶清下；急惊风，牛黄_{五分}，硼砂_{一钱}，水糊为丸，薄荷汤下；缠喉风，每七丸研化，热茶下；卒死，心口尚温者，研化七丸，灌下即醒；疟症有癖，沉香磨水送下七丸，泻黑血立效；诸积下痢，每服七丸，五苓散送下；疔疮，加全蝎_{一钱去毒}，

麝香少许，同解毒丹滴水成丸，每服二十丸，茶下；瘰癧，解毒丹内加斑猫七个，糯米炒过去米，研为丸，茶下；一切热毒有积食，热茶下。

【述要】

雄黄解毒丸具有解毒杀虫、消积导滞的作用，其配伍不同的药物可治疗急惊风、缠喉风、卒死、诸积下痢、疔疮、瘰癧等多种疾病，足见此方用途之广泛。

茴香散：治肾囊肿大疼痛。

小茴香 酒炒 青皮 炒 荔枝核 焙各等分

锉碎，炒黄色为末，酒调二钱，日三服。

【述要】

茴香散重在行气止痛，散结通络，对寒凝气滞之肾囊肿大疼痛者尤宜。

胡椒汤：治肾囊发痒不可忍。

胡椒一撮，煎汤和猪肉汤，洗之立效。

【述要】

胡椒具有温中燥湿，消痰解毒之功。其所治肾囊发痒应当是湿疹所致。

三消饮：治渴不止，日饮水数十碗，此虚火积内不散，名曰三消症。

党参 白术 云苓 当归 生地 各一钱 黄柏 酒炒
知母 盐炒 黄连 酒炒 天花粉 麦冬 去心各八分 黄芩 酒炒八分
桔梗 五分 生草 三分

水煎，早晚各一服。

【述要】

此方治疗三消症主要取其益气养阴，清热生津之功效。

辟毒丹：治痔疮肿痛。

黄连 酒炒一钱 黄芩 酒炒一钱 连翘 一钱五分 赤芍 一钱 枳
壳 炒一钱 熟军 一钱五分 苦参 一钱五分 黄柏 酒炒一钱 槐花 炒一钱

水煎空心服，加分两作梧子大，每服五十丸，空心滚水下尤佳。

【述要】

此方具有清热燥湿，泻火解毒之功。专治湿热下注，火热郁结之痔疮肿痛。

四七汤：治七情之气，结成痰涎，如梅核气在咽喉之间，吐不出，咽不下，或痰盛气喘，或痰饮恶心呕吐。

半夏 姜汁炒五钱 云苓 四钱 厚朴 姜汁炒三钱 紫苏 二钱 桔
梗 二钱 枳实 炒一钱 生草 一钱

生姜三片，枣一枚，水煎食后服，治梅核气加槟榔一钱。

【述要】

此方理气化痰，为治气郁痰阻型梅核气之良方。

分心气饮：治有积气，胁肋虚胀，噎塞不通，呕吐恶心，口舌干苦。

青皮 炒一钱 陈皮 一钱 半夏 姜炒一钱 云苓 一钱 木通 五分
官桂 一钱 赤芍 八分 桑白皮 一钱 大腹皮 汤泡一钱 紫
苏 一钱 羌活 五分 生草 五分

姜三片，枣二枚，灯心十根，水煎温服。

食少加砂仁、神曲各一钱；咳嗽加桔梗、半夏各一钱；气滞腰疼加木瓜、枳壳各一钱；噎食加沉香五分；水气头面肿加猪苓、泽泻、车前子、木瓜、葶苈、麦冬各一钱；气块加三棱、莪术醋炒各一钱；因气而心腹胀满如鼓者，加槟榔、枳壳、香附、乌药各一钱，服之甚效。

【述要】

分心气饮具有理气化痰，泻肺利水，祛风散寒的作用，适宜于痰邪阻肺，

湿邪困脾之证。

一通散：治产妇乳少。

通草	川芎	天花粉	木通	瞿麦	桔梗	青
皮各一两	赤芍五钱	连翘	生草	穿山甲	炒各五钱	僵
蚕炒一两	王不留	酒浸一两				

同为末，每服三钱，食后猪蹄汤调服。

【述要】

此方理气活血，通经下乳。适用于气滞血瘀型乳汁不通而少。

催生饼：治难产胎衣不下并死胎。

巴三蓖七脱衣裳，细研如泥入麝香，捏作饼儿脐下贴，须臾子母便分张。

巴豆三个去皮油 蓖麻子七个

同研如泥，加麝香少许，捏作小饼，贴于脐下即产。胎衣不下或死胎亦如此，贴之产下，急去之。

【述要】

此方治难产，主要取其催生下胎之力。

难产辨色方：

产母面赤舌青，母活子死；母面青舌赤，口沫出，子活母死；母唇皆青，口沫出，身重寒热，舌下青黑及舌下冷，子母皆死。

【述要】

对难产病人，除辨面、舌等气色外，还应结合脉、证等情况，必要时中西医结合进行急救，以母婴均安为治疗目的。

平毒散：专治脐疝索边不能生肌。

白矾一钱入砂锅内以盐泥封煨一柱香 姜灰一钱 蜗牛五钱

同为细末，搽患处，上以膏药护之，五六日索边即去，后用

生肌散：

海巴_煨 枯矾 雄黄 乳香_{去油} 没药_{去油} 玛瑙_煨
象皮_煨 儿茶_{面包煨等分}

共为细末，先以米泔水洗疮净，贴之。

【述要】

平毒散解毒杀虫而治胯疔，方中蜗牛性味咸、寒，具清热解毒消肿之功。
生肌散中之海巴即海蛤壳，性味咸、平，具有清热利水，软坚化痰之功。

接骨丹：治跌打伤骨节，先将骨对正后服药。

上好松香一斤，磁锅内熬化，用木杓一个，杓当中钻一孔，镶半两钱一个，将松香徐徐倾杓内滤入凉水盆内，冷定取出晒干，再熬，再滤，如此七次，或九次，埋于湿土内半月，去火毒为末，加后细药：

当归_{一两} 白芨_{一两} 自然铜_{一两火煨醋淬七次} 土鳖子_{二十四粒}
乳香_{去油一两} 没药_{去油一两}

同为细末，轻者一钱，重者一钱五分，黄酒下。兼贴刀镰斧伤，止血如神。

又一方：木炭烧红，以黑糖入内捣如泥，敷患处，亦能止痛、接骨。

【述要】

接骨丹具有活血生肌，散瘀止痛，接骨疗伤的作用。为治疗跌打损伤之良方。

赞育丸：治男子阳痿阴衰，虚寒无子。

熟地_{八两蒸捣} 白术_{八两} 当归_{二两} 枸杞_{炒一两} 杜仲_{酒炒}
仙茅_{酒蒸} 巴戟肉_{甘草汤浸} 淫羊藿_{香油拌炒} 山萸_{各四两}
肉苁蓉_{酒洗去甲} 韭子_{炒黄各四两} 制附子 蛇床子_{微炒} 肉桂_{各二两}

同为末，炼蜜为丸，如梧子大，每服二三钱，空心黄酒下，或米饮下，或加党参、鹿茸各二两更妙。

【述要】

此方具有补肾壮阳之功，对男子阳萎，虚寒无子者甚佳。

清热丸：治热嗽痰喘气促。

橘红_{五钱} 青黛_{三钱} 贝母_{七钱盐水炒} 胆南星_{一两} 天花
粉_{七钱} 桑白皮_{七钱蜜炒} 杏仁_{去皮尖七钱} 桔梗_{七钱} 黄芩_{酒炒五钱}
前胡_{七钱} 生草_{三钱}

为末，炼蜜为丸如龙眼大，每服一丸，淡姜汤化下。

【述要】

此方清热化痰，泻肺平喘。功专治疗热嗽痰喘气促。

玉关丹：治肠风下血，崩漏带浊及泻痢不止，神效。

白面_{炒熟四两} 枯矾_{一两} 五味子_{一两炒} 诃子_{半生半熟二两}

同为末，面糊为丸，如桐子大，以温补脾肾，药随症加减，或以独参汤送下，四五十丸亦可，血热妄行，以凉药下。

【述要】

玉关丹用治肠风下血、崩漏带浊及泻痢不止，主要取其收敛止血之功。

一抹光：治疥疮湿癣。

松香_{一钱} 水银 硫黄 枯矾_{各二钱} 朝脑_{一钱} 麻
油_{少许}

将松香、水银、麻油研如糊，后入硫、矾、脑三味研如膏，烘热搽之，神效。

【述要】

一抹光用治疥疮湿癣，主要是该方具有解毒杀虫，收湿敛疮的作用。

破伤出血方：何首乌为末敷之即止。

【述要】

“敷”原作“傅”，今改。何首乌主要具有补肝益肾，养血祛风之效，此外还有止血之功。

下铜方：误吞金银铜钱。

羊胛骨，炭火烧焦，存性为末，每服三钱，米饮调服，或用砂仁二三钱，煎浓汤饮之自下。

【述要】

《本草纲目》中有谓羊胛骨“治误吞铜钱”。

下针方：

误吞针下肚，用磁石一块，火煨醋淬为末，水丸，如樱桃大，吞下即服通利药，自大便出。又黑糖和黄泥为丸，吞入自下。若针在咽喉，用磁石一块，口常呵之自出。

【述要】

用磁石取其吸铁之性。

解恶气方：

人中鬼邪恶气，昏迷不醒，以韭菜汁灌鼻中即醒，或用老葱黄入鼻中出血亦醒，醒后服藿香正气散数服。

【述要】

方中韭菜汁具有温中行气，散血解毒之功。用藿香正气散是取其化湿辟秽的作用。

仓公散：治一切恶毒鬼气。

生白矾 雄黄 藜芦 皂角_{各等分}

同为末，每用豆大一粒吹鼻中，得嚏则活，未嚏再吹。

【述要】

用此方吹鼻中是取其解毒开窍之功。

中人言毒方：

用生麻油一碗，灌之即愈；或绿豆粉凉水服亦佳。

【述要】

人言即砒石，又名信石、砒霜等，多由砷矿石烧炼升华或使雄黄氧化升华而成。本品性味辛、热，有大毒。外用蚀疮去腐，内服劫痰平喘。

接骨散：治斫断手足，出血不止。

用手按住，用降香_{二两}，老松香_{五钱}，为末，童便洗净四围，以药敷上，止血接骨。

金疮药：治一切刀伤石损。

海螵蛸_{去皮五钱} 龙骨_{煅五钱} 五倍子_{一两} 赤石脂_{煅五钱}
血劫_{三钱五分} 麝香_{少许}

同为末，凉水洗净敷患处，又方用砖上陈石灰为末敷患处。

【述要】

金疮药方中血劫疑即血竭，外用止血生肌敛疮，内服活血散瘀止痛。

诸疮围药：初起即消，已溃渐愈。

南星 草乌 木鳖子 贝母 大蒜_{另研} 白芨
五倍子_{各等分}

同为末，生姜汁米醋调敷，留口二三日即消，常以醋润之。

【述要】

该方围疮主要取其解毒消肿，生肌敛疮之功。

乌金散：治囊疽已溃未溃皆治。

麦麸_{煨存性为末} 紫苏叶_{为末等分}

香油调搽已溃者，未溃者干搽。

【述要】

乌金散中之麦麸疑即麦麸草，为苧麻科植物野麻的全草。具有利湿解毒，

除风止痒的作用。

蜡矾丸：治一切毒疮，能解毒消散。

明矾_{一两} 黄蜡_{七钱} 贵人加木香_{三钱} 富人加沉香_{三钱}

平人加紫苏_{五钱}

溶蜡下蜜一匙，少温入矾末，众手拌匀，丸如梧子大，每服五十丸，温汤下，日三服。

【述要】

方中主药明矾，具有解毒消疮，杀虫止痒之效。

透脓散：不用刀开口，一日夜自透出。

蛾口蚕_{用出了蛾者}一个，烧灰用酒调服。只用一个不用二个，一个出一头，若二个出两头矣。

【述要】

透脓散中之蛾口蚕性味咸温，此方中用其以温阳透脓。

青金膏：治牙疳腐烂。

乳香_{去油} 人言_{火煨烟尽} 轻粉_{各一钱} 青黛_{二钱}

为细末，油调，新笔敷纸上阴干，每用少许放患处，以白纸盖上。

【述要】

用此方治疗牙疳腐烂，主要取其蚀疳去腐，解毒生肌之功。

箍疮散：毒不四散易好。

白芨_{四两} 雄黄_{一两} 榆皮_{二两} 黄柏_{一两} 麝香_{一钱}

为末，醋调匀搽四面，空中出毒，干则换之。

【述要】

“箍”原作“箍”，今改。此方具有解毒消肿，敛疮生肌之功，可使疮毒缩小而不易四散。

猪肚膏：专治痔疮。

用猪肚一个，洗去垢净，入皂角刺一两，扎定两头煮烂，去皂刺任意食肚，不用调和，食三肚即去根。

【述要】

猪肚为猪科动物猪的胃，性味甘、温，具有补中益气，补虚健脾之功。皂角刺性味辛、温，具有托毒排脓，活血消痈之功。两药合用，可补虚消痔。

猪肠膏：专治脱肛不上。

用猪大肠一节，约一尺五寸，洗去垢，内装槐花二三两，扎定两头煮熟，去槐花，食肠二三节，即除根。

【述要】

猪肠性味甘、微寒，主治便血、血痢、痔疮、脱肛。槐花性味苦、微寒，功专凉血止血，尤善治下部出血。本方对痔疮合并脱肛者尤宜。

去牙法：

草乌末搽少许于牙根，脱下即用盐汤洗之。

【述要】

草乌性味辛、热，有毒，功专搜风胜湿，散寒止痛，开痰消肿。用草乌末少许搽于牙根以去牙是取其止痛之效。

赤鼻方：

枯矾_{三钱} 硫黄_{二钱}

同为末，卧时用三分于手中，唾调以指搽鼻孔内，睡醒即搽，三日变色，七日全愈。

【述要】

赤鼻即酒齄(zhā)鼻，也叫酒糟鼻。多因脾胃湿热上熏于肺所致。症见鼻准发红，久则呈紫黑色。甚者可延及鼻翼，皮肤变厚，鼻头增大，表面隆起，高低不平，状如赘疣。治疗除此处之外用方外，还可用《医宗金鉴》之凉血四物汤以清热凉血。

疯犬咬方：

马兰头草捣汁，酒调一碗服，脚根出血愈。

【述要】

马兰头草即马兰，又名马兰头，为菊科植物马兰的全草及根。功专凉血清热，利湿解毒。

失音不语方：

诃子_{四个} 桔梗_{一两} 甘草_{一钱俱用生熟各半}

为末，每服二钱，童便、水各一钟，煎五七沸服之，甚者不过三服。

【述要】

方中诃子功专敛肺、涩肠、下气。本方对久咳失音者尤宜。

救喉散：专治单蛾，先刺少商穴，再刺喉中肿处一分，再服后药：

胆矾_{一钱} 牛黄_{一分} 皂刺_{烧一钱} 麝香_{三厘} 冰片_{一分}

同为细末，吹喉中，当吐痰出，再服后药一剂：

射干_{一钱} 山豆根_{二钱} 元参_{一两酒炒} 麦冬_{五钱} 生草_{一钱} 天花粉_{三钱}

水煎，一服愈。

【述要】

单蛾即单乳蛾，是指发生于一侧的扁桃体肿大。以其形似乳头，状如蚕蛾而得名。多因肺胃热壅，火毒熏蒸，或肝肾阴亏，虚火上炎所致。

两地汤：治前病亦佳。

熟地 生地 元参_{各一两} 黄连_{酒炒三钱} 天花粉_{三钱}

肉桂_{三分}

水煎，一服愈。

【述要】

此方所治之单蛾，以肝肾阴亏，虚火上炎为主。

洗心汤：专治痰迷心窍，喜怒不常。

党参—钱 茯神—两五钱 陈皮—三钱 神曲—炒三钱 生草—钱

附子—钱 菖蒲—钱 生枣仁—两

煎半碗灌之，必熟睡不可惊动，听其自醒。

【述要】

此方治痰迷心窍，是取其益气化痰，温阳开窍之功。

还神至宝丹：治前病亦佳。

党参—两 白术—二两 茯神—五钱 枣仁—五钱炒 木香—三钱

胆南星—三钱 荆芥—三钱 菖蒲—五分

水煎灌之，听其熟睡，自醒愈。

【述要】

此方益气化痰，祛风开窍，主要治疗痰迷心窍而兼风邪外袭者。

加味瓜蒂汤：治反胃吐食。

瓜蒂—七枚 莱菔子—三钱 韭菜汁—一钟 半夏—姜炒三钱 生

草—三钱 枳壳—一钱 党参—一钱

水煎服，一服愈。

【述要】

反胃吐食，乃胃气不降，痰邪郁阻于中所致。用加味瓜蒂汤上以涌吐宿食，中以益气健脾，理气化痰，下以消食通滞。

清膈散：治前症亦佳。

天花粉—三钱 桑白皮—三钱 生地—五钱 白芍—五钱 红花—三钱

桃仁—去皮尖十个 杏仁—去皮尖十个 枳壳—炒五钱 生草—一钱 紫

苑—一钱

水煎服，四剂全愈。

【述要】

用清膈散所治之反胃吐食，系肺气不宣，胃气不降，瘀血阻滞于胸膈所致。本方具有宣肺理气，活血化瘀的作用。

补母止嗽汤：治强食不化，吐痰不已。

白术_{炒五钱} 党参_{一钱} 陈皮_{三钱} 生草_{一钱} 苏子_{一钱}
半夏_{姜炒一钱} 桔梗_{二钱} 麦冬_{五钱} 紫苑_{一钱} 肉桂_{五分}
水煎服，四剂愈。

【述要】

脾为肺之母，此方重在健脾益气，化痰止咳，故方名为补母止嗽汤。

助金汤：治前病亦佳。

党参_{一钱} 生草_{一钱} 款冬花_{一钱} 白术_{五钱} 百
合_{姜炒五钱} 茯神_{二钱} 肉桂_{五分} 炮姜_{五分} 苏叶_{五分} 百
部_{五分} 半夏_{姜炒三分}
水煎服，四剂愈。

【述要】

助金汤除具有健脾益气，化痰止咳的作用外，还具有润肺之功。

归肠汤：治人有不必大便而脱肛者，此大肠之火奔迫而出者。

元参_{酒炒一两} 石膏_{煨三钱} 熟地_{一两} 丹皮_{三钱} 当归_{三钱}
地榆_{三钱} 槐花_{炒二钱} 荆芥_{炒三钱}
水煎服三剂。

【述要】

此方主要用治阴血不足，湿热下注之脱肛。另“归肠汤”原缺“汤”，今补。

元归汤：治前病亦佳。

地榆_{三钱} 当归_{一两} 元参_{一两酒炒}

水煎服，十剂愈。

【述要】

此方所治之脱肛与归肠汤所治基本相同，但力量较弱。

转腰汤：专治寒湿腰疼。

白术一两 杜仲炒五钱 巴戟五钱 防风五分 肉桂一钱
苍术三钱 羌活五分 桃仁去皮尖五个

水煎服，五剂愈。

【述要】

转腰汤具有温阳补肾，祛风散寒之功，故能治疗寒湿腰痛。寒湿阻滞，血行受阻，故方中加用桃仁以活血止痛。

防穉汤：治前病亦佳。

白术二钱 肉桂三钱 防己一钱 稀莩草五钱

水煎服十剂。

【述要】

方中稀莩草性味苦、寒，具有祛风湿，利筋骨，降血压的作用。

起癆至神汤：专治癆虫，滋肾。

熟地一两 山萸五钱 百部二钱 云苓五钱 山药五钱
芡实五钱 肉桂三分 白术三钱 杜仲一钱 鳖甲酥炙五钱
麦冬五钱

水煎服十剂，虫死再服，一月全愈。

【述要】

本方具有润肺杀虫，滋补肾精，健脾调中之功。对于肾脾两虚，肺阴亏损之癆虫之病尤宜。

安养汤：治前症亦佳。

党参一钱 百部一钱 山药一两 生草三分 麦冬五钱

五味子_{十个} 白术_{二钱} 茯神_{三钱}

水煎服十剂。

【述要】

本方润肺杀虫，益气健脾，适用于肺阴亏损，脾气不足之癆虫之病。

平安饼：治疮溃有坑坑，中又长出一肉嘴，名曰毒根。

乌梅肉_{一钱} 轻粉_{五分}

研细和匀，用口津少许，研成膏，照患口大小作饼几个，贴于肉凸上，外用膏药掩之，一日一换，轻者二三日，重者六七日，待毒不疼，脱下方止。贴饼时，内服托毒散，毒根去后，用保元、四物二汤收功。

【述要】

此方中乌梅为外用之药，能够消疮毒，并治赘肉外突。

化痞膏：专贴五积六聚，痞块疼痛。

大黄_{五钱} 党参_{三钱} 白术_{五钱} 枳实_{三钱} 枳壳_{五钱}

丹皮_{二钱} 鳖甲_{一两} 神曲_{一两} 山楂_{五钱} 麦芽_{五钱} 厚朴_{三钱} 当归_{一两} 白芍_{一两} 蒲公英_{一两} 金银花_{一两} 生草_{二钱} 使君肉_{一两} 两头尖_{二钱} 槟榔_{二钱} 防风_{一钱} 川乌_{一钱}

香油三斤，将诸药浸五七日，煎枯滤去渣，将油熬至滴水成珠，入飞丹一斤，熬至黑色，不沾手，离火下细药：

薄荷_{二钱} 乳香_{五钱} 没药_{五钱} 麝香_{一钱} 赤石脂_{五钱}
冰片_{二钱} 阿魏_{三钱} 血劫_{三钱}

入膏内搅匀，入凉水盆内，手蟠转数百遍，去火毒，收磁器内，勿泄气。用时摊绢上，照痞块大小，要厚不可太大，一贴见效。

【述要】

用化痞膏治疗积聚、痞块，主要取其理气活血，杀虫消积，软坚散结，益气

解毒之功。方中血劫疑即血竭，两头尖性味辛、热，有毒，功专祛风湿，消痈肿。

五灵丹：治一切痈症。

生川乌 去皮二钱半 五灵脂 炒五钱

同为末，猪心血丸梧子大，每用姜汤化服一丸。

【述要】

此方散寒止痛，活血祛瘀，适用于寒凝血瘀之痈症。

山梔散：治小肠疝气。

大附子 炒去皮脐一个 山梔 炒焦四两

同为粗末，每用一钱，水、酒各半钟，煎至七分，入盐一撮温服。

【述要】

此方所治之小肠疝气乃属寒热错杂之症。

粉香散：治吹乳。

天花粉 一两 乳香 去油三钱

同为细末，每服黄酒调下二钱。

【述要】

吹乳即乳痈，可分为内吹乳痛，外吹乳痛两种。内吹乳痛指妊娠期乳痈，临床较少见，多由怀孕后期胎气旺盛，邪热郁蒸而成。外吹乳痛指产后乳痈，多由婴儿吮乳熟睡，鼻孔凉气袭入乳房并与热乳凝结，或吮乳熟睡致伤乳头感染所致。

首乌散：治肠风下血。

何首乌蒸制三两为末，食前米饮服二钱。

【述要】

首乌散所治之肠风下血，当属精血不足，肠燥便秘所致。

豆根散：治五疸。

山豆根二两为末，水煎服二钱，若带盛气，黄酒下。

【述要】

山豆根为豆科植物广豆根的根，性味苦、寒。具有清火消肿，解毒退黄之功效。

蒲黄散：治吐血、唾血。

蒲黄末二两，每日温酒调二钱，食后服，或水服三钱亦可，鼻血亦治。

【述要】

用蒲黄散治疗吐血、唾血，乃取其收涩止血之效。

矾皂散：治中风痰厥，四肢不收。

白矾_{烧过一两} 牙皂_{烧去皮弦五钱}

为末，每服一钱，温水服，吐痰为度。

【述要】

此方具有催吐痰涎的作用。

揭风散：治破伤风。

水胶烧研，酒服二钱，厚盖出汗愈。

【述要】

水胶即黄明胶，又名牛皮胶。为牛科动物黄牛的皮所熬的胶，具有滋阴润燥，止血消肿之功。

丹矾散：治鸡眼肉刺。

枯矾_{三钱} 黄丹_{炒三钱} 朴硝_{三钱}

同为末，水调搽上，次上洗去仍搽，以好为止。

【述要】

此方用治鸡眼肉刺，主要取其解毒消疮、收敛生肌之效。

化虫散：治疮生蛆虫。

皂矾五钱为细末，搽患处虫，即化为水。

【述要】

化虫散中之皂矾外搽治疮生蛆虫，乃取其解毒杀虫之效。

水调散：治蚰蜒入耳。

皂矾三钱为末，水调灌之自出。

【述要】

此方用治蚰蜒入耳，仍取其解毒驱虫、杀虫之功。

净肠散：治肠风下血。

青木香_{三钱} 黄连_{酒炒二钱}

同为末，装猪大肠内，扎定两头，煮烂去药，食肠二三节血即止。

【述要】

此方所治之肠风下血，乃气机壅滞，湿热下注所致。

莪术散：治一切冷气心疼。

莪术_{二两醋煮} 木香_{煨一两}

同为末，每服一钱，淡醋滚水调下。

【述要】

此方具有理气活血的作用，可用治气滞寒凝，瘀血内阻之冷气心疼。

甘露水：治鼠疮溃烂，五七年者皆好。

荆芥根下一段剪碎，三二两煎汤，温洗患处，看破处紫黑，以针刺出血，再洗三四次，用朝脑三钱，雄黄三钱为末，油调扫上，出水，次日再洗，再扫以好为止。

【述要】

此方用治鼠疮溃烂，主要取其解毒杀虫，敛疮生肌之效。雄黄在《本经》中“主寒热鼠瘻恶疮，疽痔死肌，杀百虫毒”。

救命饮：治脱阳危症，吐泻后不醒人事，交接后肾疼。

葱白一把，炒热熨脐下，再以葱白二十一茎，捣烂，黄酒二钟煮汤，灌之即醒。

【述要】

此方主要起温中回阳的作用。

身面疣目方：

盗酸酒粕洗面，咒曰：疣疣不知羞，酸酒酹洗你头。急急如律令，咒七遍自愈。

【述要】

本方在外洗脸面时，并附有咒语，此乃药物治疗与精神治疗相结合的方法。咒语主要起心理暗示疗法的作用。

治邪疔方：

持枣一枚，咒曰：吾有枣一枚，一心归大道，优他或优降，或劈火烧之，念七遍，吹气一口于枣上，病人食之。

【述要】

此法所附之咒语亦属心理暗示疗法。

自退丹：治蛇钻口中不能出。

用花椒七枚，将蛇尾尖上用手紧捏，莫使蛇动，将尾用刀割开，将花椒塞内用线缝住，蛇自退出，奇方也。

【述要】

用此方主要取其止痛杀虫之力。

救牙散：治牙疳。

铜青_{二钱} 滑石_{煨二钱} 杏仁_{二钱}

同研一处搽之，又铜青、枯矾等分为末，治口鼻疳神效。

【述要】

此方用治牙疳主要取其去腐敛疮，清热利湿的作用。方中铜青即铜绿，为铜器表面经二氧化碳或醋酸作用后生成的绿色锈衣。

红白膏：治顽疮不收口，兼治臃疮。

心红_{一钱} 陈石灰_{五分} 松香_{五钱}

同为末，香油一两，化摊纸上贴之。

【述要】

方中心红即银朱，又名灵砂。为人工制成的赤色硫化汞，性味辛、温，有毒。具有攻毒杀虫，燥湿劫痰之功。

乌龙水：治压寐卒死。

百草霜为末，水灌二钱并吹鼻内。

【述要】

百草霜为杂草经燃烧后附于灶突或烟囱内的烟灰。性味辛、温，具有止血，消积之效。方名乌龙水，是因百草霜以色乌黑者佳，且本方用水调服，故名。

苏合香丸：治四肢解散，浑身疼痛，饮食不美，名曰：解伽症。服此神效。兼治中风痰迷，或小儿诸痫，大人痰厥，或中恶毒，或中瘴气，或颠仆不醒人事，或中邪祟皆治之。

麝香 沉香 丁香 檀香 香附_{四制} 白术
诃子_{煨去皮} 青木香 草拨_炒 朱砂_{各二钱} 犀角_{镑末二钱}
冰片_{一钱} 薰陆香_{二钱} 安息香_{二钱为末无灰酒熬成膏} 苏合
油_{二钱入息香内}

诸药为细末，用息香膏同炼蜜为丸，如弹子大，蜡包，用时温水

化服一丸，如口不能开者，用铁箸撬开灌下。

【述要】

苏合香丸所治上述诸多疾病均以气机壅滞，痰阻窍闭为主。

铁扇散：专治刀镰斧伤，出血不止。

古石灰_{一两炒} 陈曲_{二两炒存性} 五倍子_{二两炒} 大黄_{二两炒炭存性}

如筋骨折伤加入指甲_焙、无毛老鼠_{焙黄}、乳香_{去油}、三物各五钱，同为细末，如遇破伤出血不止者，以药搽上用扇扇患处，血即止，口即合，忌发物一月。

【述要】

用铁扇散治疗刀镰斧伤而出血不止，乃取其止血定痛，敛伤生肌，解毒祛瘀的功用。

定痛生肌膏：专贴棒疮疼痛。

穿山甲_{七片} 川乌_{二钱五分} 防风_{三钱} 川牛膝_{二钱五分}

大黄_{三钱} 当归_{三钱} 乱发_{二两}

香油四两，桐油四两，将群药用火煎枯，滤去渣，将油熬至滴水成珠，以炒丹四两徐徐下锅，以桃、柳枝搅至不沾手为度，以梭布推贴。

【述要】

此方具有活血消肿、祛风止痛、生肌止血的作用，功专治疗血瘀寒凝，复受风邪之棒疮疼痛。

牙疼良方：

防风 荆芥 生草 青皮 生地 丹皮_{各一钱}

姜三片，水二钟，煎至七分，食后温服，复渣，连服三四剂即愈。要分五脏加减，上正二门牙属心，加黄连、麦冬_{各一钱}；下正二门牙属肾，加黄柏、知母_{各一钱}；上左右二牙属胃，加川芎、白芷_{各一钱}；下左右二牙属脾，加白术、白芍_{各一钱}；上左尽牙属胆，加羌活、胆草_{各一钱}；下

左尽牙属肝，加柴胡、栀子各一钱；上右尽牙属大肠，加大黄、枳壳各一钱；下右尽牙属肺，加黄芩、桔梗各一钱。

【述要】

牙痛良方功专祛风理气，滋阴凉血。方中根据牙的脏腑属性而配伍不同的药物为该方主要的特点。

消痞散：治小儿疳积消瘦，肚大青筋。

酒连 芦荟 青皮_{去穢炒} 陈皮 神曲_炒 麦芽_炒
三棱_炒 莪术_煨 槟榔 肉蔻_{面包煨} 白蔻_煨 使君子_{去皮} 沉香_{各五钱} 木香_{一钱} 蛤蟆_{炙一钱}

右为细末，神曲糊为丸，如麻子大，每服二三十丸，空心米饮下。

【述要】

本方具有杀虫消积、解毒活血、理气化食的作用，为治疗疳积之有效良方。

虎胫散：专治男妇腰腿疼痛。

鹿筋_{火炮} 鱼膘_{火炮} 木瓜_{酒浸} 川牛膝_{酒浸} 木耳_{酒浸各一两} 虎胫_{一對酥炙}

同为细末，每服三钱，空心黄酒调下。

【述要】

本方功专强筋健骨，活血通络。方中鱼膘即鱼鳔，性味甘、平，功专补肾益精，滋养筋脉。

三香膏：专贴鼠疮已溃。

黑松香 阿魏_研 硃砂_研 麝香_研 蓖麻子_{去皮研}
嫩松香 人言_{各一钱研} 百草霜_{二两} 杏仁_{去皮一钱研}

先将松香捣，次入群药捣，千捶成膏，红绢摊贴，三日一换，去尽腐肉，再用生肌药收功。

【述要】

此药膏贴鼠疮已溃主要取其解毒杀虫，去腐收疮的作用。

洗疳汤：专治年久疳气。

蛇床子_{五钱} 川椒_{一握}

熬水一盆，先薰后洗，再用麦麸一升，入盐一钟，好醋一钟，同炒麸为黄色，用布包暖患处，自晚至天明为止，再服后药。

福枝核_{黄酒炒为末二钱} 肉桂_{研三分}

同为细末，空心黄酒调下。

【述要】

洗疳汤所治之年久疳气乃寒凝气滞而成，方中蛇床子、川椒合用，共奏温中散寒，理气止痛之功。后方中之福枝核即福建产的荔枝核。

外科应用炉火灵药

白降丹：

水银_{一两} 青盐_{二两} 白矾_{二两五钱} 皂矾_{二两五钱} 火
硝_{二两五钱} 明雄_{三钱} 朱砂_{三钱} 硼砂_{五钱}

将群药入阳城罐内，先以慢火融化成一块，然后再盖一罐，以纸封口数层，用泥封固，将无药罐埋土内，露有药罐于土外，四面以火煅之，先文后武，煅三炷香，再埋土内，七日去火毒，遇疮死肉不化，以些须敷上，外以膏药护之，一日夜死肉即去。

【述要】

白降丹具有解毒杀虫，去腐生肌的作用，故能去疮之死肉。

眼药白灵药：用些须加眼药内，去胬肉厚翳神效。

青盐_{三钱} 水银_{五钱} 火硝_{五钱} 胆矾_{三钱} 硼砂_{三钱}
白矾_{五钱} 硃砂_{三钱} 甘石_{三钱} 皂矾_{三钱} 朱砂_{三钱}

先将群药研细，入水银，同研不见水银星，方装阳城罐内，上盖铁盏，盐泥封固，先文后武，煅三炷香，盏内莫教水干，火候足，埋土内七日，去火毒。

【述要】

眼药白灵药具有去胥肉、退厚翳的作用，可用治胥肉攀睛等眼病。

紫金霜：

朱砂一两 黑铅一两 水银一两 皂矾四两 硼砂五钱

火硝四两 白砒一两

先将硝、矾慢火炒去湿气听用，次将黑铅熔化，投水银入内，凝成砂全，各药研不见水银星为妙，入阳城罐内，上盖铁盏，盐泥封固，盏内莫教水干，先文后武，七炷香，文三武四，火候已足，先扫中药，次扫紫金上药，后用黄连、生草煎汤浸药，五日去火毒。

【述要】

紫金霜中之黑铅即铅，又名黑锡。为一种灰白色金属，主要由方铅矿的矿石中炼出。性味甘、寒、有毒，具有镇逆坠痰，杀虫解毒的作用。

五虎丹：

水银一两 白砒一两八钱 火硝一两五钱 雄黄一钱 轻粉一钱

同研一处，入阳城罐内，盐泥封固，用水火炉升，打三炷香，先文后武，火足去火毒。

【述要】

本方外用可治疗疥癣疮毒，因其具有解毒杀虫，去除腐肉的作用。

七宝丹：

水银一两 白砒二两 火硝一两六钱 硼砂五钱 朱砂三钱
雄黄三钱 雌黄五钱

升打如前法，外用石膏三分，轻粉三分，冰片一分，兑丹药一钱，贴诸疮腐肉。

【述要】

七宝丹中之雌黄，其性状与雄黄相似，但雌黄为黄色，雄黄则呈红色或橘红色。

珍珠丹：

白矾_{四两研} 白砒_{二钱研} 朱砂_{五钱研}

先将砒入罐内，砂、矾盖之，盐泥封固，升一炷香冷，丹再入朱砂末二钱，用面糊作小锭子，如灯草粗细，用时以一锭，插疮口内，次日取去腐肉，若疮中有管，其管自落，后用生肌药收功。

【述要】

此方治疮，主要用其插入疮内以去除腐肉。

生肌散：

象皮_{一钱} 生龙骨_{一钱} 轻粉_{三钱} 没药_{三钱去油} 乳香_{三钱去油} 血劫_{一钱} 海螵蛸_{去皮一钱} 枯矾_{五分} 赤石脂_{一钱}

同为细末，撒些须于患处，自然生肌。

【述要】

本方外用生肌乃取其解毒消肿，敛疮生肌之效。方中象皮为象科动物亚洲象的皮，性味甘、咸、温，具有止血敛疮的作用。方中血劫疑即血竭。

三仙丹：

水银_{五钱} 白矾_{一两} 火硝_{五钱}

同研不见水银星，入铁锅，上盖磁碗，盐泥封固，晒干，木炭火升，打三炷香，冷定刮下埋土内，去火毒。

【述要】

此方外用可治疥癣疮毒。

经验杂方卷下终。

主要参考文献

1. 傅仁宇. 审视瑶函. 上海:上海科学技术出版社,1959
2. 成都中医学院. 中医眼科学. 北京:人民卫生出版社,1985
3. 廖品正主编. 中医眼科学. 北京:人民卫生出版社,1996
4. 毛文书主编. 眼科学. 北京:人民卫生出版社,1986
5. 权依经等. 五运六气详解与运用. 兰州:甘肃科学技术出版社,1987
6. 江苏新医学院. 中药大辞典. 上海:上海科学技术出版社,1993
7. 《中医大辞典》编委会. 简明中医辞典(修订本). 北京:人民卫生出版社,1986
8. 杨华森等. 简明中医字典. 贵州:贵州人民出版社,1985
9. 顾伯华主编. 中医外科临床手册. 上海:上海科学技术出版社,1983
10. 商务印书馆. 四角号码新词典. 北京:商务印书馆,1983
11. 江育仁主编. 中医儿科学. 上海:上海科学技术出版社,1988
12. 顾伯康主编. 中医外科学. 上海:上海科学技术出版社,1987
13. 张伯臾主编. 中医内科学. 上海:上海科学技术出版社,1987
14. 邱茂良主编. 针灸学. 上海:上海科学技术出版社,1986
15. 凌一揆主编. 中药学. 上海:上海科学技术出版社,1986
16. 程士德主编. 素问注释汇粹. 北京:人民卫生出版社,1984

17. 张珍玉主编. 灵枢经语释. 山东: 山东科学技术出版社, 1983

18. 黄庭镜. 目经大成. 北京: 中医古籍出版社, 1987